# 臺灣時報

六月號

鵞鑾鼻燈臺

臺灣時報發行所

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

# 臺灣時報發行の趣旨

政事、時事、農事、工事、商事、學術技藝、統計等の報道評論特に臺灣に於ける統治狀態及び諸般の情況並に南支南洋に關する事項を周知せしむる爲め臺灣時報を發行す。（發行規定第一條）

## 臺灣時報發行所役員

評議員長 後藤文夫

評議員（以下イロハ順）

石坂荘作　今井周三郎　井村大吉　伊藤兼吉　岩本多助　西川利藤太　醫學博士 堀内次雄　富地近思　陳鴻鳴　陳中和　林熊徵　林獻堂　林烈堂　林鶴壽　李延禧　大竹勝一郎　農學博士 大島金太郎　大越大藏　大賀基作

太田吾一　渡邊金造　川崎軍治　簡朗山　片山三郎　吉岡荒造　楊吉臣　醫學博士 高木友枝　田村武七　田村藤四郎　田賀奈良吉　高山仰　瀧田傳吉　武田英一　津田毅一　津久井誠一郎　鼓包美　妻木栗造　永田隼之輔

宇賀四郎　草鹿砥祐吉　倉岡彦助　久米孝藏　松岡富雄　牧山清砂　松本晃吉　藤野幹　古木章光　小松吉久　吳昌才　辜顯榮　古賀三千人　黃欣　吳汝祥　黃春帆　後藤和佐二　枝德二　江口良三郎　鄭神寶　赤石定藏　赤司初太郎　後宮信太郎　阿部滂　荒卷鐵之助　相原祐彌　淺田知定

近江時五郎　坂本素魯哉　佐々木紀綱　楊瀨軍之佐　皿谷廣次　蔡蓮舫　坂本森一　齋藤透　佐藤得太郎　木村久太郎　木村泰治　許廷光　北村吉之助　喜多孝治　木下信　三好德三郎　三浦碌郎　生野團六　白勢黎吉　徐杰夫　遠藤所六　平山寅次郎　森廣藏　本山文平　鈴木重臣　諏訪禮次郎

## 編纂委員

猪股松之助　今川淵　生駒高常　服部武彦

林田軍五郎　原口竹次郎　富田松彦　大澤清高

## 常務員

大竹勇　和田一次　和田博　鎌田正威　横光吉規　田端幸三郎　中瀨拙夫　中田榮次郎　中田秀造　内田隆

深川繁治　古山榮三郎　青木敬一　淺野安吉　佐藤續　水越幸一　下村充郎　城間垣人　平山泰

編輯係　秦滿　鷹取田一郎　泉芳德　尾崎保正　葉山石雲

栗山新造　眞倉民治　安藤泰夫　鈴木重男　伊藤憐之助


大正十五年六月十三日印刷（每月一回）
大正十五年六月十五日發行（十五日發行）
（定價一部郵稅共金三十五錢 廣告料一頁金二十圓）

臺灣總督府內
發行所 臺灣時報發行所
振替貯金口座臺灣二〇七〇番
電話總督府內第八九番

臺北市新榮町二丁目十一番地
編輯兼發行人 伊藤憐之助

臺北市本町一丁目十九番地
印刷者 中村誠道

臺北市榮町一丁目二十七二十八番地
印刷所 松浦屋印刷部


Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大阪市高麗橋

# 株式會社 三十四銀行

資本金五千萬圓

各地支店
東京、京橋（東京）、京都、神戸、兵庫、尼崎、尼崎東、西宮、姫路、
廣島、徳島、阿波池田、奈良、伊丹、傳法、臺南、高雄、
（大阪市內）南天滿、雜喉場、堀江、日本橋、九條、朝日橋

本行之特色
銀行一般の業務の外擔保附社債信託法に依り信託事業を兼營す
事業資金部を置き工業資金の供給を爲す
外國爲替は香港上海銀行の代理店として最も便宜に取扱を爲す

臺北支店　臺北市本町二丁目
（電話三四、五六、二一九五）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

# 臺灣時報大正十五年六月號 目次

□口 繪 ▽竹 筏

□時 言□

大阪、名古屋の臺灣事情紹介會に於ける伊澤總督の挨拶……一

我が國の食糧問題と本島內地種米……石黑忠篤……三

時 報……二三

臺灣事情紹介　一期蓬萊米產額豫想　海軍臺灣油田調査
耕地擴張改善計畫　阿里山林間學校建設　全島實業大會

□寄 書□

砂糖に就て……上村政吉……二五

□講 演□

有望なる臺灣の鑛業……横堀治三郎……四九

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

□説　苑□

印度支那の旅より……S・I・生……八九

□調査研究□

佛領印度支那法制調査……板倉貞男……九九

島情

臺灣金融統計……財務局金融課……一〇八

臺灣貿易統計……臺灣總督府稅關……一一六

文苑

歌壇、俳壇、詩壇……一二三

臺灣日誌　人事消息　任命……一二六

支那及南洋情報……總督官房調査課……一―六一

支那及南洋其他海外重要記事索引……同　上……一―九

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

株式會社
# 臺灣銀行（臺北）

## 支店出張所

### 臺灣

基隆　新竹　臺中　嘉義　臺南

高雄　宜蘭　淡水　桃園　南投

屏東　臺東　花蓮港　澎湖島

## 支店出張所

### 内地

神戸　大阪　横濱　東京

### 外國

上海　漢口　福州　廈門

汕頭　香港　廣東　新嘉坡

スラバヤ　スマラン　バタビヤ　孟買

カルカッタ　倫敦　紐育

竹筏

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

大正十五年六月號

# 大阪名古屋の臺灣事情紹介會に於ける伊澤總督の挨拶

臺灣は施政既に三十一年の星霜を經過し、其間教育・衛生・交通・土木・產業等夫々目覺ましき進步發達を遂げました。而して近年來畏くも　攝政殿下、秩父宮殿下、高松宮殿下の行啓をさへ仰ぐの光榮に浴したのであります。今日に在つて三十年前を回想すれば隔世の感があります、其れにも拘らず臺灣の實情が輙もすれば誤まり傳へられ、臺灣の情況が一般から正しく理解されて居らぬと云ふことは甚だ遺憾であります。

臺灣は遠いと言つても約二晝夜で達することが出來ます。氣候も京阪神地方の酷暑に比べると遙かに凌ぎ良く、高山の多い所であるから近來登山地避暑地としてさへ內外人の注目を惹いて來たと云ふ有樣であります。健康の點に就ても今日では全く往年の面目を一新し、マラリヤ等特殊の流行病の如きは全然根絕され、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

各都市に於ける建築・道路・上下水道・醫療機關等近代的の設備は內地の大都會に比して毫も遜色がないと云ふ實情であります。

教育の方面も近くは臺灣大學の開校をさへ見ると云ふ次第で、初等・中等・實業專門・高等各學校等夫々內地と同一程度の教育が施されて居ります。四百萬の住民は勤勉で、十三萬人許りの生蕃も亦近年全く歸順して、生蕃に依る危害と云ふが如きことは既に歷史上の一挿話となり了はつたのであります。

砂糖・樟腦・茶・芭蕉等の特產物は別とするも米・野菜・檜其他の木材・各種生果魚類・鑛物等も頗ぶる豐富であり、山野は常に綠に蔽はれ、到る處勝景に富み、温泉は各所に湧出する等內地人が來住する上から見ても何等不自由はなく、洵に惠まれた住心地の良い一種の樂園であります。其れかと言つて臺灣は既に充分に開發し盡されたかと云ふに決して然らず、此點は御來會の諸賢に於いて特に御注意を喚起して頂きたいのであります。

卽ち臺灣には一方に未だ曾て斧鉞の及ばぬ大森林も橫はつて居れば、又全然未墾の荒蕪地も擴つて居る、商業上發展の餘地多きことは申すに及ばず、新に起さるべき幾多の製造工業も殘されて居る、既存の各種產業に就ても更に之を集約的に改良を施こさねばならぬ點も少なくないので、何れも今後益々內臺人士共同發奮の經營に待たねばなりませぬ。

之を要するに近來大に文化の進んだ臺灣、由來天惠に富んだ臺灣、尙開發の餘地多き臺灣に御理解を願ひたいのであります。（本稿は內地よりの新聞通信による）

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

# 我が國の食糧問題と本島內地種米

農林省農務局長　石黑忠篤

## 一、緒言

近頃臺灣は我國の食糧問題に對して、一つの大いなる謎を與へて居るのであります。即ち本島產の內地種米、之に就きましては常に諸君の腦裡を去らない問題になつて居るのでありまするが、之が生產の增加の趨勢は、實に驚くべく、躍進的に進んで居るのでありまして、今後之が如何樣に發達して行くかと云ふことは、食糧問題・米穀自給の上から申しまして大に研究しなければならぬ問題であると考へるのであります。

諸君も既に御承知の通り、我國の食糧問題は今日非常に高唱せられて居りますが、私は其の對策としてどう云ふやうな方面のことがあるか、又米穀法と云ふものが其の間に介在をしてどう云ふ風に作用をして行くべきであるか、食糧問題の將來がどうであるかと云ふことに聯關して極く大體のことを申上げたいと思ひます。

## 二、人口問題

人口問題、食糧問題と云ふことが非常に近頃喧しくなつて參りましたのでありますが之に先立つて考へな

ければならぬのは、我國に何故此種の問題が今日高調せられ、又今後此問題が更に一層高調せられて行くかと云ふことであります。之は我國の領土が、國土が狹少であるのに人口の增加が著しい、去りとて國外に於て移殖民をすると云ふことも、極めて困難な事情があると云ふことが、一つの根底に横たわつて居る所の理由であると思ひます。又我國民が特種の嗜好を米と云ふもの丶上に有つて居つて、主要食糧であると云ふ上に、更に特種の嗜好を有つと云ふことが、常に傳統的の嗜好になつて居る、この事が、この事實が、無視すべからざる根底の大いなる理由であると考へるのであります。尙其の外に我國の商工業等が、之等の問題を解決し救濟を致すべきまでに、堅實なる發達をしたものがないと云ふ理由もありまする、其他にも亦種々理由はありませうけれども、前申上げました二つの事實と云ふものが、之が根底に横たわつて居る特殊の根强い事情であらうと考へるのであります。

我國、殊に內地の人口の增加が夥しいと云ふことは、年々の人口統計、殊に昨年の國勢調査の結果が之を明白に裏書をして居るのであります。卽ち大正九年の第一回國勢調査に基いて、過去の統計と照合致して、大體我が內地の人口は年々約七十萬人、一年に千人に就て十二人一七と云ふ增加の率を示して居るのでありまして、將來の米穀自給の計畫を樹て計算を致すと云ふ場合に於きましては、之を基礎としてやつて參つて來て居つたのでありまするけれども、五年の後の昨年の十月に、更に第二回の國勢調査を致した其の結果に依りますると云ふと、內地人口は約五千九百七十萬人と云ふことに相成りまして、第一回の國勢調査の人口五千五百九十六萬人に比較して、三百三十七萬人と云ふものを增加して、一年に約七十五萬人、卽ち千人に就て見ますると云ふと、昨年の結果から推算を致しますれば、千人に就て一年間に十三人一三六の增加率を示すことに相成つたのであります。此計數の示す所は、從來の人口增加率の推算が餘り少なきに過ぎて居つ

たのであるか、或は最近五年間の人口の増加が特に著しかつたのであるか、其の何れに致しても、我國の人口は最近の趨勢で申上げますれば、千人に就て年々十三人餘を増して行くと云ふことになるのでありますから、之を歐洲各國に比しますると、和蘭だとか、諾威だとかに比しまして、第二位若くは第三位、最も増加の多い國に屬する譯になるのであります。

斯の如く人口の増加が、殊に最近に於て從來よりも著しいのが事實であることが明白になつたのであります。が、其の人口の土地に對しまする密度を考へて見まするど、先程申上げましたやうに、國土が極めて狹少である我國に於きましては、内地に於ける人口の密度が一方里に就て平均二千四百二十五人と云ふことになるのであります。之を歐洲諸國に比しますと、白耳義であるとか、或は英本國であるとか、和蘭であるとか云ふ國が、最も密度の多い國であるのであります。併も之は全國土に對する密度でありまして之を山嶽の多い我が國と致して山嶽を引去つた、山の部分を引去つて耕地に割當て見ましたならば、我が國は世界中に於て最も密度の著しい國であると云はざるを得ぬことゝ考へるのであります。斯樣な事情でありまするが故に、今日人口問題・食糧問題と云ふことが互に相表裏して、朝野の喧しい議論になつて居り、歷代の爲政者が常に頭を惱して居るが、此問題は將來と雖も引續いて非常に解決の困難な、重大な問題として殘つて行くことゝ考へられるのであります。

之に對して、如何なる方策があるかと申上げまするど、之に對する對策の見方は人の方面からと、人を養ふ所の食糧の方面と二つの方面があると思ふのであります。卽ち人の方面と申しまするのは、人口の増殖が著しいと云ふことを、何とかして緩和すると云ふ方面であります。それが爲めには、或は出產の率を調節して行くと云ふ所謂產兒制限の說などもあります。併しながら、それに就きましては種々困難を伴ひまするし、

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

弊害も多々あるのであります。此方策は大いに之を國が行ふと云ふやうなことは出來ないこと丶考へるのであります。

倘殖やさないと云ふのではなくして、殖える人口を國外の移殖民に依つて調節をして行かうと云ふ方策が、別に人に對する方策としてあるのであります。此方面のことは夙に奬勵をせられて實行をして居るのでありまするが、我國の對外事情は、中々此方面に於て餘地が少いのでありまして、今日に於きまして現在外國の移住人口と云ふものは僅かに六十萬人に過ぎないのでありまして、年々の增加人口にも及ばないと云ふやうな狀況にあるのであります。之は我國の對外事情が極めて困難でありまするけれども、將來と雖も成るだけ之は努めなければならぬ方面であると考へます。併しながらそれに努めることは從來にも增して努めなければならぬが、之を以て人口問題を解決すると云ふことは到底不可能と思ふのであります。どうしても此問題を解決せんが爲めには、食糧問題、即ち人の問題も努めることは努めるけれども、殊に食糧問題の解決と云ふことにしなければならぬと斯う考へるのであります。

## 三、食糧問題

然るに此食糧問題に就て考へまするといふと、食糧問題と致して我國の食糧供給の現狀、其の需要の狀況之を考へて見まするといふと、此儘で行つたならば、今日現在の儘で行つたならば、之は將來に於て如何樣のことになるのであらうか、殊に主要食糧である所の米麥の自給關係と云ふものが、今後今日の儘で推移して行くと致したならば、如何樣になるのであらうかと、多少それに關して精密に考へた所の數字を以て推定を致して見たいと云ふ考は、此方面のことに關係致して居る人々の常に念頭に起る問題であります。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

併しながら、將來に於ける農產物の消長を、今日に於きまして豫測すると云ふことは、或は價格の關係もありませうし、或は天然の條件の關係もありませうし、非常に困難のことであるし、又人口の增加、殊に一人當りの消費の增減を將來に亘つて豫斷をすると云ふことは、之又甚だ困難なことであつて、之等を推算をして見ると云ふことは、甚だ無謀のことであるやうに考へられるのであります。けれども、大體從來の自給の實數を基礎と致して、若し今日の此儘の施設で以て行き、經濟界の狀況も餘りに變らぬものであると云ふことで行つたならば、大體どう云ふ風になるのであるかと云ふことを、極めて概念的に推算を致して見たいのであります。それには、夫々の人達を會して私の局で以て度々議論も致して、一つの推算を致したのであります。而して從來の實數を基礎として此儘の施設で致したならば、將來十年二十年三十年の後には自給關係が如何樣になるのであるか、之を觀ることは甚だ想像的である、只今申上げましたやうに困難な事情が澤山伴つて居る、或る意味から言ひば無謀なりと考へられるのでありますけれども、之は一つの參考材料となり得やうと考へられるのであります。

之に就ては高等數學の再乘二乘法の方法を以て、曲線を以て、從來の實數の形勢から將來の十年二十年三十年後の計數を測つて觀ると云ふ方法をやつて見たのであります。先づ從來の年々の自給の趨勢を、右申上げました所の高等數理の力に依りまして、曲線規を以て現はして見ました所が、大正十四年度の自給狀況は、米に於きまして三百二十五萬石、麥、主として小麥でありますが、麥に於きまして約四百二十萬石の不足として現はれて來て居るのであります。之は穀物を十四年度の實際の需給に較べて見ますと、外米の五百五十餘萬石、麥の三百二十餘萬石を示したのであります。實際は此數とは多少違つて居りますけれども、併しながら、實際の數字に就て最近五年を平均して見ると、大體前申上げました、算出した數字の示した所と合

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

致するのであります。從つて之を基礎として、將來の需給關係の趨勢を推定したのであります。其の推定を致すことに種々の條件、又途中の經過に就ては種々面白い問題がありまするが、總て省略致して、只結果だけを申上げて御參考に供したいと思ふのであります。

結論だけを申ますと云ふと、此方法に依る推算で見ますると、米は內地に於て十年後になりましては供給の總額、卽ち產額・持越高・輸移入額と云ふやうなものが、七千五百二十三萬石と云ふことになるのであります。需要の總額が、人口の增加消費量の增加と云ふやうなことからし、七千七百四十四萬石程あるのでありまして、之を差引致しますると云ふと、不足額が二百二十一萬石と云ふ數字を示すことになるのであります。三十年後にはどうなるかと云ふことになりますと云ふと、三十年後に於ては供給總額が九千百七十萬石、需要總額が一億二百十二萬石と云ふことになりますので、差引千〇四十二萬石の不足を計算上示して來るのであります。

又麥には、十年後に於きまして供給總額が千八百九十一萬石、需要總額が二千六百五十七萬石、差引不足額七百六十六萬石、三十年後に於ける計算は供給總額が千三百七十八萬石、需要總額が二千九百萬石、差引千五百二十一萬石の不足を示すと云ふ計算になるのであります。卽ち以上申上げました數字を以て見ますると、米は十年後位までは大體現在と大差はない、大差なき不足を以て進めるが、二十年三十年となるに及んで餘程大多數の不足を以て增すやうになり、又麥に於ては、此儘で行きますと段々と生產が減じまして、莫大の輸入を見ると云ふことになるのであります。

此只今申上げました數字は、勿論、現在までの總ての農事奬勵の施設と云ふものを此儘に實行すると云ふ前提の下に計算したのでありまして、開墾助成法と云ふものを政府が布いて居りまするが、此開墾助成法であ

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

るとか、或は品種改良と云ふやうなことをやつて居りまするが、品種改良と云ふやうな案が何れにもせよ、現在の助長奬勵の程度を續けて行くものとして、どれだけ內地の生産額が增すか、朝鮮・臺灣よりの移入も最近決定せられましたものを考慮致して、現在の植民地に於て計畫して居られる產米增殖計劃を基礎として、今後どの位這入つて來るかと云ふことを見込んだものであります。故に現在の奬勵施設だけでは、將來に於ては米に於ても、殊に麥に於て非常なる不足を感ずることになるのであると云ふことは明白であります。

## 四、食糧問題の解決方法

之に對しまして、之を補充して行くには、此大不足を補充して行くには、如何にしたら宜しいのであらうかと申上げますと、大別それに對する方針と致して積極政策と消極政策とあらうと思ひます。

積極政策と申上げますれば御承知の通に米を增すこと、米麥を生産すると云ふ增產政策であります。消極政策としては消費の節約補助、米穀利用の增進と云ふやうなものを指して申す次第であります。而して消極的政策の消費節約に關しましては、節米の各種の方法、代用食の奬勵、其の他種々の方策がありまするが、之は一つの方策であります。尚減損防止に關して貯藏倉庫の改善であるとか、殺蟲法の普及であるとか、精米機の改良であると云ふやうなものもありますし、又米穀利用の改良增進に就て、乾燥方法の改良、料理方法の研究、或は貯藏方法の改良と云ふやうなものがありますが、之等の消極的方策は米の數量の減損を防ぎ、消費の減少を圖る政策でありまして、常に官民一致で努めなければならぬのであります。

けれども、之のみに依つて信頼して行く、之に大部分の信頼を置くと云ふことは無論出來ないので、從つて將來食糧需給關係に就て、食糧の數字的關係を大いに補充すると云ふ見込は、どうしても積極的政策の增產

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

方針に從はなければならぬものであらうと思ふ。此增產計劃を樹てまする方針としまして、見方を色々に致すことは出來るのでありまするが、之を地域的に見ますと、即ち內地の米穀の增產方策、新領土に於ける米穀の增產方策と云ふのと分つて考へるのが便利が多いのであります。前にも申上げましたが、將來の不足をどの位に見積るかと云ふことの計算は、內地に於ける內地の需給と云ふものを基礎に致して申上げたのでありまするから、玆にも新領土の米穀增殖計劃、內地の米穀增殖計劃と云ふものを分ちて考へることが便かと思ひます。

で、力を將來の產米增殖の計劃に置きまして、主として內地に注ぐべきや、新領土に注ぐべきやと云ふ問題は、之は餘程考慮を要する問題だらうと思ひます。また米穀の增產と云ふことをのみを考へる譯にも行かないのであります。何故ならば、國民の大半が兎も角も生活して居る所の內地の農業と云ふものを將來推持發達せしめて行くと云ふことは、有り餘る人口に對して兎も角もそれに一つの職業を與へて、行くと云ふことになるのでありまするからして、此意味からして、單に食糧の增殖を致すのには、如何にしたならば最も有效であるか、增產すべき米穀の數量と、之に要する經費のみを考へて方策を決定する譯にゆかないのであります。斯樣な問題は極めて込み入つた問題でありまして、今後大いに研究せねばならぬ問題であらうと考へますから、之は暫く措くことゝ致します。

然らば臺灣・朝鮮等の產米計劃、最近に樹てられた計畫を取入れまして計算を致して見ましても、內地に於ける不足が以上申上げましたやうになるのでありますが、之を補ふのに如何なる增殖の施設を致すべきか、而してそれを勘定して見るとどの位までは補つて行けるかと云ふことを申上げます。

今其の增殖計劃を方法に依つて分けて考へて見ますると云ふと、農事の改良施設と耕地の改良擴張施設と

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

二つに分けることが出來まして、農事改良の方には、御承知の通に樣々の施設があり、或は肥料を充分に施す、栽培方法或は品種の色々の改善方法に總てを盡してやりましたならば、十三年度に於て各府縣が平均段當り一石九斗六升、北海道は一石三斗七升と云ふ收穫を擧げて居りまするけれども、之等の農事改良の施設の將來に充分の力を入れたならば、內地に於て平均二石三斗、北海道に於ては平均約一石四斗位に增殖致しますることに、生産の技術官が相談を致したが、其の位までは左して困難ではあるまいと云ふことであつたのであります。

次に內地に於ける耕地の改良擴張の方の施設でありますが、この耕地の擴張施設に就きまして開墾助成其の他の耕地の擴張を見ますと、內地全體卽ち北海道も這入つて最近五箇年平均の內、田は二萬五千四百町步、畑は三萬六千町步、合計五萬六千町步の增加を年々見て居るのであります。最近道路敷地であるとか、鐵道であるとか、工場であるとか云ふ風に潰ぶされて行きます所の面積は隨分多いのでありまして、年々平均、田に於て九千町步、畑に於て三萬七千町步と云ふ風に概數を示して居るのでありまするが、兎に角も差引の計算に於ては耕地は減少して居らない、僅かづゝ增加をして居ると云ふ狀態でありまするが、併し將來は開墾助成計劃を會社で致しますとか、或は開墾を國營と致して、大規模で手を付けてやると云ふやうに致しますと、此耕地の改廢の趨勢を見込んで、尙三十年後に於て田に於ては三十二萬二千町步、畑に於ては六十二萬二千町步が出來ると云ふ大體の見込を付けて居るのであります。

耕地の改良施設に於きましては、現在に於きまして耕地整理竝に用排水灌川改良事業と云ふものをやつて居りまするが、其の成績は、耕地整理に於て過去十箇年の實蹟に依りますると、平均年々一萬七千町步、用

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

排水灌川改良、之は最近の事業でありまするが、これによつて年々の平均が約二萬町歩づゝ改良されて行くのであります。之を更に擴張し尙灌漑排水を努めますれば、三十年後に於ては、百六十六萬町歩の改良を見ると云ふことは餘り困難ではない、と云ふことが考へられるのであります。

以上管々しく申上げましたが、申上げました計劃を綜合して之等の新しい施設に力を入れ現在の施設の上に付加へると三十年後に於ける米の生產額は二千五百萬石を增加するのであります。之等の新しい施設を致しませんで、今の施設に致しまするとし、約千五百萬石の增產に過ぎませぬのでありますけれども、新しい施設を付加へて力を入れて致すと云ふことになりまするとし、二千五百萬石の增產が可能になりまして、全生產額が八千四百八十餘萬石となるのであります。麥に於きましても、細かいことは省略致しますが、各種の施設を更に力を入れてやると云ふことにすれば、三十年後に於いて約八百萬石を增加し、總生產が二千九百萬石となる譯であります。

之等の內地生產增殖と云ふことの上に、更に臺灣・朝鮮の米の移入、卽ち二つの新領土に於ける最近の產米計劃を考慮し、それに依つて移入さるゝ所の增加見積を致して見ますと、三十年後に於きまして朝鮮から約千二百萬石、臺灣から約五百萬石、合計約千七百萬石を內地に移入し得るものと考へられるのでありますから、三十年後に於ける內地の米麥の供給總額は、米が一億百八十五萬石、麥は二千九百十六萬石となります。之を前述致した需要總額卽ち一億二百十二萬石の米、それから二千九百萬石の麥と云ふものゝ需要に對比致しまするとし、三十年後に於きまして、米は二十七萬石の不足、麥に於きましては十六萬石の餘剩と云ふ結果が數字上に出て參るのであります。卽ち斯樣に努力致して、それが經濟狀態が何等變りがなくして數字だけ

に依る計算の通に行けるものとしたならば、大體近き將來に於きまして、食糧問題と云ふものは解決さるゝと云ふ結果になるのであります。

併しながら之は數字上の一つの計算でありまして、此生きた社會の狀態と云ふものは決して此通には參らないのみならず、此結果を持ち來たす爲めには、數字上の結果を持ち來たす爲めには、多大の經費を投じまして、食糧增產の施設を倍加して行かなければならぬと云ふことは勿論伴ふのであります。が、今日の財政の上に於て之が實現が可能なりや否やと云ふことは之は別問題でありまするが、極めて困難な事情があると考へるのであります。併しながら、相當莫大の經費を投じまして、增產計畫を各地に於てやりまするど云ふことは經費は要りまするけれども、一面外米の輸入が增加しまするど、外國に對して支拂ひをせねばならぬ、その支拂ふ所の正貨に較ぶると此經費は決して多いのではないのであります。一時的の財政上の負擔と云ふことは、只今の財政狀態に於ては困難でありませうが、併しながら、將來の新施設に一年に一億圓を要しまするものと致しましても、外國米が四百萬石を餘分に輸入されたことになれば、詰り一億萬圓の金と云ふものは餘分に海外に飛ぶのであります。今日の貿易の狀態の上から言つても、餘程此點は考慮しなければならぬことだらうと思ふのであります。

唯茲に附足して申上げたいことは、此自給自足の增收計畫も、毎年の自給が眞に均衡を得るに文字通、數字通に行つたと云ふことでございまするど、米價が却つて下落して農村は生產を手控へる、其の結果は直ちに計畫通に行かなくなると云ふことであります。之が今後の食糧政策の上に於きましては非常に難しい一つの點になると思ふのであります。これ自給自足の想像的の計算に猛進をすることが出來ないのであつて、若

し强いてさうするときは却つて農村破壞の結果を惹起せしめることが想像し得らるゝのであります。從來の例に依りましても、米の自給の關係は、外米輸入三四百萬石を必要とする時に米價が却つて相當の價格を維持し、輸入の必要が甚だ少い年に米價が非常に暴落して、農村救濟の聲が其の時に著しいと云ふやうな實際の狀況があつたのであります。

之は外米と內米の値開きの關係上、米の不足の時に米價が相當に維持され、外米の消費階級は經濟上外米を消費しまして、外米消費に依つて此不足を補ふて行つたのでありますが、內地米が豐富であり安いと云ふ時には、此階級も內地米を購入すると云ふやうな狀態になるのでありますから、我國の現狀に於て見ますると云ふと、每年米穀の供給が多少不足を來して、之を外米、麥其の他の代用食品等に依りまして補給をするのを必要とする、と云ふやうな狀態でなければ下落して、米の生產を多小とも妨げるやうな嫌があるのでありますから、自給自足の政策及び每年に於ける米の配給の上に於きましては、此點は餘程注意を要するのであります。從つて今後と申しましても、外米輸入と云ふことは、常に食糧問題として大いに考へることが必要であると考へるのであります。故に一應外國米の產地の狀況に對して、極く大體のことを申上げて見たと思ふのであります。

## 五、外米の需給關係

世界の米の生產額は、萬國農事協會の最近の報告に依りますと、千九百二十年から千九百二十四年の五箇年の平均で、白米に總てを換算をして見ますと、三億六千九百萬石と云ふことになつて居るのであります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

併しながら、統計を全然缺いて居る大きなる米產地、支那と云ふものが此以外にあるのであります。支那を除いて今申上げました三億六千九百萬石の中で、英領印度の二億萬石と云ふものが第一位でありまして、第二位は我が日本帝國全體の產額七千三百萬石、其の次が佛領印度支那の二千三百萬石、蘭領東印度として千九百萬石、暹羅の千八百萬石と云ふやうな順になつて參つて居るのであります。

併し之等の國でも皆內國消費に澤山要る國は、我國の如き、又英領印度の如き相當あるのでありまして、それを差引して見ますると云ふと、ビルマと佛領印度支那及び印度ベンガール地方とが年々多量の輸出餘力があるのでありまして、其の他の國々に於きましては自國のものを凡て消費し、或は尙足らずして他から入れると云ふ事情であるからして、此三つの地方を世界の米の三大供給地と考へて宜いのであります。支那のことは申上げませぬのであつたのでありますが、統計がないので判りませぬが、凡そ生產は三億萬石と言はれて居るのでありますから、之を加へますと、世界の米產額は略六億七千萬石位ではなからうかと云ふ風に思はれるのであります。

貿易の狀態に就ては前申上げました通り輸出し得る地方は三つの地方でありまして、其の總輸出高の總量は年々三千九百九十萬石であります。さうして此の供給の割合は三大供給國が其の六割三分、僅かに三割七分ばかりが他の諸方面から輸出されて居るのであります。

日本はそれらの供給國から供給を受けまする主要なる輸入國の一つでありまして、輸入狀態を見ますと云ふと、大正九年から十三年のに至ります最近五箇年の外米輸入の平均は、二百十四萬石と云ふことになるのでありまして、同年度に於て世界各國の輸入國の全般から見ますと云ふと、世界中第六位にあるのでありま

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

す。

消費の狀態に就きましては、生産から輸出入を差引して推算して見ないと云ふと不明であります。支那を除きますと、最近五箇年の平均に於きまして、消費額の最も多いのは人口三億一千萬を有する英領印度の消費でありまして、其の消費は一億九千萬石、次は日本でありまして七千五百萬石と云ふことになつて居るのであります。之等の需要關係を見ますると、大體に於て、米は非常に豐年でない限りは、世界的には大なる過剩生産になると云ふことは先づないのであります。三大供給國の輸出額の二千五百萬石を以て、辛ふじて需給の間にバランスを保つて行き得ると云ふ狀態であるのであります。而して之等の三大供給國の將來の生産の見込の豫定はどうであるかと云ふと、之等は却々急に非常なる生産を致すと云ふやうなことは考へられないのであります。それ〳〵其の國の專門家に就て調べた結果があるのでありますが、決して急に生産の增加をして來やうと云ふやうなことは考へられないのであります。其の他米國加州の米産が一時非常な勢を以て增加致したのでありますけれども、最近吾々の方の技師を派遣して精細に調べた結果に依りましても、之は大體に於て日本の米價に支配されるのであつて、どうも現在の儘では大いに米の增收を致すと云ふ望は餘りないと云ふことに結論はなるのであります。

斯樣に考へて見ますと云ふと、國外の米産地に於て大々的開發が最近に行はれて、我國に外米が殺到すると云ふことは想像されないのでありますから、今後に於きましても外米は我國の産米に依り供給の不足額を補給すると云ふことを考へて置かなければならぬと思ふのでありまするが、唯外米に就て注意をしてなければならぬと思ひまするのは、日本米、內地米類似の米は御承知の通り、ミードン米、或はクロトン米或は加

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

州米、尙は暹羅ビルマに於て今取引されて居る米でも相當良い品質の米に就きましては隨分內地米と同じやうに使用の出來る特別の種類の米があるのであつて、從來我國に輸入せられて居るものは割合に品質の下等のものであつたと云ふ事でございました。之等に就きましては、尙大いに研究の餘地があらうと考へるのであります。私の局に於きましては年々專門の技師を出して居りまするが、夫れ等の人達の報告を見ましても此ことは能く報告に出て參るのであります。

以上述べた所を綜合致しまするとと外米の壓迫と云ふものも、我國の內地米に對しては極めて徐々たるものであつて、急激に來ることはないやうであります。內地の米價は結局內地及び新領土に於ける米麥の刺激に依つて支配され、併かも其の米麥を今後の需要增加に適應して增加せしめるには、或る程度の新施設に力を入れなければならぬと云ふことゝ、或る程度の米價を維持せねばならぬと云ふことになるのであります。此點が增產を致すと云ふことの其の結果と、米價の維持をしなければならぬと云ふことゝが、即ち食糧政策と農業政策との矛盾が存在する點であらうと思ふのであります。

食糧政策と致しましては、成るべく廉價に米麥を供給することに努めなければならぬが、農業政策としては其の振興を容易ならしめる爲に成るべく相當の値段を維持して生產費を廉價に支辨し得るやうにしなければならぬし、又增產と相俟たなければ振興が出來ないと云ふやうなことにならうと思ふのであります。言を換へて申しまするど、此の點が消費者側と生產者側との調和が非常に困難になつて來るのであつて、此間の調和を如何にして行くべきかと云ふことが、將來の食糧政策の農業の上に於きまして最も重要なる點であらうと思ひます。而して其の方策にも種々のものがあるであらうと思ひます。即ち關稅問題もありませう、併

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

しながな、最近に執られたる所の國家の一つの政策は、卽ち米穀法の施行であります。

## 六、米穀法の使命

米穀法は御承知の通り、米穀自給特別會計を伴ひまして、二億圓を限度として、米穀の自給調節の爲めに米の賣買を致すことを議會に依つて認められたのであります。此米穀法が此衝突を或る點で解決致すべき使命を帶びて居ると思ひます。

米穀法は德川時代の常平倉の大體を採りまして受け繼いだものと見えるのであります。卽ち米の餘つて居る時に之を買上げて、米の不足の時に之を賣り出すと云ふ常平倉の大體の主旨を受け繼いで居る觀念であります。

之を運用するに當りまして、何を起因と致してさうして米穀法の運用發動を致すかと云ふと、卽ち一年間の需給の推算を年度初めに樹てまして、それに基て其の年度に於て賣買の標準を決定致しますか、或は絕えず市場の出廻り數量等を注意して、其の部分的の、國內の各地方的の需給の均衡を考慮して發動せられると云ふことは運用上難しい問題でありまして、從來は之等の兩樣の方面を顧慮致して、常に數量的の調節を滑かに致して參つたのでありますが、市場の出廻り數量の如きものでは、需給關係を數量的に知ることは極めて困難なことであります。寧ろそれは文化の反影である所の市價の變動に依つてそれを推知することが宜いのであります。それに依つて調節の手段を執ることが適當であると考へられまして、昨年米穀法の改正に依つて市價の調節と云ふことを考慮に入れることになつたのであります。其の結果米穀法は將來圓滑に運用さ

れるやうになりまして、就中年度始めに於て數量的の需給生産に依りまして著しく不足のあるときには、米穀法の運用に著手することが出來まするし、又其の年度内に於きまして市價が著しく變化したと云ふ時には、之を調節し得るやうに改正の結果なつたのであります。

因つて只今まで申上げました衝突の點に對しまして米穀法がどう動くかと申上げますと、どうも消費者につ取て米價は安い程結構であるし、生産者に取りては高い方が結構である、之を適當に調節する、生産者にも消費者にも米價が極端に變動を來さないと云ふことにしたならば、それで大體に於て兩者共に我慢をして貰はなければならぬことが考へられるのであります。それに依つて生産の増加の計畫も樹ち、それに依つて商品の基礎も定まると云ふことになるのでありまして、極端な變動を市價の上に於て見えないと云ふことを、或は數量的に或は價格的の調節を圖ると云ふことが米穀法の使命であつて、能るだけのことを致した結果に就ては生産者消費者共に滿足をして頂かなければならぬと思ふのであります。卽ち其結果市場に於ける所の値幅が縮少しまして、言葉を換へて申しますと、米價が安定して此制度で生産・消費兩側の衝突矛盾等を解決することが出來ると斯う考へるのであります。

併しながら斯樣に申上げます爲めに誤解のないやうに願いたいのは、政府が米穀法ばかりの運用に依りまして、絶體に米價を支配すると云ふやうな大いそれたことを考へて居るのではないといふことであります。米價の變動と云ふものは、其の年の豐凶に依つて人爲を超越して變動するのでありますから、之を絶體に支配すると云ふことは勿論不可能なことであります。

只米穀法は自然の勢力に追隨して、其の間に不自然の變動のないやうに、若し之がありましたならば除去

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

するやうにと、即ち米價の不當なる騰落を能るだけ防止すると云ふことに過ぎぬのであります。之が米穀法の努め得るせめての見解でありまして、又此見解を以て兩者の調節と云ふ上から滿足をして頂かなければならぬのであります。それが適當に目的を達しまするならば、米穀法の價値と云ふものは勿論重大なるものと認めるのであります。米價が非常に高くなり若くは安くなつた時に、之を單り政府の責任だと云ふやうに時に攻擊せられるのでありまするが、之は到底限りある豫算、又限りある人爲の力、況んや限りある役人の能力等で到底左右し得るものではないのであります。

最近數年の米價の變動、値開きの狀態を見ますると云ふと、餘程値開きの縮少を現出して居るのであります。從來即ち大正十年頃までは一年内に於ける最高最低の値開きが、或は十圓近く、或は十五圓、十四圓、十二圓を示し、それが其の年の平均相場に對して三割から五割の値開きを示して居ると云ふやうな狀態で、進んで來たのでありまするが、大正十一年からは年内の最高最低の値開きが五、六圓から七圓位にずつと縮まつて參りました。從つて從來年内の平均相場と値開きとの割合が三割、四割、五割と云ふことであつたのが、一割五分から二割三、四分と云ふ位に少なくなつてきたと云ふやうな事實が最近の米價に於て見られるのであります。

之は殊に最近になつて著しく米價が固著を致しまして、如何にも米穀法に依つて幅を持せてしまつて、さうして動けないと云ふやうな感じを致しますのでありまするが、之とても產米收穫量の數が極めて適當であつたことが農家の金融上明瞭になつて來た、或は賣却の方法が段々と改良せられて來たと云ふことが預つて力があるのでありまして、決して政府の米穀法の運用と云ふことの效果が斯の如きものであると云ふことは、

私等は考へて居るのではないのであります。

故に將來と雖も此大勢に追隨して、いくらか自然でない暴騰、暴落と云ふものを防ぎ得るやうに米價の安定を致すと云ふことに深甚の注意を加へて、米穀法を運用して行かなければならぬと考へて居るのでありま す。

## 七、結論

以上は大體食糧問題が、十年二十年三十年後には計數上どうなるかと云ふことを申し上げ、其の間に於て米穀法がどう云ふ風に勤むべきであるかと云ふことを申上げた譯けでありまするが、之に一つ付加へて申上げて置きたいのは、臺灣產の內地種米、殊に第一期の內地種米のことでありまして、私共の立場として、一面斯樣にも考へて居ると云ふことを付け加へたいと思ひます。

それは米穀法の使命に能く似た働きを臺灣の內地種米、殊に第一期作が持つて居るやうに私は心得て居るのであります。卽ち米穀法の運用は其の使命として米價の安定を圖ると云ふことでありますが、臺灣の一期作の內地種米と云ふものは異常な、跳躍的な發達致しまして、今後如何樣に發達するかと云ふことに就て吾々は驚異の眼を以て見張つて居るのであります。そうして之が移出される時期は實に內地の端境期であり、米價がやゝもすれば暴騰せんとする時に當つて供給せられるのであります。斯樣にして米穀法は制度の上から米價を安定し、臺灣產の第一期內地種米と云ふものは、實際の上から實米を供給して米價の安定に偉大なる力を付けて行く、斯う云うことになるのであります。私は同一目的に對して貢献をする所が極めて偉大な

るものがあると考へて、非常に之れの將來に對して囑望して居るのであります。

尙ほ此臺灣產米の增殖竝に取引の點に關しましても永久的の問題として之を考へると、其の生產改良の基礎である所の生產者の利害と云ふものを度外視する譯けに行かぬのであります。或は制度組織の上に於きまして、或は移出の數量に於きまして之を適宜に漸次に內地に送ると云ふやうにして、永久に亘つて之が我國の食糧問題解決の上に堅實なる貢献を爲し、而して本島民の大部分を占むる農業者の爲めに甚大なる利益を持ち來たすやうにありたいと思ひます。斯樣になりますと內地種米は內地に於ける農業者の利害に甚しく抵觸することなしに、食糧問題に貢献し得ると云ふ誠に有難いものなのでありますして、之に依つて內地と本島との關係を啻に經濟的のみならず、內地の住民と本島の住民との精神的結合を來し得る一つの經濟的の手段に供し得られることになつたならば極めて有意義なことゝ考へるのであります。

——本稿は大正十五年四月二十三日臺北市に開かれた大日本米穀大會に於ける同氏の講演の大要である——

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

# 時報

## 臺灣事情紹介

臺灣總督府主催の臺灣事情紹介會は、曩に東京に於て大成功を收めたが、今回の大阪名古屋兩市に於ける紹介會も前回に讓らざる大成況であつた。卽ち伊澤總督は五月十一日午後一時、大阪中之島公會堂に京阪神地方の主なる官民を招待して、臺灣事情紹介會を開いたが、當日は雨天であつたに拘らず出席者一千餘名の多數に上り極めて盛會であつた。

會場は悉く臺灣の特産を以て充され、臺灣の風物、敎育、衛生、其他に關する活動寫眞に加ふるに、伊澤總督は一場の挨拶に臺灣の實情と紹介を以てし、臺灣を其儘中之島公會堂に移した觀があつて頗る盛況であつた。

また名古屋に於ける紹介會も、十五日午後一時から商業會議所に開かれ、大阪同樣大盛會であつたと。

## 一期蓬萊米收穫豫想

本年の第一期米植付面積は二十五萬六千九百五十餘甲で、一期米としては空前のレコードを作つた。この內蓬萊米の栽培面積が幾程であるかは目下調査中であるが、大體十一萬五千餘甲歩と推定され、前年同樣の甲當收量とすれば百六十二萬七千四百餘石に上るべく、前年同期に比し植付面積に於ても收穫高に於ても共に二倍弱の增加となる。而して本年の作柄は低温の爲め在來種は生育が充分でないが、蓬萊米には却つて好結果を齎し、各州とも好成績を呈して居る狀態であるから、農家の蓬萊米耕作法の習得と相俟つて、空前の好成績を示すべく豫想されて居る。

## 海軍省臺灣油田調査

燃料政策樹立の爲め海軍省は、本島油田は北樺太のそれに次いで重要なりとして、斯界の精通者を臺灣に特派し全島の油田を調査せしめた。その結果に依れば北部苗栗坑以外、南部臺灣には臺南州嘉義、高雄州鳳山から旗山に亘る一帶の地に油帶の徵候あり、其他臺南、高雄兩州に四五箇所あつて孰れも有望であると。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

## 土地改良計畫

本島農業の發達が、島民の收益を增加し、母國食糧問題の解決に多大の貢獻を爲しつゝあるは周知の事實であるが、總督府に於ては益々其の效果を完からしむる爲め、農產の增殖を圖り先づ其の根元たる耕地の改善擴張を計畫し、埤圳の新設並に在來埤圳の改善を行ふ方針を樹てた。

この計畫は、本島農民が埤圳企業に對する工事の設計、所要經費等不明の爲め之に着手し得ざる狀態にあるを指導して、農產物の增產を圖らんとするのであつて、全島に亘つて五百甲步以上集團せる埤圳新設豫定地六萬二千九百餘甲步、埤圳改善豫定地十一萬三千六百餘甲步に對し、急を要するものから漸次、水量調查、工事設計、工事の效果、所要經費及び其の負擔關係等を調查する豫定である。さうして大正十五年度に於ては、最も急を要する埤圳新設豫定地四萬一千六百六十甲に對する調查を行ひ、尙豫算に餘裕あるときは改善豫定敷地の調查をも施行し、大正十九年度まで卽ち五箇年間に全部の調查を終る筈であると。

## 阿里山夏季學校建設

千古の大森林と登山鐵道とを以て聞ゆる阿里山は、今回後藤長官一行の視察によつて林間學校が建設さるゝことになつた。此の候補地は海拔六千五百尺の高所「間平(あいのたいら)」で、伐殘された千古の大木が中空に高く、樹間から塔山の斷崖を望み、氣溫は盛夏最高七十度、冬季最低三十六度、一年の平均溫度は五十五度內外で絕好の健康地帶である。こゝに百餘人を收容する大講堂寄宿舍其他を建設して、營林所の俱樂部に兼用し一般入山者に宿泊の便をも圖る計畫であつて、其の建設着手は今秋十月以後であらうと。

## 全島實業大會

第十回全島實業大會は、五月三十日午前十時から嘉義農林學校に於て開會、會員百餘名來賓として喜多臺南州知事、今川殖產局長代理其他列席、開會劈頭後藤總務長官其他の祝辭祝電を披露し、前回の開催地たる臺北商工會の佐々木氏から前回の決議事項其他に關する報告があつて議事に入り、前日の委員會に於て可決された議案十三項を上提し、審議の結果これを決可し實行委員を選擧して午後一時散會した。因に次回は宜蘭に於て開催さるゝと。

Digitized by Google	Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

# 砂糖に就て

鈴木商店　上村政吉

## 一、砂糖取引の概念

砂糖の商買は商品が小麥棉花のやうに世界的でありまして、農產品で特に砂糖は長く貯藏しては價値の下る品物でありますから、其の年の生產は次の生產期迄に消費されるといふことが原則のやうであります。從つて生產の多い時は價格が下り、さうして自然に消費が增大する。それが生產費近く、或は生產費を割るといふやうなことになれば、生產者は勢ひ翌年の植付を減らすとか、或は他の作物に轉ずるといふが如き、又は資本家の投資的思惑も生ずるといふやうなことにもなり再び或點迄價格を呼び戻すことになつて來るやうであります。

# 二、砂糖相場の騰落に就て

## (イ) 騰落の原因

御承知の通り農産品の相場は天候關係、其の他の事情に因る豊凶如何といふことゝ密接なる連鎖を持つて居りますから、旱魃とか雨量の過多とか、寒冷の永續とかいふことが、之れが時々相場を動かして居ります。さうして又消費の方面から見ましても、夏期に冷氣が續くと清涼飲料が不賣れとなり、それから日本では別に問題ではありませぬが、外國殊に米國などでは、果物が凶作であると罐詰用の砂糖がそれだけ減ずるといふことにもなり、又之れと反對の場合は増加することになります。又政治的方面から見ますと、米國の禁酒令が布かれて酒の代りに砂糖の飲料が増加するとか、或は關税とか消費税の減廢に依る消費増加もあります。が併し先づ毎年起る相場の波瀾は主として天候關係による其の作柄如何に基因するやうであります。それで若し世界的に一般に認められて居る處の有力なる統計家が『砂糖の生產は天候の爲に患され、消費に充當すべく餘りに不足である』といふやうなことを發表する場合がありとするなれば、そして一般がそれを合理的に信じ得たとしたなれば、そこに砂糖の將來は必然に昂騰するだらうといふ懸念の下に二箇月三箇月先の需要迄も一時に買ためるといふことになり。所謂 Invisible Stock 中間需用が増加して Visible Stock が減じて行くことになり、同時に Speculater が此間に介在して相場は非常なる波瀾を來たすといふことになります。恰度一九二〇年にさういふ例がありました。

之れと反對に產糖が各國共に天候に惠まれて増大し、供給過剩となる場合は、自然砂糖は何時でも自己の要求する場合に買得らるゝ、而も前途は安いと考へられ、インビジブル・ストックは減少し、ビジブル・スト

ックは増大する。従つて消費者は必需買になる。何時でも砂糖は買へるから買ひためる必要がないといふことになりますので、従つて相場は軟弱に陥ります。恰度昨年より本年にかけての狀態はそれであります。又歐洲大戰爭のやうなものが起りますると、輸送の連絡が斷へ、生産地には多量の製品が山と積まれるけれども、消費地に於ては大不足をして管理令を布くといふ奇現象が起ります。併しこんなことはめつたにありません。

併して世界的に相場を動かしますものは、玖瑪に於ける生産額の多少、竝に歐洲に於ける產糖の増減でありまして、之れはグーマ・メーゼヤー・又はハイムリー・又はリヒトに依つて其の豫想がされて居ります。（次表參照）

Cuba Sugar Production

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1923—24 | Octual Producton | | | 4,067,000$ |
| Estimation | | 19/12/1923 | Guma Majir | 3,750,285$ |
| " | | 2/5 /1923 | —"— | 3,900,000 |
| " | | 28/5 /1924 | —"— | 4,075,000 |
| " | | 21/12/1923 | Himely | 3,810,000 |
| " | | 12/5 /1924 | —"— | 3,980,000 |
| " | | 4/9 /1924 | —"— | 4,053,000 |
| 1924—25 | Actual Production | | | 5,125,970$ |
| Estimation | | 9/12/1924 | Guma Majir | 4,725,000$ |
| " | | 22/4 /1925 | —"— | 4,925,000 |
| " | | 8/12/1924 | Himely | 4,620,000 |
| " | | 12/12/1924 | Cuba Suger Club | 4,736,000 |
| " | | 30/1 /1925 | Cuba Agricultural Department | 4,640,000 |

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

| | | | |
|---|---|---|---|
| 〃 | 5/3 /1925 | —〃— | 4,474,000 |
| 1925—26 | | | |
| Estimation | 13/11/1925 | Willet & Gray | 5,150,000$ |
| 〃 | 1/12/1925 | Cuba Agricultural Dep't | 4,800,000 |
| 〃 | 4/12/1925 | Lam Horn & Co. | 5,200,000 |
| 〃 | 5/12/1925 | Cuba Sugar Club | 5,089,000 |
| 〃 | 9/12/1925 | Guma Maijr | 5,373,714 |
| 〃 | 15/12/1925 | Himely | 5,292,714 |
| Europian Beet Sugar | | | |
| 1924—25 Actual Production 7,077,791$ | | | |
| Estimation | 1/10/1924 | Licht | 6,700,000$ |
| 〃 | 1/11/1924 | —〃— | 6,961,000 |
| 〃 | 1/12/1924 | —〃— | 7,143,000 |
| 〃 | 6/1 /1925 | —〃— | 7,175,000 |
| 1925—26 Lichts Estimation | | 30/9 /1925 | 7,605,000$ |
| | | 28/11/1925 | 7,532,000 |
| | | 21/12/1925 | 7,482,000 |
| | | 30/1 /1926 | 7,422,000 |

我々は常に此の發表されたる統計が果して信ずべきものであるや否やといふことに就て、支店の情報等に依つて之を注意し、商賣上の有力なる參考資料を求めやうとして居るので御座います。

(ロ) 戰後の糖價變動

前に申上げました一九二〇年の相場の非常に激動したことを一寸御參考迄に申上げますれば、此の年は歐洲のビートが戰後の餘波を受けて非常な減收で、實に前年より六十萬噸減の二百六十萬噸となり、戰前より

五百三十萬噸以上の激減でありました。それで恰度其の年の四月より昂騰を始めまして五月には玖瑪糖が二十二弗五十仙、Ny Cib 爪哇糖が庫値の七十四盾、內地の分蜜糖が四十六圓三十錢といふ空前の相場になりました。それが翌年の產糖が百五十萬噸も殖へるやうになりまして、一箇月後に下落を始めまして七月八月と猛烈に押され遂に十一月には三十一盾となり十二月には二十盾と激落しました。さうして玖瑪糖が四弗を割り內地分蜜が十八圓四十錢となつたのであります。此の間不尠巨商が倒產し、さうして幾多の悲劇が生れたのであります。此の時であります、スラバヤで日本の或る商事會社が市場で五十盾で買入して當時爪哇で相當羽振を利かせた商店に五十五盾で轉賣しました。處が相場が逆轉し出して三十五盾見當の時に右轉賣した商店が破產しました。買手の某商事會社は賣値では五盾の儲けになつて居るが、受渡不能の爲に時價で處分せねば猶下落に依つて缺損を招くことになりますから、遂に五盾の儲けが却つて十五盾の損になつたのであります。數量は四千噸位だつたと思ひます。それで約百萬盾の損であります。商賣に經驗が足らぬとうつかり誰でも行ることであります。

相場が下落を續けて六月に入りますると、米國への輸出契約の積出は、今迄なら六月積・七月積と申せば其の月末迄積込として了へば、船は翌月の一・二日に出帆しても差支へなかつたのが、無理をいひ出しまして六月積は六月三十日の午後十二時迄に、七月積は七月三十一日の午後十二時迄に出帆せねば契約違反だから總ての契約を破棄すべしといふ無茶苦茶な申出となりました。斯うなつては死物狂です。理屈をいつて居つては爲替の支拂を拒絕されます。それで能ふ限りの努力をするより外ありませぬ。其の時に臺銀や正金の御援助に依つて私共は一の事故も起さずに濟みましたが、今より思ひまするど相場も無茶だし、いふことも無茶でありました。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

相場が意外の安値に陷ち込んだ時は、必ず或る程度の引返しはありますし、お互に警戒しますから大きな失敗はありませぬけれども、相場が暴騰するやうな場合は先づ大丈夫として氣を弛めますから此點は私共は常に注意を怠らぬことにして居ります。本年の如き増産で紐育が二弗四五十仙、爪哇が新糖一盾二十五、内地分蜜が十三圓そこ〱の時は生産費にも近いのですから大なる危險はないと思ひます。

## (八) 最近砂糖相場の騰落と取引情況

今砂糖の相場がどの位の騰落あるものかといひますると、玖瑪糖の紐育の相場は

| | 高値 | 安値 | 差 |
|---|---|---|---|
| 一九二五年 | 三、〇六二五 | 一、九三七五 | 一、一二五 |
| 一九二四年 | 五、六二五 | 三、〇〇〇 | 二、六二五 |
| 一九二三年 | 六、六二五 | 三、二五〇 | 三、三七五 |

爪哇糖は

一――三月は端境で相場が何時も例外な歩みをなしますから除きまして

| | 高値 | 安値 | 差 |
|---|---|---|---|
| 一九二五年 | 盾 一一、八七五 | 九、〇〇〇 | 二、八七五 |
| 一九二四年 | 一七、五〇〇 | 一三、八七五 | 三、六二五 |
| 一九二三年 | 二三、五〇〇 | 一三、五〇〇 | 一〇、〇〇〇 |

内地分蜜糖先物相場

| | 高値 | 安値 | 差 |
|---|---|---|---|
| 大正十四年 | 円 一六、三五 | 円 一三、七五 | 円 二、六〇 |
| 同十三年 | 二〇、〇〇 | 一四、九五 | 五、〇五 |
| 同十二年 | 二五、〇〇 | 一五、三〇 | 九、九〇 |

斯くの如き變動がありますが、併し相場の歩みは紐育にて昨今は$\frac{1}{32}$より$\frac{1}{16}$仙の間であります。爪哇は$\frac{1}{16}$より$\frac{1}{4}$程度、日本は五、六錢より十五錢位の歩みであります。倫敦の定期は毎日一片から三片二分の一處です。さうでありますから買ふにも賣るにもかけ外しは、直ちに出來ます。爪哇の買持がありまして轉賣至難と見た場合は紐育の定期に繋ぐとか種々なる方法があります。

鈴木商居と致しましては、爪哇の買付は製糖會社の注文により一定の口錢を得て取次するのが多いのであります。又各國の支店より集る情報により且つ調査を重ね愈々確實と見定めた時には夫れ相當の買付を爲し爪哇より直接輸出するといふ至極堅實な遣方をして居ります。思惑といふものは年百年中行つては決して儲かるものではありませぬ。思惑で取つた金は思惑で吐き出す。之れは殆んど間違のないことのやうです。内地に於きましても會社の代理店關係のものを出來る丈け現物本位で荷物をはかせ、定期は目下の處繋ぎ位にして居ます。將來機會が來れば定期も相當に利用することになるかも知れませぬが、斯ういふ景氣の時は出來る限り損せぬやう消極的な方針の下に積極的に努力することにして居ります。

## 三、砂糖の種類

日本の砂糖市場に於ける種類を分けますと、内地精製糖・耕地白糖・爪哇白双目糖・臺灣分蜜糖・三温糖・爪哇黄双目糖・二三番糖・赤糖・黒糖・白下・といふ種類に分けることが出來ます。

### (イ) 内地精製糖

内地精製糖の内でも五温と申します白双と、四温と稱するソフトがあります。内地の精糖相場今何程と申しますのは、一定の標準マークに依つて唱へられます。それは各社に依つてマークが異りますが大阪市場で

は日糖のSTが主になつて居ります。四温の中でもマークが幾通りもあり、色相の良いのが上位であります。此のSTを中心にして上下共に一定の開きがあります。五温のSAはSTより四圓四十錢高、裾物のSUは一圓六十錢安といふことになつて居ります。たいていの家庭で使用するのはST位のソフトの砂糖であります。五温類は清涼飲料の原料とか、上等菓子類に使用されます。

(ロ) 耕地白糖

耕地白糖は双目とソフトがありますが、内地は双目計りであります。

五種糖で内地精製糖は骨炭に依つて漂白されるのですが、此の方は炭酸法に依つて漂白されますから之れを溶解すると骨炭に依る白双のやうに純白でなくして幾分か違ひます。用途は氷糖原料等で、近頃は一般家庭に大分使用されるやうになつて居ります。それで年々生産が増加して昨年は約百萬擔でありまして、本年は百二十萬擔も製造されるだらうと思ひます。即ち内地精製の約四分の一といふ處です。

(ハ) 爪哇白双目糖

爪哇白双目糖は耕地双目のやうに和蘭標本二十五號以上で、之れは輸入品でありますから關税四圓六十五錢と、消費税は内地精糖、耕地精糖と同じやうに九圓を課せられます。臺灣白双目よりも目立が細く、色相も少し劣ります。乾燥は良いやうであります。

(ニ) 臺灣分蜜糖

臺灣分蜜糖は二種糖で、消費税五圓であります。内地各市場に於ての先物取引は盛んに行はれて居ります。大阪の砂糖取引所に上場の砂糖は此の分蜜糖だけであります。臺灣で生産される數より約三百三十萬擔が、此の直費分蜜になるので殘りが精製糖の原料になります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

(ホ) 三温糖

三温糖は其の色相は分蜜と同様であります。が分蜜は双目で粒が大きいのに反し、之れは精糖の四温のやうな目立であります。沖縄で約二十三、五萬擔、臺灣で三十萬擔の生産と見て宜ろしいと思ふ。

(ヘ) 爪哇黄双目糖

爪哇黄双目糖は之れは殆んど原料糖であります。臺灣の分蜜糖が生産少く相場でも高くなれば、内地直費に賣れますが、普通の場合直費は至つて少う御座います。市場に於ける臺灣分蜜との値違ひは約一圓五十錢見當であります。分蜜と爪哇黄双とを原糖に使用する場合は、歩止りの差が七、八十錢、工場に依つては一圓といはれて居ります。色相は十二號乃至十四號の二種類で、關税三圓十錢、消費税は分密と同じく五圓でありります。取引所に受渡代用制が設けられて居りますが、取引所では格差擔二圓五十錢と規定されて居ます。分密の端境時代に買占思惑のある場合に、此の爪哇糖にて相場を抑へる手段を採ります。

(ト) 二三番糖

二三番糖は之れは一種糖でありまして、据物と稱して居るものでありますが、臺灣で四十萬擔以上製造されます。爪哇赤双の如きも此の種に屬します。爪哇赤双の場合色相十一號未滿で、關税二圓五十錢、消費税は臺灣の二三番と共に三圓であります。田舎に行くと此の砂糖を直接消費にする處もありますが、主として内地の再製糖の原料となります。

(チ) 赤糖

赤糖は舊式な製糖方法による生産でありまして、最近二、三十萬擔の生産をして居りますが、年々減ずる方であります。輸入先は主として フキリツピンであつて、一時八、九十萬擔の輸入があつたものが、最近は三十

萬擔以內になつて居ります。需用も年々据物より上物へと國民の嗜好が移つて行きますから將來も大したことはないと思ひます。之れも一種類で爪哇赤双等と同じやうに課税されます。

輸入糖に就て申上げて置き度いのは、一種糖として輸入する場合でも上物が混合された時は税關の査定が嚴格でありますから何%かの二種を負擔させられます。同樣に爪哇の黃双でも同樣三種を幾分課せられる覺悟がなければなりませぬ。

（リ）黑　糖

黑糖白下は主として沖繩縣、鹿兒島縣下で出來ます。其の他四國とか本州に亘つて年々生產高が百四、五十萬擔にも達しませう。併し他の作物の關係上、且つ消費の漸減により沖繩、鹿兒島縣下を除きては減少する方です。

黑糖は消費税二圓、白下は二圓五十錢を課せられます。

包裝は臺灣分蜜糖は昨年來麻袋百五十斤正味、其の他は皆正味百斤の笈入であります。

## 四、臺灣に於ける生產

臺灣に於ける生產は近時著しく增大して來ました。明治三十七年頃は、七十五萬八千擔で、大正六年中途に於ける增產となりまして、七百六十三萬四千擔、それから大正九年に減少して三百七十二萬擔、其の後增加して大正十四年七百九十九萬二千擔でありまして、併して本年豫想が八百五十萬擔見當であります。

之れは蔗園の工場集中とか、蔗苗が改良せられ、一方施肥地力の增加等種々研究努力の結果と、天候に惠まれたことが因となつて居ると思ひます。然れども、臺灣の甘蔗作は、米作との關係が、近頃一層濃厚とな

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

り、內地稻米の播種が多くなつたことが、將來糖業に一つの暗影を投じたやうな形になつて居ります。大正八九年度の非常な減少は其の大部分は米價暴騰の爲に因る米作の關係から生じた一つの出來事であります。

臺灣以外の內地の生產は百八十萬擔位でありまして、此の中には北海道ビート三十萬、大東島八萬擔計りを含んで居ります。之れは前にも申上げた通り年々減少の傾向を示して居ります。

## 五、內地消費

大藏省發表に依ると大正元年に於ける內外糖引取合計は三、二二〇、〇〇〇擔であつたものが、年々增加して十三年度には一一、一六二、〇〇〇擔であります。此の中內地糖一〇、六五三、〇〇〇擔、外糖五〇九、〇〇〇擔であります。大正元年よりも七、九四〇、〇〇〇擔の增加で之れを過去十三年に平均すると一箇年六一〇、〇〇〇擔の增加であります。近年になつて精製糖と粗糖の消費割合が段々逆轉して來まして精製糖の消費が增加率を強めつゝあります。

卽ち其消費量は

| | 大正元年 | 大正十三年 |
|---|---|---|
| 精製糖 | 一、二一〇、〇〇〇擔 | 五、六七三、〇〇〇擔 |
| 粗糖 | 二、〇一〇、〇〇〇擔 | 五、四八九、〇〇〇擔 |

となつて居ります。之れに依つて觀るに、其の增加率は精製糖が三倍七であるのに、粗糖は一倍七三の增加であります。

內地に於ける需給の大體の數字は、臺灣で八百五十萬擔生產されるとして、其の中で島內で消費せらるゝ總額四十五萬、臺灣より對支輸出が十萬擔合計五十五萬擔を差引きたる七百九十五萬擔が、內地へ移出され

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

る譯であります。それに內地の生産約百八十萬擔を加へまするど、九百七十五萬擔、そこで消費を幾分增加するど見て千百八十萬擔としますと、二百五萬擔の不足となります。それに朝鮮向けやら臺灣にての輸入再製支那輸出等を五六十萬擔とし、支那輸出精糖を二百五十萬擔としまするど、日本の製糖會社は海外より原料糖としてざつと五百萬乃至五百五十萬擔卽ち三十萬噸以上の輸入をせねばならぬことになります。

## 六、砂糖の輸入に就て

此の不足額の買付地は主として爪哇糖である。時に玖瑪糖が輸入されます。本年は三四月頃迄に約二萬噸位は輸入される見込であります。

爪哇糖の生産時期は四月から十月一杯位でありまして日本商の買付は五月積より七、八月積が多く、又それは主として原糖でありまして他は思惑であります。卽ち白双、中双の買付は印度歐洲支那方面への輸出の爲に買付るのであります。

日本商の爪哇を中心とする砂糖の國際貿易に於ける活動は實に大なるもので、歐洲商人や、支那商人を凌駕するに至つたのは全く銀行の後援其の宜敷を得たからであります。此の根强く植付けられた日本商の信用と實力の上に一層銀行の積極的な御援助を得まするなれば將來の發展は期して竢つべきであります。

それから爪哇糖の買付時期は何時頃かと申しまするど。之れは、トラストの賣出によりますが、早い時は其の產糖の前年の二月に始ることもあり、三月或は六月、七月、八月更に後れて十一月といふやうに一定して居りませぬが、少く共六箇月から一箇年前になつて居ります。

昨年度の砂糖は一昨年の二月八日トラスト賣出十六盾、本年度の砂糖は昨年の三月九日トラスト賣出十一

屑でありますが、遅いもので、一九二二年度糖の前年の十一月十九日二十二屑で賣出されましたことがあります。之れが従來の賣出の一番後れたものであります。

トラストの賣出値段の白双、中双、黄双の値開きは。

白双目 Java White Sugar—{Superior Head Sugar / Head Sugar} 100屑

中双目 Java Brown Sugar—{Head Sugar No. 16/20 / " 16 and Higher} .25

黄双目 Java Sugar Mus Covodas

此外トラストによつて賣出される砂糖は

幼砂 Superior Soft Sugar 支那印度向

　色相　二十五號以上

赤砂 Molasses 支那日本向

　色相　八號乃至十號

　　又は十號以上

セントリ頁粉 Common Bag Sugar　目立細く

　日本支那向

ハードモラッセス Head Molasses　薬品により固めたるもの

　アルコール原料

グラコンマ Cup Sugar　香港、日本向

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

（イ）爪哇のトラスト

爪哇のトラストが如何なる事情の下に成立したかといふことを少しく申上げ度いと思ひます。無論御承知のこと丶思ひますが、序を以て御話申上げ度いと思ひます。一九一七年、一八年の兩年は生産が大分増加して、一七年には二千九百五十萬擔、十八年には二千八百八十萬擔といふ過去に於けるレコードを示したのであります。一方歐洲戰亂の爲に聯合國は砂糖配給の上に心血を注ぐことになり、遂に砂糖の管理を始めた。船舶は戰時必要品に振向けられ各國共砂糖の輸入に大制限を加へた。そこで一九一七年糖は主として支那商に依り買付けられて居たから四月以後の受渡時期に至つて困憊を始め引取不能頻發し、支那巨商と雖も金融に困り出した。そこで生産者は自ら金策せねばならぬことになつた。そこで生産者と銀行家は共同して支那商に引取を迫るけれども交渉斷絶といふことになり、此の反面には市況は惡化して大暴落を演じた。此の結果爪哇糖聯合會 Java Sugar Association といふものが生れた。處が同年末に至つて爪哇糖在荷が千二百八十萬擔といふ多量を殘されたのに一九一八年に入りても新糖は賣行無く糖價は下落する一方で遂に會員間に自由の行動を採る者が續出して自然解散の運命に陷つたのであります。各生産者は先きを爭つて賣出し一九一八年七月には五盾五十仙月末には四盾五十仙と崩落した。そこで爪哇總督は七月二十九日銀行家、輸出業者、生産者の會合を催して新なる生産者聯合を組織することになつたのであります。卽ち生産者を網羅する處の生産者聯合 United Java Sugar Producers Association を八月九日に組織することになつたのであります。さうして之れが實行を期する爲めに砂糖輸出制限令を布き輸出は一切政府の許可を要すること、非聯合會員の生産者には特許を與へずといふことにしたのであります。本部をアムステルダムに置き、スラバヤに本部の委員と同樣の權限を有する會員代表者より成る委員を設けられたのであります。之れが今日に至つて居るのであ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ります。加盟工場は一五九と記憶して居ます。現在ではOut Side Millとして、トラスト外の工場が二十四あります。それは、支那人經營のものが一三、歐洲人經營のものが、九、日本人經營のものが三、であります。

トラストの受渡しは總て倉渡値でありまして通常買手が指定する倉庫前面渡しであります。

1袋平均量　207 Amsterdam lbs

Tare $2\frac{1}{2}$ lbs　1 Picul 〃 125 Amsterdam lbs

$$\frac{207-2\frac{1}{2}}{125}=1.636$$

10擔に付 1 Amsterdam Poundの割引あり

$$\frac{1}{125\times 10}\times 1.636=1.6347$$

中双、黄双等に於ては二〇七アムステルダム封度以下一九六アムステルダム封度迄各種あります。

（ロ）外糖の買付

日本商人の買付の内黄双は殆んど各製糖會社の注文を受けてトラストより買付るのでありまして、其の買付數量は

| | 昨年度糖 | 本年度糖（一月二十四日迄） |
|---|---|---|
| 白双 | 三、六四二、七〇〇擔 | 二、四〇一、三二六擔 |
| 中双 | 六〇〇、九一〇 | 四、三一五、一四〇 |
| 黄双 | 七、二〇二、一七〇 | 二、四五四、〇三〇 |
| 其他 | 五七、九六七 | 八二、三五〇 |

（註）本年度の買付中双は大部分黄双に振替へらるゝものでありますから中双としては少くなります

卽ち昨年度に於ては一一、五〇三、七四七擔買付けて居ります。此の中十二月末迄日本に積まれたものが、六

百八十萬擔に達して居ます。白双、中双は少う御座いますから殆んど黄双糖と思へば宜いと思ひます、此の外に玖瑪の買付もありますが之等が本年へ持越された數量は三百五十萬擔見當に見積られて居ります。

昨年の買付は黄双糖でトラストの平均値段は十一盾そこ〱でありますから日本の製糖會社は非常なる打撃を受けて居ります。此の度内地の製糖會社が操業短縮を爲したのも各社が苦悶に堪へ切れぬ結果であります。

又黄双十一盾を内地倉値に採算しますと、

| | | |
|---|---|---|
| 爪哇倉値よりF. O. B. 迄のチャージ | | 、三〇 |
| 統計税 | 四分一% | 、〇二七五 |
| 買付手數料 | 一、五% | 、一六五 |
| 保險料 | 五% | 、〇五五 |
| | 計 | 、五四七五 |
| | 約 | 五十仙 |

爲替を百盾としまして、

$$\frac{11.00+.55}{100}+\text{運賃}.50+\text{艀賃倉入}.20+\text{關稅}3.10=15.35$$

爪哇擔値段になります。爪哇擔は一三六封度で、日本和一〇二斤になることを御承知願ひます。故に若し百斤とするなれば一〇二で割らねばなりませぬが、普通其の儘で大概幾程と唱へられて居ります。之れを内地精糖にする場合は、

製造費2.50＋消費税900＝1150

15.35＋11.50＝26.85の差額になります。最近精糖は二十二圓迄下落しましたが協定により二十三圓八十錢と恢復しました。併し製精糖の製造費と消費税の見積りは決して正確なものとはいへませぬ。内地の分密を原糖に使用する場合は、爪哇黄双の場合よりも擔七八十錢有利であるといはれて居ります。それは爪哇原料の場合は歩留りが少く骨炭を餘分に要するさうであります。

爪哇糖を原料として輸出する場合に戻税を受けるといふ便宜があります。税金は大藏省と原料百斤に就き製品何程、即ち五温とか四温とか糖蜜の製造さるべき割合の協定に依つて課税されますから一般に窺知し得ざる利益があつて、税金は大分安くなる勘定でないかと思ひます。猶會社は製品の税金に對しては六箇月の猶豫がありますのに製品は税込で現金で賣られますから此の消費税の利息も大したものになります。それで一般に市場では原糖よりの採算を税金込十一圓上り十圓五十錢位に見て居ます。

原糖は二種糖十五號未滿、三種糖十八號未滿迄は其の原料を以て製精糖にし輸出する場合はそれだけの戻税があります。

玖瑪の砂糖は麻袋三百二十封度入七袋一噸でありまして、全く原料として輸入されます。第二種糖としては色相が高いから三種以上が加はります。從つて直費としては税金が高くなりますから到底引合ひませぬ。此の砂糖は十一月より製造に入り丁度爪哇が端境である頃の一、二、三、四月にかけて出盛時期でありますから、此の頃に若し日本の製糖會社が原料の不足を生ずる時には直に此の砂糖を輸入すれば不自由を來すことはありませぬ。買付は鈴木、三井、三菱等を經て紐育のザーニユートリオンダ、或はランホン商會などより買付されます。爪哇の砂糖買付の樣に六箇月以上の先物といふのではなく、大抵一、二箇月先きの積出位の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ものです。

今、玖瑪糖を内地に輸入する場合の採算をしまするど、百封度建にて

紐育 Cib $2.50 ノ場合 F. O. B. Cuba ハ 2.50−13=2.37

日本向運賃 $6.25 Per Ton 2.79 P. 100 lbs

保　險　料 105 P 100 lbs

爲替を四五としまして

$$\frac{2.37+.279+.05}{45}\times 136\text{lbs} = ¥\,8.15$$

即沖著一三六封度擔値段八圓十五錢となります。

## 七、砂糖の輸出に就て

日本よりの輸出は支那と關東州が主でありまして内地よりは精糖のみであります。

昨年度の輸出は

| | |
|---|---|
| 支　那　へ | 二、一七五、〇〇〇擔 |
| 關　東　州 | 一九〇、〇〇〇擔 |
| 西比利亞、香港 | 二三、〇〇〇擔 |
| 合　　計 | 二、三三八、〇〇〇擔 |

であります。之れと一昨年度の輸出合計一、七八〇、〇〇〇擔に比すれば六〇〇、〇〇〇擔の激增であります。

併して支那に於ける精製糖の需用は段々增加し、従つて日本よりの輸出は增加すべきことは殆んど間違ある

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

まいと思ひます。

支那の引合は上海沖値でありまして日本よりは圓の引合になつて居ります。さうして最近上海沖値、十圓四十錢の相場であります。それで場合に依つては、精糖會社は支那に於てダンピングを行ふ時があるのでありまして、思ふに此の度の內地生産協定に依り內地賣を引上げて支那には爪哇糖とか香港糖がありますから之れと競爭上成行で賣るのではないかと考へます。玖瑪糖を輸入しても、製造費と上海迄の運賃と保險料丈けで宜敷しいから損することはありますまい。併し手持の爪哇糖の原料は海外の一般市況が昂騰せぬ以上相當痛手であらうと思ひます。

### (イ) 相場の比較

上海沖十圓四十錢で內地の精糖相場との比較を見ますると、輸出精糖の建値は日本製糖會社の◇であります。此の◇と大阪の內地建値品たるSTとは一圓六十錢の値開きがあります。そこで

| | |
|---|---|
| 上海迄の運賃 | 四五を差引 |
| 格差 | 一圓六十錢 |
| 關稅 | 三圓十錢 (二種査定原糖として) |
| 內地消費稅 | 八圓 ◇であるから八圓と見る |

卽ち(10.40－.41)＋1.60＋3.10＋8.00＝22.65

といふのが內地の精糖相場となります。故に簡單に之れを見ると沖著値段に十二圓二、三十錢を加ふれば宜

い譯であります。

(ロ) 外電による相場

次に、序に申上げて置き度いことは、現在日本に這入りまする海外電報は、倫敦の定期相場と紐育の定期及實糖相場と、爪哇の轉賣市場の相場であります。

倫敦定期から申しまするど、例へば五月 14/11½ とある場合は、一cwt の相場でありまして、歐洲での何志何片は總て112lbsの建であります。A級の相場になつて居りまして、之れは爪哇の白双目糖に匹敵する相場になつて居ります。此の上にB tipe があります。それはチェックスロバキヤ、アメリカ、和蘭等の精糖がありましてA tipe より 1/6 P cwt 上位にあります。さうして定期の値段と Cif N. K. とは一志の差があります。故に定期 14/11½ とせば Cif 13/11½ となる勘定であります。

玖瑪の黄双白はA級より 3/- Pcwt 安ビードの原糖は 4/- 安で玖瑪糖より 1/- 安といふことになつて居ります。

爪哇の中双糖は玖瑪糖より3d上位にあるとされて居ます。

大體私共は斯様に教へられて居りますが實際の種々の關係上開きの程度が時々多少の緩縮のあるやうに思ひます。

玖瑪糖を倫敦向け輸出する場合の採算は

百封度 fob　二、三三仙

運賃 16/6 P ton として

$$\frac{(2.33+\text{保險}.016)\times 112\ \text{lbs}}{\text{Ea}\ \ 486} + \text{運賃}\frac{1616}{20} = \text{Cif N. K.}\ 1117\tfrac{1}{2}$$

となります。

併して目下倫敦の相場は玖瑪糖の紐育相場に比し一志以上割安であります。之れはビート糖增産の爲に英國にても一月末は昨年より在荷が三倍もあるといふやうな風で、もつと紐育の相場の下げるのを待つて居るやうであります。

更にまう一つ採算に就て付加し度いのは、爪哇糖の印度輸出であります。

爪哇糖は歐洲ビートの供給と玖瑪糖の增産で將來は一層東洋地方に其の販路を增さねばならぬ。印度は年二百五十萬噸乃至三百萬噸程度の砂糖の生産があります。併し殆んど Native Sugar でありまして上物は爪哇やモーリヒアに仰ぎます。爪哇年五六十萬噸輸入します。

印度相場はカルカッタ Basis で表されます。

今爪哇糖倉値　一〇、二五とすれば

10.25 + Fob Charges 30 保險 .05 + 運賃 .88 = 11.48 Java Fob P. Picul

爲替を120—として $\frac{1148}{120} \times \frac{112}{136}$ = 1519 Cif Calcutta P Cwt.

となります。

## 八、玖瑪糖に就て

世界の糖價の動きは始めに申上げました通り其の年の豊凶如何に非常な關係がありますが、中にも玖瑪糖の産額に對しては世界の視線が最も鋭敏に働いて居ります。玖瑪の生産は約四百萬噸が最高であるといはれたことがありますが、現在は五百萬噸以上を生産し、將來此の倍額の生産も難事でないといはれるやうになりました。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

此の玖瑪糖に就て少しく御話致し度いと思ひますのは、同島は昨年は其の前年よりも百六萬噸を増加して五百十二萬六千噸といふレコードを示しました。天惠の國で、甘蔗糖國として之程幸された國は外にありませぬ。近來製糖會社は盛んに新植付を奬勵して居る模様であります。工場は百八十三工場で内六七割は亞米利加の勢力であると云はれて居ります。Havana Matanzas 地方は舊開墾地で七割五分の舊墾地に肥料を要し、サンタクララ地方は二割五分の舊墾地に、それからカマグエ地方は僅かに五分の舊墾地に肥料をされるといふことで、東部程土地が肥えて居る、新植付も多いといふことであります。

コロノと申しまして日本の小作人と同じやうなものが工場と契約して耕作に從事して居ます。卽ち五箇年、十箇年の契約で、工場より土地を借受け一英町に付約三弗の地代を拂ひ甘蔗の生産百封度に就き約五封度乃至七封度の砂糖を受取ることになつて居ります。然るに現在砂糖が安いからコロノの不安を高めつゝある樣子であります。此の支拂はれる砂糖は隔週一回ハバナに於ける原糖の平均相場に依つて代金に換算される。生産費は昨年の如きサーニユーリオンダ等では舊墾地三弗新開地三弗半（FOB迄の値）といはれて居りますがもつと安い筈です。

今から七十四年前の一八五三年には玖瑪糖は僅かに三二二、〇〇〇噸でありましたが其の時世界の總産額が約一四八萬噸といふ現在の約十六の一でありました。昨年度の世界産糖は甘蔗糖一五、八〇〇、〇〇〇噸、ビート糖が八、〇八八、〇〇〇噸合計約二三、九〇〇、〇〇〇噸に達して居ります。之れを一八五三年に比べますると

| | |
|---|---|
| 甘蔗糖 | 一四、五二三、〇〇〇噸 |
| ビート糖 | 七、八八四、〇〇〇噸 |

の何れも増加を示して居ります。さうして此の産糖の内には玖瑪の五、一二六、〇〇〇噸があります。之れは甘蔗糖總産額の32.4%に當ります。本期は又世界産糖は昨年度よりも五、六十萬噸増加する豫想であります。一方世界の消費は生産の増加だけ其れだけ増加します。二千三百萬噸と申せば容易ならぬ數量ですが、之れを世界の人が寄つてたかつて消費します。處が昨年は歐洲と玖瑪だけでさへも三百八萬噸の生産増加であります。それにも拘らず玖瑪の持越は五萬噸、歐洲は十月一日の在荷が前年に比し、二十五萬噸増加に過ぎなかつたのであります。

亞米利加といふ國は砂糖を能く消費する國でありまして、一九二二年は前年より二割三分を増し、次年が六分一二五、其の翌年は一分五厘、昨年は前年より一割三分五厘増の五百五十一萬噸、(總て精糖に見積)本年は猶此上に五%増加を豫想されて居ります。

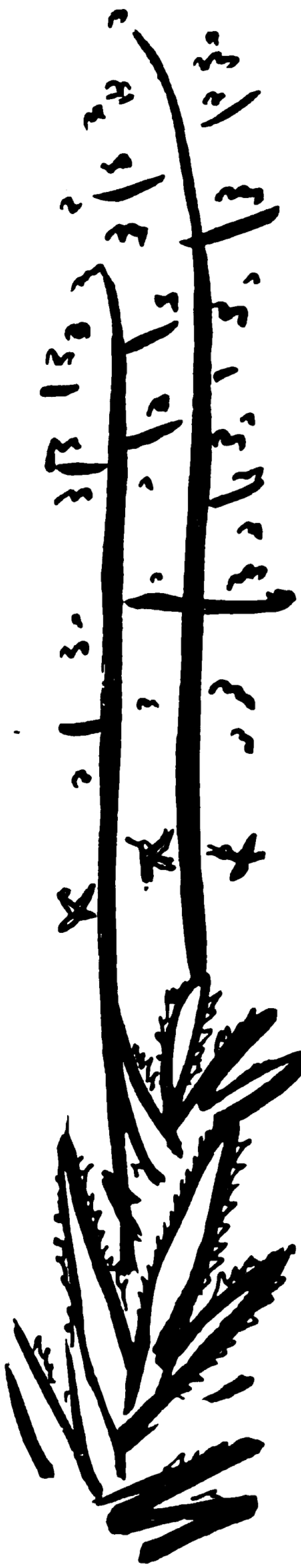
歐洲が昨年は前年より一八%强の八百二十五萬噸でありました。之れ又本年は5%増の見當見積られて居ます。勿論供給が多ければ價が下り、自然消費の増大となります。來期産糖以後の豫想に依つては中間需用も増加し難なく増産數も一掃されると思はれます。

## 九、大阪砂糖取引市場

終りに内地に取引市場が出來ましてから内地の市場關係がどうなつたかといふことを一寸申上げまするど、此の砂糖取引所が出來て以來市場が非常に緊張して參りまして、相當に金をかけて取引するといふやうな狀態になつて參りました。さうして近來は素人の注文も多く入り込むやうでありまして、東京とか下關とか名古屋方面の糖商の注文も非常に多いやうであります。取引所を建設する時に一日に二萬袋乃至二萬五千袋

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

つて居ります。さうして内地の商賣は結局製糖會社にしてやられて商人は結局年々損を招いて行くといふことになりはしないかと思はれます。卽ち製精糖會社と、精粗兼業會社と、純粗糖會社の三つがありまして、純粗糖會社は分蜜を賣るのみとしましても精粗兼業會社は分蜜糖が高ければ一時原糖振當て迄も之れを市場に賣ります。純精糖會社と共に若し市場が押せばそれを買入れます、買入れますと相場が上ります、相場が上がれば亦賣り込むと云ふ事になります。それは商賣人は會社から高く買つて引いて品物を受渡しゝまして、それに金を掛けるといふことは到底辛棒が出來ないから投げて賣拂ふと云ふ事になるのです。さうする事に依つて結局商人は製糖會社にしてやられるのであります。取引所が出來ましても同じ結果になりはしまいかと思はれます。私共會社の代理店をして居ります關係上、然ういふことに注意して參つて居りますが、此三四年以來砂糖屋の分散が甚だしいのでありまして、大小の商店は大抵三年乃至五年位でくる〱顔振が變つて行くやうでありますのを見ても此の事實を明かに認めることが出來ます。以上は甚だ概括的でありますが砂糖に就て其の一般を申上げた次第で御座います。（完）



# 有望なる臺灣の鑛業

## ＝實査に依りて得たる感想＝

工學博士　横堀治三郎

### 視察の概要

只今山下さんから御紹介の下に臺灣で鑛業の實際上、又間接に關係のある有力なる諸君に一堂で御目にかゝる機會を得ました事は私の光榮とする處であります。

私は先月十八日基隆に上陸しまして、爾來本島の主要鑛業地を遍歴致しまして、續いて鑛業に間接若しくは直接關係ある處の諸工業竝に其他の事業を視たのでありますが、幸に臺灣に於ける處の鑛業に對して一般の狀勢を視察致したのであります。

北は瑞芳・金瓜石を初めとしまして、南は高雄に參りました。夫れから潮州から大武に廻つて臺東・花蓮港を經て一昨日當地に歸著したやうな次第でありま

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

す。其間官民を通じて皆樣方から多大の御後援を得まして、短時日に拘らず斯の如く自分に取りまして有益なる思出の多い、而かも將來に對して多くの參考とする處の資料と智識とを與へられたる事は、極めて面目とするところでありまして、此機に於て本島に於ける皆樣方の御後援を深く感謝する次第であります。

私が臺灣の鑛業を視察して見たいと云ふ希望は、永年之れを懷いて居つたのでありますが、時を得なかつた爲めに今日に及んだのであります。今回幸にして此好機會を得まして眞に自分と致しまして欣快に堪えないのであります。

私が其歩きました道筋をざつと申上げますれば、先刻も申上げました如く、最初に瑞芳に參りまして、金瓜石、續いて金瓜石の南方でありませうか樹梅坑・武丹坑を經まして鐵道線路に由りまして石底炭坑に這入つたのであります。石底炭坑を拜見致しましてから猴硐に參りました。猴硐で基隆炭礦會社の御經營になつて居ります第九・第十兩坑に這入つたのであります。續いてあの輕便軌道に依つて基隆に參りまして、基隆の肥料會社を一覽致しまして、更に田寮港第一坑に這入りました。で猶ほ其他の炭坑をも順次拜見致したいと思ひましたが、何分旅程の日數が決つて居りまして、充分廣く各地を拜見する事が出來ませんのは遺憾でありました。而して是位の處で炭坑の概況は止めたいと思ひます。幸にして總督府の方から多大なる保護を受けまして、最も有力なる處の御案内の下に、夫れ〳〵視察上の便宜を與へられたものですから、時日の尠ないに拘らず比較的多大の見學をする事が出來たのであります。

夫れから本島に於て矢張主要產物としての硫黃でありますが、此硫黃は草山の奧の方であります。約一里餘の登り途を歩みましてから海拔三千二百尺の峠を越へまして、金山庄の方へと下りて參りました。今隆んに蒸氣を噴出して居りました處の實況を視察したのであります。其傍に金鑛があります。之れは本島人が御經營になつて居りますやうでありますが、眞に細かい處の鑛脈ながら、續いて御盡力になつて居る實況を視る事が出來たのであります。夫れから山を越へまして草山の溫泉場に歸りました。歸途又もう一つの硫黃山を視たのであります。夫れは御案内の如く先刻申上げました硫黃山は現に噴出しつゝある硫黃でありまして、後に視た方は所謂沈澱硫黃と云ふのであります。前のものは瓦斯體になつて出る處の硫黃であります、後のものは沈澱したる處の硫黃の鑛床であります。此鑛床を見まして草山の溫泉場附近で更に硫黃の鑛床の概況を知つたのであります。其處で硫黃の方の視察を終りまして、更に有名なる大屯山の方へ赴いたのであります。

私は此方に御出での山下成一君の御親切なる御案内に依つて、親しく又委しく拜見する事を得たのであります、大變私に取りまして面白い見學をしたと覺えるのであります。

此處に臺灣北部の方の鑛業の概況を知りましたから、更に南下致しまして中南部臺灣の鑛業視察に赴いたのであります。で第一に造橋の瓦斯噴出の狀況を見まして、續いて出礦坑の噴油の狀態を視察したのであります。是又、本島に取りまして新らしい處の「レコード」でありまして、內地から參りました處の私に取りまして、如何計りか有意義に拜見した次第であります。

續いて南の方に參りまして、烏山頭の堰堤工事の有名なる美くしい工事の狀況を見たのであります。

之れは私の專門とは離れて居りましたけれども、又間接に工業と多くの關係もある事と信じたので、面白く視察したのであります。其次ぎは安平方面の鹽田並びに其附けたりとして養魚場等をも拜見しました。更に泥火山へ參りまして、續いて橋子頭の製糖會社—臺灣製糖會社工場をも視たのであります、で同所に一泊致しまして非常に有益なる處の見學をした譯であります。

夫れから高雄に參りまして御案內の「セメント」工場、其附近の石灰石を利用致しまして淺野セメント會社が經營して居るのであります。其工場を視まして、續いて鐵工場（之れは製糖會社の依賴に應じて製作致して居るやうに思ひます）を視まして又肥料會社を訪れ、肥料上の問題、殊に鑛業と肥料との關係等に就て聊か敎へを求めたのであります。ざつとさう云ふやうな次第で、西部地方の鑛業地及び關係方面の事業と云ふものは、ほんの概括的に一覽したのであります。夫れから高雄から汽車で潮州に出まして、潮州から更に自動車で崁頭——即ち中央山脈を橫斷する其西の麓に著いたのであります。茲には派出所がありまして初めて私の眼に映じましたのは即ち生蕃であります、誠に見慣れない處の私としては一種異樣の感に打たれたのであります。

其生蕃に押上げられて山越えをするのですが、生蕃の轎に乘りて山越えをする時は良い感じはしない、どんな目に遭ふかと云ふ怖れがしたのであります、尤も其山越えをする決心をするに當りましては色々に研究をしたのであります。總督府の高橋技師其他の方々の御意見を聞いたのでありますが、或は山越えを良いと言ふ人と、或は又海で行つた方が宜からうと言ふ人もありましたが、高雄の方からは船に乘る都合が惡いので、斷然意を決して山を橫斷すると云ふ事に決したのであります。私は鑛山關係の立場から申しますと云ふと、海の上で山を見た處が始まらない、多少苦みましても自ら足を運んで山地を跋涉する方が愉快であります。斯う云ふ處から山を越えると云ふ事に決したのであります。高橋總督府技師の元氣に牽かされて、私も格別の苦みを覺えず浸水の驛に一泊致しまして、其所の駐在所の御厚意を仰いだのであります。夫れから大武に參りまして、此に中央山脈橫斷を了へ臺灣東海岸に出たのであります。大武から又生蕃の轎に乘りまして、十二里の間を殆んど海岸の砂地傳ひに知本に著きました。知本から車に乘りまして臺東に出で、臺東から鐵路を踏んで途中里壠に一泊、次で花蓮港に參りました。花蓮港から海路蘇澳に渡りまして、一昨日當地に歸つたと云ふ順序であります。

さう云ふ譯でありまして、之れに費したる處の日數は僅か三週間であつたのでありますが、三週間に寧ろ足らないのでありますが、ま

あ三週間と申して置きます、其間見ました處のものは今申上げましたやうに私に取りまして非常に有益でありました。

歩きました道程は兎も角、西部臺灣から東部臺灣を大體一週したのであります。哩數に致しまして五百哩は優に越えて居るのでありますす、六百哩近い道程であると存じます。

斯う云ふ譯で大急ぎに旅行致したのでありますから、何等此所に纏まつた觀察を試むるとか、研究を施すと云ふやうな餘裕はないので、只自分の見學、自分の智識を磨くと云ふ事しか出來なかつたのであります。從ひまして臺灣に於きまして朝夕御自身が御盡力になつて居ります皆様方に、淺薄なる處の觀察を致したばかりの私が何等かの所感を申上ぐると云ふ事は、寧ろ烏滸がましい次第と心得たのであります。併し乍ら當鑛業會の方から何か話をするやうにと云ふ切なる御勸誘もありまするし、又鑛業上に就てはお互に遠慮なく胸襟を開いて所感を述べて、互に肝膽相照されて其實績を擧げるのが、我々の採るべき道であると思ふのであります。夫れで斯う云ふ處の考へから、敢て皆様方の前に不肖を顧みず一言の所感を申述べる事を躊躇しない次第であります、どうか其邊は豫め御含み置きを願つて置きます。

## 鑛業は國家的事業である

偖、此臺灣の鑛業と云ふ事に就て申上げまする前に、自分は先づ、根本問題として、鑛業と云ふものに就て、皆様方の前に理解を求めたいと思ふのであります。鑛業の本體と云ふ事に就ては、我々の觀念と云ふものを確かにしなければ、單に臺灣の鑛業、單に朝鮮の鑛業、單に滿洲、樺太の鑛業と云ふやうに、形而上丈けの問題になるのであります。表面の觀察と云ふものは、必ずしも當を得たものではないと思ふのであります。さう云ふ處から、私は第一に、此鑛業と云ふものに就ての理解を、皆様方と一層鞏固に研究して見たいと存ずるのであります。で、鑛業が國家的重大なる事業であると云ふ事は申す迄もない、皆様方を初め鑛業に關係して居る者は誰しも知つて居るのでありますが、併し乍ら、夫れは知る事は知つて居りますけれども、之れを實行する――夫れを實現すると云ふ事は仲々容易でないのでありまして、所謂言ふ事は易く行ふ事は難しと云ふ事を、鑛業上に就ても常に遺憾として居るのであります。で

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

幸の機會でありますから鑛業上に就てどうか皆樣方の教を仰ぎたい、先づ聊か愚見を申述べることに御許を願ひたいと思ひます。

凡そ鑛業の發達に就ては、其國々により夫れ々々事情を異にして居るのでありまして、又狀態が夫れに伴つて適當なる處の施設、奬勵、若くは保護の途を採つて居るのであります。石炭の澤山出る處に石炭の奬勵をするよりも、油の尠く出る處に油の奬勵をするが必要でありませう、銅の澤山出る國に其の保護をするよりも、金の出無い處にもつて參つて、促進隆興を圖るの途を講ずる事は緊要でありませう。さう云ふやうな譯でありまして國々の狀態又は國々の事情に依り適切なる保護奬勵の途を採つて居ります。

夫れで我國に於きましては事新らしく申迄もなく、小學校の生徒も承知して居る位でありますが、鑛業發達の歷史に就きて吾人の最も著しく感じました處は、御案内の聖武天皇の御代に、金を陸奥の國から初めて献上せられた、其處に於て天皇は殊に感激あらせられ、年號を改めて天平感寶とせられたと云ふ事を聞いて居るのであります。即ち天皇は此國家的寶を得られたに就てすつかり感激遊ばされて年號を換へられたのであります、感寶とは寶に感ずると云ふ事であります、夫れ位迄に國の年號を換へられた國家的瑞祥であります。斯くも大切なる鑛業と因緣の深い此日本であります。只單に鑛業は國家的事業と申しますけれども、其由緒を質して見ますと畏れ多いことであります。我々の先祖は斯の如くして國の寶なる鑛物の發達に盡されて、天皇は年號を改められて鑛物の發達奬勵を期せられたのであります。其他歷代の天皇に致しましても夫々奬勵の法を講ぜられました。銅が大和の國から出まして和銅元年の年號を御附け下されたのであります、或は又鑛業上の發見者に對しては位を賜るとか、或は祿を賜るとか、夫々奬勵された事は歷史に徵して瞭かなる所であります。又戰國時代に於ては、豐臣の時代に攝津の多田鑛山に旗印を建て、金及び銅の產出を奬勵されたのであります。幕府の大久保石見守は佐渡や伊豆の金山に就きて產金上多大の盡力をせられたのであります。さう云ふ事を尋ぬると日本の鑛業の由緒と云ふものは決して偶然のものではない、其處に意味深い處のものあるを我々は考へなければならぬのであります。

猶ほもう一つ最近の例を申上げますと、之れは少々憚かる事かも知れませんけれども、鑛業界の内輪の方々丈けでありますから私は特に申上げたいと思ふのであります。例の日露戰爭の時に日本は未だ海外に對しては夫れ程國威を伸張して居ない、國權は擴がつて居

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

たのでは無かつたのであります。然るに大敵を控へて我々が刀を採つて戰はなければならぬと云ふ場合に當りまして、如何にせん國の力に缺くる處が多かつたのであります。別けて軍需品其他、戰爭に要する處の材料と云ふものを自ら造る事が出來ない、他から買入れやうとしたが資力がない、海外に無理に賴んでも正貨を持つて來なければ賣らぬ、正金で持つて來い、日本の紙幣の通用しないと云ふやうな有樣であつたのであります。其當時皆樣方も御承知でありませうが、正貨を豐かにしなければならぬと云ふ議論が俄かに沸きまして、尊い處の方々に於かせられても、家の財寶と致して居る處の金の道具を惜氣もなく、國家の爲めに國資に使つて貰ひたいと夫々提供したのであります。又其他の者も皆異口同音に、之に向つて誠意を捧げると云ふ事になつたのであります。併し乍ら如何に家代々の金の茶釜であるとか、金の器であるとか申しました處が知れたものである、裝飾品ではものにならぬ、どうかしなければならぬ、出來る限り金の產額を奬勵しなければならぬ、鑛山から金を出す外は仕方はないと云ふ事になつたのであります。

其當時、東京大學の――今は故人になりましたけれども――渡邊博士が在世せられた當時に、東北地方の金鑛の所在地に赴いて、夫れ〳〵實地的の調査を遂げられたのであります。不肖も亦其當時鹿兒島の方に赴きまして、鹿兒島縣下に於きまして一匁でも此際金を餘計に出さなければならぬと云ふ事から、不束ながら鑛業家諸君と三日間に渉つて講演を致しまして、其際に猶ほ其方法としての種々事業經營上に對する愚見を申上げたのであります。幸に其當時私の愚見の一端は世の鑛業家の容るゝ處となりまして、今日では三井鑛山會社の串木野金山でありますが、今日では月二貫匁以上の金を出して居るといふ程の機運を促したのであります。さう云うやうな處から、金を成丈け一匁でも餘計出させなければならぬと云ふ事に皆注意したので朝野の人が贊同せられたのであります。

そこで幸にして東北地方には非常に澤山な金の產地があると云ふ事が其當時渡邊博士に依りて提唱されたのでありますが、其聲が天聽に達したのであります。續て夫れが倫敦の方に響きました爲めに、立處に日本の聲價が茲に擧がつて、或は軍艦の買入れ、軍器の購入、武器の購求と云ふ事に就ては多大の便宜を來たしたと云ふ事を承知して居るのであります。當時出征せられた軍人に聞きますと云ふと、日本に金が澤山出る、隨て滿洲に出て居る處の將卒諸君に於ても後顧の憂ひなく充分に働て吳れよ、と云ふやうな御通達があつたと云ふ事であります。そこで兒玉大將から大山元帥に使が發せられて其旨を全軍に布告したと云ふ事であります。然るに御當地へ參りまして基隆炭礦會社の小林寬氏に右の御話を致しました處が、小林氏が當時滿洲に出征して居つたさうでありますが、矢張さう云ふ事を聞いた、我々もさう云ふ布告の出た事は全軍が知つて居つたと云ふやうな譯であつたのであります。さう云ふやうな譯で、軍需品等も潤

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

りなく邦家の爲めに御役に立つ事が出來たので、將卒の義勇と共に日本軍が大戰に打ち勝つたと云ふ事であります。

さう云ふ事から考へて見ますと云ふと、鑛業と云ふものは實に大切なものである。普通の疎かの事業と違ひ、所謂利益を以てのみ立つ處の普通の產業と類を異にして居るのであります、國家を背負て立つ處の國家的事業であると云ふ風に、我々は深く感得せざるを得ないのであります。其感得の下に我々は廣く國民に是が理解を求めたいのであります。

往々にして鑛業も矢張り普通の產業の如く見做されまして、隨つて出來たものは商買品の如く扱はれると共に單なる營利事業の如く見做されるといふ嫌ひがあるのであります。元より產業に屬する事業であるから需用供給の調節に依て、生產物價格の變動は免かれない事でありますけれども、夫れを一般普通の產物の如く物質視すると云ふ事は我々の許さぬ處であります。一體に之れは輕々しく見る事の出來ないものだらうと思ふのであります、長くも過去の歷史―先刻申しました經過に鑑みまして、我々は深く自重しなければならぬ、根本的に之れに向つて考へをしなければならぬと思ふのであります。

さう云ふやうな大切な鑛業でありますから、其鑛物と云ふものは之れが卽ち國家の消長―國家の安危に重大なる關係があると云ふ事になりますと、臺灣の鑛業とか內地の鑛業であるとか、朝鮮・樺太も同樣で單に普通の區分的に考へらるべきものでは無いと思ふのであります。日本帝國としては、卽ち之れを帝國の鑛業として考ふべきものと思ふのであります。帝國臣民―我々國民全般の福祉增進と利益に關係する處の重大なる產業―重大なる處の寶であると云ふ事を考へなければならないと思ふのであります。さう云ふ見地から、私は臺灣の鑛業を概括的なり共研究を致したいと云ふ希望を持つて居つたのであります、言換へれば、どうかして臺灣鑛產物と云ふものを國の力に依りまして日本國民の利益になるやうに致したい、國の富を增し、國の力を强める、

斯う云ふ事に致したい、斯う云ふ處から我々は臺灣の鑛業を研究致したいと思ふのであります。斯う云ふやうな譯でありまするから、若し臺灣の鑛業に於て大いに利する處があるならば、其方面に向つて充分なる助長發達の途を講ずるが宜からうし、足りない處があるならば内地から援けるやうに施設するが宜からう、内地でなく共帝國の領土であるから夫れ〳〵保護するやうに致したら宜からう。一概に只臺灣の小さな區域の中の鑛業と考へないで、即ち我々共通の利害の立場に就て考へなければならぬと云ふ事から、私は此方へ參つた事を喜んで居つた次第であります。先刻申しましたやうな聊か其精神に鑑みて得る處がありましたので眞に欣快に堪えないのでありまするが、之れから聊か臺灣鑛業に關しての所感を申上げたいと思ふのであります。

## 世界の鑛産額と日本

で先づ其前に日本内地の鑛業に就きまして一寸申上げますと、確かな數字は何分私旅行先でありますから何等材料を持つて居りません、數字は覺えて居りませぬが、一昨年の鑛産額は日本内地に於ては約三億五千萬圓計りと覺えて居ります、夫れから朝鮮から樺太・臺灣を通じまして約四億萬圓であります。朝鮮の貳千五六百萬圓、御當地の千四五百萬圓に樺太が這入りますから先づ四億萬圓と見て宜からうと思ひます。併し夫れは値段上の事であります、時の相場の價格等に依て違ひますから金額に依てのみ鑛業の盛衰を言ひ現はすことは不適當でありませうが、大體の標準として假りに價額を申しますると、今申します如く日本中で四億萬圓餘で宜からうと思ひます。昨年も大差は無い四億萬圓餘で宜からうと思ひます。此處に至つたに就ては固より年を追ふて進歩したのは當然である、價格に於ては戰事時代の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

―歐洲大戰の際には六億萬圓位に達したのであります、夫れが今日下つたのは殘念でありますが、鑛産額は必ずしも過去の狀態を逸する譯ではありません、決して劣つては居ない、大勢は進歩しつゝあると云ふ事は明かな事であります。

臺灣に於ても明かに數字の上から現はれて居るのであります、現在の石炭の如きも本島鑛産物の八割位になつて居るのであります、壹千萬圓を越えて居ると云ふやうな譯でありますから、之れは多大の進歩を成して居る、誠に喜ばなければならぬと思ふのであります。其點に就ては後からも申上げたいと思ひますが、畢竟皆様の御盡力、又政府の指導が宜しきを得た結果であらうと思ひますが、併し夫れは日本内地の―つまり内輪の觀察でありますが、先刻申しましたやうに鑛業は國家的である、國家を保護する處の事業である、國家を强める處の資源であるのであります。其點から言ひますと、どうしたなら充分な産業の發達を計ることが出來るか、夫れには先以て海外の趨勢を深く知らなければならんのであります。夫れで御參考と云ふ程ではありませぬ、たゞ御話を申上げます順序上、海外の鑛産額の概略ほんの一端を申上げまして暫らく御清聽を仰ぎたいと思ふのであります。此處に丁度携へました手帖に控へて居ります分を一寸申上ぐるのでありますから、其御積りで御聽取りを願ひたいのであります。

世界の金産額は一昨年の統計に依りますと云ふと、之れは一「ボンド」拾圓と見まして申しませう、實際は拾壹圓以上になつて居りますけれども、先づ當時の爲替相場は拾圓と見て申します、其金の産額は斯うなつて居るのであります。「ボンド」と申しましたが夫れは英領亞弗利加の「トランスヴアール」の産金價額でありまして、世界全體の分は弗で申した方が宜からうと思ひます、一弗貳圓と見まして貳圓の換算に致しました、即ち一昨年の世界の産額が七億六千八百萬圓と申します。何程か數字が切れますけれども大體七億六千八百萬圓、其内亞米利

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

加合衆國が約一億萬圓と聞て居ります、夫れから英領加奈陀が六千貳百八拾萬圓、夫れから英吉利の屬領たる處の所謂亞弗利加の「トランスバール」が四億萬圓で世界第一の金産額を持つて居ります。之れも矢張英吉利の屬領たる印度の産額が壹千八百萬圓となつて居るのであります、夫れから日本は朝鮮等を合しまして約壹千四百萬圓計りと見れば宜からうと思ひます。さう云ふやうな譯であります。で詰り日本の金産額と云ふものは世界中の總金産額に比しまして五十分の一以下であります、眞に心細いと言はなければならぬのであります。亞米利加の夫れに對して約八分の一弱であります、英國の屬領たる「トランスバール」の約三十分の一であります。

夫れから鐵を申上げますと、銑鐵・鋼鐵と類別はありますが先づ銑鐵から申しますと、矢張り一昨年—即ち大正十三年に於ける處の其成績に依て見ますと云ふと、世界の銑鐵産額と云ふものは六千二百六十四萬一千噸であります。其内譯は北米合衆國は三千百四十萬六千噸で、約世界の産額の半分を占めて居るのであります。夫れから、英吉利が七百三十一萬九千噸、獨逸が復興して來まして近來は著しい處の復興でありまするが、一昨年に於て七百〇七萬三千噸であります、之れは日の出の勢を以て進んで居ります。昨年は一千萬噸に近いと思ひます、戰爭前の獨逸が一千六百五十萬噸であつたと思ひますが、敗戰の結果一昨年は半分以下に迄減つて居るのであります、之れは必ず昨年度に於ては一千萬噸に近いものになつたと思ひます。日本は如何であるかと云ふと、日本は先づ大體の標準が百萬噸と云ふ事になつて居ります、事實に於ては八十萬噸内外かと思ふのであります、或は夫れから下るかも知れませぬ、六十萬噸位であるかも知れませぬ。兎に角其點から考へて見ますと云ふと、世界の産鐵の量の大なるものは驚くべきものである、日本の產額の小なる事は嘆せざるを得ない。

鋼鐵に付きても申上げたいのでありますが、餘り

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

長くなりますから大體銑鐵と同樣の趨勢と見て宜からうと思ふのであります。

次ぎに**石油**であります。世界の產額を申上げますと云ふと、一昨年の產額が十億一千二百九十二萬七千石であります、驚くべき數字であります。夫れに對して內譯はどうであるかと申しますと、亞米利加が殆んど世界の產額の七割以上を占めて居るのであります、卽ち亞米利加の產額は七億一千三百九十四萬石であります。昨年の數は此所に書いて居ります處に依りますと七億六千萬石に達したと云ふ事でありますで、其內で亞米利加の（是れは附けたりでありますが）新たに出つゝある所の井戶の數は何本であるやと申しますと、三十一萬本であります、油を出して居る所の井戶の數が三十一萬本であります。

臺灣に於ては今迄何本掘りましたかと云ふと、全部で六十本乃至七十本足らずのものであります、固より臺灣は之れは初期の時代であります。日本內地に於ては二千本か二千五百本位でありませう、內地に今迄掘つて居つた數は夫れ丈けであります。亞米利加は現在油を出して居るものが三十一萬本であります、失敗した數は何本であるか數は知れないのであります。さう云ふ譯で、井戶の數から言ひましても、實に其差が著しいものと驚かざるを得ないのであります。從つて我々の努力は多々益々要すべきものであると云ふ事を感ずるのであります。一體日本の油の產額はどうかと言ひますと、一昨年は大層減つたのでありますが、百五十萬石を越えないと思ひます。一方に於て世界の產額は先刻申しました通り七億六千萬石、日本の夫れは百五十萬石內外としたならば、其差は實に驚くべきものであります。卽ち日本のは世界の產額の約五百分の一にならぬのであります、而かも其油、（之れは後から申上げますけれども）價格の如きものも亞米利加の方が安いのであります、之等は我々の深く念頭に持たなければならぬのであります。

次ぎは**硫黃**、御當地に關係のあります硫黃—之れ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

は千九百二十三年—詰り一昨々年であります、夫れに依ると云ふと世界の產額はざつと二百萬噸であります。一昨年の中でも亞米利加が近來非常に發達を致しまして殆んど其中の八割位迄占めて居ります。伊太利の量はシシリー島の噴火山から硫黃を出して居つたのでありますが、近年は亞米利加が非常に發達を致しましてシシリー島を凌駕して市場から追ひ遣つたのであります。之れはほんのざつとでありますけれども米國では硫黃を掘るのぢやない、フラシユ法と申しまして、硫黃が地の中にありますものに非常に高い溫度に熱せられた蒸氣を送るのであります—鐵管で蒸氣を送るのであります—高熱の蒸氣を以て地の中にある硫黃を溶かすのであります、水の如くになつたものを地表の方に押し出すのであります。草山杯でこつ〳〵やつて居るやうな（之れは止むを得ないのでありませうが）さう云ふやうな人力でやる舊式のものでは無い、智識の應用に依て高い溫度で溶して地の底から流し出すと云ふ方法であります。之では如何に多量の硫黃を有するシシリー島でも到底匹敵することが出來ぬのであります。日本の產額は如何でありませうか、三萬噸近くのものであらうと思ひます、最近は少しく景氣が直りまして、昨年は或は五萬噸近くになつて居るかと思ふのであります。

續てもう一つ申上げたいと思ひますのは石炭であります。石炭の產額は千九百十三年戰爭前の當時に於ては、世界の產額と云ふものは十三億四千百萬噸であつたのであります。夫れが戰爭時代に下りましたが戰爭後に囘復したのは亞米利加であります、一昨年（千九百二十四年）に於て十三億五千萬噸になつたのであります。夫れに對して亞米利加はどうかと申しますと、戰爭前（千九百十三年）には五億六千九百九十六萬噸であつたのであります、千九百二十四年に於ては五億七千百二十萬噸以上であります、結局、亞米利加の產額と云ふものは世界の產額の約四割近くのものを占めて居るのであります、以て亞米

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

利加の鑛業なるもの丶概況を窺ふに足るべきものであると思ひます。

日本はどうかと申しますと、皆樣方も御案内の如く日本の本州に於ける處のものは約二千八百萬噸であります、御當地に於ける産額は先づ百六七十萬噸であります、近くは二百萬噸に達しませうが先づ百五六十萬噸内外に過ぎないと思ひます。

以上申述べましたやうに世界鑛産物の概況から見ますると云ふと、日本の鑛産額と云ふものは眞に未だ微々たるものであると云ふ所に我々は感得せざるを得ないのであります。従ひまして此國家的の事業である鑛業に就きて深く考へましたならば、卽ち語を換へて申せば彼の亞米利加と云ふも亦歐羅巴の剛強と云ふも、地を轉じて考へましたならば鑛業と云ふものは決して單純なる一種の利益事業としてのみ視る事は到底出來ないのであります。

さう云ふ見地に於て私は玆に臺灣の鑛業の研究を試みたのでありまして今日迄に知り得たる範圍に於て私は帝國の國富資源に向つて大いに開發することの餘地があると云ふ事を非常に樂みと思つて居るのであります。

## 本島主要鑛業に對する意見

### 一、金

以上の大體論に基きまして私は甚だ永くなるかも知れませんが、幸に皆樣方の御清聽を煩はして視察致しました御當地の各鑛業に就て聊か意見を申上げたいと思ふのであります。

第一は金山の方面であります、私が拜見致しました處の金山は瑞芳・金瓜石續て樹梅竝に武丹坑と及び大屯山との五つでありますが、然し代表的のものは卽ち瑞芳・金瓜石・及び大屯山の三つと云つて宜からうと思ひます。此三つに就て到底細かしく申上げ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ます事は出來ません、又申しまする必要はないのであります。是等の金山の歴史及發達に就ては本島に永く居住せられて居る本島人、又は內地から來られて、其事業に携はる處の資本家の方々の御盡力になつた處の各地の形跡は、明かに自分は今回親しく拜見する事が出來たのであります。仲々不便な地方であつて、今日であるから鐵道で旅行も出來ますが、山を開いた當時、若しくは續て經營せられた當時と云ふものは一層不便のものであつたと思ふ。瑞芳の停車場から金山の方に參ります時に隨分と坂道を通つて居るのであります。金瓜石に參ります山道に對して、其當時運輸交通の便と云ふもの丶如何に不備であつたかと云ふ事は察するに難からずであると思ふのであります。斯う云ふやうな時代に、能くもあの事業を經營せられたものであると云ふ事に就ては、私は本島の方々竝びに其當時の官民の御苦心に對して深く感謝の意を表する次第で、我々鑛業社會の人として其邊に充分の理解を持たなければならぬと思ふのであります。

併し過去は過去と致しまして將來の問題に對して申上げますと云ふと、此瑞芳竝びに金瓜石及び大屯山の此三つと云ふものは、大體から申しまして私は矢張親類筋合ひのものと思ふのであります、大體は一族一門に緣を持つて居る處の金山であると思ふのであります。隨ひまして是等の金山を經營し、又金山の奬勵發達を圖るに就きましては、其親類であると云ふ事柄の見地に於て適當なる施設經營をせらる丶が最も有望であると思ふのであります。殊に此瑞芳に致しましても金瓜石に致しましても、從來採掘した徑路を見ますると、露頭部から順次下部に堀り下つたことは敢て內地の鑛山と異つたところはありませんが、私は何れも將來大に下部に向つて掘進するの餘地があらうと信ずるのであります。先刻一寸申上げましたが鹿兒島の三井串木野金山の如き、海面から確か三百六十尺餘りの下底に這入り込んで居るのであります。同山の地質は大體に於て安山岩で

ありますが、石灰岩が之に伴つて居るのであります。御當地の金山地方には未だ石灰石が見えない、寧ろ高熱温泉作用と申しますか、其方の鑛物が餘計に發達して居るやうであります。甚しきに至つては坑内に硫黄が見えて居るのであります、其外岩石が其温泉作用の爲めに變質した處の變性鑛物などが現はれて居るのであります。夫れ等の點から見ると云ふと鹿兒島の夫れと一概には行かないが、兎に角、鹿兒島に於ては海面下三百六十尺に達して、今日盛んに金を出して居るのであります。又實際金瓜石に於て上部の方から下部の方に坑内を拜見しまして、段々に徑路を辿つて見ましても、之れは正しく下部に相當の發達を示して居るものと信じ得べき證跡が明かであります。瑞芳も亦何等下底を憂慮するの疑點が無いのであります、而かも現在のところ金瓜石の最底坑道は海面上四百尺に在り、瑞芳の方は八百尺の上部に在るのですから、彼是推究致しまするど今後は大いに下部に向つて發展の策を立つべきものであらうと思ひます。所謂武丹坑は瑞芳金山の續きでありませう、武丹坑で舊時稼行した處の其遺跡と云ふものが、瑞芳から見れば遙かに下底になつて居るのであります。さう云ふやうな處から考へても、是又下底の方にあるものと見做して宜からうと思ふのであります。

進んで大屯山でありますが非常に面白く拜見したのであります。山下君の長時日に渉つて研究された色々の有益なる資料を仰ぎつゝ、私も親しく自ら幾多の處で資料を採りまして現場に於て研究を試み、此數十種の鑛石に就て一々碗懸けを行ひましたが、誠に驚いたのは非常にその含金率が高いことであります。昨日も一寸、片山殖産局長に御目に掛りました時に、私の採つて參りました資料(大屯山の鑛石)を碎いて局長に御覽に入れた所、局長も意外に豐富なるに感ぜられたのであります。夫れも私は總ての事業に大切なものである鑛業をして、どうかして神聖なる理解の下に促進發達の途を與へられて欲しい

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

と云ふ事から、私は進んで斯う云ふ風の道を採つたのであります。

でさう云ふやうな譯でありまして、大屯金山は頗る面白かつたのでありますが、丁度これは御案内のやうに、現在探鑛をせられたる箇所が千五百尺の高い處であります。金瓜石・瑞芳の坑道より見まして遙かに高いのであります。金瓜石の露頭、即ち本山最高部は海面上二千百尺計りの處にありますが、先刻申上げましたやうに長仁坑といふ最下底坑道は四百尺の位置に在るのであります。そこで大屯山に於ける鑛石現存の狀態は、岩石即ち安山岩の裂罅を不規則に含金粘土又は硅石で充塡して居るといふ有樣で、內には岩石自身が變質作用を受けて、恰かも鑛石の如き外見を呈し著しく金を含んで居る箇所もあるのであります。

それですから一見金瓜石や瑞芳の如く立派な鑛脈性のものとは其形態を異にして居りますが、金山の成因に付きましては何れも大同小異のものであり、母岩たる安山岩が鑛脈生成の動機を作つたものではなからうかと思ひます。凡そ鑛脈が出來て其存在せる狀況を見まするど、丁度硝子を割つたやうなきちんと割目も正しき鑛脈もありますが、又は同じやうな動機から出來たものでビリ〳〵したやうな龜裂的狀態になつたものが、下底に進むに從つて漸次纏まつて、ざつと申せば手の平のやうに細き指が一緒になるといふ風に纏まつて來るものもあるのであります。それですから佐渡の金山のやうな一本調子の大きな鑛脈になつて居るものもありますが、長崎の波佐見金山や岩手の鷲巢金山又は朝鮮の永興金山のやうに露頭が整然たらざるも、下部に於て纏つて居るといふやうな實例は擧げて數ふべからざる程であります。斯かる次第でありますから外見から計り鑛山の判斷を下すことは不穩當でありまして、我々技術者の見地から適當な解釋を試むるの外はないのであります、皮相觀を以てのみ人が兎や角と申しましても問題では無いのであります。

私は大屯山に就きて山下成一君が私の多年の友人としまして、殊に內地に於ても鑛業上に多大の貢献を遂げられたる同君としまして常に敬意を拂つて居るのでありますが、大屯山を視察するに付きまして一層に山下君の御盡力を感得しつゝ、本邦天然資源の開發に對して注意を加へた次第であります。ところが大屯山鑛床に關し內地に奇妙な宣傳が誤り傳へられた嫌ひがあるのであります。何か金山が皆な金である、安山岩の中は皆な金だと云ふやうに傳へたものがあるのであります。之れを聞く人が又夫れを傳へると云ふやうな風で、實に心苦しいやうな所謂流說的のものがあつたのであります。中には立派な斯界の人に於ても只徒らに之れを評するといふやうな譯で、甚だ心苦しく感ぜられたのであります。或は曰く大屯山は不可思議のものである、迂濶に手が出せないなぞと面白半分に批評冷視するやうな傾向がないでもなかつたのであります。實に冷淡と申しますか、實に不眞面目と申しますか、不熱心と申しますか、苟くも日本の產物・鑛業と云ふものに對して眞の理解、眞の熱心と云ふものを缺いて如何がはしい誤解が傳へられるのであります。幸に私は今回親しく拜見致しましたから、內地へ歸りまして夫々同好の連中に、私の所感を明かに申傳へたいと思ふのであります。何分國家と重大なる關係ある鑛業、別して一匁でも多く出ることを望むところの金の問題でありますから、長々しくなりますけれども、本島の皆樣方に特に先刻から申上げました私として御聞きを願ふは甚だ愉快且感謝に堪へぬ處であります。それで今少しく申上げたいと思ひますが、私としては甚だ立ち入つた事でありますが、何も自分に利益を計ると云ふやうな事は毛頭持つて居りませぬ、只事業の隆盛を希念ずるのみであります。

此立場に於て私は大屯山の研究を試み、更に同山の前途に囑望することの意志を明かにしたいのであります。現在の大屯山は僅かに上部の採鑛を行つたといふ位のもので、言はゞ露頭部の開發を試みたと

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

いふ丈のもので、前申しました如く下底に於て大いに掘進の價値あるべきことを信じたいのであります。私は北投驛から轎に乘つて山に登ります時に、山麓に立派な砂岩の發達して居るのを認めましたが、此砂岩と安山岩との接觸部面が果してどうなつて居るでありませうか、私は時間も少く實踏することを得ませんでしたが、未だ誰人も此方面に向つて調査の歩を進めたものが無いやうであります。然るに此種の研究は頗る興味あり又實益あることでありまして、現に金瓜石に於て昨今の富鑛體を示して居ります部分は、砂岩と安山岩又は粘板岩と安山岩との接觸した箇處に於て最も顯著でありますから、手近の此立派な實例から見ましても、大屯山の砂岩對安山岩の接觸狀況は當に攻究すべきものであらうと思はれます。それでありますから大屯山の將來は未知數ではありませうが、當然著目すべき有力區域が決して少くはないのでありまして、私は邦家鑛業の隆運を冀ふ意志を以て大屯山の前途を祝福いたしたいのであります。

以上金山の概勢に付きまして申述べましたが、今後の經營方法に對しまして序ながら聊か卑見を呈したいと存じます。

臺灣に於ける金山の經營に就ては將來之れは大いに見込がある、而かも之れは大規模にやるべきものであらうと思ふのであります。彼の金瓜石・瑞芳・武丹坑と云やうなものを一括して、進んで大屯山を合せて一つの大きな會社か其他の方法に依て經營せられむ事を希望するのであります。で小ポケナ坑道位で滿足しないで、大きな芋串的貫通坑道を開いて極く下の方から一萬尺餘りも掘れば幾多の鑛脈を横斷し、從つて事業上の連絡が容易になるでありませう、結局は金瓜石・瑞芳と下底の方から聯絡する事が出來る、又停車場の方にも聯絡する事が出來るのであります。鐵道の便も良し、港灣の方に出る事も譯はないと思ふ。

一口に一萬尺の隧道と云ひますと大した事のやう

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に聞こえますけれどもそれほどのものでもない、彼の評判高き烏山頭の堰堤工事に於て河水の取入口は仲々の大工事であるやうですが、鑛山の方から申しますとあの位の隧道は何でもないのであります、只大きさが少し大きな丈けであります。昔は未だダイナマイトや火藥を使はないで、堅い處を鏨を以てコツ〳〵掘つて居つた。佐渡の金山に於ては海面に注ぐ排水坑道が一萬餘尺に達して居るのであります、今日のやうに機械や爆藥其他の發達したものを用ふるとしますれば一萬二萬の延長は何でもないのであります。足尾銅山・日立鑛山等に在りては坑內坑道の延長は何十哩といふ驚くべきトンネルを開鑿して居ることは更めて申す程でもなく當然のことであります、坑道掘進につきましては日立鑛山は一日に三十三尺進んだと云ふ例があります、坑道は確か九尺に十二尺の斷面を持つて居ると思つて居ります、其坑道を一日三十三尺進んだのであります。夫れで一萬尺のものが三百日あればやれるやうな譯でありますから、鑛山で言へば夫れ位は譯はないのであります。最も合同經營の下に大計畫を實現することは容易でありますまいし種々の方面から考慮するの要もありませうが、有り來りの小鑛山固守主義は到底國家鑛業の本旨に副ふものではありません。私が臺灣鑛業界の各位と、遠慮なく意見の交換を致したいと思ひますところの要旨は、卽ち此邊に在るので御座います。

## 二、石　炭

第二には石炭山、石炭山は本島の鑛產物で重要なる事は申す迄もないのでありますが、從つて經濟上最も有效なる立場に於て本島石炭問題を考究すべきものでありませう。兎に角基隆から臺北に至る鐵道沿線地は元より、南下して造橋方面に至る間にも、各所に炭山稼行の印象を認むることは頗る快感を覺ゆるところであります。斯くも炭山の發達せられたことは甚だ結構でありまして、之れは誠に其道に御關係になつて居ります皆樣方の御盡力の結果であり

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

ます。就きましては幸ひ御會合の機會に於て、私の心に映じて居る次第を赤裸々に申上げて見たいと存じます。偖御當地の炭山は未だ炭層夫れ自身に充分の御研究は著いて居ないやうに思ふのであります、或る方は非常に澤山炭層が互累を成して居るやうに申されまするし、又或る方は二種別に大類して考へて居るやうであります。左程廣大でもない炭田に就きて炭層の狀態が明確に研究せられて居らぬのは、外來者から見て不思儀に感せらるゝのでありますが、地層の變化の著しきことゝ採炭進度の急激なることのために、未だ徐ろに調査を敢てするの餘裕がないことに基因するものでありませう、たゞ實際上の見地から大體二種の石炭に類別せられて居るやうでありまして、其第一は之れは普通の石炭、卽ち柴炭（不粘結性のもの）でありまして、第二は油炭（粘結性のもの）として御取扱ひになつて居るやうに思ふのであります、便宜上結構な事と思ふのであります。處で現今御採掘になつて居るものは主として三尺炭—本層炭と稱せられて居るのであります。此石炭層は天然的に優秀にて特長を占有して居るのでありまして、一口に三尺層と言へば低いのでありますが、實際の働く點から見ますならば敢えて不便を感ずるものはさう多くはないのであります。又三尺と申しましても夫れ以上もあるものが少なくないのであります、稀に五尺も六尺も或は十尺にも上つて居る處のものもあるやうでありますから必しも薄層炭ではありません、內地にも一尺二三寸の炭層を稼行して居る處もあり、英國にては二尺炭位を盛んに掘つて居ります。石炭で一番心配する處のものは磐石でありまして、卽ち所謂上磐、下磐であります。夫れで御當地の石炭と云ふものは此上下兩磐が非常に立派なものと謂つて良ろしいのであります。夫れが爲めに採掘が容易い、內地に於てはあゝ云ふ上磐下磐を持つて居るものは少ない。內地の石炭に御經驗のある方は皆な既に御承知の事と思ひますが、當地の石炭を掘るに就ては磐岩に對して心配が無いのみなら

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

ず、掘つた處の石炭にも砂石が餘分に混入するといふ恐れが少いのであります。丁度正味の石炭をを掘るやうなもので、內地炭のやうに多くの場合洗はないでも、灰分が著しく邪魔をするといふやうなことは無いのであります。本島炭が割合に發熱量を有するといふことも、此邊の事理が與つて因を成して居りませう。夫れでありますから勞働者に對して安全であり、通氣も良く坑內水は多からず、洵に理想的便宜の利を占めて居るのであります。勿論杭木の如きは內地に比して其必要極めて少く立派な運搬坑道さへ杭木を用ひずに濟んで居るところもありますから、結局採炭費なるものは至つて廉價に出來上つて居るので、實に喜ばしき次第であると同時に此天與の恩惠に對して一段の考慮を拂ふべき點があらうと存じます。

そう云ふやうな良い所の炭山に於て夫々經營になつたのでありますが技術上の論及は暫らく措くとしまして一般問題に付きて少しく申上げたいと思ひます。如何んせん炭層が低いのでありますから、三尺の高さを以て居ります本層一坪の面積で三噸の石炭を掘るといふことになるのでありまして、一箇年二百萬噸の石炭產出に對し採掘面積六十六萬坪だけのものは掘る譯でありますから、廣くもない炭層區域の消滅速度は頗る急速であるのであります。況んやそれが全部採れるのではない、各礦所に於ては成るべく餘計に採りたいのは當然であるが、實際に於て採れない、矢張り八割とか、それ以下の採炭能率で滿足しなければならぬと云ふことであります。そう云ふ譯で一層此面積はそれが爲めに減つて行くことになります、そう云ふことを考へますと誠に石炭と云ふものは心細いやうな氣がしないではない。併ながら未だ〳〵新らしい地方が澤山あるのでありますから、未來のある今日に於て敢て悲觀的に言はないで能く將來の策を立てる事が必要である。それに付けても目の先きの仕事ばかりしないで、今の中に改善進步を計り之に對應することが大切なことでありま

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

す。それには本層の立派な石炭よりも、薄層を採つて頂きたいと思ふのであります、此の本層の外に上層炭もあり又下層炭もありますが、餘り之に注意を拂つて居られぬのは遺憾に堪へません。偶々基隆川の沿岸に於て本島人が特に此薄層炭を掘つて居りますのを見たのでありますが、堂々たる事業家方に於ても寧ろ厚い所の石炭のみ掘らないで、薄い炭層をも稼行するやうに心氣轉換をなされては如何でせうか、希くば人のやつてる仕事ばかり見ないで自己獨特の英氣を以て新機軸を發揮すると同時に、互に研究し合つて將來の石炭の量と云ふことの御研究を願ひたいのであります。今のやうな工合では面積がドン／＼減つて居るのでありますが、鑛區と鑛區との境界には相當の保安炭層を存留せしむるの要もありまして、之は場合に依りては全然採炭することの出來ぬ事情に餘儀なくされて居ることもあるのであります。そうなるといふと採炭後の鑛區面積は急減するし、同時に見す／＼放棄する炭層面積も少くないといふことになりまして、結局臺灣石炭鑛業の前途を短縮せしむることの恐れがないでもなからうと思はれます、之は獨り當事者のみならず蓋し國家經濟上非常に不得策なことになるのでありますから、大に識者の研究を要すべき問題でありまして、强ち當業者の利益ばかりを以て論斷することは出來ぬ、卽ち利已本位を以て之に臨むべきものではないのであります。そこで私が思ひまするには臺灣炭山の經營につき今後は益々利害共通の公的感念を發揮せられ、進んで鑛區の合同を計ることになりましたならば、天然資源の保全上極めて善美の效果を擧げ得らるゝことゝ存じます、どうぞ斯かる機運を促進するやうに皆樣方の御盡力を仰ぎたいのであります。もう一つは請負掘であります、請負は結構なことではあるが本島人の請負と或は會社自身が請負て居る所もある、それは便宜の下に行つて居るのでありますが、便宜と言ふて必ずしもそれが方法ではないのであります。便宜は一つの手段であります、手段と方

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

法とは違ひます、其距離が遠いものは成るべく近くすることが必要である、手段と方法とが餘り距離が遠いと云ふことは考へなければならぬ、其點に付ては皆さんに御研究の餘地がないではないかと思ひます。詰り此法律に於ても立法者の精神と其被治者の考へが必ずしも一致するものでもないが、法律は其運用宜しきを要するのでありまして、鑛山もそれと同樣に唯此の手段と方法とが一致しないと、却つてそれが距離があると云ふやうな恐れがあると云ふことを私は申上げたのであります。委しいことは申上げる必要はないと思ひますが、大體論はそう云ふことに御承知を願つて置きまして、大分時間が經ちましたが今暫らく御辛棒を願ひます。

### 三、硫　黄

第三の問題としては硫黄山でありますが、本島に特に有利なる產物であると認めて居ります。どうか本島特有の硫黄なるものを本島の爲めになることは勿論、國の爲めになる樣に善用することを希望するのでありますが、先刻申上げました樣に私は本島を廻りました時に、基隆の肥料會社に行つて見ましたが、臺灣の硫黄は頗る區域が廣くありまして澤山の產出能力あるに拘はらず、肥料會社は臺灣の硫黄を使つて居ないで態々北海道の熊泊のものを遠方から持つて來て居ることであります。之は純精の硫黄ではなく硫黄を含んで居る鑛石であります。北海道の函館の奥の硫黄山から出る所のものを取つて使つて居ります、そんな無駄なことをして居るのに私としては實に意外の感に打たれたのであります。皆さんは疾くに御承知でありませうが、鑛物利源の運用を圓滑にし之に依りて地方產業を發達せしめ國利民福を增進するといふ見地からは、遙々遠方から持つて來て使つて居ることは非常に不思議に見えたのであります。それはどう云ふ譯であるかと申しまするど、結局會社は北海道の安いものを使ふと云ふことに歸着するのであります。北海道から高い運賃を拂つても尙基隆から遠からざる七星山方面に產する硫

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

黄を用ふるよりも有利卽ち安價であるといふことは、事實の問題として吾人の研究を要すべきところであります。畢竟は鑛業に對する努力研究が不充分なるがためでありませうが、私が三箇處の硫黄山を實踏調査しましたところでは、裕に採掘稼行の價値ある鑛山と認めたのであります。そこで今後は此硫黄山を相當資格者の經營の下に、進歩せる技術の應用を以て本島特產鑛業の光彩を放たるゝやうに致したいのであります。政府としても適當なる保護法を講せらるゝの要もありませう、北海道の硫黄鑛を用ひて臺灣肥料製造工業を振興せしむることは困難事と見てよろしからうと思ふのであります、どうしても臺灣產鑛石を利用して、安價なる硫黄を供給し絕對的有利なる肥料を製出することに努むるのが當然でありませう。それで若しも品位の低い鑛石を處理しなければならぬといふ場合には、幸ひ御當地には樟腦油が澤山に取れるのでありますから、此油を利用して浮遊選鑛法なるものを施せば比較的簡單に之が解決を求むることが出來るだらうと思ひます、樟腦油が浮遊選鑛法に極めて有效なることは內地の銅山、足尾・日立を初め幾多の鑛山に於て賞讚せられて居るのでありますから、御手元にある此樟腦油を用ひて硫黄原鑛を處理することは頗る面白い效果を來たすものと信ずるのであります。

私は臺灣產硫黄の用途を慮りつゝ基隆肥料工場を見たのでありますが、硫黄の用途は仲々廣いのでありまして臺灣としては之を農作物保護劑として利用することも亦考へてよからうと思ひます。

譬へば硫黄は果樹、蔬菜の殺蟲劑と云ふやうなものに內地で使つて居ります、當地でも使つて居られるそうでありますが、尙ほ其他に硫化石灰といふて硫黄と石灰との化合したものならば水に溶かしますと番茶の濃いやうな色をして、草山の溫泉のやうな稍臭味ある液體となりますが、之ならば噴霧器のやうなもので果樹等に吹き付けるのであります。內地では靜岡縣が最も多く硫化石灰液を利用して居るそうで、野菜にも亦桑の木にも用ひられるとのことであります。秋田青森等の林檎產地では年々此硫化石灰の需用が增して居るやうに聞ひて居ります。兎に角製法も使用法も簡單なる硫化石灰でありますから、御當地には中央試驗所もあることですし、どうかして此

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

種農業用劑の發達せらる丶ことを切念ゝる次第であります。

甚だ駄辯を申上げるやうでありますが、農業の方で頻りと肥料問題或は甘蔗の肥料或は果物、蔬菜に肥料を與へることに就て深く研究せられて居るやうでありますが、さて稻に肥料をやると米の稔りを良くすると云ふので非常に結構でありますが、出來た所の米は肥料を與へれば與へる程有害物が起り易いと云ふことを考へなければならぬ。申すまでもなく生蕃的に生物を放置してあるものは割合に害物を防ぎますことが出來るが、併し美衣美食に飽きた所のものは僅か許りの天候の變化に依つて自分の體に影響を受ける。植物の如きも肥料を十分にやる―營養を十分にやつたものはそれから得た所のものは必ず外物の爲めに障害を受け易いと言ふことを考へなければなりません。從つて一例を申しますれば柑橘類に蟲が附き易いのであります、內地で吾々が食べた所の椪柑（ポンカン）は當地で食べた椪柑より美味い、吾々が內地で食べたのは概して大きな椪柑の熟した分を食べたのかも知れませんが、聞く所に據れば椪柑には蟲が附くそうであります。其蟲の附かない大きなものを檢査をして內地に送る、惡いものは本島に殘されるといふことになりますと、果樹收穫の效率は甚だ不結果となるのであります、それでありますから下の方ばかり培つて其成育物を保護することを疎かにしてはならぬのであります。此理は獨り農作物計りでなく何事にも同じ道理であらうと思ふのであります。就きましては夫れ／＼政府當局に於かれても、又民間當事者も御研究になつて居られると考へますが、一層私としては蛇足ながら御考慮を願ひたいと存ずる次第であります。

右樣の見地から私は臺灣に於ける鑛業の發達を希念するのでありまして、折角の利源がありましても其用途が保護せられ、其事業が確立することにならなければ、到底健全なる進歩を見ることは出來ぬのであります。そういふところから私は鑛產物の利用を充分たらしめたいと思ひまして、硫化石灰の如きは農業の方にも盛んに使つて貰ひたいと考へます、どうか皆さんに實行を擧げることに御考慮を願ひます。

## 四、石油

第四番目は石油事業であります。石油事業は臺灣は歴史も古いやうでありますが、民間の當事者が進んで當地の石油の爲めに投資して居り、總督府に於かれてもそれ／＼保護の途を採つて居られまして、其結果としまして若干今日に於ては誠に喜ばしき所の效果を示してをるやうに思ひます。此事は皆さんと共に帝國の臣民の爲めに深く喜んで居る所であります、將來益々盛大に發展せらる丶ことを偏に希望するのであります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

出礦坑第三十六號井の出油及錦水第五號井の瓦斯噴出は、正しく臺灣石油事業に一光彩を放つたものと見ることが出來るのであります。由來我邦に於ける油田は海外の産油地に比し多大の産油能力を持つて居るやうでもありませんが、今や國家が多大の犧牲を拂つて獲得したる北樺太油田あり、南は此臺灣に於て新たに噴油を見ることに至りましたことは、邦家のため頗る吉兆とするところであります。況んや御當地は勿論本州に於ても更に研究調査を加ふべきの餘地が決して少くないのでありますから、吾人は一層の奮勉を以て此種利源の開發に努めねばならぬのであります。今回の旅行に於て深く感じましたことは、地表に於ける石油露頭の徴候が著しく各地に散在して居ることでありますが、之は臺灣油田の將來を物語つて居る一種の有力なる現象ではあるまいかと思ふのであります、併し大體論から申しますると石油地の探索は單に地表徴候にのみ依ることは出來ぬのでありまして、彼の背斜軸といひ向斜軸といひ地表岩層の現狀を調査して適當の推論を立つることは當然の筋道でありませうが、地表と地下とは著しく層狀を異にするものがあるのでありまして、地表には凸起狀態を示して居りましても地下には案外平坦なる層狀を成して居るものもありませう、又地上には何等の兆候は無くとも地下には立派なる油層を抱有して居るものもありませう。

大屯山や基隆山の如き火山岩にして地骨を成すものには元より油層を見ること不可能でありますが、水成岩としては表面變動と下部狀態とは自ら差別を生じ易いのでありますから、假りに井の選定に當り地上の表面で、吾々が見る所の山の形と地の底に實際に存する所の地盤の地層と云ふものとは必ずしも一致しないと云ふことは深く考へなければならぬ。ですから地表に向斜軸、背斜軸があつても、地の底は必ずしもそれが發達して居るものとは申されないのであります。上の方は荒浪があるとも下の方は波動が少いといふやうに、種々の變化があることは充分

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

考慮すべきでありませう。何分地殼の異動は種々の原因に由り大なる壓力を受けながら、岩石等の固有せる彈力性其他の事情の下に、夫れ〳〵層狀を變化するのでありますから、決して一概に判斷することは出來ぬのでありまして、之には學理と經驗と相對照して嚴密なる研究を要するのであります。

米國では「ヴァイルド、キャッチング」掘と申しまして、冒險的鑿井事業を行ひつゝ成效せる實例は多々あるのでありますから此點から見ましても石油事業は表面兆候にのみ因ることの出來ぬといふことになるのであります。

それから又瓦斯のある所から必ず石油が出るとは言へない、瓦斯と石油とは或は反對の徴候がある、瓦斯があつても石油の出ない所もあると思ひます。一體非常に高い溫度と高い壓力の下には、總ての物體が瓦斯狀態になることは物理學者の論ずるところでありまして、地球の中心部は是等瓦斯體に依りて充滿されて居るのであります。それでありますから若し瓦斯體に變化し易いものであるならば、夫れ程の高熱高壓たらざるまでも其存態を變化することは寧ろ見易き道理でありませう、況んや石油が地下に生成されたる當時とは幾多地殼の變動を受けたる現代に於ては、或は瓦斯と石油との連絡が餘りに遠ざかつて居ることもありませう、私は石油地質等には深き智識を有しませんので、幸ひ今回日本石油會社の池上理學士が此方に御出になつて居られますので一つ敎へを仰ぎたいと考へて居りましたが、不幸にして同氏に會見することが出來ません、同氏は今蕃界に這入られて油田の調査をして居られるのであります、何れにしましても石油竝に瓦斯は有用なる燃料でありますから、兩者共に關連して之が開發の實效を期するやうに致したいのであります。

以上臺灣油田につき聊か卑見を申述べたのでありますが、併せて一寸御話申上げたいことは、亜米利加に於ける深掘作業であります。最近私の知りましたところではカリホルニア州に於て七千五百尺の井

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

戸を掘つたのであります、即ち一千二百五十間の深さを掘つたので、之れが恐らく世界の最深井でありませうが、昨今油が出て居ると云ふことであります。日本は越後地方に於て千間掘りを行ふと云ふことでありますが、千間でなくても西山油田は七百五十間で新らしい油層に達したと云ふことである。此深掘法の有效なることは越後に於て證明されて居りますから、今後我邦採油界には益々此作業を擴張するの要がありませう。寧ろ將來は深掘法に依りて産油の計畫を立つべきものでありませう、從つて御當地に於ても適當の機會に於て深掘をすることが必要であると思ふのであります。夫れに就きても石油事業に對しては業務當事者の强き意圖に待つことは勿論でありますが、政府當局に於ても亦相當の保護法を以て、之を奬勵せらるゝやうに願ひたいのであります。

## 五、砂金

第五は砂金であります、之れは特に皆さんに申上げたいと思ひます。本島は此金の鑛物と云ふことに就ては、非常に因緣の深いやうに考へるのであります。現に臺北の平野は砂金の地方があるやうであります、宜蘭の方面に於ても砂金の地方があると云ふことである。私は實際に通りました東臺灣に於て一種の感想に耽りつゝ南の方から海岸を駕籠に乘つて北進しつゝ見た所で、海岸の斷崖を成せる岩石の中に恰かも牛肉の脂身のやうな硅石筋が非常に多く縱横に瀕在してをるのを認めたのであります。之には何か金屬鑛物が伴はれて居らぬであらうか、殊に金は考ふべきものではないかと云ふ概念を抱いて、更に臺東から花蓮港に來たのであります。花蓮港のタツキリ溪に砂金地があるといふことは豫て聞いて居りましたから、往復一日を費しまして現場視察に赴いたのであります。幸にして官廳より特別の御保護を得まして、聊か研究を試むることが出來たのでありますが、此地方には嘗つて藤田組、久原鑛業會社、三菱會社といふやうな大鑛業家が鑛山探險に着

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

手せられたことがあるのであります。そこでタツキリ溪に於きましては暴風雨のあつた後に本島人が爭つて海岸の砂金を採集するとのことで、多いものは一人で三十匁も拾つたものがあると云ふことであります。事實上に於ても先年來の歷史に依りますと云ふと、一箇年を通じて相當の金を實際に拾つたと云ふことが、官廳側の調査に依つて明かになつて居るそうであります。最も之れは海から押し上げられたとか或は汎濫せる河流のために流し出されたとか、兎に角に暴風雨の直後に海岸から採つたといふことで、其砂金は果して何地より來りたるものなるやの探究は、未だ深く遂げられて居らなかつたやうであります。先刻も申しました如く、私は東部臺灣の岩石には金屬質鑛物が在らうと察しましたと同時に、往時の河床たりし高臺地を目撃しまして、此兩者間には砂金產地に關する何等かの連絡があるのではなからうか、早く申しますると高臺地が砂金を含有して居るのではなからうかといふ疑を抱ひたので、幸ひ花蓮港に於て現狀を見たのであります。初めは專ら川底と云ふやうな所に案內されたのであります、そこで現在流れて居るタツキリ溪の河原に於て、四五箇處の砂を洗つて見ましたが、之は元より問題にはならぬのであります。恐らくば溪底砂礫の下部にも砂金はありませうが、鑛業上から見まして私は方向を轉じて高橋總督府技師と共にタツキリ溪放流口の海岸に存する昔時の河底にして、現今原野となり一部分開墾せられて居る高臺地の調査に進んだのであります。丁度研海支廳派出所の下の海岸地でありまして、最初は畑の表土を採り更に三尺計り地下の土を採り尚五尺以下八尺以下といふやうに、都合四箇所の土砂をば夫れ〳〵場所を換へて凡そ二三十貫づゝ採つたのでありますが、之を本島人の使ひまする砂金採收器にかけて洗つて見ましたところが、何れも砂金の存在を認めたのでありまして、寧ろ其含有量の多大なるに驚いたのであります。畑や原野の內に砂金を存有するといふことは一寸可笑しいやう

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

に感ぜらるゝかも知れませんが、昔時の河床といふ見地からは少しも疑ふことはないのであります。亞米利加のカリホルニア洲では山奥の高地から大規模で砂金を採つて居りまするし、幾多の實例は之を證據立てゝ居るのでありますから、私共はタッキリの實地踏査に於て非常なる興味を感じたのであります。暴風雨の後に海岸から砂金を採るといふが、或は此種昔河床の土砂が崩壊して其内の砂金を遊離せしむるものではありますまいか、兎に角理論上から考へましても將又實地調査の成績上から見ましてもタッキリ溪口の臺地は正に砂金産地と見ることが出來るのであります。私共の實踏しました土地の面積は約二百五十町歩あるとのことでありまして百貫目計りの土砂から採りました金から推論しますと、實に莫大なる砂金を含有することになるのであります。たゞ私共は時間の都合で單に簡便なる調査を試みた計りでありますから、數字的に申上ぐることは出來ませんが、將來鑛産地として大に價値ある目的地であらうと思ふのであります。就きては各位に於かせられてもどうか此新富源地に向つて適當の御盡力あらんことを切望せざるを得ぬのであります。果してタッキリ臺地が砂金産地といふことになりますると、私は東部臺灣に於て此種高臺地が本邦唯一の砂金産地として、將來大に發達すべき機運を誘致するに至るものがあらうと存じまして、實に欣快の情に堪へぬのであります。聞くところによれば宜蘭地方竝に基隆地方に於ても高地に砂金を産するものあるとのことでありますから、いよ〳〵以て砂金事業は臺灣に取り極めて有力なる鑛業を成すことが出來るものと信じまして、帝國のため洵に心强く存ずる次第であります、希くば總督府に於ても此方面に向つて一層の指導奬勵を與へられたいと思ひます。私は今回の旅行に於て澤山の鑛業地を拜見致しましたが、砂金事業は將來大に發達すべきものであつて、臺灣が此大富源地を有するといふことは私の腦底に深く記念して私かに樂みとする次第であります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

## 六、鑛物の分布狀態

以上申述べましたことが私の鑛業視察管見でありますが、まだ／＼臺灣には有益なる鑛物の存在がありませう、現に山下君から聞く所に依れば臺灣には明礬石が多量に存するといふことでありまするし、私も金瓜石に於て之を認めたのであります。其他東部臺灣の未開山地には銅鑛や亞鉛鑛・鉛鑛を初め追々と發見せらるゝものも少くないであらうと信じますが、大體以上申上げました範圍に於ての所見と致します。要するに臺灣の鑛產物は其分布の狀態を二大別して宜しいと思ひます、一つは有機物の分布する所の區域で、石炭・石油・瓦斯と云ふやうな若くば非金屬、硫黃のやうなものが存在する所の區域でありまして、之れは最近に於て最も顯著なる發達を示して居り、卽ち西部臺灣地帶であります。もう一つの方は東部臺灣でありまして、此地帶は西部に比して地質が古いやうであります、それで西部には石油・石炭等の鑛物が存在するが、東部の方では寧ろ金屬質鑛物が伏在するものと考ふることが出來やうと思ひます。只今のところでは東部臺灣の山地が未開のまゝで交通等も至つて不便でありますけれども、軈て金屬鑛物の開發に依りまして地方の形勢を一變し、資源地として面目を一新するの機會も遠くはあるまいと存じます。由來鑛業が國家的重要の事業たることは申すまでもありませんが、內地は勿論北海道・樺太・朝鮮・滿洲竝に御當地の實例から見ましても、鑛業は地方開拓の先驅者であり又誘導者であるので、東部臺灣も亦此例に由つて必ずや地方繁盛の時運に到達するであらうと思ふのであります。

一寸玆に附加へて申上げますことは臺東から花蓮港に至りまする縱貫鐵道線の東部卽海岸に面じた方の土地には、第三紀層の地質が現はれて居りまして、之には石炭や石油の露頭が見へて居るやうでありますから、此方面に於ても亦西部臺灣の如く有機質鑛物の存在を知るのであります。たゞ其量が果して大なるものなるや否やは疑問でありますが、決して等

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

閑視すべきものでもなからうと思ふのであります。殊に臺灣に於て中央山脈を界として其東西兩地に石油を存有するといふことは、私共の鑛業研究上非常に面白い事柄でありまして、本州にては從來專ら秋田・山形・新潟といふやうに日本海方面に於て石油事業の發達を見たのでありますが、中央山脈の東部卽ち宮城・岩手・福島の地方にも石油がありはせぬかといふ大きな問題に付きて一つの對照的參考ともなることであらうと存じます。

臺灣鑛業に關しての御話しは是位にして止めて置きたいと思ひますが、要するに臺灣現時の鑛業は未だ倘極めて幼稚なるものでありまして、所謂生れて間もない發育盛りの時代に在るものと見て宜からうと存じます。從つて將來は大に奮勉努力して立派なものに仕上げることが大事でありまして又强き樂みを持つて居るのであります。

私は今回の旅行に於て臺灣の鑛業の將來あると云ふことを深く感得して欣喜に堪へないのであります。北海道の例を以てしますと、能く鐵道の開けません北見の國にドン／＼新らたなる所の鑛物を發見されて居ります。北海道の方は運搬及物資其他の不便がありましたので充分に發達し得なかつたのでありますが、鐵道の開通と伴つて最近澤山の金山の發達を見つゝあるのであります。久原・藤田鑛業會社とか其他の資本家が追々と投資して近年著しく金山が開發されて居ります、北海道の實例に於てさへ相當の年月と相當の助長方法を施さなければ出來ない、まして開拓年月の淺い而かも生蕃人の未だ全く歸順し盡さゞる、臺灣地方に於ては仲々急速の進步を見ることは出來ないことでありませう、矢張相當の年月と相當の補助方法を以て最も適當なる所の機關を充實しなければ出來ないことでありませうが、然し今日の時勢に於て必ずしも北海道のそれの如く時節を待たず、今までの歷史經過に鑑みて將來の實績を擧げることに一層皆さんの御盡力を望まなければならぬのであります。甚だ長くなりましたが私は

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

鑛業の發達に付きましてもう少し話をして見たいと思ひますから御許を願ひます。以上申上げましたことに付て將來はどうなるかと言ふ問題であります。

## 七、結　論

將來の問題に就ては色々の方法もあります、政府當局に於かれても適當なる保護奬勵の途と言ふものを第一に立てゝ貰はなければならぬ、それには種々の方法がありませうが、短時間に申上兼ねますから思ひ付きましたまゝに申上ぐることに致しませう、極く縮めて申上ることにします。

第一は鐵道運賃であります。鐵道運賃は鑛業の發達上に非常なる影響のあることは申すまでもありません、米・砂糖・其他の農産物に就きても鐵道運賃は大切なる經濟關係になるのでありませうが、鑛産物は概して一噸當りの價格が安いのであります。

石炭の如きは一噸の價格が拾圓か拾圓足らずのものでありますから、之を値段の高い物資と同一率の運賃を以て輸送するといふことは、鑛業發達上非常なる痛苦とするところであります。私は内地に於ても同様意見を以て時に當局者に熟考を促して居りますが之れは内地の鑛業者と共に御研究になる問題だと思ひます。御當地では先刻申上げました通り石炭に對し比較的便宜の利を占めて居らるゝのでありますから、此有利なる資源を善用して臺灣に於ける諸般産業の發達を誘導するといふことは植民地政策として大に採るべきの途であらうと思ひます。南臺灣では臺北、基隆の石炭が出ながら誰れも使はない内地の石炭を使ふ方が安くなる、何となれば基隆方面からの運賃が四圓五拾錢、五圓位もかゝるのであります、二百三十哩か四十哩位の距離に於てそう言ふ風に高い運賃を拂はなければならぬといふことは原價の安い石炭に對して極めて重大なる負擔となるのであります、論は別としまして私は鐵道運賃の低廉なることが、鑛業發達上最も有効なりといふ單純なる見地より切に之が研究否實現あらんことを希望するのであります。

亞米利加あたりは鑛產物の運搬の方法は徹底して居りまして、距離により又運ぶ鑛物の品質價格等に依りて運賃が變動されるのであります、銅鑛でも亞鉛鑛でも其品質の良否卽ち一噸當りの價値如何によりて運賃率が高下されるのであります。之は鑛物卽鑛產物に對して餘程善意の諒解を有つた結果でありまして、立派な保護獎勵法となるのであります。我邦に於ても軈て米國のやうになりたいものと深く期念して止まない次第であります。

尙ほ一例を申上げますと鑛業の行政機關であります。今日現在の總督府に於ける鑛業行政機關は頗る貧弱のやうに察せられるのであります。世界の平和復興と共に鑛業の隆盛を計ることを希望するといふ單純なる立場から申しますれば、鑛業の行政機關をもう少し擴張して戴きたいやうな氣がするのであります。其の方法に付きましては種々ありませうが、從來のやうな風になすのは必ずしも良い方法であるとは思はれません。もう少し之を改造して組織的に有力なる機關たらしむるの方法を採ることが必要でありませう。私は專ら鑛業的の見地から之を希望するのでありまして、どうか近き將來に於て改善せらるゝやう願ひたいのであります。今日の行政機關其まゝでは單に鑛業事務を處理するといふ位のものではなからうかと思はれます、指導獎勵の最も大切なる鑛業界の現狀に於ては、行政機關が充分なりと申す譯にゆかぬだらうと思はれるのであります。內地には鑛山監督局もあり、夫れ／＼監督されて居りますし、內地の鑛業は元は政府がやつて居つたのでありまして、卽ち三池とか高島とかいふ炭礦は初めは政府がやつたのであります、夫れから佐渡の金山・小阪鑛山・足尾銅山・生野の銀山と云ふやうなものは皆政府が行つたのであります、政府が先きに立つて其範を示して後に之を民間事業家に委ね以て今日に及んだものであります。然るに當地では一足飛びに鑛業家が其重大事業に當るといふことになつて居りますから、政府當局に於かれても特に保護獎勵の便宜

を講せらるゝことが必要であらうと思ひます、今日では時代が進歩して居りまするし、事業家も强き見識なり深き經驗等を有せらるゝ場合に於て、必ずしも手を曳き足を扶くるといふやうに援助の策を講ずるの要もありますまいが、併し本島の如き植民地にして特殊の使命を帶びたる領土の開發に關しては格別の考慮を拂はねばならぬのでありませう。

それに內地では獨り行政機關のみならず、鑛業の促進に付きては或は學校とか或は智識階級の人々とが間接直接に之が便宜を與へ得ることになつて居りますから、之に依りても事業上多大の力を添へられるのであります、然るに臺灣に於ては鑛山に關する學校はなし、田舍では鑛山に關して智識經驗に富んだ方もありませんから、內地に見るやうな鑛業上促進の便宜は極めて乏しいのであります。それでありますから一にも二にも中央官憲の行政機關に縋らねばならぬことになるのでありまして、從つて適當なる組織の下に行政機關の擴大されることを希望する次第であります。

保護獎勵の方法に付ては大いに行つて貰はなければならぬ譯でありまして、金の事に付きましては一層徹底的に獎勵せられたいと思ひます。政府—官廳が直接どうこうと云ふのではありませんが、政府に於て適當なる補助獎勵の途を講せられることを御願ひするのであります。

先刻も申上げました通り臺灣の鑛業は大に未來を期待するのでありまして、金の如きは頗る有望と信ずるのでありますから、どうかして之が顯著なる發達を望むと同時に、政府として金の獎勵を實行せらるゝやうに願ひたいのであります。其方法の一としては金に對する鑛業稅を全廢することも或は機宜の策ではありますまいかと思ふのであります。

尙ほ鑛山に對しまして獎勵の方法の下に低利資金融通の法を講せられ、金利は(私は餘り能く存じませんがどうか植民地の金利は高いと聞いて居りますが)成る可く安くして徒らに資金の固定することを

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

避けしめ、圓滑なる事業の遂行を期せしむることに致したいのであります。併ながら吾々は全然官廳とか政府に望むのではないのであります、其事業に直面する方々に於ても克く其責務を守ることが肝要でありまして、鑛業家たるの使命を全ふすることに深く注意せねばならぬのであります、決して單純なる利益本位を以て行くべきものでない、此點に付きましては皆さんと共に強い觀念に立脚致したいと思ひます。此前提がなければ鑛業の發達は望まれない、國家の福祉を增進することは出來ないと思ひます。でありますから此見地をどうか充分に御理解なされて、決して人のことを兎や角と申すのではなく、其精神に於て互に助け合ひ補ひ合つて所謂共存共榮と云ふことに努めなければならぬものと思ふ。共に相融和して社會に立つて行くのであるならば、宜しく弱きを助け強きを助長すると共に、大いに共榮の途を進むるのが大切でありませう、さう云ふ意味に於て若し利益を本位とするならば、先刻實例を申上げました通り、鑛業は行らない方が宜いと思ひます。鑛業を利益本位で行るといふならば、石炭にしても撫順邊から持つて來た方が安く買へる、或は撫順でなくとも、支那から持つて來た方が遙かに安い、又其他のものでも亞米利加あたりから買へば日本よりは安く買へるものが澤山有る、さうすると鑛業と云ふものは止めて輸入するのが一番宜しいが、さう云ふことは言ふまでもなく事實に於て許されないことであります。皆さんも御承知の通り今回の議會に於きましても特に大切なる鑛業と云ふ見地から保護の方法が設定せらるゝことになり、之に依りて產業獎勵の途を立つることになつたのであります。さう云ふ如うな譯で、石油の問題にしましても補助をやると云ふ方法が研究せられて居るのであります。さもなければ亞米利加、墨西哥方面から幾らも買へるのであります、何も國民の金を拋つてまで補助しないでも宜いのであるが、夫れでは國家が成り立たないので、識見ある方々は夫れ〳〵重要問題として考

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

盡せられて居るのであります。

一方に於ては國家が之を奬勵する爲めに國民の犧牲を拂つてまでも力を盡すのに對して一方に於て單に利益を目的に經營するといふことは甚だ遺憾事と申さなければなりません、斯くては鑛業上の魂が這入らない次第であります。畏くも聖武天皇の時代に年號まで御改定下されたやうな尊い所の歷史のある關係からしまして吾々は恐懼せざるを得ないのであります。私は徒らに議論をするのではありません、利益を以て立つ事業でありますから、之を計るは當然でありますけれども一般公衆の利益を考へ國民の幸福を考へなければ徹底せる國家事業ではないのであります。其處に私は公平なる且眞正なる所の理解を見出したいと思ふのであります。就ては鑛產物の發達を計ると同時に鑛產物を安く出すといふことを考へなければならぬ、鑛產物を餘計に出して高く賣るやうなことを考へてはならぬ。日本の鑛業は國家の福祉を增進するやうにならねばならぬのであります。ところが往々にして日本の鑛產物は海外の夫れよりも高價なる嫌ひがあります、例へば石炭は亞米利加より一噸先づ五、六圓は高いコークス等も亞米利加では十二、三圓で出來るのであります。鐵にしましても同樣で、其生產費は到底米國や獨逸あたりの大量生產國と匹敵する譯には行かぬのであります。そこで政府としても保護法を以て之が奬勵に努めて居らるゝのでありますが、其根本問題は別としまして、苟くも保護法なるものは永遠に持續さるべきものではないのであります、寧ろ一時的の便宜法に他ならぬものと考へて宜からうと思ひます、して見れば吾人は此保護法を截きて一時も速かに堅實なる鑛業を速成することに奮勉せねばならぬのは當然の義務であります、決して被保護者の位地を以て甘んずべきものではありますまい、兎角日本の鑛產物は他動的に其經濟を云々するの傾向があるやうでありまして、同樣のものを海外に仰ぐとして其運賃や關稅其他を見越して採算するといふ風に算盤勘定を以て

商買的に打算するの嫌ひがあるやうであります。之は世界の利害が漸次共通化し來りたる今日に於て止むことを得ぬ現象でもありませうが、せめて獨立不羈の位地に立ちて鑛業の國家的資格を保全することの出來るやうに致したいのであります。

本島の如きは本島特有の長所があるのでありますから、其特長を善用されたならば鑛業上稗益するところ甚少くないと思はれます。勞力は豐富である、炭山の上から申しても炭層の地盤が堅い、基隆まで持つて行くには近い、其他石炭の質も本當に宜い、そう云ふ特別な又氣候の關係から申しても寒暑の差別が甚しくありませんから操業上の便利は到底內地の比ではありません、斯かる特長があるにも拘らず案外に之が善用せられて居らぬといふことは大に遺憾とするところであります。或は私の觀察が誤つて居るかも知れませんが、若し誤つて居ないならば臺灣鑛業界のため大に反省を促したいのであります。之れは多く言ふ必要はありませんが、假りに一例を以て申せば、折角安い石炭で先刻申したやうに優勝の利を占めて居る鑛產物でありながらそれを安くして居ないで、反つて高くして居りはすまいかと疑ふのであります、果して安く出來るならば其安い所の石炭を以て殖產工業を起す途があると思ひます。

亞米利加は石炭が安いから殖產工業が起つて居るのである。機械工業、電氣工業、鐵道、或は自動車製造を以て著名なる「フォード」工場の如き何れも世界的權威ある事業を敢行し得るところのものは石炭の安價なる供給が大原因をなして居るのであります、それであるから總べてのものが安く出來るのであります。臺灣に於ても天惠的に安い所の石炭が出ながら、其安い石炭を充分に利用されないで、殖產工業と云はれても未だ何等具體的の發達を見ることが出來ぬのは頗る殘念に堪へぬのであります。或は臺灣には格別殖產工業の餘地はないではないかと言はるゝ人もありませうが、そういふ論者には敢て耳を籍すの要もありません、私は有利なる石炭があるなれば必や生產工業を勃興し得べきものであると信ずるのであります。どうも我邦人は自己を尊重して

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

**自奮自鬪的に努力することが或は歐米先進國に劣るものがあると同時に、徒らに人を責むるといふ卑怯心があるのではないかと自分自らも恐れて居る一人であります。**

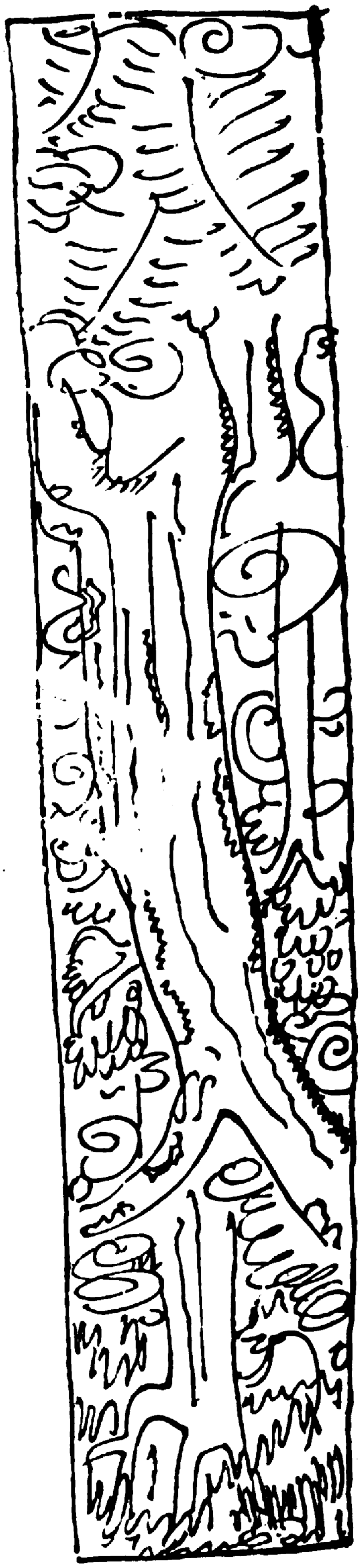
克く申すことですが田舍の旅館に泊つて厄介なことは茶代だと言ひますが、何も苦んで茶代を心配することはなからうと思ひます、不愉快の感じを覺へぬやうに自ら適當の方法を取れば宜ろしいではありますまいか、そこで此事業の如きも發達の途はあるではないかと思ひます。早い話が八幡の製鐵所に就て考へますと鐵一噸に要する石炭を三噸乃至三噸半と見て居りませうが、其石炭が若し一噸に付き貳圓の開きがあれば七圓の相違がある、參圓の開きがあれば拾圓五拾錢の違ひがある、四圓の開きがあるなら拾四圓の開きが出來ます。これは製鐵上に付きて重大なる問題でありまして、安い石炭を用ふることが出來るならば鐵も亦安價に生産し得るといふことになるのであります。そうすれば當地方の如き、或は製鐵事業を起しますには安い石炭を利用することが出來ると考へて宜いと思ひます。強ち安價な石炭を其まゝで對岸の支那方面に賣却し去るのが得策でもありますまい、此天惠的に得る所のものを善用したならば必や經濟的に勝利を占むるの途があらうと思ふのであります、況んや當地に於ては石灰石が多い、製鐵の上に於て必要なる石灰石が澤山あるのであります。花蓮港・蘇澳の附近に澤山あるのは特に良い石灰石であります、そう云ふやうな石灰石に加ふるに製鐵上必要なる耐火粘土にも乏しくないと思ふ、若し鐵鑛に不足を感ずるなれば、それこそ對岸の厦門方面から之を輸入しても宜からうではありませんか、斯く考へ來りますると興すべき事業は決して少いとは謂はれません、どうか其邊にまでも皆樣方の御研究を願ひたいのであります。私は製鐵所を起せとは申しませんが、斯う云ふやうな研究をする餘地が澤山あると云ふことに就きて御一考を煩はしたいのであります、斯の如くして鑛産物の力に藉り吾々國民の福祉を增進することになりますれば是程愉快なことはないのであります。

尙ほ此機會に於て皆さんに一寸申上げて置きたいと思ひますのは、詰り鑛物を大切にしなければならぬといふことであります。鑛物を粗末にせず苟くも遺利なからしむるやうにすることが大切であります。假りに石炭に付きて申しますれば惡い石炭を掘らずにたゞ〳〵良い石炭ばかりを掘るといふことにしますと、後日に於て惡い石炭を掘ることが不可能になつてしまうのであります。大根は大根ばかりでは美味くない、魚もなければならぬ、又魚も同樣に魚ばかりでは不味い、矢張り大根なり何なりなければ巧妙く調理されるものではない。石炭も良きも惡しきものが併ひ立つてこそ初めて鑛物の利用が完美せらるゝのでありませう、良いものを掘つた後に惡いものを掘ることは人情に於ても掘れるものではない、從つて鑛利を毀損することになるのであります。其點は大に考慮すべきものと思ふのであります。私が明治二十六年に學生で……大學の三年生の時分に岩手縣の釜石鐵山に研究に參つたことがあります、其時に横山久太郎と言ふ我邦製鐵業に非常な功勞者であり、後に擧げられて貴

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

族院議員ともなりました御方に就きて色々と教を仰ひだのでありますが、或日横山氏に伴はれて工場を巡覽しました時に、途上一塊の鑛石が落ちて居りましたのを自ら拾ひ上げまして、之を手にしながら大切そうに持たれまして總て鑛石の澤山積んであるところに之を置かれたのであります、私は其當時横山氏の擧動を見まして深く感激したのであります、たつた一塊の鑛石たりとも之を空ふせざるといふ尊い感念があればこそ横山氏が遂に釜石製鐵所を守り立てることが出來たのでありまして、私は書生時代から今日五十六歳に至るまで深く自己の戒めとして之を記念して居るのであります。又先般歿せられた村井吉兵衛氏がスコツトランドのグラスゴーで或大きな會社を訪問されました際に、會社の社長と令孃と一緒に伴つて案内をされましたところ、偶々歩いて居ると鐵の釘が一本落ちて居つた、すると其釘を社長が拾つて孃さんに渡した、孃が其釘を事務員に渡したのであります、大きな會社の何千萬圓と云ふ大會社の社長が釘一本をどうなさるかと村井さんが聞きますと、それに答へて曰く「自分自身は慾望として何等不足はない位の力を有つて居るが今拾つた釘は會社の釘である、多數の人が株を出して居る所の會社の品物である、自分一人の意見で如何とも出來ない、一本の釘でも會社に渡したのである」と言はれたそうです。それに對し村井吉兵衛氏は成程と云ふて一段とそう云ふことに趣味を有つて居られたと云ふことを聞いたのであります。洵に美談でありまして、所謂事業家の態度は然るべきものであらうと思ひます、斯くありてこそ事業は絕對行爲の下に立つことが出來るのでありまして、眞に心血を注いで居るものが容易に外物のために動かざるゝやうな商買根性に支配されることはないのであります。そう云ふことから私は結局此鑛業と云ふものは國家的觀念の下に我國の發達を計るべきである、而して之れに對し官民共に相提携して進むべきものと思ひます。而も吾々は吾々の現在の慾望を目標としてのみ進むべきものではありますまい、吾々は自己の存在を安固たらしむべく最善の方法を講ずることは無論でありますが、子々孫々に傳ふべき國家の福祉を忘るゝの權利は有して居らぬのであります、國策と申しましても決して一時的の物語に終るべきものではありません、國家卽ち永遠に存續すべき民族のために計るべき大策であるのでありますから、吾人は一層に鑛業使命のため奮勉戮力しなければならぬ次第であります。

甚だ長たらしく申上げましたが、私は幸ひに皆さんに親しく御目に掛かる機會を得ましたので自分の胸に迫まつたことは遠慮なく赤裸々に申上げたやうな次第であります。從つて或は語路錯綜し、秩序が亂れて極めて御聞き苦いことであつて、徹底しない所もあつたと思ひます。要するに鑛業は國家的に大切のものであると云ふ觀念に基いて、聊か自分の所感として本島の鑛業社會に對し將來に望む所の一端を申上げる御許を得たことを、私として愉快に堪へないのであります。まだ〱申上げたいと存じますが、何れ他の機會に讓ることに致しまして、之れを以て會の方から御觀誘を受けました使命を終りたいと存じます。（三月十四日臺灣鑛業會にて）



# 印度支那の旅より（三）

S・I・生

## 河內より西貢へ

河內＝西貢間陸路行程約一七六〇基米。內鐵道區間九一〇基米。自動車區間約八五〇基米である。これを日本の里程に換算すると、全程約四四〇里でその內汽車と自動車の區間が略相半ばすることになる。四四〇里と言へば大體に於て青森＝下の關間の距離に相當するのだが、河內＝西貢間の旅程は途中見物又は靜養を一切ぬきにして勿驚六日の日子を要するのである。野暴な言ひ草ではあるが文明開化の今日この頃噓のやうな眞の話である。加之、途中一二の都會を除くの外、旅館らしい旅館は求むるに由なく總じて、アンナミット經營のバンガローのみで、一塊の麵麭、一杯の葡萄酒も心のまゝに任せない。唯到る處ふんだんにあるものは

あな畏ろしのビュネーズで、一夜の宿に却つて旅の疲れを增すのみである。蒙古、西藏邊りの山奥の旅ならば聊か恕すべし、文明の本家、文化の泉源を以て自他共に許す佛蘭西共和國の虎の兒、印度支那の大動脈、大幹線の縱斷旅行としてのこの爲體に至つては斷じて勘辨がなり兼ぬるのである。

さるにても世の諺に寶の持ち腐れといふことがあるが、印度支那を旅行してこれ程如實に覿面に痛感する事柄は無からうと思ふ。若夫れ空家の庭に結實る林檎を羨む隣人のさもしい心理狀態と頭から片附くるに至つては、この上もない曲解と謂はざるを得ない。論より證據、耕地を見よ、森林を看よ、果して天惠が利用せられてゐるかどうか。山を見よ、河を看よ、果して地の利が善用せられてゐるかどうか、そんじよそこらの眼に觸るゝもの悉く消極一點張りで毫も積極的努力の注がれた形跡を認め得ぬのである。

中北部の安南沿岸一帶を通じ、一眸幾十里の坦々たる肥沃の耕地中、金の生る木を植付けたのはほんの一部分に過ぎないのである。千古斧鉞を入れざる無限の大森林は、空しく猛獸毒蛇の跳梁に任せてあたら立ち腐れの有樣である。自動車區間、人車諸共渡船に客となつて欸乃面白く悠々渡河すること前後十數回、その都度早きは半時間遲きは二時間を空費するのである。若夫れ、洪雨連日にして水嵩幾倍、流れ急を告げんか、河止めのお達示あるは必定。對照が自動車だけに又なき茶氣を味ふことが出來やうと思ふ。

以下、河内より西貢への沿道、旅の印象記をそこはかとなく述べることゝする。

## くろがね一と重が春と秋の境

河内＝ベン、チユイ間は西貢に到る第一鐵道區間で、延長三二六基米五縣の首府を連絡する主要線である。全線一日二往復で約十二時間を要する。西方ダイ連山の支脈を望む外沿道形勝の見るべきものなく、概して坦々たる耕地のみで、此處彼處鬱蒼たる竹藪の集團に依つて土人部落の存在を示してゐる。鐵道沿線一帶は

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

比較的耕耘行屆き、白の手拭赤襷、婉なる我が早乙女に比すべくもないが、腰も露はに甲斐々々しく稻苗植ふる安南乙女の姿も亦僅かに捨て難い田園情緒の一つである。

車窓を通ふしてあかず、この妙なる景趣に見惚れつゝふと眼を反對側に轉ずれば、こはそも奈何、萬頃一帶、見渡す限り黃金の波が漂つてゐる。言はずと知れた、時は正に稻の收穫期である。若い夫婦は野良に、年寄つた兩親は留守居に子守に、安南とても農繁時の一家分業には變りがないのである。

印度支那の米作が二作三作とは兼て聞き及むだことではあるが、僅か鐵道線路一筋を距てゝ右が春の植付時、左が秋の刈入れ時とはさても想像の外であつた。溫帶米產地に育つたわが身の寡聞を深く恥入る次第で、袖萩の文句にあやかる量見で、この垣ならぬくろがね一と重が……春と秋の境などてれて見た所で頓と冴えきらぬ次第である。

## 安南王國の都ユエ

河内を出發點とする第一鐵道區間の終點ベン・チユイよりドン・ハに到る二八九基米は最初の自動車區間である。專用車以外、一日一回發著の郵便車がある。豫定表では早朝出發夕刻到著の筈であるが、渡船その他の關係で六七時間遲著するのが常例であるといふ。沿岸は平地丘陵相半ばし海岸地域を除くの外、車中の徒然を慰むべき何物も見當らない。この區間は縱斷鐵道の第一期計畫線に屬し、戰前起工、地均工事も餘程進捗してゐるが、軌道敷設橋梁工事は全然未著手のまゝ放擲されてゐる。新聞では完成近しと宣傳大に努めてゐるやうだが、事實は左樣なわけに行くまいと思ふ。

第一自動車區間の終點ドン・ハよりウエ經由トウランヌに到る一七五基米は第二鐵道區間である。この區

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

間中旅行者の見逃がすべからざる場所は安南王城の所在地ユエ市である。市はユォン・ギャン河の上流、海を距る十二基米の地點に河を挾むで位置し、人口四萬五千、官衙・學校・病院・邸宅等は右岸に、王城及商店・會社等は左岸に占位し、クレマンソー橋を以て兩岸を連絡してゐる。

ユエは第十七世紀末より安南王國歴代の首府で、現王城の城砦は一八〇四年に竣工したものである。榮花の夢は短かつた。束の間であつた。人道の荒浪は寄せては捲き、捲いては引き、飛沫奔放、長へに安南王室をして太平の酣睡に醉はしむべく餘りに急激であつた。旅人をして懷古の情に堪へざらしむる廢墟殘跡は、日ならずして歴史の塵に埋め隱さるゝであらう。孤影悄然浮き雲の如き帝王の幻影は正にユエ宮殿内に流離してゐるのである。殿堂輪煥の美は今なほ昨の如しであるが、何ぞその森閑たるの甚だしき！………

尸位帝王の遺る瀬なき無聊を慰むべく四圍の固め嚴しき王城の奥深き所、綠蔭重疊晝なほ暗き廣大なる秘苑の裡、果して何事が如何樣に行はれたであらうか………這般の消息に就ては揣摩臆說とはいゝながら世間の噂は餘りに多くを穿つてゐる。遜莫、先帝崩御の後を承け、幼帝踐祚し給ひ目下巴里御遊學中のこと、て、かゝる詮索は全然無益であらう。

## 山又海。野に虎を見るの記

トウランヌ＝ニャトラン間五五八基米は第二自動車區間で、西貢旅程中に於ける旅行氣分の最も濃厚な地域である。忽ちにして山、忽ちにして海、車窓の送迎眞に暇なしである。海拔幾千米、巍峨たる山巓にタイヤを軋らせては、萬仭の谿間遙かに展開する漂渺たる南支那海を俯瞰し、雪かとぞ思ふ白妙の硅砂敷きつめたる濱邊に爆音を響かしては、中天高く奇巖相嚙む所千丈の大瀑布を仰視す。蓋し天下の快哉事と謂ふべき

であらう。

ニヤトラン＝西貢間四〇九基米は最後の汽車區間である。印度支那旅行氣分は玆に初めて味はれる感がある。事實上他の區間は兎もすると印度支那なる意識が鮮明を缺くのであるが、足一度びニヤトラン以南に踏み込むと環境一變、印度支那氣分がふんだんに横溢するに氣付くであらう。今一々例證するの煩を避け、印度支那なればこその野に虎を見るの記を綴つて總てを代表することにする。

野に虎を見るの記、願はくば人を喰つた標題と叱り給ふ勿れである。借問す、内地同胞幾千萬の諸君中、動物園の檻の外での生きたチーグル、さては畫家の彩管に成れる月に嘯く繪絹の上のチーグル以外、別言すれば野に住む正銘生粋の虎を、まのあたり見た人が果して幾人ゐるであらうか、聞かま欲しいものである。先づこれだけの痰呵を切らせて戴いた上、さて堅白異同の釋明に移る順序であるが、野に虎を見るの記は、之れを例へば出雲に安來節を聽くの記、臺灣でバナヽを食ふの記と同構異曲、否、同曲同想の心理狀態から割り出したものであること諒とせられたい、さらば强ちお腹も立つまいと恐察する次第である。

閑語休題。ニヤトラン＝西貢間の汽車區間は旅程の都合でわざとトウランヌから通しの専用自動車に依ることにした。トウランヌから三二二基米を距るキノンを午前八時に出發した我がプージョア二〇馬力の快速車は、ひた驅りに馳つて正午近く既にニヤトランを通過し、長驅フハン。ランに逼りつゝあつた。この邊り一帶に果て知れぬ雜木雜草の密林で、風に碎け雨に朽ちた老木枯枝は算を亂して車道鐵路の左右に參差たり、自動車の過ぐる所、四邊の木草を風靡して騷然遙かに木靈を震駭す。主語らず客又言はず、鬼氣眞に人に逼るの慨があつた。

突如眞に突如、けたゝましい叫び聲が運轉手臺に起つた。チーグル！チーグル！。刹那余は先づ余の耳を

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

疑つた。同時に殆んど本能的に運轉手の指さす方を物色した。意外・意外・自動車を距る約三十米の近き叢に大小二頭のチーグルが眼に入つた。多分牝、牡であらう。自動車の爆音に愕いてか炬眼を見張つて猛然居仕舞を直した様がありありと看取された。居た！居た！野に虎が居た！これが余の唇を迸り出た當面の叫びであつた。野に虎を見るの記、依而如件。

## 溽熱の西貢

溽熱の西貢！あゝ溽熱の西貢！これが西貢に於ける最初にして又最後の印象である。かくて余が西貢の滯在中、日中の日盛りは水浴・電扇。電扇・水浴を繰返すに盡きたのである。マングローブも西貢米ものかは消えて失せろの捨鉢であつた。本國風土の中庸を得てゐる佛人に取つてこの苦熱は確かに堪え難き苦痛であると同時に、領有茲に四十年。今なほ見るべき成績の擧らざる一大原因であらうと思ふ。日中日盛りの午前十一時から午後三時過ぎまでは官廳は勿論、銀行・會社・商店・邸宅に至るまで、苟も佛人の住む家々では戸外の苦熱を忘るべく扉を鎖ざし窓を閉めて只管午睡の夢を貪つてゐる。兎に角暑い！これが唯一にして無二の余が西貢感想である。

## 市街概觀

迂餘曲折幾たびかして築き上げた佛國政府東方政策の一記念である西貢市は、街も人も家もさすがに佛蘭西趣味の豐滿を味ふに充分である。西貢目拔きの廣場に建ち並ぶコンチネンタル、ホテルと市立劇場を前に見て左折し、カチノ街を行き過ぐる所に有名なカテドラルがある。經費二百萬法を投じ一八七七年起工、七

箇年の星霜を經て竣工した大伽藍である。屋上に聳ゆる高さ四十米の方尖塔は倨然として全市街を俯瞰してゐる。

總督官邸はカテドラルの裏にある。建築費約四百八十萬法一八七四年に工を終へた堂々たる大建築で、正面芝生の上に聳立する一世の風雲兒ガムベッタの立像は、又なく建物との調和が取れてゐる。總督官邸を後に欝蒼たるタマリンドの並木道を行きつくす所に植物園がある。各種の熱帶植物の外に印度支那產の蘭科植物を網羅することは確かに本園の誇りの一つであらう。加之、園內別に動物園を併置し、特に熱帶動物の殆ど完全なる蒐集に成功したことは東洋無比の稱ある所以であらうと思ふ。西貢旅行者の是非に訪はねばならぬ一名所である。

カテドラルの正面タベール街に程近き所、マドロンの僧正ピヨニー・ド・ベエースの銅像がある。西貢名物の一たるを失はぬであらう。彼本職は僧侶であるが將軍であり又政治家であつた。一七八七年の佛安秘密同盟條約の締結は實に彼の指金に依つたものである。東方諸國に對する前進根據地を印度支那に求むることは彼の抱負であり理想であつた。偶々越南國に福映・文惠等王位繼承の爭亂あり、彼は巧に風雲に乘じて福映を援け遂に嘉隆皇帝として安南國に君臨せしむるに至つた。彼に依つて投せられた最初のこの一石は、今日に築き得た印度支那に於ける佛國の牢乎たる勢力を基礎づけた有力なる動機を爲すものである。彼も亦時代の傑物と謂ふべきであらう。

## 米屋町ショロン

西貢市を距る四哩に米屋町ショロンがある。年額百五十萬噸の西貢米を吞吐する本家本元である。金額に

してざつと一億五千萬圓、その九歩九厘までが支那商人の一手に捌かれると聞くに至つては眞に慾嘆の外なしである。それもその筈、ショロン製米工場中一日の製米能力一、二〇〇噸乃至一、五〇〇噸以上のもの十指を算し、以下五六百噸のものに至つては擧げて數ふべからずとのことである。

西貢米と金字で銘を打つた立派な米櫃がある。鍵は勝手元一切を取り仕切る辨髪の權妻の腰にぶらさがつてゐる。清楚たる洋裝の主婦は手持無沙汰であたりを徘徊する。これがショロン、否、交趾支那、否々、印度支那全體に亘る商業界の實情を如實に表現した縮寫圖である。

支那商人の地方産米の買付方法は實に惡辣を極めたもので、そゝろに土人生産者に對して同情の念が湧いて來る。彼等支那商人の産米買占網は十重二十重に殆んど蟻の這ひ出る隙もない程に産地一帶に張詰められてゐる。さうしてその買付方法は收穫米を抵當に内金渡しの所謂靑田買がそれである。殘金は日用雜貨肥料農具の供給に依つて決濟し、二重三重に土人の財布を搾取する方法が講ぜられてゐる。不動産を抵當に高利の金を融通して板縛りの腐れ椽を結ぶこともありといふ。斯樣に彼等支那商人は米商を表看板に雜貨商高利貸業を兼營するのが通例で、これが軈て彼等の勢力を張る所以であると同時に容易に競爭者の割込みを許さゞる强味であらうと思ふ。

一方生産者たる土人の生活狀態を見るに、彼等が粒々辛苦の所得は正面より又搦手より悉く支那奸商等の搾取する所となり、年中唯金のために鍬を掴み泥を握つてゐるのである。政治的には佛蘭西に、經濟的には支那商人に一切の利權を壟斷せられつゝある一千五百餘萬の可憐なる安南人自身を救ふの途は、唯一に精神的に覺醒するにありと信ずるのである。

サン、ヂヤツク岬

サンヂヤックは西貢より自動車行程約二時間、別莊地、避暑地として有名である。西貢河よりする舟楫の便もある、沿道一帶見渡す限りの木も草も一片生氣の認むべきものがない。想ふに烈日の下、含綠炭素の總てを燒き盡したのであらう。時恰もこの地方の乾季(自十一月至四月)に屬し聞く處によれば降雨なきこと旣に七十餘日耕地は地表堅きこと右の如く地下十數尺まで涸渇すとの事である。

無味乾燥を文字通りに旅行者の眼界を蹂躪する殺伐極まる沿道の風景中、獨り旅情を慰むるものは自動車の爆音に慴いて其處此處に飛び出すコツク、ソーヴアージユである。これなん眞に野にゐる鷄で姿、形は吾等の庭に飼ふ普通の鷄と何等異なる所はない。一見强て區別を求むれば脛の黑いこと、飛翔力の强いこと位であらう。彼等の生活が一夫多妻であるや否やは車上遺憾ながら實見の機會を得なかつたが、一夫一妻時に五六羽の雛を連れ立つた一團は屢々之れを見受けた。

サン、ヂヤツク岬、それは印度支那縱斷山脈の海に盡さる末端の謂ひで、昔時葡萄牙の航海業者が名づけ親であるとのことである。臨海の市街には瀟洒な別莊が並木の間に點在する。試みに我が內地にその比を索むるあらば、下總銚子の沿岸がそれであらう。

コ、チール灣頭潮の香深き涼風颯々、サン、ヂヤツクは實に西貢の苦熱を忘るべく半日の淸遊に相應はしい天與の景勝である。

## 柬埔寨の首府プノンペン

柬埔寨の首府プノンペンは西貢を距ること二四〇基米、自動車行程六時間、舟行約三日程である。安南の風物、安南人の習俗に見慣れた眼は自動車の轍の進むに隨つて刻々變つて行く。同じく佛國の統治下にある

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

印度支那の屬領と謂ふ勿れ安南文明と柬埔寨文明とは數千年來發達の起原を異にしてゐるのである。椰子樹の葉隱れに見える土人の茅屋は屋根高く軒急に、途行く人の顏貌も眼大に、眉深く、口邊に鬚すら生やしてゐる。支那人型と言はんよりは寧ろ印度人型に近似する感がある。

柬埔寨王國それは紀元一世紀以降遠く十三四世紀の頃に至るまで文運燦然として東邦諸國を光被したクメール王朝の流を掬むで今日に至れるもの、今なほ二千年來の實祚を繼承する國王の君臨し給ふ由緒正しき王國である。さりながら人道の荒浪は遂に此處にも押し寄せて來た。一八九七年施政百般の實權は悉く佛國の手に移り、國王は空しく唯虛器を擁するのみになつた。時世時節寔に是非もない次第と謂ふべきである。

若夫れ往復一週日を豫定してグラン・ラックに程近きアンコール・ワットの遺跡を訪はんか、クメール王朝文明の精華は必ずや現代人の肺腑を刳るに充分なるものがあらう。

西貢方面を辭するに臨み公私共に多大の好意を賜はりたる西貢駐在寺島領事及領事館員諸君、加藤農務省囑託、田名瀨華銀支店長の各位に深厚なる謝意を表するものである。

附言　回を重ぬること三たび、愚にもつかぬ駄文を御披露に及むだことをお詫びする。この上讀者諸君の寛容に甘んずることのそら恐ろしく、今回を以て一先づ打切りとする。

# 佛領印度支那法制調査（二）

臺灣總督府囑託　板倉貞男

前號に於て佛領印度支那總督の身分・權限・責任・特權及代理權に就てその一般を記述した。本號には本國立法權の印度支那に於ける適用法、植民地中央行政組織及印度支那行政組織に就て述ぶる豫定であつたが、編纂の順序を變更したことをお斷りする。

## （五）總督の高等諮問機關

印度支那總督の高等諮問機關に總督府會議・同常置委員會・國防會議の三がある。

### 一、總督府會議

總督府會議は一九一一年十月二十日大統領令を以て舊印度支那高等會議に代つて設置せられたもので、單純なる總督の諮問機關ではあるが、特定の事項に對して豫め會議の決議を必要とする場合がある。以下會議

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の編成・權限及處務規定に就て記述する。

## A　總督府會議の編成

總督府會議は印度支那に於ける高官要路の殆んど總ての人々を網羅する最主要會議で議長及議員の顏觸れは左の如くである。

總督（議長）・印度支那駐屯軍司令官・總督府總務長官（總督不在又は事故あるときは議長の職務を執る）・交趾支那副總督・安南・東京・柬埔寨・老撾各理事長官・交趾支那選出の代議士・法務局長・財務局長・工務檢閲總監・保健醫務總監・教育局長・税關税務局長・印度支那會計局長・經濟局長・印度支那海軍司令官・交趾支那植民地會議々長・東京・安南及柬埔寨選出代表者・西貢・河内及海防商業會議所議長・交趾支那及東京農業會議所議長・安南及柬埔寨商農聯合會議所議長・交趾支那及各保護國土人名士（交趾支那副總督及各保護國理事長官の推薦に依り毎年總督之を指命す）・總督官房長（幹事の職務を執る）

以上は總督府會議の正規の議員であるが、議員に不在又は事故ある場合は補缺員を以て補充する規定である。此の外植民地檢閲總監・財務監督局長は議長と同列にて會議に出席する權利がある。又鑛山局長・民政及軍政部の各課長は各所管事項につき投票權を以て會議に出席し得る規定である。

## B　總督府會議の權限

總督府會議の權限は主として一九一六年六月三十日及一九一二年十二月三十日改正の一九一一年十月二十日大統領令に據るもので、左記の事項に對しては總督は當然之れを會議に諮問する必要がある。

(a)　財政關係事項

一、財務局に於て作製したる一般豫算・公債基金附屬豫算・鐵道敷設費・廣州灣施設費及西貢工廠費等事後

總督の承認を得大統領令に依つて實施すべき豫算の決定に關する件

二、交趾支那植民地會議の決議を經、參事會に於て副總督の決定したる交趾支那地方豫算の承認及實施に關する件

三、保護國會議に於て理事長官の定めたる（老撾にては長官單獨にて定む）東京・安南・柬埔寨及老撾の地方豫算の決定及實施に關する件

四、前記各項の豫算につき成規の手續を經て年度内に行ひたる修正豫算に對し大統領令に依る事後承認を條件として假決定をなし又は確定的實施をなす場合

五、大統領令の事後承認を條件として一般豫算及附屬豫算の出納管理に關する件

六、前項の豫算に對する副支拂命令官・補助支拂命令官及國庫代理人の設定に關する件

七、成規の手續を經たる地方豫算の出納管理の確認に關する件

八、印度支那の名義を以てする借款の契約に關する件及印度支那都市の借款契約の許可に關する件

九、一般及地方豫算の豫備金の管理に關し總督の有する權限の行使に關する件

十、印度支那一般豫算より他の豫算に配布する補助金額の決定及一般豫算への割當額の決定に關する件

十一、印度支那に適用すべき工事及物品購買契約の一般條件の決定に關する件

(b) 税務關係事項

一、税の割當及徵收法に關し大統領令に依る承認を保留して關税以外の間接諸税を全印度支那に設定し且つ實施する場合

二、直接諸税の割當・定額及徵收法を規定する交趾支那副總督・各保護領理事長官の命達及保護國元首の命

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

令を承認し且つ實施する場合

三、廣州灣租借地に於ける直接諸税關係の規定を設定し且つ實施する場合

四、法令の特別管理を受くる市街又は町村の利益のために地方豫算の課税免除を承認する場合

五、毎年總督の定むる制限率（法令の特別管理を受くる市町村に對してはこの制限率は地方長官決定す）を超過して特別税を設定せんとする市町村會の決議を承認し且つ實施せしむる場合

(c) 一般行政關係事項

一、交趾支那植民地會議の決議にして地方行政官憲の承認を受くるにあらざれば實施することを得ざる事項に就き同會議の決議權を承認する場合

二、地方官廳勤務員に對する俸給及諸手當の總則を規定する場合

三、公證人・執達吏・競賣評價人及商事仲立人の職務執行規定を定むる場合

四、市町村内に中心要地を設定する場合

五、安南及東京土著民に對する一九〇四年十月十一日大統領令及佛蘭西語以外の刊行物に對する一八九八年十二月三十日大統領令に依り總督に委任せられたる權限を行使する場合

六、鐵道敷設計畫を決定する場合

七、植民地道路（國道）及保護國の地方道路の編入及解除を行ふ場合

八、印度支那各州又は府縣に關係する土地移管を決定する場合

## C　總督府會議の處務規定

總督府會議は總督之を招集し指定の場所に於て毎年尠くも一回開會するを要す。會議は公開せず。總督令

に依り會議を若干の委員會に區分し事件を分擔せしむる規定である。

茲に特例と認むべきは官吏以外の議員に對して會議の閉會中と雖も政策以外の問題に就て各自の希望を具申する權限を認めてゐることである。然しながら緊急の場合を除き希望具申の有效期間は前回の通常會議閉會後六箇月以內に限られてゐる。議長が是等の具申を接受したるときは委員會に移して審査せしめその報告に基きて採否を決する規定である。

## 二、總督府會議常置委員會

### A 編成及處務規定

總督府會議常置委員會は委員長を總督（總督不在又は事故あるときは總務長官議長の職務を執る）とし議長の招集に依り出席したる總督府會議々員全部を以て編成す。

常置委員會に提出する書類は事件の內容を摘記する報告書と共に開會前尠くも二日の期限を以て書記課に進達するを必要とす。正規に開會したる場合の議事要錄は總督府會議と同一であるが委員會は多くの場合正式に開會せず、委員間の持廻會議（書類を委員に廻覽してその意見を求むる方法）に依るのが普通である。

### B 權限

常置委員會の意見は左記の場合に於て總督府會議の意見に代ることを得ず。

一、每年末に於て一般豫算竝にその附屬豫算の假決定を爲す場合及地方豫算を實施する場合又は植民地會計の爲め借款の契約を爲す場合若くは間接稅の設定及直接稅設定の承認を爲す場合

二、商業會議所・商農聯合會議所の設置又は一九二二年五月二十七日及同年十月二十日大統領令に定むる特殊の許可を與ふる場合

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

三、鐵道敷設計畫を決定する場合

之に反し常置委員會の意見は一般規定として總豫算關係の事業に對する公益認定に就ては一九一八年四月十八日大統領令第二條に依り。總督の取消處分の場合を除き確定的效力を有する交趾支那植民地會議の決議に依る公益認定の取消に就ては一九二二年六月九日大統領令第三十三條に依り。西貢商港管理會議其他の停會に關する場合は一九二二年一月二十六日印度支那鑛業法に關する大統領令の各條及一九一四年一月二日大統領令第十條に依り總督府會議の意見に代はることを得。

現行大統領令に依つて豫め總督府會議の諮問を必要とする他の總ての事項に對しては、總督府會議の意見は常置委員會の意見を以て代用することが出來る。特に總豫算及附屬豫算の實施に當りて大統領令に依る認可が年度の初めに得られざる場合に於て之が假施行を爲すとき又は前記の豫算に對して總督令に依り年度中に修正を加へたる場合に於て大統領令に依る認可を得るまで修正豫算の假施行を爲すとき若くは各種豫算の出納計算を決定し之を承認するに當り總督府會議が十月中(十月中に會計檢査を行ふ規定である)に開會せられざるときは常置委員會の意見は總督府會議の意見を代用する規定である。

なほ總督は一九一二年五月十日及一九一六年四月五日兩度の總督令を以て本國法の明文により總督府會議又は同常置委員會の諮問を必須條件とせざる事項に對しても常置委員會には必ず諮問すべき旨を規定した。

右の規定を適用して常置委員會に諮問を要する事項は左記の如くである。

一、價額八千ピアストル又は三萬法を超過する動産及植民地領有の不動產の取得讓渡及交換に關する件

二、賃貸借價額四千ピアストル又は一萬法を超過する植民地領有地の小作又は賃貸借に關する件

三、各種土地の管理法に關する件

四、面積千エクタール以上の植民地領有又は府縣領有地の拂下げに關する件
五、印度支那に於ける贈與及遺贈の許否に關する件
六、公有地の一部たる道路 運河の築城等の組入れ及除外に關する件
七、價額四萬ピアストル又は十萬法を超過する工事請負又は購買契約の案・計畫・見積・契約締結に關する件
八、經費四萬ピアストル又は十萬法を超過する工事請負又は購買契約にして經費の增額又は故障を生じたる場合の調書作製に關する件
九、植民地の權利關係事項にして見積價額八千ピアストル又は二萬法を超過するもの丶處分に關する件
十、見積價額八千ピアストル又は二萬法を超過する印度支那の名義に依る訴訟行爲に關する件
十一、地方豫算金額の年度内に於ける修正に關する件
十二、總督に隷屬する各部局に於ける補給品會計に關する件
十三、以上の外將來大統領令又は地方法規に依りて諮問を必要と認むる事項

## 三、國防會議

國防會議の官制は一九〇二年十月三十一日大統領令及一九〇二年十一月三日及一九〇三年四月六日關係省令に依るもので、その編成・處務規定及權限は次ぎの如くである。

### A 編成及處務規定

國防會議は左記の常議員を以て編成す

總督（議長）・印度支那駐屯軍司令官（副議長）・軍司令官以外の最先任步兵科將官又は佐官及砲兵部將官又

は佐官・駐屯軍參議長(幹事)

國防會議が工務聯合委員會として行動する場合卽ち國土の防備と一又は數箇の民政部局と共通關係を有する事業計畫に就て研究する場合は國防會議は前掲常議員の外左記の者を臨時議員とし票決權を附與して會議に參列せしむ。

當該關係州の副總督又は理事官長の文官又は武官代表者・海軍司令官・工務檢閲總監・關係廳の技師長・國庫出納部長・財務監督局長

國防會議が工務以外特殊の防備問題に關與する場合に於ては上述の常議員の外左記當該關係部局の官吏を臨時議員として票決權を附與して會議に參列せしむ。

交趾支那副總督又は各州理事官長(若くは文官或は武官の代表者)・海軍司令官・サンヂャック岬要塞防備司令官・陸軍經理部長・保健部長・工務檢閲總監・國庫出納部長

なほ極東艦隊司令官及佛國植民軍總司令官にして檢閲のため印度支那に滯在中の場合は票決權を以て國防會議に參列せしめらるべし。

國防會議には定期開會の規定なく議長の招集に依つて隨時開會す。

國防會議に對してその意見を求むる場合は當該案件を先づ議長より報告委員(議員中より指名す)又は分科會(二名又は三名にて編成す。內尠くも一名は常議員より選任するを要す。而して分科委員長は議長指名す)に提起するを要す。報告委員又は分科委員長が報告書を提出したるときは之れを特別要錄に採錄し國防會議開會前議員に配布するを要す。會議は議長の指定する日時に開會し議員の參集を求む但甚だしく遠隔の地にある議員に對しては文書に依り意見を求むることを得。然しながら總ての場合を通じ會議に於て決議を爲す

場合は議員五名(内尠くも常議員三名)の出席あるを必要とし、會議に於ける議事錄及會議の意見はその寫を三箇月毎に植民大臣に提出する規定である。

## B 權限

國防會議の權限は左の三種に區別することが出來る。

一、植民地の軍事及防備組織に關する諸問題の現場に於ける第一次的調査(是等諸問題の第二次的調査は本國植民省内にある各植民地防備諮問會議に於て行はれる)。

二、總督が所管大臣の同意を得るに前立ち至急處理の必要を認めたる一切の軍事的施設に對する意見の表明。

三、植民地防備に關係ある諸問題にして總督より諮問せられた事項の調査。

# 島情

# 臺灣金融統計（大正十五年三月）

財務局金融課

## □銀行預金貸出金殘高

大正十五年三月末島內各銀行預金貸出金殘高左ノ如シ

| 種類 | 金額 | 種類 | 金額 |
| --- | --- | --- | --- |
| 公金預金 | 四、六四〇、六七〇円 | 預金手形 | 二、一一七、三五六円 |
| 當座預金 | 二、六六三、〇三三 | 日本銀行預金 | 三、八七七、三六一 |
| 特別當座預金 | 四〇、〇七四、六六三 | 貯蓄預金 | 五、一九八、五六八 |
| 通知預金 | 一、七九九、八六〇 | 合計 | 九九、二六五、一九六 |
| 定期預金 | 二六、四四八、一七四 | 前月 | 一〇四、六三五、四八三 |
| 別段預金 | 三、六四五、五六五 | 前年同月 | 九四、五六二、三六三 |

| 種類 | 金額 | 種類 | 金額 |
| --- | --- | --- | --- |
| 證書貸付 | 七一、七一八、三五八円 | 買入外國爲替 | 九五一、四九九円 |
| 手形貸付 | 四七、二六一、〇二七 | 日本勸業銀行貸付 | 四四、〇四九、六八七 |
| 當座貸越 | 二、一七二、一五二 | 貯蓄銀行貸付 | 一、〇九五、五九七 |
| 割引手形 | 九七、二八〇、八六四 | 合計 | 二八八、七三六、四三一 |
| 荷付爲替手形 | 二三、二九七、六六九 | 前月 | 二九二、六八〇、九一三 |
| 利付爲替手形 | 九〇九、五七八 | 前年同月 | 二九四、七九八、六七三 |

備考　日本勸業銀行貸付ニハ臺灣銀行取扱ノ代理貸付ヲ含ム證書貸付ノ大部分ハ對支放資ナリ

之ヲ地方別ニ示セバ左ノ如シ

| 州廳別 | 預金 | 貸出金 |
|---|---|---|
| 臺北 | 五三、三〇一、五四四円 | 一七八、七三三、一一三円 |
| 新竹 | 五、七三七、九五〇 | 一八、三〇四、三四四 |
| 臺中 | 一五、六九一、八三八 | 三八、三八二、五五二 |
| 臺南 | 一六、三三七、〇〇七 | 三四、七六二、〇一一 |
| 高雄 | 六、八九〇、七八二 | 一九、八〇四、八二二 |
| 臺東 | 三八一、〇〇九 | 二、六三五、九五九 |
| 花蓮港 | 一、〇三五、一〇八 | 一、一〇三、八三二 |
| 合計 | 九九、二六五、一九六 | 二八八、七三六、四三一 |

## □銀行別重要物産放資残高

| 銀行名 | 大正十五年三月末 金額 | 大正十五年三月末 千分比 | 前月末 金額 | 前月末 千分比 | 前年三月末 金額 | 前年三月末 千分比 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 臺灣銀行 | 六二、二九九、六〇五円 | 七七四 | 六五、二二九、七九〇円 | 七九三 | 六二、三四一、〇六七円 | 七八〇 |
| 臺灣商工銀行 | 六、二七四、五五二 | 七八 | 五、四三八、五七九 | 六七 | 五、七九三、四四三 | 七三 |
| 華南銀行 | 三、六六二、九七七 | 四五 | 三、九八三、〇三〇 | 四八 | 五、二三三、六八一 | 六六 |
| 彰化銀行 | 三、八九八、四〇三 | 四八 | 四、二一一、三八二 | 五一 | 三、四九四、五一三 | 四四 |
| 三十四銀行支店 | 四、三九〇、六一一 | 五五 | 三、三六三、三九四 | 四一 | 三、〇六五、九一二 | 三八 |
| 合計 | 八〇、五二六、一一七 | 1,000 | 八二、二一六、一六五 | 1,000 | 七九、九四八、六一六 | 1,000 |

## □重要物産別銀行放資残高

| 品目 | 大正十五年三月末 金額 | 大正十五年三月末 千分比 | 前月末 金額 | 前月末 千分比 | 前年三月末 金額 | 前年三月末 千分比 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 砂糖 | 五五、九九九、三三八円 | 六九五 | 五七、九九六、五〇七円 | 七二五 | 五〇、二四四、一五八円 | 六六八 |
| 米 | 一四、六〇七、九九六 | 一八一 | 一三、七七三、四一九 | 一六七 | 一七、九五二、一三七 | 二三四 |
| 茶 | 一、四三三、六一七 | 一八 | 二、二七五、五五五 | 二八 | 一、六五一、六四二 | 二二 |
| 樟腦 | 一、〇七一、四一四 | 一三 | 八八九、六〇二 | 一一 | 一、八三八、五七五 | 二三 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 金塊 | 五九〇,九八四 | 八 | 五四〇,九八四 | 七 | 三九九,七四六 | 五 |
| 酒精 | 二九九,八七九 | 四 | 二五三,二一〇 | 三 | 二五二,七六四 | 四 |
| 石炭 | 六,五〇三,〇〇九 | 八一 | 六,四八六,八九〇 | 七九 | 七,六〇九,五九四 | 九五 |
| 合計 | 八〇,五二六,一二七 | 一,〇〇〇 | 八二,二二六,一六五 | 一,〇〇〇 | 七九,九四八,六一六 | 一,〇〇〇 |

## □銀行別重要物産放資總額及累計

| 銀行名 | 大正十五年三月中 | 前月中 | 前年三月中 | 本年本月迄累計 | 前年本月迄累計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 臺灣銀行 | 二四,九〇二,三九九円 | 二六,六五三,八六〇円 | 二三,三九〇,六八二円 | 七七,六九八,三二八円 | 七四,一六一,三三二円 |
| 臺灣商工銀行 | 四,三五四,七五四 | 一,七四一,六一四 | 二,一三五,八五〇 | 七,九三五,一〇七 | 四,七五三,五四五 |
| 華南銀行 | 四,一〇七,六四五 | 三,七三三,三〇二 | 四,二〇七,七四八 | 一四,〇九四,六一五 | 一五,六六七,四八二 |
| 彰化銀行 | 二,二七四,四六七 | 一,六六七,九三六 | 一,九六八,二四三 | 六,六九一,六一七 | 六,六四六,六三〇 |
| 三十四銀行支店 | 二,五六〇,三七二 | 二,〇九六,八七八 | 一,三四五,三四九 | 六,三七二,八六七 | 七,二〇五,六七二 |
| 合計 | 三八,一九九,六三七 | 三五,八九一,五九〇 | 三三,〇四七,八七二 | 一一二,七九二,五三四 | 一〇八,四三四,六三二 |

## □重要物産別銀行放資總額及累計

| 品目 | 大正十五年三月中 | 前月中 | 前年三月中 | 本月本月迄累計 | 前年本月迄累計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 砂糖 | 二三,七七〇,六九八円 | 三,四四七,六七九円 | 一七,六四四,七五四円 | 六七,九四六,九〇四円 | 三九,五一〇,〇九九円 |
| 米 | 一〇,六九一,二三二 | 八,七二八,四八二 | 一〇,五三一,三〇三 | 三二,四七三,六二〇 | 二六,八七二,七二五 |
| 茶 | 六二三,七六〇 | 六七三,六三四 | 六五〇,五一五 | 一,九三八,五六六 | 二,五二〇,三二一 |
| 樟腦 | 六五六,〇一五 | 三六五,一一八 | 四七四,五七二 | 一,八三六,六三四 | 一,七三八,七一六 |
| 金塊 | 九〇,〇〇〇 | 五三三,一八四 | 四四五,四三五 | 一,一〇八,八六八 | 九九三,五四九 |
| 酒精 | 一九七,一七〇 | 一九三,七八三 | 一八〇,六三三 | 五〇九,三八〇 | 四八七,七九七 |

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 石炭 | 一,九八一,七四二 | 二,九四九,七一〇 | 二,一二〇,七六三 | 六,九五八,七三三 | 六,二九一,五三四 |
| 合計 | 三八,一九九,六三七 | 三五,八九一,五九〇 | 三三,〇四七,八六二 | 一一二,七九二,五二四 | 一〇八,四三四,六三一 |

# □市街地信用組合事業一覽表（大正十五年三月末日現在）

## （其の一）

| 種別／州廳別 | 組合數 | 組合員數 | 出資口數 | 未拂込出資金 | 資産：貸付金 | 土地建物什器 | 有價證券 | 預金 | 假拂金 | 手形割引 | 其他 | 現金 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 臺北 | 九 | 五,四九七 | 四五,〇八四 | 七六,六七一円 | 四,九三二,六四七円 | 一三,四二二円 | 七〇一,〇四九円 | 一,七二九,五五二円 | 五,八六二円 | 一七二,八九九円 | —円 | 五一,〇一五円 | 七,八〇二,一一〇円 |
| 新竹 | 二 | 一,〇五三 | 八,三三六 | 三,二二三 | 七〇一,三六二 | 一七,八七〇 | 九七 | 五六八,八四五 | 一,五一七 | — | 三三,四二八 | 五,八六五 | 一,三三二,〇八一 |
| 臺中 | 二 | 一,一〇五 | 五,〇〇二 | 一,三一九 | 六四五,七二五 | 一七,〇一三 | 一,一六六 | 四二八,五二五 | 二,一六五 | — | 一七,三〇四 | 四,一五三 | 一,一一七,六二四 |
| 臺南 | 五 | 二,五一三 | 一四,〇三四 | 一〇一,四八〇 | 一,八〇一,七七〇 | 五五,八〇〇 | 六五,六六一 | 六八七,二八〇 | 三,九四四 | 一五五,九八二 | 四一,七四八 | 一八,四三四 | 二,九三三,〇五四 |
| 高雄 | 一 | 二七六 | 一,一八七 | 一,〇五五 | 二九七,九一三 | 三一,六七八 | 二五 | 四五,六五七 | — | — | 三,八一五 | 二五八 | 三八九,六五二 |
| 臺東 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 花蓮港 | 一 | 一九七 | 四,六〇五 | — | 二九一,八五四 | 九九八 | — | 二四,九八五 | 一,四四九 | 三四,六五三 | — | 一,二六四 | 三五五,二〇五 |
| 合計 | 二〇 | 一〇,六四〇 | 七八,二一八 | 一八三,七三九 | 八,六七一,三三三 | 二五五,八二三 | 七六九,〇二九 | 三,四八四,八四六 | 一五,一三八 | 三六三,五三六 | 一〇四,二九七 | 八〇,九九二 | 一三,九二八,七七八 |
| 前月末合計 | 一九 | 一〇,一三一 | 七七,四七八 | 一八三,四八〇 | 八,四五〇,五三三 | 二五〇,五四四 | 七四九,二六六 | 三,六七六,八三〇 | 一二,四三七 | 三三二,八五〇 | 一〇五,三三九 | 六六,四三三 | 一三,八二七,六九六 |
| △ハ減 | 一 | 五〇九 | 六八〇 | 二五九 | 二二〇,八〇一 | 五,二七八 | 一九,七六三 | △一九一,九八三 | 二,七〇〇 | 三〇,六八五 | △一,〇四一 | 一四,五六九 | 一〇一,〇八二 |

## （其の二）

| 種別／州廳別 | 負債：出資金 | 貯金 | 準備金 | 各種積立金 | 未拂配當金 | 借入金 | 假受入金 | 其他 | 剰餘金 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 臺北 | 一,四九八,二〇〇円 | 五,三〇八,三八五円 | 五四九,四〇四円 | 一五三,〇八〇円 | 一四,一八九円 | 七〇,八九五円 | 二一,一六三円 | 三,八五一円 | 一三三,九三九円 | 七,八〇二,一一〇円 |

| 州廳別 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 新竹 | 二二,五六〇 | 九二一,六二八 | 一一三,五一三 | 六〇,八〇一 | 一,六七五 | — | 一,六一八 | 四九八 | 三〇,七八四 | 一,三三二,〇八一 |
| 臺中 | 二五〇,一〇〇 | 六五四,三四七 | 一〇八,六六五 | 六〇,三八一 | 三,五〇二 | — | 一四,八三三 | — | 二五,八〇三 | 一,一一七,六二四 |
| 臺南 | 七〇一,八〇〇 | 一,七四五,八二六 | 二五八,二四九 | 四一,五〇八 | 四,五四〇 | 三一,一三三 | 五六,八〇九 | 二三,三三一 | 六〇,八八四 | 二,九三三,〇五四 |
| 高雄 | 五九,三五〇 | 二八一,〇六六 | 四八,二七三 | 三二 | 四六三 | — | — | — | 一八六 | 三八九,六五二 |
| 臺東 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 花蓮港 | 九二,一〇〇 | 一七七,一五五 | 四一,三三〇 | 一九,五三〇 | — | 二〇,〇〇〇 | 二,二九九 | — | 二,九一〇 | 三五五,二〇五 |
| 合計 | 二,八一四,一一〇 | 九,〇八八,四〇八 | 一,一一八,三三六 | 三七五,六〇四 | 二四,三七二 | 一三一,〇一八 | 九五,七一五 | 四五,六六二 | 二四四,五〇九 | 一三,九二八,七二八 |
| 前月末合計 | 二,八〇八,八〇五 | 九,〇九一,五二九 | 一,一〇九,二九九 | 三七三,八六三 | 三五,六八四 | 一三一,七〇二 | 五三,九三五 | 五一,一五五 | 一八〇,七一九 | 一三,八二七,六九六 |
| △ハ減 | 五,三〇五 | △三,一二一 | 九,〇三六 | 一,七四一 | △一一,三一二 | △六八四 | 四一,七八〇 | △五,四九三 | 六三,七八九 | 一〇一,〇三二 |

## (其の三)

| 種別／州廳別 | 貯金内訳 | | | | | 貸付金利率 | | 貯金利率 | | 借入金利率 | | 手形割引歩合 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 組合員貯金 | 第一條第三項貯金 | 第一條第四項貯金 | 加入脱約者貯金 | 計 | 最高 | 最低 | 最高 | 最低 | 最高 | 最低 | 最高 | 最低 |
| 臺北 | 一,七〇六,四一三円 | 二,一〇〇,三六九円 | 一,五〇一,六〇一円 | —円 | 五,三〇八,三八五円 | 錢厘 四五 | 錢厘 二〇 | 錢厘 三〇 | 錢厘 八 | 錢厘 三五 | 錢厘 一八 | 錢厘 四〇 | 錢厘 三五 |
| 新竹 | 三七七,五一三 | 四〇九,〇五二 | 一三五,〇六三 | — | 九二一,六二八 | 四〇 | 三〇 | 三〇 | 一〇 | — | — | — | — |
| 臺中 | 一六七,九七四 | 四三〇,四九〇 | 五五,八八二 | — | 六五四,三四七 | 三七 | 三〇 | 三三 | 一〇 | — | — | — | — |
| 臺南 | 八二六,三九四 | 七二七,六一八 | 一九一,八一三 | — | 一,七四五,八二六 | 四八 | 一八 | 二五 | 九 | 二六 | 二六 | 三八 | 三四 |
| 高雄 | 一四〇,八〇六 | 七九,四二九 | 六〇,八三〇 | — | 二八一,〇六六 | 四六 | 二五 | 二五 | 二〇 | — | — | — | — |
| 臺東 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 花蓮港 | 九〇,六五〇 | 三九,五七三 | 四六,九三〇 | — | 一七七,一五五 | 三七 | 二五 | 二三 | 一八 | 二六 | 二四 | 三七 | 三七 |
| 合計 | 三,三〇九,七五三 | 三,七八六,五三四 | 一,九九二,一二〇 | — | 九,〇八八,四〇八 | 四八 | 二〇 | 三〇 | 八 | 三五 | 一八 | 四〇 | 三四 |
| 前月末合計 | 三,三四三,七九三 | 三,七三〇,〇七九 | 二,〇一七,六五七 | — | 九,〇九一,五二九 | 四八 | 二〇 | 三〇 | 八 | 三五 | 一八 | 四〇 | 三四 |
| △ハ減 | △三四,〇三九 | 五六,四五四 | △二五,五三六 | — | △三,一二一 | — | — | — | — | — | — | — | — |

## □島内各銀行内外爲替取組高表（大正十五年三月中）（單位圓）

| 摘要 | 收入 島内 口數 | 收入 島内 金額 | 收入 内地 口數 | 收入 内地 金額 | 收入 外國 口數 | 收入 外國 金額 | 支出 島内 口數 | 支出 島内 金額 | 支出 内地 口數 | 支出 内地 金額 | 支出 外國 口數 | 支出 外國 金額 | 收支(△)超過 島内 | 收支(△)超過 内地 | 收支(△)超過 外國 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 送金爲替 | 三七、三六八 | 三〇、二三五、六三三 | 四、六二四 | 一五、六五五、五九二 | 四六 | 二〇九、〇九九 | 三七、三二二 | 二九、二五五、八〇五 | 一、九〇四 | 一〇、五三八、八五六 | 四五 | 三五〇、九九九 | 六八八、七九九 | 五、一一六、七三六 | 一五一、九九〇 |
| 割引手形 | 五、五九七 | 五、〇六二、〇七四 | 一、七九八 | 一、五七八、六九〇 | 一 | 五、〇〇〇 | 四、五五一 | 五、二二八、四四〇 | 二四 | 一、五八六、八七〇 | — | — | △一六六、三六六 | △八、一八〇 | 五、〇〇〇 |
| 荷付爲替手形 | 一、九八〇 | 二、六〇四、六七七 | 二、〇七一 | 七、一五五、〇三〇 | 三三 | 六四四、三三五 | 二、〇九九 | 二、五五三、六一九 | 一、〇八五 | 一五、一〇七、一二七 | — | — | △四七、九四二 | △九、五三四、一二七 | 六四四、三三五 |
| 買入外國爲替 | — | — | — | — | 九九 | 一、三三三、三六五 | — | — | — | — | 三〇 | 一五、三四四 | — | — | 一、三一七、〇二九 |
| 利付爲替手形 | — | — | — | — | 二 | 三、一六八 | — | — | — | — | 三五 | 四一七、四三三 | — | — | △四一四、二六四 |
| 代金取立 | 二、八八八 | 五、六四三、五三六 | 一〇、六六四 | 五、五五八、〇〇〇 | 三五 | 一六六、七七一 | 一〇、〇五五 | 五、三五〇、五五五 | 三五 | 四七四、三六九 | 四四 | 四〇、五九一 | 二九三、六八五 | 五、〇八四、五一一 | 一二六、一八〇 |
| 計 | 四六、六二五 | 三九、四五五、三二九 | 一八、五三九 | 二五、四七五、六五二 | 七三 | 二、五五五、五三四 | 四五、二九四 | 三八、六二五、一二五 | 三、三八八 | 二六、三〇七、四三三 | 五八〇 | 一、二二四、一三六 | 八八一、一四四 | △二、八四〇、〇八〇 | 一、三三〇、四一八 |
| 前月計 | 四五、〇一三 | 三五、八〇四、三五四 | 一五、〇三〇 | 一八、六六八、九二三 | 五四八 | 一、七五八、一二〇 | 四一、七九二 | 三六、四四四、三六八 | 三、七九七 | 三五、七一七、六六八 | 八二五 | 一、三二一、二四四 | 三、三五〇、一八六 | △一七、〇四八、七四四 | 三二八、八五五 |
| 前年同月 | 四五、四九九 | 三一、四八一、六六八 | 一六、六七九 | 二五、八六六、四六六 | 七〇九 | 一、六八〇、三二八 | 四五、三四〇 | 三三、〇六六、八六六 | 三、一五五 | 三五、三二六、六八〇 | 七〇九 | 一、二二四、三五五 | △一五七、〇五八 | △一〇、四五〇、三三四 | 四五五、四七二 |
| 本月末累計 | 一三五、九五五 | 一二八、二三三、三五八 | 四七、四三九 | 六五、六五五、三五七 | 一、九九〇 | 六、六五五、〇四五 | 一二九、七五〇 | 一二三、二九六、三五八 | 一〇、四九七 | 五五、一九五、九五〇 | 一、八五一 | 四、〇四一、五五六 | 五、〇五四、二二一 | △九、五一八、六九三 | 二、六五五、五〇七 |
| 前年同月末累計 | 一三〇、六九六 | 九七、四四〇、〇五五 | 四〇、七九九 | 五五、二〇〇、六五八 | 一、九九八 | 五、八八〇、五五六 | 一三〇、三八二 | 九六、一六九、〇四五 | 一一、三九七 | 六八、五五五、三五六 | 二、〇三五 | 四、三三一、三九〇 | 一、二七一、〇三三 | △一三、三五五、三九八 | 一、四五〇、一六八 |

## □手形交換高表（大正十五年三月分）

| 所在地 | 手形枚數 | 交換金額 | 交換差額 | 交換枚數一枚ニ對スル平均金額 |
|---|---|---|---|---|
| 基隆 | 五、三三九枚 | 二、二六九、〇二九円 | 六八五、二九七円 | 四二四円 |
| 臺北 | 二三、八八三 | 一三、九七五、一五七 | 五、三一六、七五一 | 五八五 |
| 臺中 | 二、二〇七 | 二、六一三、四三七 | 一、〇四四、五九八 | 一、一八三 |
| 臺南 | 一三、四八〇 | 三、二七〇、三八〇 | 一、一三八、四七七 | 二四三 |
| 高雄 | 四、六五九枚 | 一、七七一、五五四円 | 五九九、九二二円 | 三八〇円 |
| 計 | 四九、五六八 | 二三、八九八、五五七 | 八、七八五、〇四四 | 四八二 |
| 前月 | 四五、〇六五 | 二二、三三二、七八六 | 八、一六三、〇〇七 | 四九五 |
| 前年同月 | 四五、四六九 | 一九、三三六、二二三 | 六、五四六、九一五 | 四二三 |

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

## □通貨在高（單位圓）（大正十五年三月末）

| 區分 | 正貨 金貨 | 補助貨 銀貨 | 補助貨 白銅貨 | 補助貨 青銅貨 | 補助貨 計 | 銀行券 臺灣銀行券 | 銀行券 日本銀行券 | 銀行券 計 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 本月末 | 七七、六三〇 | 三、〇〇三、〇二一 | 五十錢 一、〇七八、〇三五<br>十錢 二、七三〇、〇〇〇 | 七二五、四六一 | 七、五三六、五〇七 | 四六、六〇三、三四一 | 四三一、一〇五 | 四七、〇三四、四四六 | 五四、六四八、五八三 |
| 前月末 | 七七、六三〇 | 三、〇〇三、〇二一 | 五十錢 一、〇七八、〇三五<br>十錢 二、七三〇、〇〇〇 | 七二五、四六一 | 七、五三六、五〇七 | 四六、四六五、一二一 | 四四二、七四三 | 四六、九〇七、八六四 | 五四、五二二、〇〇一 |
| 前年同月末 | 七七、六二〇 | 二、五三四、〇二一 | 五十錢 一、〇四五、五二五<br>十錢 二、一三〇、〇〇〇 | 七三四、三一一 | 六、四四三、八五七 | 四五、三四〇、五六五 | 三二二、五六三 | 四五、六六三、一二八 | 五二、一八四、六一五 |

備考　一、通貨在高ニハ臺灣銀行券ノ兌換準備ニ充テタル分ヲ除ク
一、通貨在高ニハ各銀行所有ノ分ト銀行外各人所有ノ分トヲ合算ス但銀行外各人所有ノ分ハ大正三年五月末ノ推定高ニ依ル

## □臺灣銀行券發行高及準備高（單位圓）（大正十五年三月末）

| 區分 | 發行高 | 正貨準備 金貨及金地金 | 正貨準備 銀地金 | 保證準備 諸公債 | 保證準備 商業手形 |
|---|---|---|---|---|---|
| 本月末 | 四六、六〇三、三四一 | 一四、九二六、六四六 | 七、三八六、五六四 | ― | 二四、二九〇、一三一 |
| 前月末 | 四六、四六五、一二二 | 一四、九二六、六四六 | 五、八〇三、二六七 | ― | 二五、七三五、二〇八 |
| 前年同月末 | 四五、三四〇、五六五 | 一二、九二六、五三四 | 六、四五四、四七六 | ― | 二五、九五九、五五五 |

## □臺北物價指數表（大正十五年三月末）

| 品目 | 本月 | 前月 | 前年同月 |
|---|---|---|---|
| 白米 | （一）二三八、四八 | 二五八、七二 | 二六七、四四 |
| 玄米 | （十）二二六、六六 | 二一三、五九 | 二二三、六八 |
| 清酒 | 三二一、四[illegible] | 三二一、四二 | 三四二、八六 |

| 品目 | 本月 | 前月 | 前年同月 |
|---|---|---|---|
| 參酒 | 一六四、〇〇 | 一六四、〇〇 | 一六四、〇〇 |
| 紅酒 | 三三三、三三 | 三三三、三三 | 三三三、三三 |
| 澤庵漬 | （十）一七九、四八 | 一七〇、九四 | 一八五、一八 |

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

| | | | |
|---|---|---|---|
| 小麥粉 | (一)一七四,三三 | 一七五,八四 | 一八〇,三七 |
| 砂糖 | (一)一三八,三一 | 一三三,八九 | 一三七,三三 |
| 鰹節 | (一)二〇七,八一 | 二五五,六一 | 二九〇,九〇 |
| 味噌 | 一五八,四六 | 一五八,四六 | 一六四,六一 |
| 醤油 | 一七〇,四五 | 一七〇,四五 | 一八一,八一 |
| 鴨卵 | (一)二三四,二八 | 二五四,二八 | 二三七,一四 |
| 火油 | 一六九,一三 | 一六九,一三 | 一六四,一〇 |
| 鹽 | 一四〇,九一 | 一四〇,九一 | 一四〇,九一 |
| 煙草 | 一八〇,〇〇 | 一八〇,〇〇 | 一五〇,〇〇 |
| 烏龍茶 | 七七,七九 | 七七,七九 | 七四,〇〇 |
| 包種茶 | 一三七,九三 | 一三七,九三 | 一三七,九一 |
| 白木綿 | (一)一九〇,四七 | 一九五,一三 | 二三六,一九 |
| 綿布 | (一)一四八,一九 | 一六六,二六 | 一九六,二八 |
| 洋紙 | 二〇八,六九 | 二〇八,六九 | 二一七,三九 |
| 日本紙 | 一三三,一三 | 一三三,一三 | 一三三,一三 |
| 杉板 | 三四四,四四 | 三四四,四四 | 三一三,一三 |
| 杉材 | 二八三,八七 | 二八三,八七 | 二五八,〇六 |
| 洋鐵 | 一八四,二二 | 一八四,二二 | 一八四,二二 |
| 鉛 | 二〇〇,〇〇 | 二〇〇,〇〇 | 二〇〇,〇〇 |
| 銅 | 一三八,七七 | 一三八,七七 | 一三八,七七 |
| 煉瓦 | 二〇八,七〇 | 二〇八,七〇 | 二〇八,七〇 |
| 日本瓦 | (一)一〇〇,〇〇 | 一一〇,〇〇 | 一一〇,〇〇 |
| 板硝子 | (一)一五〇,〇〇 | 一五六,二五 | 一六八,七五 |
| セメント | 一七六,四七 | 一七六,四七 | 一七六,四七 |
| 燐寸 | 二二七,一六 | 二二七,一六 | 二二七,一六 |
| 石油 | 一六八,一八 | 一六八,一八 | 一八一,八二 |
| 石炭 | 一三七,五〇 | 一三七,五〇 | 一三七,五〇 |
| 木炭 | (+)二四七,一三 | 二四六,六六 | 二五三,一三 |
| 薪 | (+)二四二,八五 | 二三八,五七 | 二一四,二九 |
| 平均 | (一)一九四,六五 | 一九七,九九 | 二〇〇,六〇 |

備考　本表ハ大正三年七月ノ物價ヲ一〇〇トシテ計算セリ表中(+)ハ騰貴(一)ハ低下ヲ示ス

## △平均指數五箇年對照表

| 月次 | 十五年 | 十四年 | 十三年 | 十二年 | 十一年 |
|---|---|---|---|---|---|
| 一月 | 一九七,八三 | 二〇三,一三 | 一九一,八一 | 一九一,六四 | 二〇三,六一 |
| 二月 | 一九七,九九 | 二〇三,三〇 | 一九一,九四 | 一九五,一三 | 二〇〇,一五 |
| 三月 | 一九四,六五 | 二〇〇,六〇 | 一九一,三二 | 一九六,〇六 | 一九九,四一 |
| 四月 | — | 二〇〇,三二 | 一九一,五九 | 一九六,〇一 | 一九九,二五 |
| 五月 | — | 一九九,〇一 | 一九四,一六 | 一九五,二七 | 二〇〇,〇三 |
| 六月 | — | 一九九,二八 | 一九二,七六 | 一九五,〇七 | 二〇一,九二 |
| 七月 | — | 一九九,八四 | 一九一,六一 | 一九〇,八六 | 二〇三,八九 |
| 八月 | — | 二〇一,七八 | 一九三,九二 | 一九〇,五六 | 二〇三,五四 |
| 九月 | — | 二〇三,四〇 | 一九八,三〇 | 一九三,〇四 | 二〇一,三三 |
| 十月 | — | 二〇〇,一五 | 二〇三,四一 | 一九〇,三三 | 一九六,六一 |
| 十一月 | — | 二〇〇,九三 | 二〇五,〇三 | 一九三,三八 | 一九七,三九 |
| 十二月 | — | 一九七,五二 | 二〇三,三三 | 一九三,六六 | 一九六,四〇 |

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

△各年月ヲ一〇〇トセル本月平均指數

| 基礎年月 | 十五年二月 | 十四年三月 | 十三年三月 | 十二年三月 | 十一年三月 |
|---|---|---|---|---|---|
| 本月平均 | 九八、三一 | 九七、〇三 | 一〇一、七四 | 九九、六八 | 九七、六一 |

# 臺灣貿易統計（大正十五年四月）

臺灣總督府稅關

## □貿易額

| 外國貿易 | 十五年四月 | 十四年四月 | 十五年累計 | 十四年累計 | 增減（●） |
|---|---|---|---|---|---|
| 輸出 | 円 三、四四〇、九六二 | 円 三、三三六、七八七 | 円 一四、二〇七、三八三 | 円 一二、〇九三、三四七 | 円 二、一一四、〇三六 |
| 輸入 | 六、四二八、四二〇 | 三、七五八、九六〇 | 二三、三三五、三四三 | 一九、五一九、七一七 | 三、八一五、六二六 |
| 計 | 九、八六九、三八二 | 七、〇九五、七四七 | 三七、五四二、七二六 | 三一、六一三、〇六四 | 五、九二九、六六二 |
| 輸出（入）超過 | （入）二、九八七、四五八 | （入）四二二、一七三 | （入）九、一二七、九六〇 | （入）七、四二六、三七〇 | — |

| 内地貿易 | 十五年四月 | 十四年四月 | 十五年累計 | 十四年累計 | 增減（●） |
|---|---|---|---|---|---|
| 移出 | 円 二一、五一〇、七三五 | 円 二二、四四三、四四九 | 円 一〇五、一九四、九三二 | 円 一一〇、八五六、二六二 | 円 ●五、六六一、三三〇 |
| 移入 | 一〇、一四四、七二四 | 九、一一二、五七六 | 三九、三八九、五五六 | 三三、〇八四、一〇七 | 六、三〇五、四四九 |
| 計 | 三一、六五五、四五九 | 三一、五五六、〇二五 | 一四四、五八四、四八八 | 一四三、九四〇、三六九 | 六四四、一一九 |
| 移出（入）超過 | 一一、三六六、〇一一 | 一三、三三〇、八七三 | 六五、八〇五、三七六 | 七七、七七二、一五五 | — |

## □輸出

| | 四月 數量 | 四月 價額 | 十五年累計 數量 | 十五年累計 價額 | 十四年累計 數量 | 十四年累計 價額 | 增減（●） 數量 | 增減（●） 價額 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 石炭 噸 | 六六、三五九 | 円 七六四、八二六 | 二四三、一九三 | 円 二、七八七、四五八 | 二四〇、九一九 | 円 二、五四二、八二六 | 二、二七四 | 円 二四四、六三二 |
| 包種茶 斤 | 五九三、九〇五 | 四七五、〇三三 | 一、六七八、二一九 | 一、三六七、〇五六 | 一、〇五八、四三一 | 八五八、三四五 | 六一九、七八八 | 五〇八、七一一 |
| 砂糖 同 | 三、〇八一、八五七 | 四三一、〇三三 | 一〇、七九一、六七三 | 一、五三〇、五七五 | 二〇、四九六、三〇三 | 二、八四八、八九三 | ●九、七〇四、六三〇 | ●一、三一八、三一八 |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 烏龍茶 | 同 | — | — | 三三〇 | 二七 | 一、二二五 | 九七四 | ●八九五 | ●九四七 |
| 綿織物 | 碼 | 一、〇三七、三一一 | 二六〇、三七八 | 六、四五七、五九〇 | 一、八三七、一三四 | 一、六七五、九七七 | 四八六、四三八 | 四、七八一、六一三 | 一、三五〇、六九六 |
| 樟脳 | 斤 | 三〇、〇〇〇 | 三五、一〇〇 | 五二六、五〇一 | 九三三、六三三 | 七〇七、五一九 | 一、二四一、八六二 | ●一八一、〇一八 | ●三〇八、二二九 |
| 鶏卵 | 同 | 三八四、一一〇 | 一七一、四三七 | 三、八五八、一〇四 | 一、一五一、五三八 | 五二七、六三〇 | 二三〇、一一四 | 三、三三〇、四七四 | 九二一、四二四 |
| 酒 | 升 | 五四一、八二〇 | 一八五、五六九 | 一、六〇〇、三八〇 | 五三四、二二八 | 二、二三三、八六〇 | 六七一、〇六一 | ●六三三、四八〇 | ●一三六、八三三 |
| 鹹魚及乾魚 | 斤 | 五三六、二二〇 | 一三〇、二七一 | 一、九〇七、九四八 | 三九二、〇七一 | 四、三〇一、二二九 | 五六一、一八三 | ●二、三九三、二七一 | ●一六九、一一二 |
| セメント | 同 | 八、〇一九、一二〇 | 一七三、五〇一 | 三一、八五三、一三八 | 六八一、八八二 | 一九、六七七、〇五七 | 四〇三、一六四 | 一二、一七六、〇八一 | 二七八、七一八 |
| 紙 | 同 | 三八二、六九六 | 四一、一三三 | 二、二四三、八六五 | 一九一、二四八 | 一、八七三、五七二 | 一四三、四一七 | 三六九、二九三 | 四八、八三一 |
| 燐寸 | 哥 | 一八、八六二 | 一三、〇五八 | 一三二、九三三 | 九八、四八五 | 七六、一三三 | 五九、二四五 | 五六、八〇一 | 三九、二四〇 |
| 苧麻 | 斤 | 一二九、七七五 | 四六、五二四 | 二〇五、八五八 | 七九、三七七 | 二七六、三九六 | 一一四、一四六 | ●七〇、五三八 | ●三四、七六九 |
| 貝柱 | 同 | 二〇、一八〇 | 二七、七四〇 | 九七、八一八 | 一二九、六三六 | 六七、八五九 | 八七、九四九 | 二九、九五九 | 四一、六八七 |
| 硝子壜 | 箇 | 八〇三、九八八 | 一九、五三七 | 二、五四八、八〇二 | 六一、九六三 | 三、四六四、三四七 | 八九、六六六 | ●九一五、五四五 | ●二七、七〇三 |
| 其他諸品 | | — | 六七六、八三一 | — | 二、四四〇、八九二 | — | 一、七七五、〇五四 | — | 六六五、八三八 |
| 計 | | — | 三、四四〇、九六二 | — | 一四、三〇七、三八三 | — | 一二、〇九三、三四七 | — | 二、二一四、〇三六 |

## 輸入

| | | 四月 | | 十五年累計 | | 十四年累計 | | 増減(●) | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 數量 | 價額 | 數量 | 價額 | 數量 | 價額 | 數量 | 價額 |
| | | | 円 | | 円 | | 円 | | 円 |
| 大豆油糟 | 斤 | 九、六八三、〇〇〇 | 五一三、四八四 | 九四、七四〇、四三〇 | 五、〇三九、九八八 | 九八、九三〇、八五〇 | 五、三三五、六二三 | ●四、一九〇、四二〇 | ●二九五、六三五 |
| 硫酸アンモニウム | 同 | 四、〇〇八、三七五 | 三九〇、六六八 | 二五、二九九、九四六 | 二、五六二、〇五五 | 一七、四〇四、八八一 | 一、八七二、八六三 | 七、八九五、〇六五 | 六八九、一九二 |
| 砂糖 | 同 | 九、一五九、三〇〇 | 一、一四六、八一九 | 一九、五〇八、二四二 | 二、四三〇、四三九 | 一二、一〇三、九八八 | 一、六一二、四四四 | 七、四〇四、二五四 | 八一七、九九五 |
| 大豆 | 同 | 二、九九〇、〇八三 | 三〇七、六二一 | 一四、〇七八、〇六八 | 九八三、九五三 | 一一、八一〇、九七一 | 八八六、三七七 | 二、二六七、〇九七 | 九七、五七六 |
| 阿片 | 同 | 九、二二三 | 三〇〇、二九五 | 三三、二二三 | 八七六、二九五 | 二八、九三四 | 七一三、三二五 | 四、二八九 | 一六二、九七〇 |
| ガンニー袋 | 箇 | 一七一、六〇〇 | 一二八、八〇四 | 一、七九八、八〇〇 | 一、三六一、六五二 | 一、七〇五、六〇〇 | 一、三七四、〇五六 | 九三、二〇〇 | ●一二、四〇四 |
| 木材 | | — | 一八〇、〇五五 | — | 六八二、八九三 | — | 六二〇、一三〇 | — | 六二、七六三 |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 米（籾共） | 斤 | 一三,六七六,〇〇三 | 一,三〇五,〇三一 | 二八,七二一,六一八 | 二,七〇三,四三四 | 一〇,二六一,八六六 | 八八〇,五五六 | 一八,四五九,七五二 | 一,八二七,八六八 |
| 石油 | ガロン | 一〇〇,〇三五 | 四六,七九六 | 七二三,七七一 | 四〇三,四一七 | 七六六,二四〇 | 四八〇,七四七 | ●一三,四六九 | ●七二,三三〇 |
| 包蓆 | 枚 | 五三九,六八〇 | 九八,六一八 | 二,〇三七,五六〇 | 三九八,七〇九 | 一,六二八,〇一三 | 三七六,六七二 | 四〇九,五四八 | 三三,〇三七 |
| 小麦 | 斤 | 三,四一七,八三〇 | 三〇七,六〇四 | 三,四二六,六一〇 | 三〇八,一〇三 | 五,〇〇〇,七一三 | 四七六,五六六 | ●一五,七四,一一三 | ●一六八,四六四 |
| 葉煙草 | 同 | 五六〇,四五三 | 三五九,九五八 | 九八四,九〇一 | 五一二,四四〇 | 九三八,四四二 | 五二五,八七七 | 四六,四五九 | ●一三,四三七 |
| 毛織物 | 方碼 | 八四,六三三 | 一一三,三一四 | 一二七,二九四 | 一八三,三三〇 | 一六六,五〇八 | 二四七,四六八 | ●三九,三二四 | ●六四,一四八 |
| 鹹魚 | 斤 | 二,三五一,四一一 | 一三七,五八五 | 一〇,二九四,八七二 | 七二六,一〇三 | 五,二三五,二三三 | 四七六,三五八 | 五,〇五九,六四九 | 二四九,七四五 |
| 黄麻 | 同 | 六七四,三三一 | 九九,八三九 | 二,〇六五,五九三 | 三八四,九六九 | 九三三,九三五 | 一四九,六三一 | 一,一三一,六五八 | 三三五,三三八 |
| 苧麻布 | 方碼 | 四〇九,九五五 | 九三,五〇〇 | 五一七,五〇九 | 一一三,九二五 | 六四四,四八五 | 一八〇,〇〇七 | ●一三六,九七六 | ●五六,〇八二 |
| 禮拝紙 | 斤 | 一六九,九三三 | 四六,九八五 | 五五九,〇九七 | 一六四,〇〇八 | 五五九,二七一 | 一八〇,三七〇 | ●一七四 | ●一六,三六二 |
| 繰綿 | 同 | 五九,八九九 | 二九,五九五 | 二二六,四四六 | 一一七,七三三 | 六三二,二八〇 | 三八,九六五 | 一五三,一六六 | 七八,七六七 |
| 鐵 | 同 | 九三四,一一四 | 七七,一一六 | 二,三三三,四三三 | 一八九,一六五 | 二,八五九,三六六 | 一九三,一三六 | ●六三五,九三三 | ●三,九七一 |
| コンデンスドミルク | 打 | 一七六 | 六〇九 | 一〇,〇五六 | 五三,七二八 | 一,三六〇 | 五,四九〇 | 八,六九六 | 四八,三三八 |
| 陶磁器 | | — | 二六,〇三九 | — | 九六,七四三 | — | 八〇,五三三 | — | 一六,二〇九 |
| 唐紙 | 斤 | 二九三,〇〇四 | 二六,八六九 | 一,〇三三,二八三 | 一〇一,七一九 | 七一三,七五一 | 九六,九七一 | 三一九,五三二 | 四,七四八 |
| 綿織物 | 方碼 | 一六九,四七九 | 一三六,一五五 | 二二三,三四一 | 一六五,七六九 | 二〇四,三三九 | 一七一,四六一 | 八,九二三 | ●五,六九二 |
| パラフインワックス | 斤 | 五一,四〇八 | 一二七三 | 一七,一七二 | 四七,四九八 | 二九六,六七二 | 八二,三三八 | ●一一九,四〇〇 | ●三四,八四〇 |
| 錫 | 同 | 一四,三七三 | 二五,四九五 | 四四,九六三 | 八一,二九二 | 四〇,三〇七 | 七九,六六七 | 四,六五六 | 一,六二五 |
| 豆索麵 | 同 | 五八,一一四 | 一七,四七九 | 一八九,九五九 | 六二,一四一 | 一五七,八四八 | 六五,三三八 | 三二,一一一 | ●三,〇九七 |
| 石炭 | 噸 | 一,〇〇〇 | 一〇,五〇〇 | 四,五〇〇 | 五二,五五〇 | 七,九五六 | 一〇五,七九五 | ●三,四五六 | ●五三,二四五 |
| 苧麻綿布 | 方碼 | 一四三,九二六 | 五九,九三六 | 一四三,九二六 | 五九,九三六 | 一四七,二七八 | 七八,六一八 | ●三,三五二 | ●一八,六八二 |
| 機械用油 | 斤 | 七四,四〇五 | 一〇,〇三八 | 二三四,四九七 | 三四,三三三 | 一九一,九九五 | 三四,九六一 | 四二,五〇二 | ●六二八 |
| 輕油 | ガロン | 二,四一五 | 二,三五二 | 四八,八二七 | 五二,六四九 | 二四,〇七一 | 三三,〇七九 | 二四,七五六 | 二〇,五七〇 |
| 其他諸品 | | — | 六二七,五五八 | — | 二,三六四,三九七 | — | 二,〇七五,四〇六 | — | 二八八,九九一 |
| 計 | | — | 六,四二八,四三〇 | — | 一三,三三五,三四三 | — | 一九,五一九,七一七 | — | 三,八一五,六二六 |

□移出

| 品名 | 單位 | 四月 數量 | 四月 價額(円) | 十五年累計 數量 | 十五年累計 價額(円) | 十四年累計 數量 | 十四年累計 價額(円) | 增減(●) 數量 | 增減(●) 價額(円) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 砂糖 | 斤 | 二四,二四九,五六〇 | 一六,一五五,五四九 | 六〇一,一九九,四九〇 | 七八,五四七,七一九 | 五六八,六三三,六〇七 | 八五,〇〇四,七八三 | 三二,五六五,八八三 | ●六,四五七,〇六四 |
| 米 | 同 | 一七,五五三,三三〇 | 二,〇一五,七〇三 | 一三九,六六八,一六〇 | 一五,四五二,五九七 | 一二五,八八九,七五〇 | 一三,八五一,九六四 | 一三,七七八,四一〇 | 一,六〇〇,六三三 |
| 芭蕉實 | 同 | 一三,九三七,九一〇 | 八九三,四三七 | 三一,一九六,七二〇 | 一,七九二,二二七 | 三五,〇五三,七七〇 | 二,四七四,四八〇 | ●三,八五七,〇五〇 | ●六八二,二五三 |
| 酒精 | 升 | 九四六,五四〇 | 五三二,九一六 | 三,六四三,七六〇 | 一,九三七,八五一 | 二,八七八,四六〇 | 一,五二二,四六六 | 七六五,三〇〇 | 四一五,三八五 |
| 木材 | | — | 二一一,四〇三 | — | 一,〇五三,一八七 | — | 一,一三〇,七四八 | — | ●七七,五六一 |
| 樟腦油 | 斤 | 五〇七,一七〇 | 二六六,七五五 | 二,二一四,九八九 | 一,〇六二,一五三 | 一,七四四,三三四 | 八五七,三八〇 | 四七〇,六五五 | 二〇四,七七三 |
| 切乾藷 | 同 | — | — | 一五,八〇〇 | 七九〇 | 七,七二三,五四〇 | 二六七,四八七 | ●七,七〇七,七四〇 | ●二六六,六九七 |
| 鳳梨罐詰 | 打 | 四一,七〇九 | 一五一,六五八 | 一二七,六七四 | 四七三,三七七 | 一五五,一〇三 | 五三九,〇二二 | ●二七,四二九 | ●六五,六四四 |
| 石炭 | 噸 | 一三,四五〇 | 一三〇,六〇〇 | 五三,〇〇二 | 五〇一,六九七 | 八二,一九六 | 八四五,二三〇 | ●二九,一九四 | ●三四三,五三三 |
| 模造パナマ帽子 | 箇 | 二四〇,六〇〇 | 八〇,二〇〇 | 一,七六一,〇〇〇 | 五八七,一〇〇 | 一,〇八四,八〇〇 | 三六一,九八四 | 六七六,二〇〇 | 二二五,一一六 |
| 鰹節 | 斤 | 五二,三三三 | 八一,九六七 | 一三三,四〇一 | 二〇六,〇一五 | 六五,九八六 | 八五,四二八 | 六七,四一五 | 一二〇,五八七 |
| 食鹽 | 同 | 三,九〇〇,〇〇〇 | 七三,三五〇 | 五六,二〇七,九〇〇 | 四四一,〇七八 | 五三,四八三,四二〇 | 四一八,五三一 | 二,七二四,四八〇 | 二二,五四七 |
| 樟腦 | 同 | 一一三,四〇〇 | 三四,五〇〇 | 一五七,七〇二 | 二九八,二九八 | 四二五,一八一 | 七六〇,八五四 | ●二六七,四七九 | ●四六二,五五六 |
| 鑛 | 同 | 五,七四五,七二六 | 一一九,六〇三 | 一五,〇五六,〇〇八 | 三三〇,四三五 | 一一,八〇六,七八八 | 二九六,六四九 | 三,二四九,二二〇 | 三三,七八六 |
| 麻織物 | 碼 | 一三三,三六〇 | 五四,五一五 | 六七九,四六〇 | 一六一,八三〇 | 一,〇五一,四七二 | 二五二,九四六 | ●三七二,〇一二 | ●九一,一一六 |
| 其他諸品 | | — | 五三九,六八二 | — | 二,三五八,五八八 | — | 二,一七六,三二一 | — | 一八二,二六七 |
| 計 | | — | 二一,五一〇,七三五 | — | 一〇五,一九四,九三二 | — | 一一〇,八五六,二六二 | — | ●五,六六一,三三〇 |

□移入

| 品名 | 單位 | 四月 數量 | 四月 價額(円) | 十五年累計 數量 | 十五年累計 價額(円) | 十四年累計 數量 | 十四年累計 價額(円) | 增減(●) 數量 | 增減(●) 價額(円) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 米 | 石 | 一,五二九 | 六七,七〇五 | 一三,三一〇 | 四二一,四〇〇 | 八四,四四六 | 二,一五七,五九九 | ●七一,一三六 | ●一,七三六,一九九 |

| 品名 | 單位 | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 綿及綿織物 | | — | 一,七八四,五四九 | — | 六,一七三,九四七 | — | 三,五六八,九一六 | — | 二,七〇四,〇三一 |
| 肥料 | 斤 | 三,〇〇五,三五四 | 一六〇,四〇一 | 三,七一六,三三三 | 一,七〇一,二〇一 | 四五,九三三,五九六 | 二,九三三,二〇〇 | ●二二,二一七,二七四 | ●一,二三一,九九九 |
| 鐵 | 同 | 四,一九二,二五〇 | 四九六,三七一 | 一九,一二八,八一五 | 二,二六三,一八六 | 一五,二二八,〇六四 | 二,一〇三,一一一 | 三,九一〇,七五一 | 一六〇,〇七五 |
| 鹹乾魚 | 同 | 二,〇五六,七〇一 | 三九九,八四九 | 五,九九六,八〇四 | 一,一〇五,七四九 | 一三,三七九,五二四 | 一,六六一,八四五 | ●六,三八二,七二〇 | ●五五六,〇九六 |
| 小麥粉 | 同 | 三,二四五,二六五 | 三八九,一三八 | 一〇,七四〇,〇一八 | 一,三四七,二三三 | 六,一〇七,二〇七 | 八四〇,五五七 | 四,六三三,八一一 | 五〇六,六七六 |
| 綿 | 同 | 一,〇〇〇,九二〇 | 二五八,六五九 | 四,六六〇,五五〇 | 一,三四一,八〇一 | 九八八,二九五 | 四九六,九三〇 | 三,六七二,二五五 | 八四四,八七一 |
| 紙 | | — | 三三五,二三三 | — | 一,〇三二,四五一 | — | 一,〇五八,八一八 | — | ●二六,三六七 |
| ガンニー袋 | 箇 | 八八,一〇〇 | 四〇,八二六 | 四八二,二〇〇 | 二六五,三八〇 | 一,〇六三,二九〇 | 六八九,五七七 | ●五八一,〇九〇 | ●四二四,一九七 |
| 鐵製品 | | — | 一九八,三九七 | — | 八二七,五三三 | — | 六六五,二九一 | — | 一六二,二三三 |
| 木材 | | — | 二四七,〇五三 | — | 一,一一三,四六六 | — | 三八七,二六八 | — | 七二五,一九八 |
| 絲類 | | — | 一三九,八六七 | — | 六九一,〇〇九 | — | 五六〇,三八九 | — | 一三〇,六二〇 |
| 清酒 | 打 | 六,〇五〇 | 五六,六八八 | 二四,〇五六 | 二一九,五六九 | 七一,八五一 | 六九七,七二五 | ●四七,七九五 | ●四七八,一五六 |
| 麥酒 | 同 | 八三,九二二 | 四〇〇,一〇三 | 一八五,一五一 | 八六七,七一一 | 一〇七,二四三 | 五一三,九三二 | 七七,九〇九 | 三五三,七七九 |
| 紙卷煙草 | 千箇 | 五九,七六〇 | 一四〇,六一五 | 三七三,六二〇 | 八九一,八七三 | 二六五,〇二〇 | 五四九,九〇〇 | 一〇八,六〇〇 | 三四一,九七三 |
| メリヤス肌衣 | | — | 四四,一二六 | — | 二四七,三三〇 | — | 一八二,七五一 | — | 六四,四六九 |
| 燐寸 | 哥 | 一一,五五九 | 八七,四二九 | 四九三,八五一 | 三八三,〇九〇 | 四九七,九三七 | 四〇五,七〇六 | ●四,〇八六 | ●二二,六一六 |
| 罐詰食物 | | — | 二〇三,九九五 | — | 六二九,六八三 | — | 三六七,〇四一 | — | 二六二,六四二 |
| 自轉車同部分品及附屬品 | | — | 一五五,三七六 | — | 五六〇,一二三 | — | 三一七,五六〇 | — | 二四二,五六三 |
| 石油 | ガロン | 一三七,一二〇 | 七一,〇八九 | 五六九,二一〇 | 三〇五,四六四 | 五二五,四五九 | 四一六,六五三 | 四三,七五一 | ●一一一,一八九 |
| 毛織物 | | — | 六六,八一七 | — | 二七五,三三三 | — | 一六九,一二〇 | — | 一〇六,二二三 |
| 鐵道建設用材料 | 斤 | 九九九,三九二 | 八一,一八四 | 二,七七九,〇五六 | 三三〇,三五二 | 二,四八五,二八六 | 二一〇,八二三 | 二九三,七七〇 | 九,五四〇 |
| 菓子類 | | — | 一三九,五四五 | — | 三四二,四五三 | — | 二四六,八五六 | — | 九五,五九七 |
| 切組板 | | — | 八四,三五二 | — | 二五五,一九一 | — | 一五七,一八八 | — | 九八,〇〇三 |
| 醬油 | 石 | 九五五 | 六〇,一一八 | 三二,二九一 | 二〇六,八四八 | 三,八〇一 | 二四四,〇六〇 | ●一一〇 | ●三七,二二二 |
| 石鹼 | | — | 一〇〇,八一八 | — | 二六五,三六二 | — | 二二五,三七四 | — | 四九,九八八 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 機械用油 | — | 三四,九五二 | — | 一五三,〇〇九 | — | 一九三,三一九 | — | •四〇,三一〇 |
| 陶磁器 | — | 八一,七九二 | — | 二六〇,六五一 | — | 一八四,九六六 | — | 七五,六八五 |
| 砂糖斤 | 九〇,三七五 | 二二,三七五 | 八四八,二二四 | 一九九,四五三 | 五六四,六五八 | 一五二,三四八 | 二八三,五六六 | 四七,一〇四 |
| セメント同 | 三,九四三,五三三 | 八四,〇〇九 | 一五,二四〇,五三〇 | 三三七,五八九 | 九,五九七,二四六 | 二〇一,三九七 | 五,六四三,二七四 | 一三六,一九二 |
| 其他諸品 | — | 三,八三三,二九四 | — | 一四,三九六,二三八 | — | 一〇,五三三,八九八 | — | 三,八六二,三四〇 |
| 計 | — | 一〇,一四四,七二四 | — | 三九,三八九,五五六 | — | 三三,〇八四,一〇七 | — | 六,三〇五,四四九 |

## □港別貿易額

| 港名 | 輸出 | 輸入 | 計 | 十五年累計 | 十四年累計 | 増減(•) | 移出 | 移入 | 計 | 十五年累計 | 十四年累計 | 増減(•) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 |
| 基隆 | 二,〇七七,四〇三 | 三,〇八八,五五七 | 五,一六六,五五九 | 五〇,〇七〇,九八四 | 四四,二三九,八三三 | 五,八三一,一五一 | 二,七四八,七五一 | 七,四八〇,七三三 | 一〇,二二九,四八四 | 六〇,三三四,一五二 | 五五,三六八,九五四 | 五,九六五,一六八 |
| 臺北 | 四八五,一五四 | 四五五,七七一 | 九四〇,九二五 | 二,五七六,〇五五 | 二,三六九,八五六 | 一〇六,一七七 | — | — | — | — | — | — |
| 淡水 | 五二,五六八 | 一〇〇,五五〇 | 一五二,五九八 | 一,〇〇二,五五九 | 一,〇六八,六五五 | •[illegible] | — | — | — | 六,〇〇〇 | 一一,六五〇 | •五,六五〇 |
| 安平 | 七,五三三 | 一五八,六五五 | 一六六,一八八 | 六三五,二九四 | 七九七,五五九 | •一六二,二六五 | 四五五,五〇〇 | 一,三七三,七七九 | 一,八二八,〇七九 | 五,〇一三,一一三 | 三,六九九,〇六八 | 一,三一四,〇四五 |
| 高雄 | 五五八,六六二 | 二,五八六,六〇一 | 三,一四五,二六三 | 二三,九九一,八五四 | 二三,七八五,六六六 | 二〇六,一八八 | 一,五九九,七五四 | 一,五五六,七四一 | 三,一五六,四九五 | 七六,九五一,四六六 | 八四,一二五,五五一 | •七,一七四,〇八五 |
| 其他諸港 | 六〇,八二七 | 一五八,五九四 | 二一九,四二一 | 四〇八,八三三 | 五五五,六九六 | •一四六,八六三 | 三六,五四〇 | 五四,五四一 | 九一,〇八一 | 五八六,五九八 | 八六六,五五四 | •二七九,九五六 |
| 計 | 三,四四〇,九六二 | 六,四三八,四五〇 | 九,八七九,四一二 | 五七,五四八,七二六 | 五二,八一五,六〇四 | 五,九九九,六六二 | 二,二五〇,五五五 | 一〇,二四四,七五四 | 一二,四九五,四九九 | 一四四,五六四,八八八 | 一四五,二七一,五六七 | 六四四,一二九 |

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣時報文苑を設けることになつた。短歌、俳句、漢詩を廣く讀者に寄せていただき度い。流派を問はず、最も自由な氣持で、此の島の自然と生活との親しみをうたうものとして行き度い。
短歌及漢詩は臺灣時報發行所宛、投稿締切毎月二十五日。

# 俳壇

## 五月空

林原耒井

五月空崩えつくす山あを／＼と
さんごし暑や目白がせせりこぼすさへ
てる／＼ばうず夜目にもしるき青葉ずれ
幟綱たぐる未練の夕青葉
おとごひのいさかひ涼し節句星
いのちいつぱい鳴き寄りし蚊を打ちそらす
白し山梔子(くちなし)且(あした)暑さの幌はねつ　（登校）

⊙　山本孕江選

鐘鳴るや青田の中の葬儀堂　紫川
甘蔗畑に灌ぐ夜水や龍骨車　同
炎天や伸びしカンナの花眞紅　同
龍骨車踏むや峰雲うつりゆく　素山
舟先や流るゝ螢飛ぶ螢　同
顔先を暗がり過ぎし螢かな　同
支那醫者の騾馬の鈴鳴る青田道　青亞
煉瓦燒く竈小高く青田中　同
がじまるに雨聞く夜の蚊帳かな　同
夏服や玄關出れば强日射　みさく
朝風のわたる睡蓮そよぎつれ　同
睡蓮やいづこよりなる子守唄　同
水牛に沼水にごる夏の雨　荏吾
さみどりに海暮れてゆく籐寢椅子　同
合歡の葉の夕ざれてきし籐寢椅子　同
臺北は驟雨しきりや龍骨車　青原
うたゝ寢の腕さすりつゝ蚊帳に入る　同

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

龍骨車水藻かゝりて動きをり　南山
龍骨車刺竹の上の晝の月　同
睡蓮や眞紅の中の浮御堂　戀雨
睡蓮に立つ人ありて池ほとり　同
睡蓮や玩具の舟に遊ぶ子等　鍵峰
龍骨車踏む傍の大土瓶　同
布袋草咲きむらがれる日の出かな　不二居
炎天下四人草を燃やしをり　同
濠端や漂ひ暮るゝ布袋草　牛欣
竹筏の桶にかゞめる裸かな　同
臺車降りて炎天の坂を歩きけり　翠江
濁流やきれぐ\流れ布袋草　同
朝風にゆらぐ芭蕉や金魚鉢　ゆたか
蚊遣すや窓灯明りの瓜畑　同
五月雨や二階で鳴らす蓄音器　洋々
紫陽花や明け放ちある應接間　同
夕近き椰子のさやぎや籐寢椅子　孕江
妻も來て涼みがてらの夜釣かな　同

◎募集　四季雜詠（十句）締切毎月二十五日、句稿は時報俳壇と明記の事、投句先臺北市東門町九七ゆうかり社宛

## 歌壇

たつを

裏庭に白き干物あまたして部屋あかるきに書よみてをり

書しをれば日のてりよわりいちぢろし白布庭につらね干せれば

小雨ながら暮るむら山のひとところ洩れ日のこりてうき立つ山あり

相思樹

明日はまた明日にのびなんちかひなれど泊りてゆかなあるじのなさけに

おやの愛をかたれる母とむかひゐてだんまりわれは飯はみゐたり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

## 五月の夜に

南海雄

星あかき南國の夏の夜となれりそゞろ歩くにピアノの聞こゆ

蕃人の山燒く火かや夜の山に赤き火が見ゆかの奥山に

## 鳥來にて

秋影

山峽の瀬音に交ひつ枝を鳴らし青葉亂して風吹き渡る

山の宿夜半さむければいなむしろ夜もすがら聞く溪の水音

# 詩壇

## 阿里山七首

田邊碧堂 華

峻峯敷鐵路盤旋。聳翠穿黄奇構全。不用仙人假飛佩。飈輪掀祭上青天。

阿里山勢高且蟠。上有喬木雲常屯。一境清冷欲無夏。窈冥七十二洞門。

鐵車輾過萬崔嵬。夜宿高峯冷雨催。夢破推窗天絶翳。却疑星斗入懷來。

喬木千章又萬章。鴻濛一氣鎭蒼蒼。山靈方許斧斤入。送與中州成棟梁。

昔謁名山夢寐中。來三千里始相逢。巖巖維石支天闕。横絶江湖十萬峯。

山如連塔石成層。只住神仙不著僧。威貌堂堂壓華嶂。白雲作勢欲飛騰。

丹青豈必屬人間。神秘居然別一寰。十二萬年今始見
天開圖畫在深山。

臺北雜詠 節五　　同　人

七星山上雲如樹。總督衙前樹似雲。雲樹籠怱成夏色。
凉拖島女石榴裙。

南薰天氣試新茶。淡水河頭阿妹家。茉莉花香香在手。
雨前同摘上番茶。

風化臺灣變市聲。大街如砥小車輕。青衣巧操東京語。
伴過高襟女學生。

新拓公園在翠微。游人此日餞春歸。不驚啼盡劍潭水。
榕樹陰深白鷺飛。

事去劉公雉堞空。新新大道四方通。兩行栽遍相思樹。
寶馬香車綠蔭中。

丙寅五月將上歸舟留別　　同　人

七星山下玉鑾聞。日月潭前瑤草薰。臺島神仙與余好。
吟衣重拂海天雲。

臺陽雜詠次碧堂先生十絕句韻 節九

魏　潤　庵 清德

一島孤懸大海東。古來從不受秦封。黑潮深處珊瑚窟。
十丈波濤吼怒龍。

春朝苦冷雨霏々。午霽還須換葛衣。南國風光君記取。
落花時節有螢飛。

水社湖中獨木船。繞湖山半帶雲烟。石頭數杵清音發。
一曲番歌唱採蓮。

剖絲大甲蓆成紋。織女機裏自絕羣。厚祿故交音信斷。
祇應持取贈朝雲。

蓽路先民夙墾荒。稻田蔗圃色青蒼。如何一半存餘力。
男尙耕耘女未桑。

次碧堂先生留別韻送別

伊　藤　壺　溪 賢道

三絕鄭虔天下聞。仙山去覓瑞芝薰。憑君剪贈東都客。
白玉峯頭一片雲。



Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

# 臺灣日誌

自四月二十一日
至五月十八日

## 四月

▼二十三日
・米穀會第十九回大會臺北鐵道ホテルに開催
・高等學校新校舍へ移轉
▼二十四日
・醫學專門學校卒業式擧行總督臨場す
・臺北官民米穀會員歡迎會を開く
▼二十五日
・臺南安平運河開通式擧行さる
・石黑農務局長一行阿里山視察
▼二十七日
・總督府に於て臺灣宣傳會協議をなす
▼二十八日
・名古屋市臺灣視察團內地へ歸還
▼三十日
・日本米穀會臺灣支部創立總會開かる
・植物園內招魂社敷地地鎭祭執行

## 五月

▼一日
・山砲兵大隊創立記念祝賀會擧行
・嘉義購買利用組合創立總會を開く
▼二日
・新竹商工會總會開催
・高雄港殉難者招魂祭執行
・高雄北海道航路中元丸就航
・營林所規定改正造林課設置
▼三日
・基隆輕鐵十五週年記念會を催す
・臺北小學校長會議開催
▼四日
・臺南州視學會議を開く
・馬公要港所屬驅逐艦三隻基隆へ入港
▼六日
・臺北籾摺組合叺米包裝練習會開催
▼七日
・米穀移出組合事務所落成式擧行
・鹿兒島市臺灣視察團來臺
・新竹林業販賣購買利用組合成立
▼九日
・高雄製氷會社臨時總會を開く
・臺北州羅東郡管內蕃狀不穩、警戒隊入山す
▼十日
・後藤長官阿里山視察に出發
▼十一日
・臺北產業組合內地視察團出發
・臺北商工會常議員會開かる
▼十二日
・宇賀專賣局長南部地方視察
・福岡縣教育視察團來臺
▼十三日
・臺灣運輸組合總會高雄に開催
▼十五日
・基隆女學校新築落成式擧行
・文山郡茶品評會開催
・臺灣軍司令部首腦者會議開かる
▼十六日
・後藤長官阿里山及南部視察より歸府
▼十七日
・宜蘭商工會臨時總會開催
・東京警察講習生視察團來臺
▼十八日
・高雄港船舶出入及運行規定改正
・基隆珊瑚市場糶市開始
・臺南州小公學校長會議開催

# 人事消息

自四月二十六日
至五月二十五日

▼小栗馬公要港部參謀長四月二十六日內地へ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

▼井上會計檢査院檢査官　四月二十七日來臺
▼木村泰治氏(本誌評議員)　同日歸臺
▼武田高等商業學校長　四月二十八日內地へ
▼三澤高等學校長　同上
▼色部府技師　四月三十日南洋より歸臺
▼伊澤總督　五月一日內地へ
▼片山殖產局長　同上
▼平山秘書官　同上
▼生野交通局總長　同上
▼志村源太郎氏　五月一日內地へ歸還
▼石黑農務局長　同上
▼井野農務局米穀課長　同上
▼大塚取引課長　同上
▼赤石定藏氏(本誌評議員)　同日上京
▼川村鐵太郎伯　同上
▼森脇府技師　五月二日歸臺
▼宮尾舜治氏　五月三日內地へ歸還
▼中瀨特產課長　同日內地へ
▼內田新竹州內務部長　同上
▼梅田海軍武官　五月三日南洋方面へ出發
▼辰巳司令官　五月五日歸臺
▼濱島步兵聯隊長　同上
▼中西山砲大隊長　同上
▼花井博士　同日來臺
▼靑木博士　同上
▼星一氏　同上
▼三卷俊夫氏　五月六日內地へ
▼坂本警務局長　同上
▼津久井誠一郎氏(本誌評議員)　五月九日南支那へ
▼靑木、花井兩博士及星一氏　五月十一日內地へ
▼久米孝藏氏(本誌評議員)　同上
▼古賀三千人氏(本誌評議員)　五月十二日歸臺
▼野口警務部長　五月十二日歸臺
▼陸軍築城部福井中將　同上來臺
▼川崎臺銀理事(本誌評議員)　五月十六日內地へ
▼大澤府事務官　同上
▼喜多臺南州知事　五月十七日歸臺
▼本山臺中州知事　同上
▼平山寅次郎氏(本誌評議員)　同上
▼福田內務省事務官　同日來臺
▼田賀府技師　五月二十日歸臺
▼伊藤稅關長　同上
▼小栗海軍大佐　同上
▼尾辻交通局副參事　五月二十一日內地へ
▼中瀨特產課長　五月二十九日歸臺

## 任命

大正十五年（自四月十九日 至五月二十日）

▼四月十九日

(各通)

臺中市屬　別府兵太郎
臺中州郡屬　山口孫一郎
兼任臺灣總督府地方警視

臺灣總督府地方警視　別府兵太郎
同　山口孫一郎
臺中州勤務ヲ命ス

▼四月二十日

(各通)

臺灣總督府法院檢察官　後藤和佐二
臺灣總督府法院判官　相原祐彌
同　宇野庄吉
上京ヲ命ス

臺灣總督府中央研究所技師　素木得一
東京及京都ノ兩府竝北海道廳下へ出張ヲ命ス

臺灣總督府交通局技師　長沼淺造
東京及仙臺ノ兩鐵道局管內へ出張ヲ命ス

臺灣總督府法院書記兼臺灣總督府法院通譯　渡邊竹次郎
任臺灣總督府地方理事官

臺中州郡屬　廬原貞次郎
兼任臺灣總督府地方警視

臺中州警部　結　七郎

兼任臺灣總督府地方理事官

臺灣總督府地方警視　別府兵太郎

同　山口孫一郎

依願免本官

臺灣總督府地方理事官　渡邊竹次郎

臺北州勤務ヲ命ス

臺灣總督府地方警視　蘆原貞次郎

臺灣總督府地方理事官　結　七郎

（各通）

臺中州勤務ヲ命ス

臺灣總督府高等學校教授　矢野禾積

文官分限令第十一條第一項第四號ニ依リ休職ヲ命ス

▼四月二十一日

臺灣公立實業學校長　柳川鑑藏

補宜蘭農林學校長

臺灣公立實業學校教諭　樋口孝

嘉義農林學校長事務取扱ヲ命ス

臺灣總督府法院檢察官　三好一八

東京、京都、佐賀ノ二府一縣下ヘ出張ヲ命ス

▼四月二十一日

臺灣總督府地方理事官　渡邊竹次郎

依願免本官

臺中州郡屬兼臺灣總督府地方警視　蘆原貞次郎

（各通）

依願免兼官

臺中州警部兼臺灣總督府地方理事官　結　七郎

（各通）

▼四月十日

臺灣總督府高等學校教授　飯沼龍遠

臺灣總督府在外研究員ヲ命ス

一年十月間、佛、獨、英及米ノ四箇國ニ在留スヘシ

▼四月二十三日

臺灣總督府事務官　富田松彦

財務局長阿部滂不在中代理ヲ免ス

臺灣總督府技師　三宅勉

殖産局附屬植物檢查所長兼務ヲ命ス

臺灣總督府技師　素木得一

殖産局附屬植物檢查所長兼務ヲ免ス

▼四月二十六日

法令取調委員會委員　下村充郎

法令取調委員會幹事ヲ命ス

▼四月二十七日

臺灣總督府法院書記　並河忠雄

任臺灣總督府地方理事官

臺灣總督府地方理事官　野口滿

依願免本官

臺灣總督府地方理事官　並河忠雄

臺北州勤務ヲ命ス

▼四月二十四日

臺灣總督府州事務官　角田廣治

同　增田秀吉

（各通）

上京ヲ命ス

臺灣總督府州事務官　野田敬治

神奈川縣下ヨリ上京ヲ命ス

臺灣總督府州警察醫　太田眞三次

東京、大阪、熊本ノ二府一縣下ヘ出張ヲ命ス

▼四月二十六日

臺灣總督府技師　森部令次

一時歸府ヲ命ス

▼四月二十八日

臺灣總督府殖産局長　片山三郎

臺灣總督府技師　鈴木進一郎

（各通）

大阪、愛知ノ一府一縣下ヘ出張ヲ命ス

臺灣總督府交通局總長　生野團六

東京、大阪、兵庫、愛知ノ二府二縣下ヘ出張ヲ命ス

臺灣總督府交通局參事　戸水昇

東京、大阪、名古屋、廣島及熊本ノ各遞信局管内ヘ出張ヲ命ス

臺灣總督府高等商業學校長　武田英一

東京、大分、愛知ノ一府二縣下ヘ出張ヲ命ス

臺灣總督府高等學校長　三澤糾

東京、大阪、京都、兵庫、靜岡、茨城、宮城ノ三府四縣下竝ニ北海道廳下ヘ出張ヲ命ス

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣總督府事務官　横光吉規
大阪、京都、愛知、岐阜、兵庫、和歌山ノ二府四縣下へ出張ヲ命ス
臺灣總督府地方理事官　島井勝治
東京、大阪、福岡、宮崎、愛媛ノ二府三縣下へ出張ヲ命ス

▼四月二十八日

臺灣總督府醫院醫官　松山恂
任臺灣總督府醫院醫長

臺灣公立實業學校教諭兼臺灣公立中學校教諭　古川美代治
任臺灣公立實業學校教諭（高等官七等）

臺灣總督府法院書記　關口篠三郎
任臺灣總督府地方理事官

臺灣總督府地方理事官　並河忠雄
依願免本官

臺灣總督府醫院醫長　松山恂
臺北醫院勤務ヲ命ス

臺灣公立實業學校教諭　古川美代治
補臺中商業學校教諭

臺灣總督府地方理事官　關口篠三郎
臺北州勤務ヲ命ス

▼四月二十六日

臺灣總督府視學官　若槻道隆
教科書調査委員會委員ヲ命ス

▼四月二十八日

臺灣總督府高等商業學校教授　切田太郎
臺灣總督府高等商業學校長武田英一不在中代理ヲ命ス

▼四月二十九日

臺灣總督府法院書記兼臺南州警部　宮本彌久次
任臺灣總督府地方理事官

臺灣總督府醫院醫長　松山恂
臺灣總督府地方理事官　關口篠三郎
依願免本官
（各通）

臺灣總督府地方理事官　宮本彌久次
臺北州勤務ヲ命ス

▼四月三十日

判事　安平政吉
任臺灣總督府高等學校教授

臺灣總督府地方理事官　宮本彌久次
依願免本官

休職臺灣總督府醫學專門學校教授　安達島次

臺灣總督府警務局長　坂本森一
東京、大阪、京都、愛知ノ三府一縣下へ出張ヲ命ス

臺灣總督府事務官　中瀬拙夫
大阪、愛知、兵庫ノ一府二縣下へ出張ヲ命ス

臺灣總督府秘書官　平山泰
伊澤總督東京、大阪、愛知ノ二府一縣下へ出張ニ付隨行ヲ命ス

臺中州知事　本山文平
上京ノ序ヲ以テ愛知、新潟ノ二縣下へ出張ヲ命ス

臺灣總督府秘書官　一戸二郎
總督官房秘書課長平山泰不在中代理ヲ命ス

▼五月一日

臺灣總督府交通局副參事　白井泉藏
私設無線電信通信從事者資格檢定委員ヲ命ス

▼五月二日

臺灣總督府事務官　能澤外茂吉
營林所庶務課長兼造林課長ヲ命ス

臺灣總督府技師　上野忠貞
營林所臺中出張所長ヲ命ス

臺灣總督府技師　稻村時衛
營林所勤務ヲ命ス

▼五月三日

臺灣總督府州事務官　內田隆
東京、京都、愛媛、富山、大分、福島ノ二府四縣下へ出張ヲ命ス

北海道帝國大學助教授　足立仁
任臺灣總督府高等農林學校教授

臺灣總督府地方理事官　鈴木房夫
東京、大阪、京都、靜岡、愛知、長野、近

庫ノ三府四縣下ヘ出張ヲ命ス

臺灣總督府技師　森　脇　虎　壽

東京、長崎、山口、靜岡、高知ノ一府四縣下ヘ出張ヲ命ス

▼五月四日

臺灣總督府技師　栗　山　俊　一

歐米各國ヘ出張ヲ命ス

▼五月一日

臺灣總督府事務官　淺　野　安　吉

殖産局商工課長橫光吉規不在中代理ヲ命ス

▼五月三日

臺灣總督府高等學校教授　安　平　政　吉

臺灣總督府在外研究員ヲ命ス

二箇年間獨、英ノ二箇國ニ在留スヘシ

▼五月四日

臺灣總督府事務官　今　川　淵

殖産局特産課長中瀨拙夫不在中代理ヲ命ス

臺灣總督府中央研究所技師　金　子　昌　太　郎

東京、京都、群馬、福岡、鹿兒島ノ二府三縣下竝北海道廳下ヘ出張ヲ命ス

臺灣總督府交通局副參事　樋　口　憲

東京、大阪ノ兩遞信局管內ヘ出張ヲ命ス

臺灣總督府交通局參事　藤　田　光　夫

上京ヲ命ス

▼五月五日

臺灣總督府高等農林學校教授　足　立　仁

臺灣總督府在外研究員ヲ命ス

二箇年間獨、英、米ノ三箇國ニ在留スヘシ

▼五月六日

臺灣公立實業學校教諭　長　東　有　鄰

支那廈門、仙頭、廣東及英領香港ヘ出張ヲ命ス

臺灣總督府事務官　佐　藤　續

警務局長坂本森一不在中代理ヲ命ス

▼四月三十日

臺灣總督府醫學專門學校教授　安　達　島　次

赴任ノ途次東京、京都、新潟ノ二府一縣下ヘ出張ヲ命ス

▼五月八日

臺灣總督府交通局技師　堀　口　勉　一　郎

東京、札幌、神戸ノ各鐵道局管內ヘ出張ヲ命ス

臺灣總督府交通局副參事　香　取　吉　萬

東京、仙臺、門司ノ各鐵道局管內ヘ出張ヲ命ス

臺灣總督府事務官　大　澤　清　高

東京府下ヘ出張ヲ命ス

臺灣總督府州事務官　角　田　廣　次

上京ノ序ヲ以テ北海道廳下ヘ出張ヲ命ス

臺灣總督府州事務官　增　田　秀　吉

上京ノ序ヲ以テ福井縣下ヘ出張ヲ命ス

▼五月十一日

普通試驗委員　一　戸　二　郎

普通試驗委員長鼓包美不在中代理ヲ命ス

臺灣總督府中央研究所技師臺灣總督府技師　素　木　得　一

任臺灣總督府高等農林學校教授兼臺灣總督府中央研究所技師臺灣總督府技師如故

▼五月十二日

臺灣公立實業學校長　山　崎　繁　樹

東京、大阪、愛知、石川、島根ノ二府三縣下ヘ出張ヲ命ス

臺灣總督府殖産局長　片　山　三　郎

大阪、愛知ノ一府一縣下ヘ出張ノ序ヲ以テ山口縣下ヘ出張ヲ命ス

▼五月十三日

臺灣公立實業學校教諭　小　出　梅　吉

任臺灣公立實業學校長

臺灣總督府醫學專門學校教授兼臺灣總督府醫院醫官　早　田　五　助

免兼官

臺灣總督府醫學專門學校教授　早　田　五　助

兼任臺灣總督府醫院醫長

臺灣公立高等女學校教諭　池　田　忠　勝

依願免本官

臺灣公立實業學校長　小　出　梅　吉

補臺北商業學校長

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺北醫院勤務ヲ命ス

臺灣總督府醫院醫長 早田五助

▼五月十四日

補臺灣總督府高等農林學校生徒監

臺灣總督府高等農林學校敎授 金森貞吉

臺灣總督府高等農林學校生徒監ヲ免ス

臺灣總督府高等農林學校敎授 八谷正義

任臺灣總督府高等學校敎授

東北帝國大學助敎授 早坂一郎

▼五月十三日

臺灣總督府高等農林學校敎授兼臺灣總督府中央研究所技師臺灣總督府技師 素木得一

臺灣總督府在外研究員ヲ命ス

二箇年間獨、墺、洪、佛、英、米六箇國ニ在留スヘシ

▼五月十四日

臺灣產業技師 關一造

東京ヨリ茨城、長野ノ兩縣下ヘ出張ヲ命ス

▼五月十七日

臺灣總督府事務官 一戸二郎

總督官房會計課長大津清高不在中代理ヲ命

臺灣總督府事務官及

[illegible]敎官 福田直躬

[illegible]、島根、山口、山形、岩手、宮城、福

[illegible]、新潟、長野、山梨

福井、岐阜、三重、奈良及兵庫ノ一府十七縣下ヘ出張ヲ命ス

任臺灣總督府技師

臺灣總督府交通局燈臺看守 小野岐

任臺灣總督府技師

臺灣總督府交通局燈臺看守 瀧田晋一

任臺灣總督府技師

臺灣公立實業學校敎諭 樋口孝

任臺灣公立實業學校長兼臺灣公立實業學校敎諭

臺灣公立高等女學校敎諭兼臺灣公立高等女學校長 近藤廉三

任臺灣公立高等女學校長兼臺灣公立高等女學校敎諭

臺灣公立高等女學校敎諭兼臺灣公立高等女學校長 本田喜八

免兼官專任臺灣公立高等女學校長

▼五月十八日

臺灣總督府技師 福永金太

同 小野岐

同 瀧田晋一

依願免本官

▲五月十四日

臺灣總督府高等農林學校敎授 早坂一郎

臺灣總督府在外研究員ヲ命ス

二箇年間獨、佛、英、米四箇國ニ在留スヘシ

▲五月十七日

臺灣總督府技術 小野岐

內務局土木課勤務ヲ命ス

臺灣總督府技師 瀧田晋一

內務局土木課勤務ヲ命ス

臺灣公立實業學校長 樋口孝

補嘉義農林學校長

▼五月十八日

臺灣總督府事務官 横光吉規

大阪府外一府四縣下ヘ出張ノ序ヲ以テ福岡大分ノ二縣下ヘ出張ヲ命ス

臺灣公立高等女學校長 楠基道

東京府下ヘ出張ヲ命ス

▼五月十九日

臺灣總督府中央研究所技師 澁谷紀三郎

中央研究所農業部長大島金太郎不在中代理ヲ命ス

任臺灣總督府醫院醫長

臺灣總督府醫院醫官 森澤清

任臺灣總督府醫院醫官兼臺灣總督府醫學專門學校敎授

補兼臺灣總督府醫學專門學校助敎授 花室憲章

任臺灣公立高等女學校敎諭

臺灣公立中學校敎諭 宮崎弘吉

臺南醫院勤務ヲ命ス

臺灣總督府醫院醫長 來沼清

臺灣總督府醫院醫官　花室憲章
臺北醫院勤務ヲ命ス

臺灣公立高等女學校敎諭　宮崎弘吉
補臺北第一高等女學校敎諭

臺灣總督府交通局副參事　尾辻哲三
東京、仙臺、門司ノ各鐵道局管內ヘ出張ヲ命ス

臺灣總督府事務官　中瀨拙夫
大阪府外二縣下ヘ出張ノ序ヲ以テ東京、廣島ノ一府一縣下ヘ出張ヲ命ス

臺灣總督府殖産局長　片山三郎
大阪府外二縣下ヘ出張ノ序ヲ以テ東京府下ヘ出張ヲ命ス

臺灣總督府技師　鈴木進一郎
大阪府外一縣下ヘ出張ノ序ヲ以テ東京府下ヘ出張ヲ命ス

▼五月二十日

臺灣總督府地方醫視　永井國次郎
臺灣公立高等女學校敎諭　宮崎弘吉
依願免本官

## 寄贈書目

| 書名 | | 發行所 |
|---|---|---|
| 臺灣日々新報 | 每號 | 其社 |
| 臺灣新聞 | 同 | 其社 |
| 臺南新報 | 同 | 其社 |
| 臺灣經世新報 | 同 | 其社 |
| 萬朝報 | 同 | 其社 |
| 九州日々新聞 | 同 | 其社 |
| 國報 | 同 | 其社 |
| 東亞經濟研究 | 同 | 其社 |
| 實業之臺灣 | 同 | 其社 |
| 工業評論 | 同 | 其社 |
| 臺法月報 | 同 | 同發行所 |
| 糖業 | 同 | 臺灣糖業研究會 |
| 臺灣敎育 | 同 | 其會 |
| 臺灣貿易表 | 同 | 臺灣總督府稅關 |
| 朝鮮 | 同 | 朝鮮總督府 |
| 臺灣民報 | 同 | 其社 |
| 臺灣鐵道 | 同 | 其會 |
| 臺灣農事報 | 同 | 臺灣農友會 |
| 向陽會報 | 同 | 向陽會 |
| 稅務月報 | 同 | 稅務職員共慰會 |
| 貿易 | 同 | 日本貿易協會 |
| 臺灣鑛業會報 | 同 | 其會 |
| 臺灣警察協會雜誌 | 同 | 其會 |
| 南洋協會雜誌 | 同 | 其會 |
| 海事新報 | 同 | 帝國海事協會 |
| 週報(上海貿易) | 同 | 上海日本商業會議所 |
| 東洋 | 同 | 東洋協會 |
| 偕行社記事 | 同 | 陸軍偕行社 |
| 海友 | 同 | 大連海務協社 |
| 地方 | 同 | 帝國地方行政學會 |
| 臺灣パック | 同 | 臺灣パック社 |
| 遞信協會雜誌 | 同 | 遞信協會 |
| 一味 | 同 | 本願寺臺灣開敎々務所 |
| 臺灣貿易月表 | 同 | 總督府稅關 |
| 茶業界 | 同 | 靜岡縣茶業組合聯合會 |
| 臺灣醫學會雜誌 | 同 | 醫學專門學校 |
| 專賣通信 | 同 | 專賣局 |
| 臺灣之茶業 | 同 | 臺灣茶商公會 |
| 讀書會雜誌 | 同 | 滿鐵讀書會 |
| 警察彙報 | 同 | 朝鮮警察協會 |
| 社會研究 | 同 | 滿洲社會事業研究會 |
| 臺灣山林會報 | 同 | 臺灣山林會 |
| 稅 | 同 | 國民租稅協會 |
| 臺灣之產業組合 | 同 | 臺灣產業組合協會 |
| 臺灣遞信協會雜誌 | | 臺灣遞信協會 |
| 社會政策時報 | | 財團法人協調會 |
| 臺灣詩薈 | | 同發行所 |
| 朝鮮地方行政 | 同 | 帝國地方行政學會朝鮮本部 |
| 月報 | 同 | 大阪商業會議所 |
| 海外重要記事 | 同 | 總督府調查課 |
| 化學工藝 | 同 | 化學工藝社 |
| 蘭領印度時報 | 同 | 南洋協會爪哇支部 |
| 新高新報 | 同 | 其社 |
| 朝鮮及滿洲 | 同 | 其社 |
| 中央佛敎 | 同 | 其社 |
| 語苑 | | 臺灣語通信研究會 |
| 人と人 | 同 | 協調會 |
| 海運月報 | 同 | 其社 |
| 海外時報 | 同 | 外務省情報部 |
| 發明 | 同 | 帝國發明協會 |

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

# 支那及南洋情報

臺灣總督官房調查課

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

# 目次


## 支那

顏內閣の成立と顏閣……一
吳佩孚のミラード評論報主筆に對する談話……一
湖南省局今後の趨勢……二
湖南變局の裏面に潜む神祕的人物……四
漳州情報……五
厦門市中に於ける五月九日遊行の記……八
漳泉軍事要聞……九
吳佩孚氏薩福建省長を推崇す……一〇
汕頭情報……一一
汕頭管內電燈會社及電球取扱商……一二
汕頭通信……一二
胡漢民突然省を離去せる原因……一三
廣州各工會人數の調査……一四
廣東省の生絲生產狀況……一六
廣東國民政府及國民黨要人錄……一九
豐養の骸炭製造調査報告……二三
支那に於ける工業機械……二六
香港の排貨と其影響……二八

## 佛領印度支那

印度支那月報(一九二六年五月中)……三〇

## 馬來半島

英領馬來に於ける鑛業……三五
英領馬來の工業……四三
邦人經營護謨園に就て……四五
柔佛王國の土地解禁……四九

## 蘭領東印度

蘭領印度に於ける土人農業(上)……四九
蘭領印度新總督の任命……五八
蘭領印度に於ける邦人同業者輸入組合の組織……五八

## 英領印度

印度の本邦綿製品に對する態度及印度政府の意見……六〇

# 情報

## 支那

### □顏内閣の成立と顏觸

大總統令にて支那内閣々員左の如く發表されたり。

| | |
|---|---|
| 國務總理 | 顏惠慶 |
| 外交總長 | 施肇基 |
| 内務總長 | 鄭謙 |
| 陸軍總長 | 張景惠 |
| 海軍總長 | 杜錫珪 |
| 教育總長 | 王寵惠 |
| 農務總長 | 楊文愷 |
| 交通總長 | 張志潭 |

猶ほ施外交總長歸國着任まで顏總理が兼任することとなれり。

（五月十三日——北京電）

### □吳佩孚のミラード評論報主筆に對する談話

タイムス報にミラード評論報パウエル主筆が近頃漢口にて吳佩孚に會見したる時の談話を傳へ居れるが、大意は略ぼ下の如し。「吳云く、憲法一たび恢復し政府が法に依りて成立せる後は、國内の問題自然に解決されん。故に目前執る所の主旨は過激主義と抗爭するに在り。過激主義既に完全に滅除すれば中國自ら安全なるべしと。パウエルは吳が屢々過激主義を以て云々せるを以て、因みに過激主義の畢竟何物なるかを問ひ、其の露人の勢力を指すに非ずやと質したるに、吳は云ふ其の何の處より來れる者たるに論なく過激主義者は皆之を掃蕩し一齊に殺盡するか或は驅逐して國外に出さんと欲すと。又云く、中國の過激主義あるは孫文に始り、而して汪精衞・蔣介石等之を承く、北方には蔡元培・林長民等あり、中國年少の士は之に誘せらる。若し適制を加ふるに非ずんば政府は枕を安んじ難く、全國將に無政府とならんとすと。パ主筆は嘗て吳が一九二〇年・一九二一年間に力を致して京漢鐵路工人の爲め工會を發起したりと聞き

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

居れるに、今呉の云ふ所の如くなるを見て頗る異と爲せるが、後呉が更に孫文より派遣し游說せしめたる工黨代表を銃殺したる程なれば、其の此の如き言を爲せるは亦別に用意する所あるを見るべきのみ。パ氏又詢ふに奉天張作霖の事を以てせるに、呉云く、奉天張作霖の憲法恢復と合法政府を主とするの二事に於ける、完全に己と同一なりと。又云く、奉直の間には決して切實なる條款とてはなきも、双方皆統一に努力するを以て志と爲すのみにて別に切實なる條款を要することなしと。又次に北京關稅及法權の二會議に對する呉の意見を問へるに、呉は何等の言議を挾まず、只云ふ、我は武人なれば此種の事は當に政府成立の後に於て正當なる官吏より辦理すべきものなりと。又云く、中央政府が若し鞏固にして有力ならんには今日稱して重要事件と爲す所のものは將に問題とは成らざらんとすと。終に臨み呉は又云ふ、當に民意に從ひ去就を決すべしと。かくて呉氏はパ氏を留めて午餐を饗せる席上に於て更に呉・張間の關係に言及して云く、彼此互に再び戰ふことなからん。我等二人は夫婦の如し。初婚の時には齟齬ありしも、其の後久しきを經て情好いよ〱篤きものなりと。云々」。呉の兵力は現に僅に衛隊六千人あるのみ。一外國領事のパ氏に告ぐる所によれば呉は月々鹽餘款中より二十萬元を得つゝありと。又別の一外國領事は云ふ。呉は毎月烟酒稅約六萬元を得つゝありと。又一外人の說には呉の武人たる。亦中國其他の武人と相伯仲せり。其の左右には隨分妙な人物あり。呉は兵五十萬を有すと號稱せるも、時々の情勢によりて只朝夕間に轉移するを免かれざらん。(五月二十一日—新聞報)

## □湖南省局今後の趨勢

湖南局勢は未だ徹底的に解決したるには非るも、其の首領を何人とするかの問題は已に一般人士の考慮に上り居れり。其の第一時期として呉佩孚氏側にては、葉開鑫を督理とし賀耀祖を省長とし、而して趙炎午(恒惕)を推して數省聯軍總司令と爲さんと欲しつゝあり。蓋し趙氏若し省長の職權を復せば呉氏が蛇蝎視せる省憲は必ず之と共に恢復せん。しかるに趙氏を閑散の身に居らしめば湖南局勢は維持し難く、西南方も亦應付し難からん。此れ皆呉氏が熟慮せる所のものなり。若し趙氏にして聯軍總司令たるを樂まざる時は湖北の陳調元・江西の鄧如琢をして電報にて趙氏を推崇せしめんと欲す。趙氏は此の意外の榮寵を得ば必ず省長を輕視して就かず湖海に彌播して發言を爲さゞらんと。然るに此の計は賀耀祖の反對ありし爲め遂に畫餅に歸せり。又次に第二時期として賀耀祖中立を主とし葉氏と唐氏とを調和解決せしめんとするに至れり。然るに呉氏側の未だ地盤を得ざるもの爭ひて自ら解決の任に當らんことを進言し、竝に

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

種々の計劃を定めたり。此の際第一に進むものは彭壽莘の督理・符定一或は葛應龍の省長なるが、彭の志達するときは湘鄂邊防督辦たるべく、岳州に駐紮し其の督辦署の組織宏大にして軍署と異ることなし。而して張敬堯之を聞きて匆々に南下し湖南省前督軍たるの資格を以て自ら進まんとす。符・葛二人は湖南人にて符氏は吳氏の左右に在りて尤も信任を得居り、葛氏は岳陽の紳士にて吳氏が岳州に居し時は葛宅を以て其の接待所に充てらる。此等皆省長の地位を得るに尤も便宜ある資格者なり。然るに吳氏は飽くまで人世の患難を經たるものなれば頗る審愼躊躇の餘約に發表を見合せ居る間に孫傳芳氏の電報至れり。其の大意云ふ、湘軍は羣龍首なき有樣なれば趙氏を迎ふるに非れば湘局を安ずる能はず。省憲問題は暫く論ぜずして先づ軍心を固結するを謀るべし。然らざれば湘局瓦解し長江亦枕を安んじ難からんと。而して末に臨み亦謂ふ、省憲は隣省を危害するに足らざらんと。吳氏は此の電報に接し始めて決意し、獨り嫡系を之に居らしむるを肯んぜざるのみならず、葉・賀二氏を督辦・省長に分任するの令も亦發表されず、專ら趙氏を迎ふるの聲氣のみ、三湘七澤の間に彌滿するに至れり。

湖南省の四師團長　賀耀祖・劉鉶・葉開鑫・唐生智の四人は各師長として並駕齊驅すること已に年あり。劉鉶が能く屈し能く伸ぶるを除くの外は皆相下らず。劉鉶捕へられたる後は葉・賀・唐の三人は鼎立の勢と爲れり。唐氏は葉氏を畏る。故に賀を友として葉を敵とせり。今葉・賀並立せるも高下の勢は稍分明となり缺裂の痕を現ぜり。故に賀氏は討賊副司令に就かずして別に護湘軍の旗幟を樹てたり。此れ葉氏と友たるは可なるも其の下風に立つは願ふ所に非ればなり。葉・賀共に趙氏の嫡系なれば、賀氏は趙氏を迎ふるを主とし葉氏も亦此の心理を同じくせるも、其の居る所の情勢は同じからず。故に一は急にして選擇する能はず、乃ち鄰助を引いて聲色を壯にし、一は境泰く心舒なれば省憲を護持するを以て相呼號するのみ。且つ賀氏は唐氏の急進にして速に敗れたるに鑑み、先づ實力を培養し葉氏と提携し、趙氏を迎へて湘局を保たんとせるなり。

唐氏の趙氏歡迎は不確　湘人兵を受くるの日久しく痛傷尤も深ければ、客軍を排斥するの念は極めて堅固なり。されば初より南北の分別はなく賀氏の心理と相適合せり。省議會公法團代表の上海に赴き趙氏を迎ふるものは之が爲めに相續きて止まず。但し近日唐生智が鍾才宏を派し上海に赴き趙氏を迎へたりと傳ふるものあるは全然不確實なり。鍾氏の湘を離れたるは未だ何等の任務をも含まず、且つ唐氏は一意獨行の人なれば亦決して此の舉あるべからざるなり。

此に由りて觀れば趙氏の歸湘は已に問題なきに似たるも、能く熟察するときは猶ほ困難なる事あり。趙氏若し省憲を犧牲として安全を求むるときは此より前に必ず其の職を去らじ。湖北の吳氏は省憲に對し存廢共に心に掛くるなしとするも、葉氏已に總司令の職を受けたるを一朝にして之を率き下ぐるは葉氏尙ほ之を忍ぶとするも、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

吳氏はかくて之を許し得るや否やは問題なり。故に今後の湘局は趙氏を迎ふるには疑義なかるべきも、かくて法律(省憲)は何を以て全きを求むべきか、又亦實上何を以て取捨するかは、尤も各方面の協定に待つのみ。(五月二十日―新聞報漢口特信)

## □湖南變局の裏面に潜む神秘的人物

今次の湖南戰爭には忘るべからざる主要人物一人あり、即ち揚州人顧某是れなり。顧は湖南省に放浪し、初は紳士傅梅根門下の客と爲り、彈珠に精しく京調を善くしたれば、頗る傅氏の善遇する所となれり。其の後數年ならざるに已に佛法に歸依し、一躍して唐生智の尊師となりぬ。唐氏の威嚴を持する極めて重きに拘はらず、顧は獨り直に其の名を呼ぶに至る。唐氏の祈求する所あるや、輒ち顧氏の前に長跪して其の教を請ふを常とす。唐氏の師團長たる時、恒に門を閉ぢて顧と密談し終日倦むを知らず。然るに其談ずる所究竟何事なるかを詳にせざるも、仄に聞く所によるに是の時顧は密に唐氏に告ぐるに、將來中國を收拾するの責は足下に在り。其の保助者として南方に蔣介石あり、北に吳佩孚あり、皆足下の驅使に供すべく、一年の内に湖南を占有し、三年の後には馬に長江に飲はむ、五年目には全國を平定せん云々を以てせりといふ。唐氏は此れを以て益々自ら重んずる所あり。嘗て大言して曰く、馮玉祥は基督教を以て軍を治むるも、我には顧老師あり、佛教を以て軍を治むべしと。湘中權勢を逐ふの徒は此の趨勢を見て顧老師に歸依し高く阿彌陀を唱頌せざるは莫く、我が佛の慈悲は衆生の爲め幸福を施與さるゝものなりと思ふに至れり。

さればにや唐氏の親友にて未だ受戒せざるものあれば、唐氏必ず親しく其の門に至り百方勸誘の極涕泣するに至れり。しかも畢竟何を以て此に至れるかを知らざる程なりき。故に唐氏が省長代理たりし時は佛門の子弟皆欣然歡喜せざるはなかりき。猶ほ憶ふ、去年唐氏が湖南々部に赴きて軍隊を檢閱せし時の如き、專ら佛法の宣揚に力め、彼の顧氏が袈裟を著けて高く立てる下に近く跪けるものを見れば、此れ即ち當時飛ぶ鳥をも落すべき唐氏なりき。唐氏既に此の如くなれば下旅團長營長に及ぶまで皆大地に匍伏せざるはなし。然るに顧氏は手に兵士の名簿を持ち聲高らかに喚び傳へ一一進んで受戒せしめぬ。兵士共は皆長官の此の如くなるを見て受戒者は皆膝行して進まざるはなく、恰も神明に對するが如し。此れ亦軍心を團結するの妙術なりと謂ふべし。

今年陰曆正月に趙炎午(恒惕)氏が白喇嘛を聘請して湘中に入り、金光明法會を開き人民の爲め災厄を禳除せし時、白喇嘛に從ひ念咒するもの實に夥しき數に上れるが、此れより佛門中に白派・顧派の別を生ぜり。顧氏は之を聞き亦衡州にて金光明法會を擧行し儼然とし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

て之と法を圖はしけるが、久しからずして湘局に變化を生じたり。されば此の中には神秘的作用を含み、或は亦大に政治作用もありしと觀察せらる。

かくて顧の收入は大に觀るべきものあり。其の時々の期節には唐氏必ず萬金を之に送り名けて香資と爲せり。軍官政客も己が罪蘖を懺悔し法會執行を名とし、資を納れ顧氏の主として之を行はんことを請ふや、顧は必ず之を却くること三回、しかも資を納るゝものゝ再三懇求する餘長跪して起たず、流涕止まざるに至り、始めて之を受納するを例としたりき。

唐氏の政に就くや直に顧氏を延いて省に入る。顧氏時に衡州に在り蒲團に靜坐しつゝありしが、心血潮の如くに湧き來るや、忽ち徒衆に語げて曰く、吾が徒唐生智は已に一省の寶位に上り身を捨てゝ世を救はんとす。貧衲政治に參預する能はず、行く〳〵將に名山に遨遊して我が靈根を淨めんとすと、言ひ訖りて裝束を整へ長沙に向ひ出發せり。唐氏は法駕の來るを望むこと切なるも未だ其の降臨を見ず。蓋し已に舟を轉じて東下し揚州に至りしならん。人以爲へらく顧は一下江の客にして未だ薙髮せず素菜を食はざれば亦猶ほ尋常人なるのみと。しかるに唐氏は稍醫人に過ぐるの身を以て何が爲めに之を信ずること此の如きに至れるか。之を解說するものに二種あり。一は謂ふ、唐氏心に大志を懷き神道を以て敎を設け自ら其の作用を現ぜんとするなりと。又一は謂ふ、顧氏は確かに異術を存せり。人の謁見を請ふ時必ずしも自ら其の心中を言はざるも顧は已に其の人の心事を知れり。唐氏が軍隊を檢閲せし時、其の時刻は皆顧が定めし所なりしが、是の日偶雨雲に遇ひたり。然るに其の檢閲時限に至るや直に天晴光を放ちたれば、兵士は皆主將の福分の非常なるを感歎せり。然れども此れ反りて顧の法力に依れるものなりしなりといふ。（五月二十一日—新聞報）

## □漳州情報

**張毅氏の離漳は不可能ならん**　北方今回の政變及動亂により在漳州の張師長毅氏は吳佩孚氏の內命を受け、江西督理として榮轉するものゝ如しとの說あるも、實際張氏が漳州を離去せんとすれば、二萬餘の軍を率ゐて赴任せざるべからず。然るに現在廣東省一帶の軍情は訓練と實力とを有せる張軍の離漳を許さゞるべし。加之目下詔安方面にては再び民軍張貞討伐の爲め第一師第一支隊劉志逵の軍を派し、尙上杭方面には約七千の兵を駐屯せしめつゝありしが、去る四月五日廈門鎮守使署參謀長劉濟楠を派し、又漳浦方面には第一師團參謀長張廣洪を派し、廣東省境一帶の線に渉る全軍の巡視をなさしめつゝあるが如き緊張せるの狀態に在り。しかも張毅氏が單身に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

て江西に赴任せんか、所謂兵力なき名實相伴はざるの督理として失脚せんかの患あり。又一面全軍を率ゐて離漳せんか。省の北部に出沒常ならざる葉定國・楊淡烈の殘部土匪の襲來及粤軍の邊境を侵す憂あるを免れず。されば其の後任者として何人を駐在せしむべきや等の問題もあり。目下道尹署最高幹部に於て極秘裏に商議を凝らしつゝあるもの々如きも、或は實現不可能なるやに觀測さるとは在漳州厦門道尹署某氏の談なり。

龍溪縣立師範學校建設計畫　龍溪縣立師範學校は前清末葉に所謂丹霞書院を以て之に充當し來りしが、今回朱文公の遺跡たる北門の芝山麓に經費三萬圓を投じて新に之を建築する由。其の漳州府下各縣への割當額は左の如しといふ。

龍溪縣　一萬元　海澄縣　五千元　漳浦縣　五千元
南靖縣　二千元　平和縣　二千元

蠶業學校設立熱　漳州にては目下蠶業熱勃興しつゝある模樣にて、不日斯道の代表者をして江蘇・浙江方面へ桑樹の視察をなさしめ、歸漳の上蠶業學校を設立すべしと傳へらる。

反基督教氣分の再興　漳地一帶に再度反基督教氣分再興せるの感あり。漳州日報には「反基督教は目下一日も緩うすべからざる事業なり。基督教は根本的に我が民族的獨立精神を破壞す。彼教の提倡せる統治階級の被統治階級壓迫、女子階級の男子階級附屬物說は、是れ民族運動・女權運動當面の障得物に非ずや。此の障碍物を去らずば我等の前には何の民族開放があらん、又男女平等あらん。故に我等は兄弟姉妹に對し、一致協同して我等の勁敵たる基督教に向ひ戰を開き、之が目的を最短期間内に達せざるべからざるを檄告するものなり」云々と記せる程なり。（以上四月十日―漳州通信）

日本曲馬團入漳開演　日本曲馬團は四月下旬入漳開演することゝなりたる爲め學生團は排日的行動を執らんとしたるに對し漳州當局者は其の主唱者五名を拘禁し、今尙龍溪縣公署に留め置けるが、聞く所によれば同曲馬團開演中萬一一般學生に於て排斥運動等を釀成せしむるが如き形勢ある場合は、立ちどころに斬罪に處することゝし、該團無事終了歸國次第之を釋放する意向らしく、卽ち該拘禁學生は曲馬開演中の排日勃興防止の一策として一種の人質となりたる觀あり。然るに該曲馬團長金丸氏は司令部に副官長を訪ひ、學生の將來を誡め、速に釋放する樣懇請したるも未だ許容されざる模樣なり。尙該金丸團長の名義を以て當地重なる官民に對し、百枚の優待券を贈呈し、其の他の觀覽券に關しては　大銀一弗半　一千名分　一等夜間券　同一弗　一千名分　一等晝間券　同一弗　五百名分　二等夜間券　以上總價格大銀三千弗　此の外　夜間三等券　五百枚　小銀五百元也　共計大銀三千弗小銀五百元の入場券を司令部副官長の職權を以て、當地軍界・學界・商界等に對し四月三十日迄に集金することを條件として高處より購入を促し配布するやうなし居れり。かゝる公然たる待遇と後援とに依り、我が國の一小曲馬團も安心して、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

日本人皆無の漳州に於て、堂々と開演せらるゝことは未曾有の事に屬し、當地心あるもの、話題となり、我が國家の爲め慶福すべきことなり。(以上四月二十九日—同)

**劉志逵部の解散處置**　大正十四年石碼に駐在したる洪兆麟の失脚後、其部下約一旅と共に福建陸軍第一師長張毅の部下として來降し、同師第一支隊長の任にありし劉志逵は、今回其職を辭し其部下支隊全部の解散を行ふことゝなれり。而して兵卒にありては既に夫々張師長直屬の第一旅第二旅中に編入せられしが、將校に在りては本人の自由意志によりて歸國する者に對しては、連長一人二箇月分の俸給百四十四元、排長一人三箇月分九十六元、司務長一人三箇月分七十二元、司書生一人三箇月分四十八元、號長一人三箇月分三十六元、正目一人三箇月分三十元、副目一人三箇月分二十七元、副兵同二十四元、伙夫同二十四元の割合にて退職賜金を與ふることゝし、依然として此地に留まる者に對しては前官同等の待遇を以て第一師中の第一旅第二旅中に編入して使用することゝなれりと云ふ。蓋し中國陸軍は一個師團は二旅に限るに拘はらず、張師長は部下として來降せる粵軍を合して三旅を有するを以て、之を減じて正規の二旅とす可しと云ふ督理周陸人氏よりの電命に依るが故にと云ふ表面の理由なるも、而も一面何等の訓練なく不規律にして粗野放縦無學なる粵軍をして永く駐屯せしむことの害ありて益なく、尙又それ等異分子の同居する事に依りて或は軍機の漏洩、師長身邊の危險等の虞あるに依り解散を斷行するに至りしもの、如し。

**日本曲馬團と學界との疏通**　日本曲馬團金丸得三郎一行入漳開演せんとするに當つて、厦門學生團の煽動ありたるを以て、當地學生團が排斥運動を起さんとしたるに、師長の威嚇に遇ひ之を中止するに至れり。然るに之が爲め開演以來當地學生にして或は又學界に其籍を有する者に於て入場する者皆無なるのみならず、尙又開演以來之が動機となりて學界と官廳との間に穩かならざる感情を釀成するに至りしため、金丸團長は五月七日入漳せる信託公司陳長福氏を訪ひ、相方の感情融和策に就き圓滿なる解決運動方を懇請する所あり。陳氏は直ちに當地中學校長陳石軒及教育局長戴國楨の兩氏を訪問し、其の意を述べ、當日曜日を機として半額又は無料にて一般學生の團體入場を勸誘せし所、教育界にありても其旨を諒とし、直に學界の召集を行ひ各意見の交換を行ひたる結果、今直ちに團體にて入場すると云ふ事は、今尙厦門側學生團との連絡ある以上、同團の諒解を得る必要あるに依り、今回は團體の名義を避け、個人として入場する方穩なるべしと云ふに議決したる由。

**拘禁學生を出したる學校長の解職**　尙聞く所に依れば既報拘禁學生を出したる學校長は責任者として師長の命により解職せられたりと云ふ。

**五九の平穩無事**　五月九日は國恥記念日なりしも例年開催の記念會其他の示威運動各種の集合は師長の命により絕對禁止せられ平日

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

と何等異る處なかりき。

曲馬團の名譽　海澄縣知事は張師長の諒解を得て、一週間大銀千元を以て曲馬團を買收し、同地一般人民に觀覽せしめ度意向あり。又師長よりは曲馬團に對し技術絶倫と題せる扁額及大銀二百元を、又海澄縣知事より大銀百元を各該曲馬團に寄贈し來りしといふ。

（以上五月十三日―同）

# □厦門市中に於ける五月九日遊行の記

是の日の午前八時頃各團體は新馬路に集合して五九籌備會の規定せる道筋に照して行列を開始せり。（一）遊行の先導者は益同人の糾察隊百餘人にして。（二）警鐘一口に從へ、沿途に之を打鳴らしたり。（三）は五九國恥籌備會職員十餘名にして、（四）武裝警察數十人、其他は學校及社團等約九十餘隊にて其の大略は左の如し。

玉業學校百人。國民黨第一區七十人。福和水菓途七十人。厦門中學八十人。厦南女學四十人。商報職員二十人。錢莊公會百人。閩南職業學校四十人。雙十九十五人。中川中學七十五人。大同四百人。和安五十人。端本七十人。吉祥五十人。南洋兄弟煙草公司職員三十人。蒙泉學校六十人。人道百二十人。怡々四十人。附岐六十人。平民三十人。太山五十人。正誼九十人。溥江三十人。安溪公會百八十人。國民黨二十區三十人。青年學校百人。同善八十人。勵德八十人。崇實百十四人。興安會館四十人。厦門公學五十人。福建八十人。光華百人。國民黨三區三十人。江聲報職員二十人。大同中學及實善學校百二十人。延陵百二十人。雅化四十人。尙志五十人。紫陽八十人。民立八十人。桃源六十人。永春會館四十人。香山學校百二十人。育民百二十人。十三中學八十人。國民黨十九區四十人。勵業女學六十人。中華中學七十人。同文書院二百五十人。廣東會館八十人。華僑學校四十人。勵志八十人。覃恩九十人。思明中學二十人。普育三百人。清河學校八十五人。培育義務學校五十人。競存二百人。美術學校二十人。大中六十人。惠安公會八十人。國民黨九分部三十人。毓英女學八十人。崇德女學一百〇五人。漁民八十七人。師範百〇五人。武榮四十人。厦聲報職員三十人。益壽義務學校六十人。慈兒院百人。育才四十六人。厦大模範小學三百七十五人。女子公學八十人。米商四十人。雜貨途八十人。普江公會三十人。樹人學校四十人。雜貨研究會五十人。華僑女學六十人。龍山五十人。厦門小學百人。益同人百二十人。厦門港魚商公會四十人。永合和土商二十一人、等數十團體にして總計約七千餘人あり。各團體行列の時には各人の手に小旗を持ち旗には「國恥を忘るゝこと勿れ」等の宣傳標語を大書せり。而して一行には水を打つが如くしんとして聲をたてずに僅か五九の國恥歌及口笛の聲を聽くのみ。未だ行列を開始せざる以前は新馬路の秩序維

持者は原より有りし幽警を除くの外尚ほ武裝せる警察數十人あり。益同人糾察隊・鴻漸學校・華僑學校・崇泉學校・毓英女學校及通俗教育社及救護隊五六十人は十四組に分つ(每組の人數一ならず)等五團體は一途保護の任に當り以て尚警の不足せるを助けたれば是の日の秩序は極めて井然たりしと云ふ。

(五月十一日—全閩新日報)

## □漳泉軍事要聞

周督辦の張師管束　張毅は福建陸軍第一師々長及廈門鎮守使の名義を以て漳州屬各縣を擁有し、只東山縣のみを海軍の所有と爲し(詔安には尚張貞ありて之を掌握せり)勢力頗る雄厚なり。是に於て周督辦は曩に軍事會議を召集して議決の上、張氏をして防區内の徵收機關を交付せしめ財政廳より受け繼ぎ、以て財政統一を期し、張師團の餉項は、省庫より發給することゝし、又張氏に令し漳州に設けたる兵工廠を取消さしめ、其の需要せる銃器子彈は省より送りて之を助くることゝしたり。又之と同時に福建第一混成旅張毅旭に龍巖に移駐し之が支持に當らしめたり。又案ずるに同安縣は頗る收入多く、前年張氏の防地たりしに、去年周督辦より王其忠團を派して之を受け繼がしめたるも、張氏としては戀惜の意なきに非ず。されば近日に至り同安の三點會匪が常に長泰を擾しつゝあるを口實に長泰駐軍と王團とに共同勦辦せしめんとて周督辦に指揮を請へるが、周氏は同安三點會匪勦辦の件を王團に責を負はせ、長泰駐軍は只其縣の邊界に在りて之を截り留むれば可なりと回電したれば、張氏は之に服從の外なくなりぬ。又昨日聞く所によれば張氏は本月十日新編第一支隊劉志逵部の武器を押收したりといふ。劉は粵軍より歸投せしものにて民黨と時々打合せ居る狀あり。故に張氏は非常手段に出でゝ之を解散したるなり。

孔昭同移動説は不確　興泉永鎮守使孔昭同は先々月省に出でゝ軍事會議に參與しつゝ長日に亘り未だ其の任地に返らざるより、遂に其の閩北に調動せられんとすとの説あり。然るに孔部某團の省に赴けるかはり、周氏は別に第一補充旅蔣啓鳳に命じて南下せしめ、之を孔の節制下に歸せしめ、且つ新招の徒手兵數百人ありて、南安にて訓練せられんとするの事實より推すに孔氏他調の説は全く不確實なり。

陳國輝安溪を占領す　南安の民軍首領たる陳國輝は數月前孔昭同に擊敗られて八都山一帶に竄匿し、僅に衞隊數十を餘すのみにて勢極めて窮蹙し、曩に華封に竄入して竇方珍及楊學良舊部と聯絡し暫らく安身の地を得たる有樣なりき。然るにたまく安溪城に駐れる周部王團が召集されて同安に赴き、僅に土著の楊漢烈・陳鉀等より駐防せるのみなるを見るや、陳は楊の曾て己の打破する所となりしな

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

思ひ、且つ彼を知り己を知れるを以て、遂に己が部曲なる陳佩玉・葉世全・陳崑・吳石淸・李昭言・鄭明治等を召し安溪城を取るの準備を爲し、詹方珍及楊學良の妻白氏が皆之に贊助を許せし上、葉定勝亦子彈を助くることを願へるより、本月七日遂に一擧して安溪城に入りたれば楊部は退走し、周部の陸團其他零碎の隊伍も亦西門より逃れ去れり。與泉永鎭守使公署にては警報に接すると共に卽時進剿命令を下し、永春に駐れる呂營は令を奉じ九日朝特別車にて詩山に至り、范營に會同して安溪に向ひ進發し溪尾に駐れる趙營も同時に出動し、同安なる王團も亦之を後方より進剿することゝしたり。是に於て陳は塞戰するも益なきを知り安溪城を死守せず、十日已に所部を率ゐて退避し周部再び入城せり。現在閩局には何の變化もなきも北軍亦此に因りて奔命に疲れたるを見る。（五月十六日—新聞報）

## □吳佩孚氏薩福建省長を推崇す

過日福建薩省長は水上警察廳長薩君預を派遣して漢口に至り吳佩孚氏の誕生を祝せしめたるが、該廳長は已に公務を畢り現に福建省城に回り省長に復命せるに曰はく、吳氏此度の接見には特に優遇を加へられ、故に極めて省長の德を尊崇し、若し中國の現在に於ける最も正派的人物を求めんには北には王士珍・南には薩鎭氷を數ふべきのみ、故に時局を收拾せんと欲せば兩君の力を藉らずんば不可なるべしと。其の意中自ら王士珍氏に請ひて暫時の過渡と爲し、正式なる國會を召集するを俟つて總統を選擧し、仍つて薩省長を選任して中華民國の大總統たるを請はんとするに在りと云ふ。

（五月十九日—全閩新日報）

## □汕頭情報

勞働節示威運動狀況　五月一日の勞働節示威運動は、當地國民黨市黨部の主催に依り大々的に計劃せられ、素晴らしき前景氣を以て開會、工人側は人力車輕便車等の從業員より家庭使用人に至る迄、威嚇的通告を以て强制せられ、勞働階級殆んど全部、及商・學・兵・警等も參加し、早きは朝九時頃より會場たる審判廳前廣場に續々殺到し、殊に當日より開會の工會代表大會に出席の一行三百餘名も之に加り、一段の氣勢を添へ、現場中央に舞臺を設け、「全世界被壓迫民族聯合起來」「打倒國際資本帝國主義」等の標語を表はせる幕を左右に張り、舞臺內面には孫文「レーニン」「マルクス」廖仲凱の寫眞を掲げ、十時半「工・農・商・學・兵・無產階級聯合起來」「打倒國際資本帝國主義」の大聲と共に始まり、第一軍政治部主任鄧演達、政治部秘書關學參、市黨部代表林修雍　中國共產黨廣東汕頭地方執行委員楊石

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

魂、中國共産黨青年團代表伍治三、嶺東民國日報社長李春濤等何れも勞働者支持の演説を試み、十一時半示威行列に移り、國民黨市黨部を先頭として市中を練り始めたる處、半時間も立たざるに俄然豪雨の襲來に逢ひ、何れも周章狼狽列を亂して逃げ出し、折角の巡行は其目的を達せずして悲慘裡に自然解散の止むなきに至れり。

當日の參加者は各界を通じて約一萬内外、一箇年有餘國民黨の勢力下に在りしこととて嘗つて見ざる威勢を示し、特に人目を惹けるは露國人十數名の參加せることと、附近農村部落より農民協會の支部旗（青天白日滿地紅旗に黄色にて鎌と鍬を表したる「ソヴイエト」國旗に模したるもの）を押立て參加せるもの約千名に達せることにして此等は從來其例を見ず。今回初めて開ける新機軸なりとす。尚當日配布の宣傳ビラ十數種あり。或は汕頭國民外交後援會啓と署したる「爲五一記念警告嶺東民衆書」あり。或は廣東全省輪渡船務總工會嶺東分會記念五一宣言と署せるあり。或は中華全國總工會汕頭罷工委員會記念五一宣言と記せるあり。其他或は中國と民黨汕頭市執行委員會と署し、或は廣東全省輪渡船務總工會嶺東分會と名乘り、或は汕頭各界五一記念籌備會といひ、或は中華新國民社といひ、或は國民革命軍第一軍政治部といひ、或は汕頭市京藥業・魚業・屠業・鷄鴨業工會といひ、或は人力車工會といふ。其の論する所を見るに多くは勞働節の名に背かず、主として勞働問題に筆を起し、之に對内的政治意義を附加したるに止まり、帝國主義打倒等の慣用語の外特に排外的の辭句あるを知らず。（以上五月三日—汕頭情報一）

**五七記念日狀況**　本年五月四日は當地の媽祖祭につき、篤信者の祭祀あるに顧み、特に當日は團體行動を取ることを避け、各學校生徒の街上演舌に止め、四日、七日、九日を合し七日に大示威巡行を催すこととなれり。當日は市中總ての勞働者は休業し、相當大なる商人は閉店して休み、支那側學校團體等は國辱を吊ふ意味を以て半旗を揭げ、例に依り審判廳前の廣場に集合するものに各中等學校及小學校・工人團體・農民協會等あり。五月一日に比し工人側は稍少かりしも學校生徒の團體多かりしを以て、集合したる人數は約八千に上れる樣見受けらる。就中佛蘭西系統の若瑟中學校は目下紛擾中なるに拘はらず、尚約四十名の生徒は該校生徒として團體行動を爲し、約二十名は若瑟中學校罷課委員會なる旗を押立て全然別行動を取れり。十時過ぎ頃より會場正面の壇上に國民黨市黨部・外交後援會・學生聯合會等の代表出でゝ演舌し、豫め定め置きたる標語の口號（凡三十三箇あり）を一齊に唱へ始め、正午頃會場を出發し、弔意を表する爲め此日は一切の樂隊を加へず、太鼓・鉦を打つことを禁じて街路を巡行し、十字路或は目につく日本人家屋等の前にては各々口號を發唱したるが、特記する程の事故もなく大半巡行しつゞけ、三四時頃より自然に解散せり。夜に入りては各學校生の街路演舌ありしも、其の内容は各傳單の如く、各列強に對し所謂帝國主義を以て之を難するもの多く、内に對して團結聯合・國民革命を高調するものゝみに

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

て、特に日本のみに鋒尖を向くるものとては比較的少かりき、

（五月八日―汕頭情報二）

## □汕頭管内電燈會社及電球取扱商

（一）電燈會社　汕頭管内電燈會社現在數は左記七社にして何れも火力發電式小規模のものなり。

| 社名 | 所在地 | 資本金 | 概算點燈數 | （一）電壓（二）電球口金及「ソケット」 |
|---|---|---|---|---|
| 汕頭開明電燈公司 | 汕頭市金山街 | 銀二十萬元 | 三萬五千燈 | （一）二千二百ボルト（二）スワン式 |
| 昌明電燈公司 | 潮州 | 同十四萬元 | 一萬燈 | （一）百ボルト（二）エヂソン式 |
| 惠州電燈公司 | 惠州 | 約同五萬元 | 二千五百燈 | 不明 |
| 興寧電燈公司 | 興寧 | 約同五萬元 | 二千五百燈 | 同 |
| 光耀電燈公司 | 梅縣 | 約同五萬元 | 三千燈 | 同 |
| 光利電燈公司 | 潮陽 | 約同五萬元 | 四千燈 | 同 |
| 光華電燈公司 | 澄海縣菴埠 | 約同三萬元 | 一千燈 | 同 |

（二）輸入電球の種類及取扱商　當地移輸入電球中賣行尤も良好なるは「Edison」（米國品）にして獨逸製「Phenex」之に次ぎ、其の他十餘種の電球輸入せられつゝあり。日本製品も多少市場に散見す。尚在當地電球輸入業者の主なるもの左の如し。

| 商店名 | 所在街名 | 商店名 | 所在街名 |
|---|---|---|---|
| 臣盛電器公司（支那） | 至安街 | 昌華洋行（日本） | 新馬路 |
| 永安電器公司（支那） | 鎮邦街 | 裕泰洋行（同　） | 育善直街 |
| 萬國機械公司（獨逸） | 同平馬路 | | |

（五月十二日―汕頭情報三）以上

## □汕頭通信

汕頭兵員異動の眞因　曩に本件通報後、招商局船舶の汕頭に寄港せるを機會に該港當局は突然之をチャーターシ、再び約一千人の兵員を廣東に移送せり。其の原因は北伐又は湖南軍の侵入等に備ふる爲めよりも、寧ろ廣東政府部内の内爭に關し、蔣介石の地位擁護上、腹心の第一軍長何應欽の兵をも必要として之を招致せるものと見るを妥當とするものゝ如し。

胡漢民・汪精衛の離廣說　新聞紙上にては胡漢民が香港に去れる樣傳ふるも、汕頭支那人の一部にては、香港を經て上海に赴けりと

傳ふるものあり。許漢智其他の同志が寓居せること、又胡漢民今後の政治上策動より考慮するときは、其の上海に赴けること、若くは今後上海に赴くこと眞に近きが如し、又汪精衛は約一箇月半以前より病氣靜養中と發表せらるゝも、同じく支那人側の許にては彼は新嘉坡に赴けりとも、又日本へ去れりとも傳へ居れり。

蔣介石と反蔣派との內爭　前記胡・汪の離廣せるは蔣介石と反蔣派との內爭の結果にして、近來蔣自己の系統者を以て着々其の地盤を固め來れる蔣介石に對し、舊來の黨員中之に快からざるもの多く、逝ける孫文の偶像に三民主義の裝飾をなすべき當面の人物たる胡漢民・汪精衛等の一派と、兵權實力を有する蔣介石の一派とは、今後到底融和の道なきが如く、從來共產・非共產若くは孫文主義學會對共產派として抗爭を續け來りしものも、去る三月二十日蔣介石が陰謀に成れる、對共產派クーデター後は此の兩派の權力爭より來る露骨なる感情の衝突は日に〳〵昂騰せるものゝ如し。

五卅事件一週年記念　當地外交後援會・罷工委員會・學生聯合會の幹部にて屢々集會を催し、本件に關し協議を進め居れるが、大體豫算を一千八百弗とし、各界より寄附を募集し、宣傳ポスター・記念パンフレット・標語を印刷刊行し、各會の大會巡行・講演を催すべしといふも、現在の模樣を以てすれば、特に對日關係に於て大なる事故等の勃發することなかるべき見込なり。

汕頭大火　五月十五日午後十時半より鎭邦街・仁和街・德里街・棉安街等の海岸に近き方に火災起り、約百戶燒失せり。其の位置には巨商の倉庫多く繁華區域に近かりしを以て、一時に非常なる混雜を來せり。幸に內地人・臺灣人にて該火災に罹りしものなし。

（以上五月十九日—汕頭東瀛學校—石井喜之助）

## □胡漢民突然省を離去せる原因

ソビエット露國へ出使せる大使胡漢民氏は今次國に返りたるが、右は國民政府主席汪精衛が休暇を願出でたるにつき胡氏に請ひ國民政府の主席を擔任せしめんと欲し某當局より胡氏を電召せるに依れり。胡氏は該電報に接したる後、即時露西亞より出發し、ウラジホストックに到着するに及び、復たボロヂン氏の張家口よりの電報に接し同行して廣東に歸ることゝなり、途にボロヂン・譚平山・顧孟餘等と共に去月二十九日歸廣し、第一日には東山なる蔣介石公館に寓し、翌日各機關要人は胡氏の歸廣を知り頻りに謁見を請ふものあり。胡氏遂に張靜江の宅に移寓せり。其後北伐等に關する重要會議には胡氏皆之に參與討論したり。各要人乃ち其の國民政府主席の職に就任せんことを請へるに、胡氏は拒絕の表示なし。五日倉邊街古應芬宅にて孫科等の各要人と密議すること一次、七日國民政府は政

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

治委員會議を開けるに胡氏亦出席したり。是に於て胡氏は李文範が國民政府秘書長の任にかへるべきを提議せるに、各要人は別に可否を言はざりしも、只某要人のみは力めて異議を持し辯爭すること久し。故を以て此の提議は通過を見ず。かくて胡氏は政權の仍ほ某派の手に操られ居るに感ずる所あり、遂に九日午前六時半海關巡船に乘じ、轉じて龍山汽船に搭して香港に赴けり。同行者には胡氏の夫人陳淑子、女公子木蘭及秘書李君佩・妻の舅陳融及衛隊林漢等の數人あり。行李六件を携へ突然秘密に香港に赴けるが、各機關人員は翌十日に至り始めて之を知りたる次第なり。香港にては胡氏は某親戚の宅に寓し赴粵の情況を述べて艱苦を嘗めしことを慨し、今次の返粵も從來と同事情の下に在りたるが、今日始めて香港に來り眞の自由を恢復せる事など語り出して愉然たりしといふ。

（五月十七日—西南社）

## □廣州各工會人數の調査

廣東省政府農工廳は曩に各工會に命じ調査表を作製報告せしめたるが、其の調査項目は計三十餘種に上り、工會の名稱・工會の場所・立案の年月日・詳細の章程・現在會員の人數・歷年會員の/數・未入會の工友數・支會の有無・寄宿舍・工人學校・印刷品等なり、現に各工會より雛形に依り報告せるもの已に八十餘に上り・其の會員の人數及未入會人數の二項に關する計算は左の如し。

廣州各工會々員人數表

| 工會名 | | 現在會員數 | 未加入會者數 |
|---|---|---|---|
| 廣州土產箱製造工會 | | 八〇〇人餘 | 約數十人 |
| 電話局女交換手聯合會 | | 九〇 | 七〇 |
| 香港呂宋烟草製造聯合會 | 男 | 九九 | 五〇〇 |
| | 女 | 七九 | |
| 廣東精米總工會 | | 四九六 | — |
| 省港石炭總工會 | | 一、九八〇 | 三〇〇餘 |
| 廣東全省油業總工會雜務支會 | | 九一二 | 三〇〇餘 |
| 洋式金銀細工々會 | 市內 | 八四二 | 三〇〇餘 |
| | 其他 | 九〇〇餘 | |
| 廣東瀬土物工會 | 男 | 六五〇 | — |
| | 女 | 一五〇 | |
| パラック建築聯合會 | | 一、二八〇 | 八〇〇餘 |
| | 支會 | 四〇〇餘 | |
| 廣州市シャツ靴下製造工會 | 男 | 五六〇 | 五〇〇 |
| | 女 | 一二 | |
| 廣東織布工會 | 男 | 一、一五〇 | 三〇〇餘 |
| | 女 | 一〇〇餘 | |
| 廣東汽燈工業總會 | | 五〇〇餘 | 五〇〇餘 |
| 廣州舊式金銀細工々會 | 男 | 二、〇〇〇 | 一〇〇餘 |
| | 會員妻妾 | 一〇〇餘 | |
| 廣州市裝楦細工々會 | | 八三二 | 二〇〇餘 |
| 廣東硝子總工會 | | 一、二六四 | 三〇〇 |
| 石版印刷工業研究社 | | 一、三〇〇餘 | 少數 |

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

| | | |
|---|---|---|
| 廣東土木建築總工會 | 七、〇〇〇餘 | — |
| 廣東ミシン裁縫總工會 | 男 一、八〇〇餘<br>女 二〇餘 | 少數 |
| 廣州水烟筒工會 | 男 二七〇<br>女 二四 | 四〇餘 |
| 廣州寫眞工會 | 男 六〇〇餘<br>女 少數 | 少數 |
| 廣州各屬烟草製造工會 | 男 四〇〇餘<br>女 四〇〇餘 | 五〇〇餘 |
| 廣東草席工業聯合總會 | 三、〇〇〇 | 一〇、〇〇〇餘 |
| 廣東內河船業總工會 | 一、四二八 | — |
| 廣州木挽工會 | 三、〇〇〇餘 | 一、〇〇〇 |
| 粤港貨物揚卸人足總工會 | 一六、七〇〇餘 | |
| 廣東紙箱製造工會 | 七三〇 | 二七二 |
| 廣州南・番兩縣板挽割工人會 | 七〇〇餘 | 一〇〇餘 |
| 廣東郵便配達夫工會 | 三〇〇餘 | 一、〇〇〇 |
| 同德洋式家具製造工會 | 三〇〇餘 | 六〇〇餘 |
| 廣州市製會社衙頭行工會 | 八〇〇餘 | 二〇〇餘 |
| 廣東全省油業總工會 | 一三、六〇〇 | 八、〇〇〇餘 |
| 廣州市漆器西家行西就堂工會 | 四〇〇餘 | — |
| 廣州市藤器工業研究會 | 三〇〇餘 | 數十 |
| 廣東輪渡船務總工會 | 九、〇〇〇餘 | 二、〇〇〇餘 |
| 廣州理髮工會 | 二、八〇〇餘 | — |
| 廣東偏管堂紙業工會 | 一、六〇〇餘 | 一〇〇餘 |
| 廣東建築工人研究社 | 一、〇〇〇餘 | 三、〇〇〇餘 |
| 廣州植物性塗髮原料製造厚德堂工會 | 二〇〇餘 | — |
| 廣州藥材工會 | 二、一〇〇餘 | 二〇〇餘 |
| 駁載總工會 | 四、〇〇〇 | — |
| 廣州酒樓茶室研究工會 | 九、〇〇〇餘 | 三〇〇餘 |
| 廣東建造工會聯合會 | 三二、〇〇〇餘 | — |
| 僑港左官職駐省工會 | 二、五〇〇 | — |
| 廣東疋頭(營賃布染)總工會 | 五、〇〇〇餘 | 四五〇〇 |
| 廣州烟草販賣同業研究公會 | 男 一、四六一<br>女 六四 | 五〇〇餘 |
| 省港華人船主運輸手總工會 | 省 一、六〇〇餘<br>港 四、三〇〇餘 | — |
| 廣州包裝工會 | 三五八 | — |
| 酒業工會 | 三九〇餘 | 八〇餘 |
| 木箱製造研究會 | 五〇〇餘 | 一、〇〇〇餘 |
| 省港勞働同德工會廣州支部(石炭運搬人) | 一、五五八 | — |
| 廣州鐵路車務同業公會 | 六〇〇餘 | 少數 |
| 省港茯苓(湊業)工會 | 三〇〇餘 | — |
| 新舊土洋(土產舶來)杉・雜木挽割工會 | 一、〇〇〇餘 | — |
| 廣東新聞配達工會 | 男 七〇〇餘<br>女 一一 | — |
| 廣州麵粉茶館工會 | 一、七〇〇餘 | 七〇〇餘 |
| 廣東製藥工會 | 一〇〇餘 | 四〇〇餘 |
| 廣州牛乳工人聯合會 | 一七四 | 二〇餘 |
| 廣三鐵路總工會 | 八〇〇餘 | 二〇〇餘 |

| | | |
|---|---|---|
| 廣州靴製造工會 | 三、一六二 | 一〇〇餘 |
| 廣州茶館工會 | 八、〇〇〇餘 | — |
| 廣東外海內河程船鹽運工會 | 二、〇〇〇 | 一〇〇餘 |
| 廣東兵工廠工人聯合會 | 一、六七五 | — |
| 廣東酒菜工會 | 一、二五〇 | — |
| 廣州肉行昭信工會(肉類販賣店傭人) | 三、三〇〇餘 | 少數 |
| 廣州市人力車夫工會 | 七、〇〇〇餘 | 二、〇〇〇餘 |
| 江門蘇杭布業疋頭裁剪工會 | 二一六 | 三〇餘 |
| 省・佛・港玻璃磚行工會 | 三四六 | — |
| 廣州郊外墳山(墓職工)工會 | 二八六 | 七八〇〇 |
| 廣東粤・港鐵路總工會 | 二、一五〇 | — |
| 廣東洋服同業研究工會 | 九〇〇餘 | — |
| 廣州天窓工會 | 一一四 | 八〇 |
| 廣州長生工會(棺桶屋) | 三一二 | 約一〇〇 |
| 廣州磨玻璃工會(硝子仕上げ) | 三一四 | — |
| 廣州廣聚葉片工會(漆葉製造) | 四四八 | 約二〇 |
| 廣東裝船工會(造船) | 四九九 | 三、〇〇〇餘 |
| 普賢工會 | 三五二 | 少數 |
| 車衣女工會(ミシン女工) | 一、六〇〇 | 約一、〇〇〇 |
| 廣東全省沙坭船工人聯合會(沙坭運搬) | 男約一、〇〇〇 女六、七〇〇 | 約一、〇〇〇 |
| 廣東省河鹽業配兌工會(鹽販賣) | 三五〇 | 數十 |
| 廣州染碾工會(染物屋) | 約三〇〇 | 一〇〇餘 |
| 省港修造鐵輪船工會 | 二三〇 | 一二〇 |
| 中華西餐餅干洋務聯合工會 | 男九〇〇 女八〇 | 一〇餘 |
| 南大工人共濟會(嶺南大學傭人) | 男五三六 女 | — |
| 廣州當押同業店員工會 | 八〇〇餘 | 三〇〇餘 |
| 中華海員工業聯合總會 | 四〇、〇〇〇餘 | 六〇、〇〇〇餘 |
| 省・佛・港木料鋸桩什貨工會(木製化粧箱製造) | 九〇餘 | 三〇餘 |

(以上五月五日・七日—廣州民國日報—五月十三日—廣東情報)

## □廣東省の生絲生產狀況

養蠶が初めて廣東省に紹介されたのは今より約二千年以前卽ち漢朝時代で、爾來大に普及するに至つたものである。同省に於て最も著名な生產中心地は順德・香山・南海・新會・三水・廣東・鶴山の諸縣で、之に亞いで東江・西江・北江の河岸に沿ふ數箇所の生產地帶がある。一九二五年の春施行された廣東基督教大學の調査に依れば、同省桑園の全面積は一、四六五、七〇〇畝に亘り、年に約三五、五七一、〇〇〇擔卽ち畝當り平均二四擔の桑葉を產出してゐる。普通重量八オンスの蠶卵紙より繁殖する蠶は之を飼育するに二三擔の桑葉

を要し、乾繭四五乃至五〇斤を收穫される。之を以て見れば、五〇擔の桑葉で乾繭約一擔(一〇〇斤)を生產し得る丈の蠶を優に飼養せられることになる、斯る割合で行けば、廣東省に於ける乾繭の年收量は大約七一一、四〇〇擔に上ることが自然に推斷せられるが、同省にては氣候狀態の不順より起る疫病の爲めに屢々收穫を得られないことあるが故に、斯の如き見積は正確を期するものではない。故に今少し內輪に見積り、上記の數字より收穫不足より生ずる減收三〇%を控除したる數字卽ち四九八、〇〇〇擔が乾繭の年收量と見られる。廣東市場に於ける乾繭の平均市價は一擔約三〇〇元であるが故に、同省の年產額は約一四九、四〇〇、〇〇〇元(廣東貨)となり、又生絲一斤を紡ぐに乾繭五斤を要するが故に、約九九、六〇〇擔の生絲を產出することになる。尙生絲の平均市場相場は香港貨で一擔一、五〇〇弗、廣東地方貨で一、九五〇元である。

次表は桑園の全面積、乾繭及び生絲等の年產量を同省の各生產中心地に付て示したものである。

| 地別 | 桑園面積(畝) | 桑葉年產量(擔) | 乾繭(擔) | 同價格(廣東貨) | 生絲(擔) | 同價格(香港貨) |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 順德 | 六六五,〇〇〇 | 一七,二九〇,〇〇〇 | 二四二,〇六〇 | 七二,六一八,〇〇〇 | 四八,四一二 | 七二,六一八,〇〇〇 |
| 香山 | 三二八,八〇〇 | 七,五六二,〇〇〇 | 一〇五,八七四 | 三一,七六二,二〇〇 | 二一,一七五 | 三一,七六二,二〇〇 |
| 南海 | 三〇〇,〇〇〇 | 六,九〇〇,〇〇〇 | 九六,六〇〇 | 二八,九八〇,〇〇〇 | 一九,三二〇 | 二八,九八〇,〇〇〇 |
| 新會 | 六〇,〇〇〇 | 一,五六〇,〇〇〇 | 二一,八四〇 | 六,五五二,〇〇〇 | 四,三六八 | 六,五五二,〇〇〇 |
| 三水 | 三〇,〇〇〇 | 六〇〇,〇〇〇 | 八,四〇〇 | 二,五二〇,〇〇〇 | 一,六八〇 | 二,五二〇,〇〇〇 |
| 廣東 | 一〇,〇〇〇 | 二三〇,〇〇〇 | 三,二二〇 | 九六六,〇〇〇 | 六四四 | 九六六,〇〇〇 |
| 鶴山 | 四,八〇〇 | 九六,〇〇〇 | 一,三五一 | 四〇五,三〇〇 | 二七〇 | 四〇五,三〇〇 |
| 東江流域地方 | 二九,一〇〇 | 五七三,〇〇〇 | 八,〇二〇 | 二,四〇六,〇〇〇 | 一,六〇四 | 二,四〇六,〇〇〇 |
| 西江流域地方 | 一七,〇〇〇 | 三四〇,〇〇〇 | 四,七六〇 | 一,四二八,〇〇〇 | 九五二 | 一,四二八,〇〇〇 |
| 北江流域地方 | 二一,七〇〇 | 四二〇,〇〇〇 | 五,八八〇 | 一,七六四,〇〇〇 | 一,一七六 | 一,七六四,〇〇〇 |
| 計 | 一,四六六,七〇〇 | 三五,三七一,〇〇〇 | 四九八,〇〇五 | 一四九,四〇一,五〇〇 | 九九,六〇一 | 一四九,四〇一,五〇〇 |

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

廣東省に於ける絹絲繰絲は多數の新式製絲工場にて經營されてゐるが、所に依つては粗雜なる土法で行はれてゐる。舊式絹絲繰絲器械の主要なる構造は、木又は竹で作り把手又は踏子で運轉する繰絲機と、煮器及び煉瓦窯とより成つてゐる。之に依つて生産せられたる絹絲は、其太さ均一でなく色澤も亦鈍く、主として夏着用のクレープ其他の織物を製織するに使用せられてゐるが、外國市場向としては芳しからず、唯其少量が印度に輸出されるに過ぎない。劣等繭又は屑繭は一般に蒸煮し軟塊となして眞綿に製造してゐる。最劣等繭は時としてポンヂー製織用の太絲に紡績することがある。足踏式繰絲器械にて紡績せられたる生絲は、座繰式器械にて生産せられたる生絲より或點に於て優良であつて、市價も聊か高く、現今此種の市場相場は香港通貨にて一擔約一、六〇〇弗である。新式製絲工場にては蒸汽を利用して絹絲を繰り、其作業は全く新式機械に依つて行はれてゐる。斯る工場の絹絲は粗雜なる土法の下に生産せられたる絹絲よりも遙かに優良で、外國市場にて常に好評を博してゐる。生絲を調製するに當り、煮繭に使用する水は絹絲の色澤と大いに關係するものであつて、普通の河川又は運河の水は不純物を含有するが故に不適當である。土法にて生産せられたる生絲は黝色で色澤を損傷してゐるが、之は幾分か不純水使用の結果によるのかも知れない。故に新式工場は此目的の爲めに特別のタンク又は貯水池を建造し、普通の河川又は運河の水を使用する場合にも先づ特別建造の濾過池に依り濾過するを常としてゐる。

土法の繰絲は一般に養蠶家自身家庭に於て行つてゐる。近時事業家連は土法に依りて大規模に生絲を調製する工場を組織したが、斯る工場は絹絲生産地に位置し、足踏式の舊式繰絲器械を幾百となく備へ付け、其運轉には少女及び若き婦人を雇用してゐる。三十歳以下の婦人は、視力強く指先の敏速なるを要するこの仕事に誠に適應してゐる。斯の如き工場に於ては各人八オンス即ち半斤の生絲を製絲し、一日三〇仙より五〇仙を給せられてゐる。新式工場では舊式工場の如く纖細なる技術を要する作業がないので更に年長者をも採用してゐる。全省に一六七の新式工場があつて、計約一七〇、〇〇〇人を雇用してゐるが、之等の職工は殆んど晝夜二班制の勞働者にて各人一箇月に十五日間勞働をなし、其一日の勞働に對して六五仙を支拂はれてゐる。

土法に依つて調製せられたる生絲は「本國消費品（ホーナイヴシルク）」として知られ、殆んど其地方の市場にて消費せられてゐる。特に此生絲を賣買する爲めの市が月に九回規則正しく立てられ、各生絲生産中心地にては常に一箇所以上で一齊に開市せられてゐる。例之、順德では一一の絹絲市があり、南海にては六、香山にては一八の市がある。市には各々二人の補助者即ち勘定方及び秤量方を伴つた仲買人が居り、買手賣手に價格折合へば現品を秤量方に齎らし秤量する。この秤量方は常に投票を以て任命され、頗る公平に任務を履行してゐる。銀行員及

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

び、兩替商も亦之に出張し、各市每に年々數十萬元より二、三百萬元の取引を行つてゐる。之等の取引は小取引に限られるものでなく、絹製造家は屢々「本國消費品」又は蒸汽製絲絹絲の大量委託販賣物の買付をなしてゐる。

外國市場向に調製せられたる生絲は「外國向品（フオリン・シルク）」と呼ばれ、新式製絲工場に於て主として生產せられる。製絲工場は自己の生產品を廣東の絹商又は仲買人の階級に賣付け、後者は口錢をはねて輸出商に賣却する。之等の商人を廣東にては絲莊と呼び、該市には二〇乃至三〇の絲莊が經營され、資金誠に僅かで五萬元より一〇萬元を有し、年に二百萬元より三百萬元の取引をなしてゐる。絲莊社員の最重要なる役にあるものより三人をあぐれば次の如くである。（一）支配人は全商取引を管理する者にて、市況を注視し且資金を取扱ひ、（二）購買卽ち仲買代理人は內地の絹絲工場より生絲を買込み、（三）註文取卽ち販賣代理者は日々取引を行ふ爲めに外國輸出業者を訪問する。（三）は外國語を熟知し、絹絲取引に通曉してゐなければならない。彼一年の收入は一、〇〇〇元乃至二、〇〇〇元である。

內地諸縣の絹絲工場は廣東絲莊に商品を引渡す爲めに各一隊の戎克船を貯藏してゐるが、之等戎克船は往路には生絲を、歸路は銀を積載するものであつて、海賊に備へる爲めに十分に武裝してゐる。隣縣より生絲一擔を運送するに要する運賃は約一•二〇元である。生絲の積荷が廣東に到着すれば、先づ釐金徵收所に持參して檢査を受け、次に下記の徵稅卽ち、（一）進口（輸入）稅一擔一•三八元、（二）砲臺經費一擔八•二二元、（三）釐金一擔九•三九元を受け、又積荷が海關を通貨する場合には一擔約一七•五〇元の輸出稅を課せられる。之等凡ての諸掛は、生產地より廣東への積送に用する運賃を含めると、一擔の生絲に計三七•六九元を要することになる。

（The China Weekly Review. May 15, '26）

## □廣東國民政府及國民黨要人錄（大正十五年三月末日現在）

### A. 國民政府

一、國民政府委員　×印ハ常務委員

主席委員　汪精衞（汪兆銘）

委員　×汪精衞　×譚延闓　×伍朝樞　×林森　×古應芬　朱培德　孫科　程潛　戴天仇　張繼　張靜江　于右任　徐謙　宋子文　李宗仁　黃紹雄　胡漢民　許崇智

二、國民政府軍事委員會　×印ハ常務委員

主席委員　汪精衞

委員 ×汪精衛 ×譚延闓 ×蔣介石 朱培德
林森 伍朝樞 程潛 李濟深
李宗仁 黃紹雄 古應芬

三、國民政府外交部長 胡漢民(露國滯在)

四、國民政府財政部長 宋子文

五、國民政府軍事部長 譚延闓

六、國民政府監察院
委員 林祖涵 黃昌穀 陳孚木 于若愚

七、國民政府懲吏院
委員 鄧澤如 李章達 林翔 潘震亞
盧文瀾

八、國民政府大理院
院長 徐謙
院長代理 林翔

B. 廣東省政府

一、省務會議
主席委員 古應芬
委員 古應芬 宋子文 陳公博 許崇清
孫科 李祿超 周佩箴

二、省政府民政廳 廳長 古應芬

三、省政府財政廳 廳長 宋子文

四、省政府建設廳 廳長 孫科

五、省政府實業廳 李祿超

六、省政府農工廳 陳公博

七、省政府教育廳 許崇清

八、省政府土地廳 周佩箴

C. 廣東市政府

一、市政委員會
主席委員
委員 伍朝樞 吳鐵城 譚光楨 司徒朝
林逸民 伍大光

二、市政府公安局 局長 吳鐵城

三、市政府財政局 局長 譚光楨

四、市政府衛生局 局長 司徒朝

五、市政府工務局 局長 林逸民

六、市政府教育局 局長 伍大光

D. 其他

一、國民政府秘書長 陳樹人
國民政府參事 詹大悲 黃一歐 彭澤民
張永福 楊栖冰 簡琴石
陳中孚

二、國民政府軍事總監 蔣介石

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

三、國民政府軍事委員會

參謀總長　李濟深

軍需部長　朱培德

海軍局長　斯未諾夫（露國人）

航空局長　李廖（露國人）

兵工廠長　鄧士章

四、國民政府豫算委員會

主席委員　譚延闓

委員　古應芬　伍朝樞　譚平山　甘乃光

五、國民政府司法行政委員會

主席委員　徐謙

委員　伍朝樞　林翔　盧興原　錢樹芬

羅文莊

六、國民政府教育行政委員會

委員　陳公博　甘乃光　許崇清　金曾澄

鍾榮光

七、粵海關監督兼交涉員　傅秉常

瓊海關監督兼交涉員　陳長樂

潮海關監督兼交涉員　周佩箴

八、高等審判廳長　盧興原

高等檢察廳長　洪桂芬

地方審判廳長　陸嗣曾

地方檢察廳長　陳芝昌

九、廣東省政府建設廳

沿河處長　戴恩賽

公路處長　陳耀祖

航政局長　吳尚鷹

電報局長　陸福廷

電話處長　傅秉坤

粵漢鐵路管理局長　徐蘇中

廣九鐵路管理局長　李承翼

廣三鐵路管理局長　李作棠

十、東江各屬行政委員　徐桴

廣州各屬行政委員　陳公博

西江各屬行政委員　古應芬

瓊崖各屬行政委員　張難先

## E. 國民黨

一、政治委員會

主席委員　汪精衛

委員　汪精衛　譚延闓　胡漢民　蔣介石

伍朝樞　孫科　譚平山　朱培德

宋子文

候補委員　甘乃光　林祖涵　邵力子　陳公博

二、中央執行委員會　×印ハ常務委員

委　員　×汪精衛　×譚延闓　×譚平山　×蔣介石
×林祖涵　×胡漢民　×陳公博　×甘乃光
×揚匏安　宋慶齡　恩克巴圖　于右任
程　潛　朱培德　孫文未亡人　徐　謙
顧孟餘　經亨頤　柏文蔚　伍朝樞
何香凝　丁惟芬　戴天仇　李濟深
李大釗　于樹德　吳玉章　李烈鈞
陳友仁　王法勤　惲代英　彭澤民
朱季恂　劉守中　蕭佛成　孫　科
宋子文

候補委員　白雲梯　毛澤東　許甦魂　周啓剛
夏　曦　鄧演達　韓麟符　路友宇
黃　實　董用威　屈　武　鄧穎超
王樂平　陳嘉祐　朱霽青　丁超五
陳其瑗　何應欽　陳樹人　褚民誼
繆　斌　吳鐵城　曾大悲　?孫　科

三、中央監察委員　×印ハ常務委員

委　員　張靜江　高語罕　鄧澤如　古應芬
陳璧君　吳稚暉　蔡元培　王寵惠

候補委員　李石曾　邵力子　柳亞子　陳果夫
黃紹雄　李宗仁　江　浩　郭春濤
李福林　潘雲超　鄧懋修　謝　晉

四、政治委員會北京分會政治委員

徐　謙　于右仁　李大釗　丁惟芬
王法勤　顧孟餘　陳友仁　劉守中
吳稚暉　李石曾　于樹德

五、中央執行委員會

組織部長　譚平山
宣傳部長　汪精衛
工人部長　胡漢民
農民部長　林祖涵
商民部長　宋子文
青年部長　甘乃光
婦女部長　宋慶齡
海外部長　彭澤民

六、各地黨務審査委員會

主席委員　路友宇
委　員　惲代英　陳其瑗　朱季恂　郭春濤

七、請求恢復黨籍審査委員會

主席委員　鄧澤如

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

委　員　鄒力子　高語罕　謝　晉　鄧懋修

八、規定特派員職權起草委員會

委　員　陳公博　吳玉章　朱季恂

九、國民黨廣東省黨部執行委員會

組織部長　楊匏安
宣傳部長　甘乃光
工人部長　劉爾崧
農民部長　彭　湃
商民部長　范其務
青年部長　陳孚木
婦女部長　何香凝

十、國民黨廣西省黨部

(1) 執行委員　黃紹雄　覃　超　覃侍宜
參煥章　白崇禧　陳立亞
梁六度　劉百撥

(2) 候補執行委員　李濟深　斐邦燾　甘浩澤
劉名世　俞作柏

(3) 監察委員　李宗仁　黃士謙　黃植楥
周錫楨　雷沛濤

(4) 候補監察委員　陳錫光　黃啓藩　夏　威

F. 雜

廣東大學校　校長代理　褚民誼
廣東省政府秘書長　連聲海
廣東省財政廳稅務總處長　林子峯
廣東省財政廳沙田淸理處長　李承翼
廣東省財政廳禁烟處長　黃樂誠
廣東省財政廳爆裂專賣處長　馮渭訪
廣東省財政廳鹽務總處長　鄭芷湘
廣東省財政廳煙酒公賣處長　黃樂成

（以上四月十五日―廣東通信）

## □豐臺の骸炭製造調査報告

北京の豐臺鎮には骸炭製造工場一所あり。本工場は協豐公司の經營に係り、井陘の石炭を原料として使用せり。該處の骸炭製造は、今回唐山に赴き骸炭製造を視察せるを以て、該處にも赴き視察し、又實地に就き練習し、山西の大同炭を用ひ、該焦窯にて煉焦せしめ、其適合せるや否やを試驗せり。該工場には焦窯五十四座あり、其半數は大窯にして、半數は小窯なり。大窯は開灤煤礦公司の林西に於ける窯と大體其形式及び大きさ共に相同じく、小窯は短墻を用ひず、其窯底及び空氣通道一切の建築は何れも大窯の形式を採り、其火道

及び火眼の排列手續も亦同様なり。小窯の直徑は略小さく、十呎乃至十一呎にして、石炭の充塡は大窯に比して高く、其窯頂は地の平面を離る事約五呎なれども、若し大窯なれば、其窯頂は地の平面を離る事約四呎なるのみなり。小窯に石炭を充塡する時は、其四邊は既に短墻を用ひざれども、唯石炭泥（卽ち洗炭池底に沈澱せるもの）を外面に附著せるを以て、碎炭は卽ち落下せざるなり。石炭を塡裝して上部に至りなば、窯身の直徑も亦漸次減少し、其窯頂は平形となり、大窯の如く圓形ならず、尙窯頂及び四週の外面は何れも水渣を塗附せり、小窯に於いて石炭を煉焦せしむるには、先づ火眼より火を出し、相當の時間を經過後、煉瓦及び泥土を以て火眼を閉塞し、然る後再び普通の泥土及び煉瓦を窯身の周圍に排列し、漸次重ねて向上せしむ。窯内の火は卽ち煉瓦の間隙より外部に透出すれども、若し下部の煉焦にして充分なる時は、卽ち泥土を煉瓦の外面に塗り、漸次向上して窯頂に達せる時を以て終りと爲し、窯頂上面の完全に泥土を塗りて牆壁となりたる後、窯内の煉焦も亦完了せらるゝなり。小窯と大窯の異なる點は、卽ち大窯は煉瓦を用ひて築きたる短墻を有すれども、而かも小窯は卽ち石炭の煉焦後、更らに臨時に煉瓦を排列して一假定の墻を造るのみなり。小窯の石炭容量は亦二十噸にして、骸炭十二三噸を製造し得べし。小窯は既に短墻を築造せざるを以て、耐火煉瓦を省略し得べし、故に小窯の建築費は大窯の建築に比し、省略せらるなり。

石炭の篩分け及び洗炭法

豐臺の骸炭製造工場は林西の如く洗炭機を有せざるを以て、石炭を工場に運搬し來れる後、石炭の篩分け及び洗滌は何れも職工の手に依れり。井陘礦局より運搬し來れる石炭は車より卸せる後、篩を通過せしめざるべからず、而して篩は方形にして、四週に木板を有し、恰かも木筐式の如く、内部は鐵線を縱橫に張りて方眼を作り、各一方眼は約一吋あり。篩目を通過せる石炭は卽ち煉焦に用ふるものにして、井陘の石炭は粘結性甚だ大なるを以て、一吋以下の石炭は骸炭を製造し得るなり。洗炭法は先づ地面に一長式水池を掘り、セメントを塗りて水の漏出を防ぎ、井戸より水を汲み取りて池内に流入し、以て洗炭用と爲し、淺き竹籃に石炭を盛りて洗滌を行ふなり。竹籃は柳枝を用ひて把持する處を取付けたるものにして、價格は一箇に付き銀二角五分なり。時に又葦籃を用ふる事あり。洗炭を行ふには先づ篩分を行ひたる碎炭を籃内に取り入れ、池中に放入して左右に搖りなば、籃内の純粹碎炭は其質輕きを以て上に浮き、其硬炭及び石塊等は重きを以て下方に沈むべし。是に於いて籃を取出し、木片を用ひて上に浮きたる石炭を除去し、之れを池畔に堆積し、籃内に餘りたる石炭は再び洗滌し、盡く浮く炭質を取り得る迄で繼續し、又新炭を加へて斯くの如く數回洗滌を行ひ、然る後籃底に積りたる硬炭及び石塊等は放棄するなり。此種の放棄せる物は俗に水渣と稱し、大概碎炭の淘洗を行ひたる後、籃内に在りて三層に分たれ、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

石炭質は較や輕きを以て上層となり、硬炭質は較や重きを以て中層となり、石塊質は最も重きを以て下層となれり。極めて微細なる炭末及び泥土等は何れも篩目より池底に沈澱するを以て、作業の終りたる後、池水を放出し、再び此種の炭泥を取り出すものにして、此炭泥は俗に煤子と稱せり。

此種炭泥は乾燥せる後、焦窰の外面を塗附するに用ふべく、又二等品の骸炭を製造するに用ふるなり。

小池は洗炭工四人乃至六人を容るべく、池上には木板を渡しあるを以て、洗炭者は卽ち木板上に立ち、洗炭を行ふなり。而して水池の水面は地面と殆んど平行となり、職工の石炭盛り及石炭の除去上に便宜となり、何等之れを阻碍する所無し。洗滌せられたる石炭は卽ち窰に裝塡せらるものにして、其餘の窰內の石炭踏み及び骸炭の窰出等一切の手續は、何れも林西と同樣なれば、玆に復た贅言を用ひざるなり、豐臺產の骸炭は多く長塊にして、其色は銀白を呈し、且つ氣孔多く、堅硬にして音響を有し、甚だ佳良なる骸炭なり。唯含有硫黃質は較や多し。玆に豐臺工場に於いて井陘炭を用ひ製造せる骸炭の化學分析を示せば左の如し。

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 水分 | 〇・五四 | 揮發物 | 〇・八〇 | 固定炭素 | 八四・五五 |
| 灰分 | 一四・一一 | 硫黃 | 一・一二 | | |

豐臺の骸炭製造は亦請負制を用ひ、骸炭一噸に付き工賃銀一圓を給し、凡そ石炭の篩分け・洗滌・窰入・窰出及び篩・竹篚等の費用は皆此內に含まれ、工場の關係せざる所なり。六河溝の骸炭工場の如きは骸炭一噸の製造に對し、請負費銀一元三角を給せり。

豐臺に於いて用ふる泥煉瓦は何れも同處の製造に係り、其方法は地中の土を取り、適量の水を加へて煉瓦型內に放入し、煉瓦形とならしめ、然る後之を取り出して乾燥せしめ、而して之れを焦窰の周圍に排列し、臨時の假定墻となし、焦窰より出づる火力を藉りて之れを燒くものなれば、是れ誠に一擧兩得なり。

豐臺廠の骸炭は井陘炭を鐵道便によりて豐臺に運搬するものなれば、其運賃は頗る巨額に上り、骸炭一噸の原價は約銀十三圓內外となれり。然れども之れを天津に於いて販賣すれば、天津の骸炭市價は一噸約銀十七八圓內外なるを以て、天津に至る運賃を除去して尙利益ありと云ふ。

玆に豐臺の骸炭製造に於いて、一窰に要する職工員數を記述すれば、左の如し。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 石炭篩分 | 職工二名 | 一名三百文 | |
| | 兒童工二名 | 一名二百文 | |
| 石炭擔 | 兒童工二名 | 一名二百文 | |
| 洗炭 | 職工二名 | 一名三百文 | 二日計六名 |
| 石炭擔 | 兒童工二名 | 一名二百文 | 二日計四名 |
| 窰の裝塡及石炭踏 | 職工四名 | 一名三百文 | 二日計八名 |

| | | |
|---|---|---|
| 火看視 | 職工一名 | 一名四百文 |
| 窰塗 | 職工一名 | 一名三百文 |
| 洗窰 | 兒童工二名 | 一名二百文 |
| 窰出及骸炭擔 | 兒童工四名 | 一名二百文 |
| 窰の清淨 | 兒童工一名 | 一名二百文 |

火看視工は一日に數窰を看視するを以て各骸炭製造廠の火看視人は一名にして一人夜交代するを以て計二名なり。

工賃は合計八千九百文なるを以て、之れを銀に換算すれば六元八角四分六厘となるべし。若し一窰の骸炭製出高を十三噸として計算すれば、一噸の工賃は即ち銀五角二分七厘なり。

豐臺每日の骸炭製造高は二窰なれども、時に又三窰に及ぶ事あるを以て、每月の骸炭製造高は約一千噸にして、該處は合計焦窰五十六座を有し、其販路は專ら天津に輸送し、之れを日本に輸出するなり。（農商公報第百二十七期）

# □支那に於ける工業機械

主要なる供給地

信用し得る統計に據れば、極最近の年即ち一九二四年度に於いて米國は一八七、七四三海關兩の機械工具類を支那に輸出せり。（一九二四年度に於ける海關兩の平均換算率は〇・八一弗なり）此取引は一九二三年度に比し八八、九三五海關兩の增加を示し、一九二二年度に比し八二、一七八海關兩の增加を示したり。カンカマース・リポーツに據れば、日本は一九二四年度の機械工具類市場に於いて米國に次ぎたりしが、一九二二年度及び一九二三年度に於ける大部分の輸入は獨逸の供給に係りしといふ。

機織機

此數年間機械工具類及び推進器具の總輸入額の著しく增加せるに拘らず、機織機の輸入額は著しき減退を示し、一九二二年度及び一九二三年度の各三〇、四八〇、三七六海關両及び一二、三一六、四八六海關両に比し、一九二四年度は五、七〇九、五六九海關両に減退せり。此著しき減退は一九二四年度に於ける機械類總輸入額の僅かに九、六四五、一〇二海關両なりしに大なる關係を有せるものにして、一九二三年度の總輸入額一四、三五七、二八六海關両に比し三割四分の減退となり、一九二二年度の總輸入額三三、七七九、〇四四海關両に比し五割八分の減退を示せり。

釀造及び製糖用粉碎機

釀造・蒸溜或は砂糖精製機の純輸入額は次の如し。即ち一九二四年度は一、三九一、一五四海關兩、一九二三年度は一〇三、一八八海關兩、一九二二年度は二六八、八〇九海關兩なり。此等總額中米國の供給せる合計額は一九二四年度に於いて三三九、四五八海關兩、一九二

三年度に於いて八六、五八〇海關兩、一九二二年度に於いて五八、〇一六海關兩なり。此種機械の白耳義よりの輸入額は一九二四年度に於いて三七三、九一六海關兩に達せしに拘はらず、先の二箇年間は輸入更らに無く、獨逸は頗る類似の經驗を有せしに拘はらず、一九二四年度に於いては六五七、〇一八海關兩を供給し、一九二二年度及び一九二三年度に於いては各七、七一二海關兩及び八七一海關兩を供給せり。

## 各國よりの輸入

左の統計表は支那の機械工具類・推進器具及び機織機輸入を示せるものなり。

### 支那輸入の機械工具類・推進器具（汽罐・滑水車）及び機織機

| 輸出國 | 一九二二年 | 一九二三年 | 一九二四年 |
|---|---|---|---|
| 機械工具類 | （單位）海關兩 | （單位）海關兩 | （單位）海關兩 |
| 米國 | 八二、一七八 | 八八、九三五 | 一八七、七四三 |
| 獨逸 | 二〇四、三八三 | 二二九、〇五二 | 一五八、二六九 |
| 日本 | 一五四、一六四 | 七八、二九五 | 一八一、五〇三 |
| 英國 | 八六、四三五 | 七四、一五八 | 七一、四四〇 |
| 香港 | 五五、三九四 | 一六、四七五 | 一一、〇一七 |
| 其他外國 | 七五、三八八 | 一五、〇七三 | 四四、[illegible] |
| 總輸入額 | 六五七、八三六 | 四九一、九八七 | 六五四、一九一 |
| 再輸出額 | 二三、四八三 | 二八、七二四 | 一五、九八七 |
| 純輸入額 | 六三四、三五九 | 四六三、二六三 | 六三八、〇[illegible]〇 |
| 推進器具 | | | |
| 米國 | 三一八、六九三 | 三四八、三三〇 | 二八九、五〇〇 |
| 英國 | 一、五〇五、五九五 | 七一九、五五八 | 九九三、三七二 |
| 瑞典 | 一八、四三六 | 五九、二六八 | 二六二、〇六四 |
| 獨逸 | 二八六、三九七 | 二三八、九一〇 | 一四三、二六三 |
| 日本 | 二一七、五六四 | 一〇二、七〇五 | 九〇、三八八 |
| 白耳義 | 七、六四一 | 二一、三三三 | 四〇、九八一 |
| 香港 | 三六、〇三五 | 二八、六一七 | 一〇、〇三八 |
| 其他外國 | 一〇二、六六九 | 三三、〇一七 | 九〇、七五一 |
| 總輸入額 | 二、四九二、七三〇 | 一、五四一、六一八 | 一、九四四、三五六 |
| 再輸出額 | 九七、二四〇 | 六七、二六九 | 三八、二〇一 |
| 純輸入額 | 二、三九五、四九〇 | 一、四七四、三四九 | 一、九〇六、一五五 |
| 機織機 | | | |
| 米國 | 六、〇八七、三三六 | 八九〇、八一六 | 六〇五、〇六八 |
| 英國 | 一五、一七一、八三〇 | 六、一五三、三六四 | 二、六六八、七一三 |
| 日本 | 六、七二五、二六四 | 四、五五七、七八四 | 二、一五七、一一七 |
| 獨逸 | 三一五、六四三 | 二八四、五二一 | 三三八、〇五〇 |
| 白耳義 | 一四六、〇〇五 | 三一、一〇七 | 八五、六六一 |

| 國名 | | | |
|---|---|---|---|
| 佛國 | 三七、七四〇 | 二三九、〇〇六 | 六八、八三六 |
| 香港 | 九、一八二 | 一〇九、六五三 | 四九、三六九 |
| 加奈陀 | 一、八三三、七〇六 | 四二、七一七 | 一、七六一 |
| 伊太利 | 一三〇、四九二 | 八、四二〇 | 三四、六二一 |
| 其他外國 | 八三、〇八八 | 二六、〇三九 | 二一、八三四 |
| 總輸入額 | 三〇、五三九、二八六 | 一二、三三四、四一七 | 五、八七三、〇三〇 |
| 再輸出額 | 四八、九一〇 | 一七、九三一 | 一六三、四五一 |
| 純輸入額 | 三〇、四八〇、三七六 | 一二、三一六、四八六 | 五、七〇九、五六九 |

### 上海の一九二五年度機械輸入の激減

一九二五年一月より九月に至る此九箇月間に於ける上海の輸入機械類は左表に示されたるが如くにして、一九二四年度の同期に比し六割四分の激減を來せり。輸出國各國共に其輸出を減少せしが、特に獨逸及び日本よりの輸入は最も減退せり。斯く機械類の輸入の著しく極限せられたるは一九二五年度に於ける置換及び特種事業の混亂せる政治狀態及び軍事行動に影響せられたるものといふべし。

支那上海の機械類輸入表（單位海關兩）

| 輸出國名 | 一九二四年（自一月至九月） | 一九二五年（自一月至九月） |
|---|---|---|
| 米國 | 二、一四九、三〇六 | 八〇六、五九〇 |
| 英國 | 二、六〇六、七四四 | 一、六三二、〇四六 |
| 獨逸 | 一、五三六、一二六 | 二五六、三三二 |
| 日本 | 一、〇九八、三三七 | 二七三、四六八 |
| 其他外國 | 一、二五八、六九九 | 一七九、〇八三 |
| 合計 | 八、六四九、二一二 | 三、一三七、五一九 |

(Eastern Engineering. Mar. 18, '26.)

## □香港の排貨と其影響

倫敦の支那協會次席で、曾て永年香港に在留し、一時は立法會議員の椅子を占めてゐたスタンレー・エッチ・ドッドウエル氏は、The Times Trade and Engineering Supplement 誌上に一九二五年間の廣東排貨が香港貿易に及ぼしたる影響に關する記事を寄稿してゐるが、之を拔萃すれば下記の如くである。

南支貨物の輸出は、曾ては香港より頗る經濟的に積出されてゐたが、今日依然迂路を經由して行はれ、爲めに諸掛及び損害の危險を、自然增加する傾向にある。排貨以來、絹糸は香港より本國船にて黃浦に積出され、此所に於て罷業委員會にて課せられる不法の稅を支拂ひたる後、屢々小型の老朽不定期船に積込まれて上海又は基隆に輸送され、再び歐米行大洋航路の汽船に積換へられてゐる。香港と絕交する爲め他の貨物も同樣なる方法に依りて取扱はれてゐるが、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

斯くて過失ある不要なる取扱多きが故に、必然荷受者側より種々の小言を受けてゐる。

次表は香港にて取扱はれたる商品の輸出入の数字であるが、一九二五年七、八、九月の三箇月間に排貨は香港貿易に如何なる程度に影響を及ぼしたるかを示すものである。

| 輸入 | 一九二四年(七―九月) | 一九二五年(七―九月) |
|---|---|---|
| 漢薬 | 三三四、五〇七 | 三六三、八七三 |
| 紙巻煙草 | 一八五、七六九 | 五五、一九二 |
| 石炭 | 三六〇、六四一 | 一九〇、九五〇 |
| 烏賊 | 一二〇、八九〇 | 五九、七〇九 |
| 魚類其他水産物 | 二九六、五三五 | 一〇八、五〇六 |
| 小麦粉 | 五八一、〇六三 | 三五四、五六五 |
| 毛製及交織フランネル | 二二〇、九二八 | 五、五六九 |
| 燃料油 | 一四五、八三九 | 九〇、六七八 |
| 鞣皮(靴底) | 一三六、〇三〇 | 七一、〇四三 |
| 生地、模様及び縞物メルトン(毛製) | 一二九、六九八 | 一二四、五七一 |
| 落花生油 | 一九二、一二五 | 一七三、五七三 |
| 砕ケ米 | 五六三、四六九 | 一九七、四五七 |
| 白米 | 一、四三七、六八五 | 四九三、九四七 |
| 絹反物 | 二九六、〇二三 | 一六七、三五三 |
| 原料糖 | 二、五六三、二五九 | 九四五、〇〇八 |
| 衣服類及び蘇格蘭織(毛製) | 四四五、六三九 | 一一三、六六八 |
| 茶 | 五四、一九六 | 一〇一、二七四 |
| 交織布類 | 三五三、六〇九 | 一四七、八六九 |
| 綿織糸 | 一、〇三一、四四一 | 六三七、七一四 |

| 輸出 | 一九二四年(七―九月) | 一九二五年(七―九月) |
|---|---|---|
| 漢薬 | 三二五、二六三 | 二〇八、二一九 |
| 紙巻煙草 | 二九〇、九八六 | 三一一、六八二 |
| 染色せる又は染色せざる木綿 | 二四四、一六〇 | 六三、八四五 |
| 爆竹 | 一三一、三二三 | 七六、三三八 |
| 魚類其他水産物 | 四〇九、八四四 | 一九九、二三一 |
| 小麦粉 | 四三七、二〇四 | 一三五、五四〇 |
| 乾果 | 七五、八一〇 | 五〇、九九五 |
| 鞣皮(靴底) | 一四六、四〇〇 | 九五、七八〇 |
| 席類(茶席を除く) | 一一一、九二〇 | 六二、一二四 |
| 落花生油 | 一三一、二九三 | 八四、四八九 |
| 砕ケ米 | 五〇一、八三一 | 一五〇、九八九 |
| 糯米 | 九四、〇五八 | 一二二、七三六 |
| 白米 | 一、二三〇、五五〇 | 四四六、三四七 |
| 綿衣類(白、四〇×四三碼) | 七九、七四八 | 一九、一三三 |
| 絹反物 | 二二七、六五八 | 一一三、七四四 |
| 原料糖 | 五二五、二四五 | 三五一、四七一 |

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

| | | |
|---|---|---|
| 精製糖 | 一、六八二、七五六 | 四〇八、七四〇 |
| 茶 | 一〇六、三二二 | 一〇〇、八五一 |
| 綿織糸 | 九一六、九八八 | 四四三、三四六 |

香港仲繼の廣東の輸出は、一九二五年前半期には計二五、〇〇〇噸に上つたが、後半期には僅々五〇五噸に過ぎなかつた。而も後者の中大量は排貨開始に當り沙面英國租界より引揚げたる荷物であつた。

現排貨の破壊的性質のものであつた一例を此處に引證しやう。排貨が香港に侵入するや否や、支那に生育し經濟上の理由の下に香港にて貯蔵される量は、地上に腐敗する儘となり、此結果斯業に從事する支那人は多數非常な損失を蒙つたのである。

英國政府は排貨の最危險期を通過せる同胞を援助する爲めに、寛大にも三、〇〇〇、〇〇〇磅を香港に貸與せし事實は周知せらるゝ所である。然し該貸與金に課せられたる利率は九步と云ふ高步にて、折角の義俠的行爲も殆んど受取れず、政府は今少し適應せる條件にて財政援助を與ふべきであると廣く主張されてゐる。斯る援助の必須なるは次の事實に徴して知られる。即ち、地方産業の有する資産及び株の價格下落は計一〇〇、〇〇〇、〇〇〇磅を下らず、且支那人連は香港に於ける資産及び株の恐らく八五―九〇%を所有してゐるが故に、其損失の大部分は彼等の負擔となることである。

上記の事實及び數字よりして、香港に於ける英國商人及び船主は、罷業及び排貨―甚だ熾烈であつたことは否定出來ないが―の結果として結局如何なる損失を蒙つたとするも、輸入品に對しては法外なる代價を支拂ひ、輸出品に對しては少額の代價しか得られざる南部諸省の支那人の受けたる損失に比すれば、誠に少額であることは明瞭である。香港は彼の目覺ましき貿易史上に一時的蹉跌を經驗したことは疑ひないが、然し英國の正義及び公明正大なる取引は、南支諸港の追從を許さゞる地理上の利、海運の便と相俟つて必ずや昔日の繁榮を回復するに相違ない。香港英支人の過去の事業及び先見に依つてこの繁榮は正しく香港に歸すべきである。

(The China Express and Telegraph. Apr. 22, '26.)

# 佛領印度支那

## □印度支那月報（一九二六年五月中）

### 印度支那銀行土人事務員の罷業

五月四日印度支那銀行土人事務員二百名は全部同盟罷業を決行した。原因は計算上の誤謬があつたゝめ、書記課で當の責任者たる二名の土人及印度人事務員に對し午後まで勤務して取調べ方を命じた

るも之に服せず且つ不穩の擧動ありたるにより已むなく解職したるに起因するので土人同僚等の復職運動效を奏せざるに至つて勃發したるものである。因に銀行は佛人行員に依つて平生通り營業を繼續してゐる。銀行の決意は頗る強固で二百名全部解職の手續を執るに至つた所就職希望者既に三百名以上に達したとの事である。

## 革命黨の取締に關する植民地共和主義活動協會の宣言

印度支那國內に本國共産黨一派と氣脈を通じて事每に佛國の植民政策に反感を懷く一部土人の蠢動しつゝあることは既知の事實であるが、今回本國に於ける植民地國權擁護一派の中心機關である植民地共和主義活動協會は次ぎの如き宣言を發表した。これは同協會が去る三月二十九日の總會に於て共産黨一派と及佛國植民政策に反對する多數の安南人革命黨員等より不法極まる防害を受けたるに原因するものと察しられる。

前略　本協會は我植民地內に行はるゝ革命的陰謀及公の秩序を紊すべき反佛的行動に對して當局官憲の假借なき取締を希望す。本協會は一九二四年十二月十日の總會に於て既に聲明したるが如く政府に對して滿腔の信頼を表明すると共に、關係民族と文明の敵たる一切の反佛的革命宣傳運動に對抗すべく政府に協力せんとするものである。云々

## 印度支那公債の發行

印度支那公債二百萬ピアストル發行認可の件今回大統領令を以て本國官報に發表された。右は舊公債九千萬法の未償還殘額に振當てらるゝものである。

## 印度支那の新設稅

印度支那總督は左記新稅の設定案を稅制調查委員會に提出した。

一、工業及商業者利得稅（營業稅に代るもの）

二、俸給・手當・臨時收入・報酬・恩給及修身年金に對する課稅

三、非商營業者利得稅

四、商品賣上げ稅（課稅困難を理由とし多分海關稅に代はるべし）

右に關し稅率及徵收法其他は目下なほ不明であるが、單に稅種のみに就て考察すると、かの有名なドゥメル前藏相の稅法システムを根本から覆へすものと見られる。

## 佛國各植民地の經濟財政狀態

佛國上院に於ける植民地豫算報告委員長は各植民地の豫算案討議に際し植民地の經濟財政狀態に就て詳細なる報告書を發表したが、便宜上全植民地と印度支那とに區分して次ぎに抄錄する。

### (一)　全植民地の部

一九二四年に於ける佛國全植民地の貿易總額は百七十二億八千五百萬法で之れを本國に於ける同年の貿易額に比すると五分の一を下らざる計算である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一九二五年に於て佛本國が植民地及保護國から輸入した貨物の總額は四十五億法で本國の全輸入額の一割强に當つてゐる。一面に於て本國が植民地及保護國に輸出した貨物に就て見ると、一九二四年には五十三億法、一九二五年には六十四億五千萬法で本國の全輸出額の一割四步乃至一割五步に該當する。

次ぎに過去二十五箇年間の各植民地及保護領に於ける貿易發展の趨勢如何を考察するに一九〇〇年より一九一四年に至る間は年と共に追次發展、次で戰時中初めの二箇年間漸減の數字を表はしたる外一九二〇年に至るまでは初め緩慢に後ち急激なる增加を示した。越へて一九二一年は世界的大恐慌の影響を受けて激減、而して一九二三年以降に於ては從來に比類なき大發展を持續して今日に至つた。

因に報告委員長は植民省支辨の各植民地の經費に言及し、民政費一千二百萬法、軍事費二億二千五百萬法、合計二億三千七百萬法であると說明した。最後に委員長は將來に於ける植民地の經濟發展政策として鑛山開發の必要を力說し次ぎの如く附言した。

將來に於ける我植民地の經濟發展の要訣は豐富なる鑛山開發にありと確信す。政府は須らく地質及鑛山調査に關する大計畫を樹つべきである。我植民地の多くが本國を距ること遠き地理的關係に依つて從來拂はれたこの種の努力は不充分で然かも效力に乏しかつた。蓋地質及鑛山調査事業は、公益を主眼とする官業工事と重要さの程度に差別がないことを確信する優秀なる鑛山技術家地質學者は佛國に於て決して乏しとせない、計畫指導その宜しきを得ば植民地を利し併せて本國を益すべき會心の大發見は期して待つべきである。而してその時期は五年乃至十年若くはそれ以內であらうが、成果は絕へざる不斷の努力に依つてのみ得らるべきを諒とせねばならぬ。云々

## (二) 印度支那の部

一九二二年以降に於ける印度支那の特殊貿易額は一九二二年二十億法・二三年二十三億法・二四年三十二億法・二五年四十億法餘の數字を示してゐる。而して印度支那經濟界の死命を制する重要生產品の一九二五年に於ける產額は米の七千五百萬キントー・石炭及鑛產物の一億二千萬法、護謨の八千噸等である。

財政方面に於ては國力發展の表徵と見るべき登錄稅・土地稅・印紙稅等の收稅額は一九二一年の二百七十萬・二二年の三百萬・二三年の三百五十萬・二四年四百十萬・二五年の四百五十萬ピアストルで逐年增加を示してゐる。なほ一九二二年乃至一九二四年度に於ける通常豫算の歲計を示せば

| | | |
|---|---|---|
| 一九二二年度 | 歲入 | 六四、七〇〇、〇〇〇ピアストル |
| 同 | 歲出 | 五九、〇〇〇、〇〇〇同 |
| 一九二三年度 | 歲入 | 六七、二三〇、〇〇〇同 |
| 同 | 歲出 | 六〇、二〇〇、〇〇〇同 |

一九二四年度歳入　六五、七〇〇、〇〇〇同
同　　歳出　六三、七〇〇、〇〇〇同

上表に示すが如く歳出の累進するに反し歳入の之れに伴のはざるは遺憾である。尚上記三箇年間の歳計に於て歳出に對する歳入の超過額は一九二二年の五百萬・二三年の七百萬・二四年は激減して二百萬ピアストルである。一九二五年度は最近總督府よりの報告によると印度支那財政の基本を爲す四大重要税の實收入が豫想額より約三百萬ピアストルの減額を示したる關係上多くの開きは期待せられざるべし。

四大重要税の減收に就ては種々なる原因を認め得べきも本國貨法の下落はその最も重大なる原因なるべし一例を擧げて言へば一九二四年度に於ける關税收入の豫想額は九千萬法（豫算上に於ける換算率は六法につき一ピアストルで千五百萬ピアストルに當る）であつたが、一九二五年には一億九百萬法卽ち前年度に比し千九百萬法を増加して收入豫想額とした如きはその一例である。然るに一九二五年度に於ける平均換算率は十法二十二仙につき一ピアストルであるが故に、同年度の收入豫想額一億九百萬法をピアストルに換算すると千六十七萬ピアストルに該當し、前年度の千五百萬ピアストルに比較すると却つて四百三十三萬ピアストルの減額に相當する勘定になるのである。

なほ歳入減收の一原因として或る種の税が年度に依つて著しく増減あることも亦看過すべからざる點である例へば阿片税の如き一九一九年には千二百八十萬ピアストルの實收があつたに拘らず、一九二四年度には遙かに減じて八百五十萬ピアストルに過ぎざりしが如きその一例である。

次ぎに通常歳出に就て考察するに累年増加の趨勢を辿り一九一九年には三千八百萬・一九二〇年には五千萬・一九二一年には五千八百萬・一九二三年には六千萬・一九二四年には六千三百七十萬ピアストルを示してゐる。

豫備金支出の一般狀態は官業工事計畫實施のため一九二二年には千六百萬・一九二三年には千七百萬・一九二四年には千四百萬ピアストルを支出し、一九二五年度に繰越された金額は僅かに七乃至八百萬ピアストルでこの金額は印度支那出納部の常用を充たすに足りたみで繼續事業費としては二乃至三百萬ピアストルの小額を充當するに過ぎなかつた。

## 佛本國本年度豫算案の通過

佛本國の本年度豫算案は左記の如く上下兩院（上院二七二票對七票・下院三九三票對一五一票）を通過した。（四月二十九日）

通常豫算
歳入　三百七十四億九千八百七十三萬九千四百六十八法
歳出　三百七十三億三千八百三十六萬九千三百二法
歳入超過　一億六千三十七萬二百六十六法

附屬豫算
歳入　六十三億三千六百五十二萬三千二百二法
歳出　同

## 日本の人口に對する一種の見方

日本最近の正式人口調査とも謂ふべきものが一九二五年十一月一日を以て終了し其の結果が先頃公表された。右調査は過去五箇年間の統計を基礎としたもので人口増加數三百七十七萬三千六百五十一人卽ち其の増加率六・七パーセントにして實に一箇年七十五萬人の増加を示して居る。

試みに諸大國の內、定期的に且眞面目な方法で統計調査を行ふ國の人口と日本の人口とを比較して見るときは、日本の五千九百七十二萬六千七百〇四人は世界の最も人口多き國の第三位に在る。卽ち米の一億〇五百七十一萬〇六百二十人及一九二五年六月十六日調査に係る獨の六千二百四十七萬二千八百七十二人の直後に位するのである。

支那・印度及び露國の如きは勿論前述の國々以上の人口を有するものと思はるゝも其調査の確實性に就き甚だ疑問がある。

玆に隨分珍奇な現象と見るべきは日本に於ては男子の人口が目立つて女子の人口を凌駕して居ることである。今度の調査に依れば五千九百七十三萬六千七百四人の住民中男子は三千ー一萬二千八百二十人女子は二千九百七十二萬三千八百八十四人にして卽ち男子は女子よりも二十八萬八千九百三十六人の優勢を示して居る。此れは百人の女子に對して百一人の男子が居ると言ふことになる。是と同樣なる現象は合衆國、加奈陀（男子の移住者多き爲め）及瑞典に於てのみ觀らるゝ處であるが、其の他は到る處女子が優勢なる位置を占めて居る。

密度の點から言ふと日本は一平方キロメートルに付百五十七人を算する。然し日本では其の面積の僅に十分の三丈が人の住居に適するのみで其の他は火山と開墾不能の地であるから、此の數字は眞實の密度を表はしては居らぬ。

人口散布の狀態から言ふと農村疲弊して大都市に著しき人口の增加を見る。此れは日本が如何に盛んに工業本位化しつゝあるかを物語るものである。

千九百二十三年の震災の影響は未だ完全に拭ひ去られて居らぬ、其結果首府東京は第二位に落ちた。

今主要都市の人口を細別すると左の通りである。

| | |
|---|---|
| 大阪 | 二、一一四、八〇九人 |
| 東京 | 一、九九五、三〇三人 |
| 名古屋 | 七六八、五六〇人 |
| 京都 | 六七九、九七六人 |
| 神戸 | 六四四、二一二人 |
| 橫濱 | 四〇五、八八八人 |

日本帝國人口の此の驚異すべき增加及日本に於ける耕作地域の割合くが然微弱なる事實は、吾人の熟慮を要すべき性質のものであると言ふことに讀者の一考を煩はしたい。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

日本が此の「人間生產」の過剩者を居住せしめ又生活せしむるに必要なる國土を見出し得る樣日本を援助することが世界平和の爲めに肝要である。倭小なる彼等日本人をして彼等の世界的地位を保たしむること必要である。

此の理を解せざるものは自ら禍を招くものだ。太平洋上の「アングロ・サクソン」人が此點に於て頻りに排斥政策を固執するも夫は到底不可能事である」。(France-Indochine, 30, 4, 26.)

## 馬來半島

### □英領馬來に於ける鑛業

本稿は前々號に譯述した「英領馬來に於ける鑛物」と併せて同地方鑛業の狀態を知るに好箇の資料である。

**金** パハン州コーラ・セラオを少し下り、ジエラィ河より餘り遠く隔てゝゐないセリンシン(Selinsing)には、馬來人が曾て暹羅人によつて採掘されたと云ふ昔時の採金箇所の跡が殘つて居る。當時の採金方法は可なり機械的熟練を要したもので、現住暹羅人の渡來前はモン種族の人々によつて七、八世紀前に行はれてゐたものと云はれてゐる。然れども之等採金作業が何時頃行はれてゐたかは皆目分らない、唯僅に紀元第十五世紀パハン州に於ては最盛であつたと云ふ事である。マラッカに關する最古葡人記者バルボサ(一五一八年)はパハン州を固形金に富める州と記錄してゐる。又一六〇〇年頃の記述によればゴデインホ・デ・エレデイヤは一五八六年偶然にも有名となるに至つた幅一碼の金鑛脈の詳報をマラ カ總督ジョアス・デ・シルバに送呈したと。又其他の項に於て同著者は當時パハン州がムアル及セルテイン間の低い分水嶺によつて東海岸に於ける如く西海岸とも密接なる關係があつたと記述して居る。之れによつて見てもパハン州に產する金の大部分がマラッカに奪はれた事は頗る顯著である。一七二七年アレキサンダー・ハミルトン大佐はパハン州に於て馬來人が採金に熱中した模樣を述べ、數年間に金ハンドレッドウエイト以上卽ち一八九七年最高產額の約半分と計上して居る。一八三九年ニウボールドの著書中、馬來半島の年金產額は凡そ一九、八〇〇弗と計上し、更に之れはウル・パハン、トレンガノウ、ケランタン、ジョホル、ゲメンチエー及ジエラィ、ペカン及パタン・モリン並にオフイル山麓にある其他の箇所より產出せられたと書かれてゐる。又同氏は柔佛のペングールーが水牛五、六頭を與へて採金苦力を酷使し、一頭毎に金二兩を受收したと云ふて居る。

現在作業中のものは在パハン・ラウブ・オーストレーリヤン金坑のみであつて、此處では水力電氣がある爲め其經費は頗る廉價である。

一九二〇年同金坑よりは金一二、〇二三弗を産出した。

ペラ州にはタパー附近に於て僅に土人所有金坑から産出されてゐる。併し乍ら之等はどれも少しも振はない、漸く地方丈の需要を滿すに止まつてゐる。普通金を選別するに水選法とシャフティング法を行つてゐる。

嘗て金を採集せん爲めケランタン河を浚渫する計劃が實行されたが、不成功に終つた。其昔同州南部邊境に位するプライは有名なる産金の中心地であつた。又ケランタン國境に近く、下方暹羅にあるトモーは久しく土人産金地として可なり知られてゐる。最近迄、該鑛業に必要なる資金はトモーに居住して統治せる支那人回教徒Ah Fat王(ラジャ)によつて支辨されてゐた。而して此採金作業は上ペラのテメンゴル河より程遠いケランタンのウル・ペルガオ迄擴張して行つたが、今日トモーには小量を産し又上部ペラには全然産出してゐない。然し乍ら之れを以て同地方に金鑛脈が既に盡きたとは考へられない。何となれば同地方一般の好景氣特に護謨業の繁榮した結果、馬來人及支那人等は報酬少き鑛業を輕視するに至つた。トモーに於て最も榮えたる時代に、支那人苦力は一日平均五十仙を所得したと云ふ事である。

トモー及隣接村落なるパンチョルには含金鑛脈が發見された。ラウブ金坑より隔たるパハンには數箇の含金鑛脈がセリンシン、チュイ、ブンジヤム及ケチヤオに於て採掘された、けれども採算的に採掘する爲には費用が餘りに高價である。ネグリ・スムビランのパソ・チンドラス及パッ・ベルサワに在る含金鑛脈からは有利に採掘されなかつた。

次表は最近三箇年馬來聯邦州より市場に提供された金の政府統計である。(單位 弗)

| 地方 | 一九一八年 | 一九一九年 | 一九二〇年 |
|---|---|---|---|
| ペラ | 一、二三七 | 一、〇九一 | 一、三三八 |
| ネグリ・スムビラン | 三八 | 三三 | 九 |
| パハン | 一七、〇三四 | 一五、二七八 | 一一、四七六 |

錫 十五世紀の初期に於ける支那人年代記者の記錄によれば、錫はマラッカの山中二箇所に發見せられ、當時王は鑛山を管理する官吏を任命した。又住民は錫鑛を精洗する爲に送られ、熔融後は一斤八兩又は政府指定の一斤四兩の小塊狀に固め、再び籐を以て其拾塊づゝを括つて小束とするか、然らざれば四十塊を以て大塊となすのである。而して錫坑勞働者の一切の取引には貨幣の代りに錫を使用したと云ふ。ダルブケルクは又一五一一年同地を征服した時マラッカに通用せる馬來錫貨の鑄造を抑壓し其代り葡萄牙の錫貨を鑄造したと云ふて居る。昔時の支那年代記によれば、柔佛及パハンからの輸出品中に錫があつた事を說明してゐる。又ペルポサはセランゴルに於て採取せる錫がマラッカに渡り其處より各國に向けて賣却された有樣をよく述べて居る。十七、八世紀和蘭がケダ及ペラ兩州に産する

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

錫の獨占權を得んとて執拗に努力したかは歴史上明である。ハミルトンは又ペラ州は印度にある他の國々よりも多量に錫を產出し、十八世紀末に及んで年產額五千擔、ニウボルド時代には八千五百擔に增加したが、之等の大部分は何れもキンタ、パタン・パダン及ペラ河に沿ふ數箇所の地點に於て馬來人坑夫によつて採集されたと記述してゐる。クラン及セランゴルには小量の錫を埋藏して居る。上ペラのインタン及ケママンのプンディは五十年間以上も錫を產出してゐる。一八九〇年の初期キンタ地方には三百五十內外の馬來人所有錫坑があつて、之等は總て河床砂を洗出して得るものであつた。而して英國がペラ州に干涉をするに至つたのは十九世紀の中頃支那人によつてラルート錫田が發見された事後のである。多數の錫產地も皆最近の發見に係り、例へば柔佛のマーシン、パハン州クアンタン地方のプラト及ガムバンは其主なるものである。

次に目下採掘中の錫坑所在地の主要なるものを列擧しやう。

一、パーリス・セタルの境界に位し石灰岩丘稜中にあるもの
二、北部ケダ、シヤングルーン附近
三、ケダ峯の南方岐阪
四、ケダ、パリンの北方に在る丘
五、上ペラ、インタン
六、上ペラ、テメンゴール附近
七、ペラ、ラルート地方
八、ペラ州コーラ・カンサル地方、サラ・ノース及スンガイ・シプー
九、ベコルに在るペラ河谿谷
十、ペラ州キンタ地方
十一、ペラ州パタン・パダン地方及ウル・セランゴルに在る主山脈
十二、セランゴル州コーラ・ラムポー及ウル・ランガット地方
十三、ネグリ・スムビラン州スレムバン及マンテイン近傍
十四、ネグリ・スムビラン州ジエレブ及コーラ・ピラ兩地方
十五、柔佛、マーシン
十六、パハン及柔佛兩州に跨るエンダウ
十七、パハン州にあるポンテイアン
十八、パハン州プラト及ガムバン
十九、パハン州クアンタンに近いスンガイ・レムビン
二十、パハン州ベントン附近にある主山脈
二十一、ケママン、プンディ及スンガイ・アヤム

尙ほ此他錫鑛業が小規模に行はれてゐる箇所がある。

個人所有錫坑の中、キンタ地方は依然として曾てラルートが保有した最大生產地を占めてゐる。一九一九、二〇年キンタ地方にあるゴーペンは獨りラルート全地方より以上多大の生產を擧げて居る。セランゴル、コーラ・ラムポー地方は最大生產地で、ウル・セランゴルのコーラ・クブ之れに次いで居る。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

パハン州クアンタン地方に一九一九、二〇年採集した錫鑛の量にウル•パハン産額よりも若干多かつた。

過去三十二年間歐人資本並に新式錫鑛採集法は顯實に增加して來たのである。されど一九二〇年支那人經營坑區から採集し得た錫鑛の量は今尙ほ總產額に對する六十四パセントを占め、一九一九年には六十八パセント、一九一三年には七十四パセントを示めてゐた。支那人の疎放なる採集方法及錫鑛業に關し支那人馬來人間に流布される迷信を見聞して大多數の人々は嘲笑して居た。又事實支那人坑夫は不完全なる採集を行ふ爲め屢々貧弱なる量を回收する結果を齎すけれども、而も安價な小收入を以て生計を立て、孜々として、嚴重に監視しなければ彼自體蒙る事ある危險を全く無視し、至る所手工勞働に從事する爲め、多額の工場設備を要し多數株主に滿足を與ふる丈の配當金を捻出せん爲め多大の利益を得る必要ある大資本會社に尤に比肩し行く事が出來るのである。馬來半島内に於ける支那人鑛業は今後個人鑛業者の指導を必要とするけれども、新式工場が引合ないのに拘らず、發展し得る箇所あるを以て益々擴張して行くであらう。從て如何なる採錫企業も支那人又は支那婦人によつて小規模ではない、若し旨く行かない場合彼等は舊坑又は他の坑業者の廢屑中にある原鑛殘渣を精洗するのである。而して輸出業者に渡る時は總ての錫鑛に對して政廳に輸出稅を支拂ふのである。個人坑業者は其作業者手前に原鑛の豐富なることを確めなければならない。それに反して馬來人及蕃族によつて採掘される錫鑛の量は甚だ小量である。馬來人は數坑區を所有して居る、けれども常に作業してゐる箇所は二、三に過ぎない。又蕃族は遠方の山岳地から都會に少量の錫礦を運搬してゐる。然れども蕃族馬來人及支那人は皆試掘困難な地方に至る迄踏入つて非常なる貢献をなして居る。白人坑業者は新鑛脈の報告を頼つて專ら調査を進めてゐる。殊に試掘に際しては之等多數亞細亞人の努力に俟つ所頗る甚大である。

然れども支那人經營の錫鑛業は大抵砕屑鑛床か鑛脈の組成物が表面の風化によつて軟化された箇所に於て行はれてゐる。其採掘には露天掘、精洗法又はシャフテイングの三通りあるが、殊に後者の方法は原礦の上部にある過載物の幅が厚くて露天掘で除去する爲には非常に費用を嵩む場合のみに限つて最も經濟的である。

露天坑(土語ルムポン)は表面から掘出して行くもので、此場合水を汲出すか若しくは喞筒を以て絕えず乾燥しておかなければならない。小掘土地では紐で吊し二人で作業する石油罐が屢々汲出用に使はれてゐる。梁の一端が移動し他の一端固定して居るバケツも亦簡單なる裝置として弘く用ひられて居る。支那人の使ふ箱型喞筒(土語キンチャルと呼んで居る)は不細工であるが、廉價である爲め一般に使はれてゐる。大規模掘出地には蒸汽喞筒が重に設置されてゐる。而して過載物は堅固な棒に吊した二箇の底淺い籠に移して苦力によつて運ばせるか、トラックで以て運び去るのである。含錫土壤

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

も之れと同様で又は重力喞筒によつて處理されてゐる。さり乍ら粘土多き土壤に於て小規模に作業する坑夫は坑區の底にある粘土に充分水を滿し搔き混ぜた後原鑛を掘出して數階段程汲み上げるのである。各階段には液狀泥土を支へる凹所があつて、其處に柱に沿ふて各々汲出小罐を持つてゐる坑夫が位置し、水田から採取せる泥濘を精洗箱に達する迄順次上方に居る坑夫へと送り渡すのである。精洗箱(土語ランチヤツト)は恰も上部の開いた棺桶狀の形をしてゐる。上部には下部に必要なる丈の水を湛へて居り、之れによつて含錫土壤から金屬を充分採取し得る迄前後に搔寄せるのである。併し乍ら此箱の內部には粗雜な作業のみが行はれる、從て此場合比較的重い不純物を除去する終末作業は特に熟練した人々によつてされるのである。

キンタのトロノー及タムブンには歐人經營の最大露天坑がある、されどタムブン坑區は既に掘り盡され、又トロノーに於ては舊坑區のみ僅に開鑛されてゐるに過ぎない。目下歐洲人の手で採掘されてゐる最大露天坑は在キンタ、ラハト鑛業會社とセランゴルのスンガイ・ブシ鑛業會社の二である。最新露天坑に於ける鑛土の上下輸送は水壓エレベーター又は重力喞筒を使ひ、蒸汽力若しくは電力によつて動くトラックを以て行ふてゐる。

露天坑では原鑛を採取場表面又は其附近に運び揚げなければならない。精洗法或は沖積錫鑛採集の場合には水を含錫土壤に導いて、其上部に流出して錫鑛を集めるのである。此際輕質の物質は流れ去るのである。普通の方法は水分を溝渠に導く、そうすれば含錫土は自然水流によつて流される。精洗箱を便利な位置に造つた溝渠中に安置する、此時木製大淺盤(土語ドウラン)中の溝渠にある砂泥を精洗して粗雜な採取作業を行ふてゐる。

水壓作業を行ふものは近來盛んに行はれてゐる沖積錫鑛である。卽ち遠方から管で導き、丘稜面に水を噴出して土壤を破壞し含錫鑛土を運別水溝迄運搬する大砲狀の型をした所謂モニターから水壓を付けて送り出させるのである。ゴーペン地方には此の樣な水壓坑區が澤山にあつて最も成功して居る樣である。卽ちゴーペン聯合會社、キンタ錫鑛業會社、テツカ佛人採錫鑛業會社は其主なるものである。他にキンタ錫鑛業會社と稱へる佛人會社はカムパルより數哩離れた地點に其本工場を設けてゐる。

地中深處にある錫の採掘は殆んど歐洲人に限られてゐる。最も深い錫坑はクアンタンのスンガイ・レムビンにあるもので、パハン・コンソリデーテツド會社は數鑛脈を採掘し、就中其一竪坑は地下一、六〇〇呎に達する。之等の坑區は從前支那人によつて露天採掘が行はれた所である。之れはコーンウオールの'Killa'(粘土片岩)に類する變質水成岩に存するが、中には花崗岩中に徒入してゐるものがある。而して之等は唯に馬來半島に於て重要なる鑛脈である許りで無く、實に世界中に於て重要且つ深處にある錫坑の中に數へられてゐ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

る。

沖積鑛原で比較的下等の錫を回收する際、最新且つ最も經濟的な還元法はラルート及キンタ地方に於て專ら行はれてゐるバケツ浚泥法である。

近來は錫原鑛に附著する重い不純物を電氣磁石を以て除却して居る。

二、三十年前坑夫は自ら採集した錫を自分で製煉するを常としたが、現今其大部分は海峽植民地に於て行はれてゐる。

次表は、馬來非聯邦各州に於ける最近の錫鑛產額を示す爲め各地顧問の年報から摘集したものである。(單位擔)

| 地方別 | 一九一八年 | 一九一九年 | 一九二〇年 |
|---|---|---|---|
| ジョホール | 三九,四二〇 | 三二,〇一九 | 二六,六四〇 |
| ケダ | 一三,〇六八 | 一二,七九九 | 八,六五三 |
| パーリス | 二,五九六 | 一,八九六 | 四,三四六 |
| トレンガノウ | 一〇,一九四 | 一〇,五八〇 | 八,一一七 |
| ケランタン | ― | 二五 | 四〇 |

最近十年間(一九一一―一九二〇年)に於ける世界錫產額表(單位噸)

| ― | 一九一一 | 一九一二 | 一九一三 | 一九一四 | 一九一五 | 一九一六 | 一九一七 | 一九一八 | 一九一九 | 一九二〇 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 英帝國= | | | | | | | | | | |
| 馬來聯邦州 | 四四,一四八 | 四八,四三〇 | 五〇,一二六 | 四九,〇四二 | 四六,七六六 | 四三,八七〇 | 三九,八三三 | 三七,三七〇 | 三六,九三四 | 三四,九三四 |
| 馬來非聯邦州 | 一,一〇〇 | 一,三三七 | 一,二四〇 | 一,五九五 | 三,〇四一 | 三,四四〇 | 三,〇六三 | 二,八八〇 | 三,三〇二 | 二,八三三 |
| 小計 | 四五,二四八 | 四九,六四七 | 五一,三六六 | 五〇,六三七 | 四九,八〇七 | 四七,三一〇 | 四二,八九六 | 四〇,二五〇 | 四〇,二三六 | 三七,七六六 |
| 濠洲 | 七,五〇〇 | 七,一九四 | 八,〇七二 | 五,四六〇 | 五,四八九 | 五,四五〇 | 四,五〇〇 | 四,三一三 | 四,〇〇〇 | 四,一七八 |
| 南阿弗利加 | 二,〇〇〇 | 一,七四五 | 二,二五一 | 二,〇二四 | 二,〇五七 | 一,九二八 | 一,五七四 | 一,三〇〇 | 一,二五〇 | 一,五三六 |
| ニジェリヤ | 一,四〇〇 | 二,〇二〇 | 三,七三二 | 四,三〇〇 | 四,八二七 | 五,七五五 | 五,八二〇 | 五,七四〇 | 五,一一〇 | 五,二五〇 |
| コーンウォール | 四,八七二 | 五,二五四 | 五,二八八 | 五,〇五六 | 四,九六八 | 四,六九七 | 三,九三六 | 四,〇〇〇 | 三,三五〇 | 二,九一五 |
| 其他 | 五〇〇 | 五九三 | 六四六 | 六三四 | 八三九 | 七六〇 | 九六五 | 八〇〇 | 九六〇 | 一,一〇〇 |
| 合計 | 六一,五二〇 | 六六,四五三 | 七一,三五五 | 六八,一一一 | 六七,九九七 | 六五,八〇〇 | 五九,六九一 | 五六,四〇三 | 五四,九〇六 | 五二,八三五 |

| 諸外國 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ボリビヤ | 二二,四三四 | 二二,六五七 | 二六,三三六 | 二一,九九六 | 二一,四四四 | 二〇,七二〇 | 二六,八一三 | 二八,二〇〇 | 二七,五〇〇 | 二一,〇〇〇 |
| 蘭領東印度 | 二〇,〇〇〇 | 一九,九一三 | 二〇,五〇〇 | 一七,九七三 | 一九,五三三 | 一九,五四八 | 一八,七四六 | 二〇,〇〇〇 | 一九,一〇〇 | 二一,四〇〇 |
| 支那 | 八,〇〇〇 | 八,六四四 | 八,二五五 | 七,〇九七 | 七,八八〇 | 七,五〇三 | 一一,六一八 | 八,四〇〇 | 八,八〇〇 | 一一,三〇〇 |
| 暹羅 | 六,〇〇〇 | 六,五八七 | 六,七四八 | 六,五九一 | 九,〇〇〇 | 八,七六五 | 九,一五四 | 九,〇〇〇 | 九,〇〇〇 | 一〇,〇〇〇 |
| 其他諸國 | 五〇〇 | 六〇〇 | 六〇〇 | 七〇〇 | 七〇〇 | 八〇〇 | 八〇〇 | 一,〇〇〇 | 一,〇〇〇 | 一,〇〇〇 |
| 世界全產額 | 一二八,四五五 | 一二四,八五三 | 一三三,七八四 | 一三三,四六八 | 一二六,五四四 | 一二三,一三六 | 一二六,八三三 | 一三三,〇〇三 | 一三〇,八〇六 | 一二七,五三五 |
| 馬來聯邦州產額百分率 | 三七・三 | 三八・八 | 三七・五 | 四〇・〇 | 三七・〇 | 三五・六 | 三一・四 | 三〇・三 | 三〇・五 | 二九・七 |

**タングステン礦** 歐洲大戰中ノース・ケダ、シヤングルーン附近、ペラ州キンタ及バタン・パダン地方、並にセランゴル、ネグリ・スムビラン及トレンガノウからウオルフラム及灰重石を多量に供給したけれども、現在同相場は非道く低落した爲め、此種礦物の採掘は餘り行はれてゐない。

過去三年間に於けるタングステン礦の產額は次の樣である。

（單位擔）

| 地方別 | 一九一八年 | 一九一九年 | 一九二〇年 |
|---|---|---|---|
| ペラ | 二,三一五 | 四,〇七四 | 三,六五〇 |
| セランゴル | 三,〇〇四 | 三,一八六 | 一,六四一 |
| ネグリ・スムビラン | 四三五 | 一,〇六三 | 一,〇五四 |
| パハン | 一七 | — | — |
| ジョホール | 二 | 五 | — |
| ケダ | 八,七三〇 | 三,五四二 | 七〇九 |
| トレンガノウ | 一〇,三六八 | 九,四〇八 | 二,五六七 |

**石炭** 馬來半島唯一の炭坑業はセランゴルのラワンに存在する。最近四箇年間に於ける產額は次の樣である。

一九一七年　一五五,二七九噸　　一九一八年　一六八,七四〇噸
一九一九年　一九一,三九三噸　　一九二〇年　二四七,九一七噸

前記石炭產額の大部分は錫鑛業者によつて消費されるが、地方鐵道會社之れに次ぐものである。（本項完）

## □英領馬來の工業

英領馬來には、農業に關聯した內國小工業が澤山あるけれども、製造國では無い、而して各種製品の製造用に供される主要原料品は錫、護謨及コプラである。

錫鑛は大規模に製煉されてゐるが、土着の支那人によつて或種の煙草用箱、蠟燭臺其他裝飾品の製造に小量の純粹錫塊を使用する他、殘りの大部分は馬來以外の地に輸出される。此他石油舊罐を利用する製造業が極めて小規模に行はれてゐる。

農園に於て製產される護謨は殆んど全部原料品として輸出される。併し乍ら護謨生產業は、原料護謨が仲繼に利用される事極めて少く、例へば海底電線の內側に用ふる場合でも其少量が外國で僅に加工を受ける故に固有の工業とは云ひ得ない。現在タイヤー及其他各種護謨製品を製造する小工場は僅に三に止まる。此中重要なのは唯一工場のみであるが、近き將來に於て護謨製造工業は進展することを期待されてゐる。

椰子の纖維性外殼から網索敷物を製造する事業は一端計劃されたが、現存してゐるものは更に見當らない。而して外殼は腐蝕して土壤に還元するか、左も無ければ乾燥コプラの燃料に燒棄される。網索・敷物類は實際には輸入を仰いで居る。コプラと稱する椰子の果肉は、半島內に數箇の搾油工場があつて、現に少量椰子油が輸出されてるるが、殆んど全部原料の儘輸出されて居る。

此の如く馬來に於ける搾油業は比較的未だ小規模であるけれども、內國工業の一と云ふことが出來る。コプラから椰子油を搾出する水力工場は新嘉坡、彼南及セランゴルの三箇所に存在して居る。落花生油も亦支那人によつて重に製造される。又イリーピ油は、種實の供給が不規則な爲め、小規模且つ稍問題的に製造されてゐる。落花生・イリーピ種實の原料品は共に輸入を受けて居る。此他、二三種の油は引續き壓搾されてゐたが、現今では殆んど云ふに足らない。又同地方には俗にチエクー（Chekus）と云ふ土人小搾油場が多數散在してゐるが、之等は殆んどタミール人の所有に屬する。其構造は牡牛の力によつて廻轉される木製の大杵と臼を使ふ頗る簡單なものである。前述椰子油及胡麻油も亦此種搾油場內で搾られてゐる。西部阿弗利加產油椰子の栽培發達と相俟つてパーム油とパーム・ケルネル油の搾油業は自然一工業を形成するであらう。シトロネラ、レモン草及パチヨウリから芳香油を蒸溜する工業は十年以前迄、重要であつたが、今では殆んど全滅し、漸くパチヨウリ植物のみ栽培した乾燥葉のみ輸出されてゐる。

嘗て其昔、パインアップル罐詰業は新嘉坡に於て繁榮を見たが、最近又復新業擡頭の徵候を示して來た。今日新嘉坡には六工場、柔

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

佛には二工場が存在して居る。之等工場は、摘果後二三日以內に罐詰にするを要するを以て、農園から近距離に設置しなければならない。鳳梨は其儘か薄片球狀の罐詰とし、他の果實罐詰の樣に砂糖溶液中に貯藏するのである。而して之れに要する罐は英本國より輸入する錫板を以て內地工場で製造してゐる。

粉狀・彈丸狀・パール又は穀物狀及粉・フレーク狀に製造するタピオカ工業が精製食料品製造業となつて以來、一工業と看做されてゐる。タピオカ工場は普通タピオカ農園又は其近傍に建築される。其製造第一階段に於ける工程は馬鈴薯の樣な根に澱粉を有する作物から澱粉又は粉を製造する場合に類似して居る。引拔後の大型球根(チユーバー)を洗滌剝皮して薄切にした上磨き潰すのである。そうすれば、澱粉は回轉する篩の內部にあつて積み蓄れた碎石の間を通過して分離され、後新鮮な水を置換して數日間大型タンクに沈靜せしめるのである。斯くて澱粉は人工的に比較的低溫度に於て乾燥される。粉狀・彈丸狀粒に穀物狀のタピオカは特殊な方法によつて一部分乾燥した粉又は澱粉から製造される。けれども澱粉を採取した後の製造工程は總て人力によつて行はれる。此他曾て新嘉坡で行はれた工業はサゴ椰子の澱粉含有髓からサゴ粉及パール又は穀物狀サゴを製造するものである。ボルネオ・サラワク及其他の箇所には現在も尙ほ此種の工場が多數に存在する。又サゴは重に支那人によつて專ら手力を以て製造されてゐる。

鞣皮製造用皮革類の鞣業は土人の小工業であつて、今でも二、三地方に於て極く小規模に行はれてゐる。

俗に三燒(Samsu)と稱し概ね支那人によつて消費されてゐる稍々粗製酒は政廳の免許を受けて各地方に製造される。之れに使用する原料品は重に、支那から輸入される「米の醱酵糖」によつて僅か一作業を經て直ちに酒精に變成醱酵する碎々米と允米である。此酵母は菌子(學名 Mucors)及酵母菌の混合物を含有するけれども、一見效果がない樣に見える。最近佛國及白耳義で好評を博して居る所謂 Amylo と稱する新式醱酵法は前述方法を改良したものである。棕櫚酒(Toddy)は椰子嫩枝又は佛焰及砂糖椰子・ニッパ椰子の如き他種類椰子からも可なりに採液して得る糖汁を醱酵して製造するが、此製造は多分一工業と記述されない程度のものである。ニッパ椰子の用花吹枝の汁液から砂糖粒に工業用酒精を製造する試驗は有望な成績を以て考究中である。

十年前馬來の二、三地方に於て甘蔗から砂糖を製造する事業は重要なる工業であつたけれども、現在斯業は沈靜して居る。復活の計劃はあるが、既に褐色の粗糖は椰子・ニッパ及砂糖椰子等の糖汁から內地消費用に製造されてゐる。

又支那人は主として椰子油の如き內國產油から小規模石鹼製造に從事して居るが、斯業は重要では無い。

數年間輸入煙草から葉卷煙草及シエルート(Cheroots)と稱する

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一種の葉卷煙草を製造する事業は支那人によつて企劃されたが、今日も尙ほ土產煙草の一小部分のみが半島に於て生產されてゐる。

馬來には地方產米を精製する精米工場が多數に存在する。加之、手力による小工場及水力を利用する精米所は馬來人支那人によつて使用されてゐる。之等の小精米所には木製の杵と臼がある許りである。

又異なつた種類の椰子特にサゴ及ニッパ椰子の葉を以て家根葺材料(土語アタプ)を製造する事業は土人產業の一と看做されてゐる。

最近馬來にはライム汁液及ライム果實から類似の液汁を製造する機械類及其れに要する諸器具が輸入された。

次には森林工業である。各都市村邑には馬來地方の森林に豐富な籐から家具類及各種什器が製產されてゐる。此事業は要求通りの圖案を模寫することによく熟練した支那人の手で製造される。此の如く價格低廉且つ涼快味を與へる籐製家具は歐人宿舍に普通に見受けられる。各種家具・荷車・木製靴・バケツ・桶其他各種調度品は殆んど支那人によつて內國產木材から籐製家具の樣に比較的小工場內で製產されてゐる。尙ほ鐵道客車はコーラ・ラムポー工場に於て馬來產木材を以て製造される。

從來馬來聯邦州では外國製構寸を使用して來たが、製造工場を目下建築中である。其材料には內國產樹木を選定使用する計劃である。一九二〇年構寸の輸入價額は時々七十萬弗に達した。

此他各種樹木から樹脂を摘採すること、染色の採集並に木炭の製造事業は森林工業の一部門に加へられてゐる。

久しい間支那陶土又高嶺土は馬來聯邦州に豐富であると知られてゐた。一八八七年の昔ラルート島產粘土を以て製造する計劃があつたが、同地層土は品質粗惡の點に於て全然放棄された。されど一九〇〇年に及んで、當時の失敗は陶土の品質如何の問題ではなく、抑々該計劃に從事する勞働者側の不熟練と技術の拙劣とに原由した事實が發見された。其後政廳の援助を以てカムパル附近の陶土に就て更に試驗的製造が行はれたけれども、再び此事業は不成功に終つたのである。一九〇四年、政廳地質學者の實地調査によつて該地粘土は理想通りの優良粘土である事が報告された。其後支那に於ける斯業調査の結果、英領馬來の粘土層は頗る有望である事が確認される樣になつた。其處で一九二〇年會社の成立となり、ペラ州ゴーペンに新式精製工場が完成され、既に其製品は輸出され始めたのである。一見馬來產支那陶土は歐洲產粘土と品質が等しい。其他陶磁器の製造に必要な原料は總べてゴーペン附近に存在するを以て、今後間も無く馬來住民の使用に供する陶磁器製品は盡く此地方から生產されるに至るであらう。又永年煉瓦及瓦類は殆んど支那人によつて粘土鑛床から製造されて來た。而して之れに使用する粘土は水牛によつて攪き混ぜ、煉瓦は手で製產されたが、一八九二年セランゴル、土木事業部は以前よりは更に優良な製品を得る煉瓦製造用機械を輸入

したのであるが、支那人は依然舊式方法に準據して居る。一九一五年所謂マルセイユ瓦と同形狀の瓦類を混凝土を以て製造する新方法が輸入された。而して本製品は粘土製瓦よりも輕量にして且つ濕氣を吸收しないと云はれてゐる。又排水管、井戸の疊石、床用瓦及煉瓦等も亦コンクリートで製造される。尙ほ陶器盥・排水管・花瓶等も半島內で製造されてゐる。馬來州の各地方には屢々砂と石灰石が接近して存在し、目下砂石灰煉瓦製造工場を建築中である。其工程を簡述すれば次の樣である。卽ち先づ砂に一定量の燒石灰石を混ぜ合し、然る後此混合物を機械に掛け壓搾した後煉瓦とする。其際蒸汽を通ずる高壓工程に掛ける、そうすれば砂と石灰との間に化學作用を起し耐久力の强い煉瓦となるのである。一九一〇年頃石灰石・粘土からセメントを製造する工場が開かれた。現在歐洲人の經營に屬する工場は內地消費用に一萬仟五十噸內外のポートランド・セメントを製出する能力がある。大理石石切業は石灰岩丘陵で行はれ、床石・舖石等の切出調製をしてゐる。

硝子器具は彼南に於て少量製造され、壜並に洋燈硝子を再製する一小工場が存在する。

其他小工業の中には炭酸水・氷・麵包・西洋菓麵・酢・漬物及ジャムの製造業を數へ上げることが出來る。

又大規模製靴工場は存在しないけれども、鞣皮・ズック兩製品は各都市に在住する支那人によつて製造されてゐる。

註　本稿はウインステッド著「英領馬來」中ピー・ジエー・イートン氏の寄稿になるものである。

## □邦人經營護謨園に就て

邦人經營護謨園の大部分は、三五公司（一九〇六年創立）其他少數の護謨園を除き大正初年頃創立されたるものにして、從て其收益時期到來の頃に於ける數年に亘る護謨價不況は斯業發展に多大の障害を與へたれども、一九二五年度は歐洲政情の安定、米國の大好況に加ふるに英領治下に於ける護謨輸出制限令の效果も表はれて常に現物拂底を告げ護謨全盛時代を現出せり。

此間倫敦資本筋は政府筋の對米經濟策に策應して既成園買收に努め地方勞働賃銀、物價の昂騰に伴れ簇出せる小成金も採算上結局護謨園投資を有利なりとし小園の賣買も亦盛に行はるゝに至れり。然るに邦人護謨園は、其多數蝟集せる柔佛河沿岸は元來地味肥沃ならざると、好況時に創立せられたるもの多き爲め創業費に多額を費し、從て生產費頗る高價なると園經營に經驗尠き爲め濫採によりゴム樹の生產率を著しく低下せしめ、其回復力も疑はしくなりたる等諸理由相重なり園賣却又は良園乘替を得策となすもの續出するに至れ

り。

即ち一九二五年中に賣却せられたる邦人護謨園の主なるもの左の如し。

一、日東護謨株式會社　ラヤンラヤン、レンガム、ニヨール（全部）
總面積　七、六〇二英反、　生産面積　三、三〇〇英反
生産可能量　一、三二〇、〇〇〇封度
價額　二、七〇〇、〇〇〇弗

二、柔佛護謨栽培株式會社　ラヤンラヤン（一部）
總面積　二、〇〇〇英反、　生産面積　三〇〇英反
生産可能量　一二〇、〇〇〇封度
價額　一五〇、〇〇〇弗

三、臺灣拓殖株式會社　ラヤンラヤン、レンガム（大半）
總面積　一、四五二英反、　生産面積　六九五英反
生産可能量　五三六、二〇〇封度
價額　五〇〇、〇〇〇弗

四、南進公司　スンゲープロ（一部）
總面積　一、七〇〇英反、　生産面積　六〇〇英反
生産可能量　二〇〇、〇〇〇封度
價額　四八〇、〇〇〇弗

五、鈴木護謨園　スンゲーテイラム（全部）
總面積　二、三一六英反、　生産面積　一、四六〇英反
生産可能量　四八〇、〇〇〇封度
價額　一、一〇〇、〇〇〇弗

六、古河合名會社　スンゲーテラム（一部）
總面積　二、八〇四英反、　生産面積　二、六六八英反
生産可能量　七三五、三二七封度
價額　一、九〇〇、〇〇〇弗

七、日新護謨株式會社　シンガポール島內（全部）
總面積　一、〇四二英反、　生産面積　九七七英反
生産可能量　二七〇、〇〇〇封度
價額　六二五、〇〇〇弗

八、南亞公司　メナン、スクダイ（一部）
總面積　二、九七一英反、　生産面積　九〇八英反
生産可能量　五六一、三八〇封度
價額　一、九二〇、〇〇〇弗

九、第一合同護謨株式會社（一部）
總面積　一、四七五英反、　生産面積　四一四英反
生産可能量　一二四、二〇〇封度
價額　四三八、二一二弗三三仙

十、聯合馬來護謨株式會社（一部）
總面積　四、五〇〇英反、　生産面積　一、七五〇英反
生産可能量　五二五、〇〇〇封度

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

價　額　一、二四一、九一一弗五〇仙

以上合計左の通り

賣却總價額　一一、〇五五、一二三弗八三仙
賣却面積　二七、八六一英反
同　生産面積　一三、〇七二英反
同　生産可能量一箇年　四、八七三、一〇七封度

但し同年度中買收したる園にして明かなるもの左の通り、

一、第一合同護謨株式會社
總面積　九三英反、　生産面積　六〇英反
生産可能量　一八、〇〇〇封度
價　額　三二、七五三弗五〇仙

二、聯合馬來護謨株式會社
總面積　五六一英反、　生産面積　五〇〇英反
生産可能量　一五〇、〇〇〇封度
價　額　二七二、〇〇〇弗

以上二口買收分を差引けば、結局一九二五年度邦人護謨園賣却總計は左の通り、

差引賣却代金　一〇、七五〇、三七〇弗三三仙
同　總面積　二七、二〇七英反
同　生産面積　一二、五一二英反
同　生産可能量　四、七〇五、一〇七封度

此外ビルマ所在華南商事株式會社所有護謨園（總面積三、六七二英反、生産面積一、九二〇英反、生産可能量五〇三、四〇〇封度）昨年中賣却されたる筈なれども價額明かならず、一、五〇〇、〇〇〇留比前後なるべし。

今年に入りては未だ大園の賣却されたるを聞かざれども、大阪藤田組系の南興殖産株式會社は最近 Option を出し手附金十萬弗既に受入濟也、此賣却價額六、六〇〇、〇〇〇弗、Option 期間今年六月、總面積八、四二五英反、植付面積六、三五〇英反、生産可能量一箇年約一、五三五、四六〇封度なり、其他値頃引合あれば賣却すべしとの噂あるもの左の通り。

一、第一合同護謨株式會社　全部
約　一、〇〇〇、〇〇〇弗

二、城戸護謨園　全部
約　六〇〇、〇〇〇弗

三、小西護謨園　全部
約　四〇〇、〇〇〇弗

四、馬來護謨公司　一部（トレンガヌ）
約　三〇〇、〇〇〇弗

五、聯合馬來護謨株式會社　一部
約　五〇〇、〇〇〇弗

六、得村護謨園　全部

約　一五〇、〇〇〇弗

七、菅原護謨園・全部

約　三〇〇、〇〇〇弗

合計　二、七一〇、〇〇〇弗

次に一九二四年末全南洋に於ける邦人護謨園を百英反以上以下に分ち總計を示せば次の如し。

（材料は南洋協會新嘉坡支部調査のものによる、各園回答區々にして正確を期し難きも大勢を窺ふに足るべし）

| 所在地 | | 園數 | 總面積（單位英反） | 生産面積（單位英反） | 生産可能量（單位封度） |
|---|---|---|---|---|---|
| 馬來 | 大 | 三四 | 二五、六六二 | 五三、〇四〇 | 一六、九七三、三七八 |
| | 小 | 九五 | 四、一四七 | 一、九六五 | 六五六、八八四 |
| 英領北ボルネオ | 大 | 四 | 二五、七六八 | 三、六六三 | 八〇五、八〇三 |
| | 小 | 一四 | 一一、三三四 | 二一五 | 七五、六五九 |
| 緬甸 | 大 | 三 | 四、四三三 | 二、二〇〇 | 七五〇、八九六 |
| | 小 | 八 | 四三六 | 一五〇 | 三四、五〇〇 |
| 瓜哇 | 大 | 二 | 一、三一〇 | 七八七？ | 二三六、一八五 |
| スマトラ | 大 | 一〇 | 九五、二九二 | 四、三五〇 | 一、四六〇、九四八 |
| | 小 | 七 | 二〇、九四二 | 一八九 | 四七、三五四 |
| 蘭領ボルネオ | 大 | 四 | 三四、七八〇 | 九〇〇 | 二三二、〇〇〇 |
| | 小 | 一九 | 四、三二六 | 二七二 | 七三、〇八〇 |
| 計 | 大 | 五七 | 二七七、一三五 | 六四、九〇九 | 二〇、四七九、二一〇 |
| | 小 | 一四三 | 四一、〇六五 | 二、七九一 | 八八六、三七七 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 總計 | 三二 | 三八、[illegible] | [illegible]七七[illegible] | 二一、[illegible]六五、[illegible] |
| 昨年中賣却されたるもの | | 二〇、八三四 | 一四、四三三 | 五、三〇八、五二七 |
| 今年初頭に於ける差引殘 | | 二六七、三六六 | 五三、二六八 | 一六、一五七、〇八〇 |

註　一九二五年度は護謨昂騰の爲め資金に餘裕を生じ從て園の大擴張行はれたるが如く想像さるゝも事實は然らず、護謨價昂騰に伴れ勞働者の爭奪戰猛烈に行はれ既成園の手入改良が勢一杯なりしが如し、從て此處には擴張による生産可能量の增加を見込まざれども大過なかるべし。

今生産費を假りに四十仙と看做し（生産費は三十仙乃至四十仙位なれども護謨價の高下により其過半を占むる勞銀も高下す、從て生産費も亦一定なるを得ざれども暫く四十仙と看做す）、一九二六年の一封度替平均市價を八十仙とせば（時價の豫想は全く不可能なれども大方の一九二六年度の平均市價豫想は八十仙位にあるが如し）、護謨一封度に對する餘剩利潤は四十仙となり之を前揭今年中の生産可能量に乘するときは六、四六二、八三二弗の利潤を生ずる譯なれども、其內幾何內地に送金せられ幾何を改良擴張に費せらるゝかは豫想すること全く不可能なり。然れども假りに餘剩價額の半額を內地に送金するものとせば三、二三一、四一六弗となるべし。之れに加ふるに前述園賣却代金を以てせば一九二六年度の護謨園關係內地送金額の大體豫想を得べし。

卽ち一、生産護謨賣却による利潤の半額　三、二三一、四一六弗

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

二、護謨園賣却豫約濟分　六、六〇〇、〇〇〇弗
三、其他の護謨園賣却豫想額　二、七一〇、〇〇〇弗
合計　一二、五四一、四一六弗

註、園賣却の際は其以後に於ける其園產出の護謨賣却代金を右金額より控除するを要す。（某銀行調査）

## □柔佛王國の土地解禁

柔佛王國では十英反以上の土地租借を久しく禁止してゐたが、來る六月一日より此禁止を解き、一般に十英反以上の土地の租借出願を受付る事になつた。但し柔佛王國全體何所でもよいと云ふ譯ではなく次の地方に限るのである。

一、スガマ地方全帯
一、エンダウ地方全帯
一、ジョホール・バル地方、クコプ及ポンテイアン區を除く
一、コタ・テインギ地方、ジョホール河の西及南並にジョホール河の北（但しソンギ河の西まで）

政府に支拂ふ可きプレミアムは土地の市價とす。此市價は一々Executive Council之れを決定する。土地踏査、測量等に附隨する種々の困難ある爲め、申込の承認の日と地券發行の日との間に距りがあつても政府は之れに對して責任を負はない。

（新嘉坡商品陳列館報第二百六號）

## 蘭領東印度

## □蘭領印度に於ける土人農業（上）

左に述べんとするものは、蘭領印度政府の發表せる年度報告書中より拔萃せるものにして、土人農業を、農業狀態及び技術、經濟、社會的性質、農業に關する諸問題及び政府の干與等に分類考察せるものにして、先づ第一に經濟的性質より述べん。

一、經濟的性質

生產物の性質

土人農業の經濟的性質は、生產價格を各作物別に分類するに依り最も良く窺知するを得るなり。然れども次の價格表は、其の大部分中央統計局の見積に依りて作成されたるものなるが故に、正確なるものならざるは言を俟たざるなり。

各作物は其の主要用途に依り次の如く分類さるゝなり。

一、米・玉蜀黍・カツサーブ・甘藷・大豆・其他の剝皮果實、土人栽培

甘蔗及サーゴー等を包含する土人食料物產。

二、古々椰子•落花生•刻煙草•ガンビル•檳榔子果實•馬鈴薯•及野菜等の重要國內消費用に供せらるゝ商業物產。

三、エステート產の茶•甘蔗•葉煙草及クロソツク•護謨•珈琲•カポツク•カカオ•規那•龍舌蘭•胡椒•揮發性油•油椰子生產物•肉桂•桂皮•及び綿花等を含む、主として輸出向に供せらるゝ商業物產。

主として歐人エステートより生產せらるゝ物產は、エステート生產物及び土人生產物との價値の比較對照を爲すに必要なる爲此處に附加掲載し、又馬鈴薯及び野菜は、土人側より見る時は商業物產なるが故に第二類に掲げたり。

一重要物產類に關しては、其の生產高の見積を爲す事不可能なるが故に此處に掲げざりしなり。其の上第一に屠殺獸肉の價格を、次に皮革の價格をも附記せざるべからず、又小家畜の生產價格も勿論多額に昇り居るべく、是る價格の見積を爲すは到底不可能なり。

千九百二十四年に於ける農業物產の價格は左の如し(單位千盾)

| 地方別＼物產類別 | 第一類 | 第二類 | 第三類 | 計 |
|---|---|---|---|---|
| 爪哇、マヅラの土人物產 | 八五五、一〇〇 | 二三〇、六〇〇 | 四二、〇〇〇 | 一、一二七、七〇〇 |
| 外領に於ける土人物產 | 三一九、八〇〇 | 九〇、〇〇〇 | 一二一、九〇〇 | 五三一、七〇〇 |
| 蘭領印度の土人物產合計 | 一、一七四、九〇〇 | 三二〇、六〇〇 | 一六三、九〇〇 | 一、六五九、四〇〇 |
| 爪哇、マヅラのエステート物產 | 六、〇〇〇 | 六〇〇 | 六六八、六〇〇 | 六七五、二〇〇 |
| 外領に於けるエステート物產 | — | 六、六〇〇 | 一九八、二〇〇 | 二〇四、八〇〇 |
| 蘭領印度のエステート物產合計 | 六、〇〇〇 | 七、二〇〇 | 八六六、八〇〇 | 八八〇、〇〇〇 |
| 總農業物產 | | | | 二、五三九、四〇〇 |

本指數を見るに、蘭領印度農業物產の總價格は大約二十五億盾と見るを得、內土人農業物產價格は十五億盾即ち全額の六十五パーセントを占め、歐人エステート物產價格は八億八千萬盾即ち總額の三十五パーセントを占め居るなり。

此に依つて之を見れば、蘭領印度の經濟界に於ける土人農業の占むる地位は非常に重要なるものなるを窺ふを得るなり。爪哇及外領に於ける指數を研究する時は、外領は爪哇を凌駕し、前地二地方に於ける各總生產額に對する土人產額の占むる比率は各々六十二、五パーセント並に七十二パーセントを示し居るなり。又、各分類別に考察する時は、土人農業の指數は全く特種の性質を有し居り、爪哇及び外領に於ける指數は多少の差異ありと雖も、殆んど同數なりと見るも差支なきなり。

總農業產物に於ける各分類の有する百分率は左の如し。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

| | 第一類 | 第二類 | 第三類 | 計 |
|---|---|---|---|---|
| 爪哇、マッラ | 七六 | 二〇 | 四 | 一〇〇 |
| 外領 | 六〇 | 一七 | 二三 | 一〇〇 |
| 蘭領印度計 | 七一 | 一九 | 一〇 | 一〇〇 |

全蘭領印度に於ける土人農業の主要作物は、土民の食料品に供せられ、極く小部分のみ蘭領印度領域以外の地に輸出さるゝなり。之に反してエステート農業は其の生產の殆んど全部輸出さるゝが如き現象を表はし居るなり。土人農業は、近年其の狀態に著しき變化を來せりと雖も、猶其の舊性の域を脫せず、是は、土人農業の經濟的素質の歐人エステートのそれゝ全然異り居るが故に、敢て怪しむに足らざるなり。

後者は投資の形式にして側ら投下資本に對し充分なる配當を爲すを唯一の目的と爲し居り、又栽培作物も全然機會的基礎に左右せらるゝものなり。土人農業の素質は、之と全く反對にして、土人農夫及其の家族は彼等の勞働に依り、場合に依りては賃傭人を使用して生活維持に必要なる食料品を自給し居るなり。元來農夫は自作に依り家族の必要なるもの全部を自給したるものなるが、輸入せられたる外國工業製品の自作品に代へらるゝに至るにつれ、漸次是る制度は改變せらるゝに至りたり。

然れども、食料品は猶依然として土人農夫の豫算の最大部分を占め居り、從つて食料品作物の栽培は土人農業中最も重要なるものにして猶逐次增加しつゝあるなり。事態是の如きが故に輸出物產の價格の變動は一時的に影響を及ぼすと雖も、將來に於て現狀に變化を來すが如き事なかるべしと思考せらるゝなり。

世界市場に搬出せるゝ物產

輸入日用品、稅金及彼等の子弟敎育費支拂の爲從來より多額の現金を必要とするに至り、土人農夫は彼等の生產物を現金に引換ふるを餘儀なくせられ、之が爲には商業物產は好適の物なり。故に商業物產の價値は次表に見る如く逐年其の價値を增加し來りたり。

左表は、蘭領印度よりの商業物產の輸出額を示すものなり。

(單位百萬盾)

| 年次 | 蘭領印度 | | | | 爪哇及マッラ | | | | 外領 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 土人 | エステート | 合計 | 全額に對する土人比率 | 土人 | エステート | 合計 | 全額に對する土人比率 | 土人 | エステート | 合計 | 全額に對する土人比率 |
| 一八九四 | 一七 | 一三七 | 一五四 | 一一 | 七 | 一二六 | 一三三 | 五·六 | 一〇 | 二三 | 三三 | 三〇 |
| 一八九八 | 一五·五 | 一三八 | 一五三·五 | 一〇 | 五 | 一二五 | 一三〇 | 四·二 | 一〇 | 二三 | 三三 | 三〇 |

| | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 一九〇二 | 三七 | 一四五 | 一八二 | 二〇 | 一三 | 一二三 | 一三六 | 九・五 | 二四 | 二三 | 四七 | 五一 |
| 一九〇六 | 四三 | 一六九 | 二一三 | 二〇 | 一六 | 一四八 | 一六四 | 一〇 | 二七 | 二二 | 四八 | 三六 |
| 一九一〇 | 七七 | 二〇五 | 二八二 | 二七 | 二四 | 一八七 | 二二一 | 一五・四 | 四六 | 一八 | 六〇 | 七〇 |
| 一九一三 | 九八 | 三〇一 | 三九九 | 二四 | 四三 | 二三二 | 二七四 | 一五・七 | 五五 | 七〇 | 一二五 | 四四 |
| 一九一七 | 八四 | 四一八 | 五〇三 | 一六 | 三二 | 三三八 | 三六九 | 八・四 | 五四 | 八九 | 一四三 | 三八 |
| 一九二一 | 一六六 | 六二九 | 七九五 | 二二 | 六五 | 五一六 | 五八一 | 一三・六 | 一〇一 | 一一三 | 二二四 | 四七 |
| 一九二二 | 一六三 | 五三二 | 六八四 | 二四 | 四六 | 四〇〇 | 四六六 | 一〇・三 | 一一七 | 一二二 | 二三八 | 四九 |
| 一九二三 | 二二八 | 七九三 | 一〇三二 | 三三 | 八七 | 六五一 | 七三八 | 一一・八 | 一四一 | 一六六 | 三〇七 | 四六 |
| 一九二四 | 三一三 | 八八〇 | 一一九三 | 二六 | 一一九 | 六七五 | 七九四 | 一五 | 一九四 | 二〇五 | 三九九 | 四八 |

蘭領印度を通じて見る時は、總輸出額に於ける土人農業物產の占むる比率の昇騰を見るなり。然れども本現象は千九百二十一年の前年に起りたる東部亞細亞の米不足時代に中斷せられ、二十一年に入ると共に再び昇騰を繼續せり。又、前記中斷は、領內の物價下落を來せる船積の困難等の尠からざる影響を與へたり。此處に於て土人農夫は食料作物の增收を計らんが爲め、商業物產の栽培を減縮せり。然して米の小額輸入は商業物產の小額輸出と相對するに至りたり。

農業狀態

上記の事實は主として國家的に社會的見地よりのみ觀察したるものなるが、個人的に對外的に如何なる關係にあるやも亦之と等しく重要なるものにして、是を考察する必要存するなり。上述の如く千九百二十四年に於ける爪哇の土人農業物產は十一億二千七百七十萬盾と見積られ、住民は三千六百萬人と見積らるゝも、內二千五百萬人は事實上農業に從事し居る住民なるが故に、農業に從事し居る總人員の一人當りの生產價格は四十五盾となるなり。同一方法を以つて計算する時は外領に於ける一人當りの生產額は五十三盾となるなり。

前記數字は、兩者間に多額の差を見ざれども、注意深く之を觀る時は、外領の廣大なる原始的地方に於ける物產の、未だ甚だ僅少なるを見るなり。

若し、農業住民中の十五歲以上の者の一人當りの生產價格を評價する時は、爪哇に於ては百七十五盾、外領に於ては二百十盾となるなり。外領及び爪哇に於ては、本金額以上に昇る地方多々存するは勿論なれども、前記金額は、單に土人農業の收穫の價値のみを評價せるものなり。

之を西部歐洲の農業物產、卽ち標準的一例として和蘭の物產と比較する時は、全く異りたる數を示すなり。千九百二十三年に於ける

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

和蘭の農業物産は、人造肥料等の費用を控除せずして十億五千五百萬盾を算し、又肥料費を控除する時は八億六千萬盾となり、之れを全農夫に對する一人當に割當る時は、年額三百盾乃至三百五十盾となり、蘭領印度に於けるもの、殆んど六乃至七培となるなり、米國に於ては猶一層多額に昇り居り、蘭領印度に接觸し居る亞細亞諸國に於ては是る報告無きが故に不明なれども、他方面の見地よりする時は當領のそれと殆んど大差なきなり。

一ヘクタール當りの收穫を比較する時は、大要左の如くとなるなり。即ち、千九百二十四年の爪哇及びマヅラに於ける住民の耕作使用地の總面積は、六百七十七萬三千ヘクタールなるが故に、一ヘクタール當りの生産額は百七十盾となり、外領に於けるものは不明なり。和蘭に於ける千九百二十三年の産額は、農業、牧畜及び園藝に使用せる土地を通算しヘクタール當り三百九十盾となるなり。

爪哇及びマヅラに於けるヘクタール當りの收穫の僅少なるは、物産の比較的少量なるに基因するものにして、單に米及玉蜀黍のみ其の生産額に於て他國に匹敵するなり。

ヘクタール當りの收穫高（單位瓩）

| 國別＼作物種別 | 米（脫穀） | 玉蜀黍（剝皮） |
|---|---|---|
| 西班牙 | 四、九九〇 | 一、四七〇 |
| 葡萄牙 | 二、二六一 | 一、〇五〇 |
| 伊太利 | 三、二八〇 | 一、五八〇 |
| 佛蘭西 | — | 一、二〇〇 |
| 匈牙利 | — | 一、七五〇 |
| 埃及 | 三、五六〇 | 二、二五〇 |
| 米國 | 一、六三〇 | 一、六八〇 |
| 日本 | 三、〇七〇 | 一、六二〇 |
| 布哇 | 三、七三〇 | 一、六五〇 |
| 比律賓 | 七三〇 | 六六〇 |
| 臺灣 | 一、七〇〇 | — |
| 英領印度 | 一、六五〇 | — |
| 印度支那 | 一、六五〇 | 一、一四〇 |
| 爪哇 | 一、一〇〇 | 九〇〇 |

前記表に依るに、歐洲各國、埃及及び布哇に於けるヘクタール當りの收穫は、爪哇及び其の隣接諸國のそれよりも著しく多く、是る現象は即ち、米國に於て行はれ居る粗放的栽培行はるゝに因るものにして、人口稠密なる爪哇に於ては、是る方法を以つてするは先天的に不可能なり。各作物栽培に於ける勞働方法は上記の如くなるも、爪哇に於ける勞働は歐洲に於けるより重く、又米國のそれよりも遙かに重きものなり。爪哇に於ける一人當りの生産高の歐洲に於けるより小量なるは、小量生産額に一人當りの土地所有面積の僅少なるに依るものなり。又事情前記の如くなるに依り、當領に於ける勞働時間に對する報酬の僅少なるは當然たるなり。其の反動として土

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

人は出來得る限りの勞働を以て土地を出來得る限り有效に使用せん事に務め居るなり。

| | 西部爪哇 | 中部爪哇 | 東部爪哇 |
|---|---|---|---|
| 使用地に於ける耕作面積の比率 | 七五% | 一二四% | 一三七% |
| 水田地面積に於ける米の植付比率 | 九七% | 一〇三% | 九三% |
| 住民百人に對する使用耕作面積 | 二〇・三(H.A.) | 一八・三(H.A.) | 一九・六(H.A.) |
| 住民百人に對する收穫面積 | 一五・四(〃) | 二一・七(〃) | 二四・五(〃) |

前記表に依れば、西部爪哇に於ける住民百人當りの耕作面積は他地方よりも大なれども、收穫面積に於ては少なく、是は全く此地に於ける第二作物栽培の面白からざるに因るものにして、農業事業の結果の他の東部地方より面白からざるは此處に存するなり。

又農業の結果と生産要素の價格とを比較せんとするに、後者に對しては何等の報告を入手せざるが故に、概略的の見積を以つてせん。

見積中には、耕作地、牧場及び多年性作物栽培等の土地の價格を含み、爪哇に於ける水田の價格は平均一ヘクタール當り四百五十盾畑地百五十盾と見積られ、是くする時は爪哇に於ける耕作地の價格は大約十八億盾となるなり。爪哇に於ける牧畜の價格見積は馬一頭百盾、牛一頭七十六盾、水牛一頭五十盾、及び山羊、羊は一頭二盾として合計三億六千五百萬盾となるなり。又殘りの商業用作物の植付價格は四億九千萬盾と見積られ、爪哇及びマヅラに於ける土人農業の生産要素の總價格は、尠なくも次の如くとなるなり。

| | |
|---|---|
| 土地の價格 | 十八億盾 |
| 牧畜の價格 | 三億六千五百萬盾 |
| 植付物價格 | 四億九千萬盾 |
| 合　計 | 二十六億五千五百萬盾 |
| 大　約 | 三十億盾 |

千五百二十四年に於ける生産物價格は大約十一億二千七百萬盾にして生産要素價格の三十七、五パーセントに昇り居り、全農民一人當りの生産要素價格の割當は百二十盾となるなり。

同樣の方法を以て外領に於ける見積を爲すに、耕作地の價格約五億盾、牧畜一億二千二百萬盾と見積られ、馬一頭に付七十五盾、牛四十盾、水牛五十盾、小形牧畜は多數の豚と平均して一頭當り三盾と見做さるゝなり。多年性作物植付價格は約六億盾と見積られ、總計

| | |
|---|---|
| 耕作地價格 | 五億盾 |
| 牧畜價格 | 一億二千二百萬盾 |
| 植付物價格 | 六億盾 |
| 計 | 十二億二千二百萬盾 |
| 大　約 | 十五億盾 |

爪哇に於ける如く、全住民の約七十パーセント農業に從事し居り、農民一人に對する生産要素價格の割當は百五十盾となり、千九百二

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

十四年に於ける總生産額は五億三千百萬盾なるが故に生産要素價格の約三十五、五パーセントに當り爪哇のそれと大差なきなり。

一般に爪哇及びマヅラに於ける土人農業は勞多くして實尠なしと稱するを得るなり。

他の商業作物、即ち珈琲、古々椰子、護謨等に關しては全然反對の現象を示し居り、ヘクタール當りの收穫高に於ては粗植付方法に依らざるべからざるが故に、平均して一年作物のそれと大差無けれども、護謨は例外視せざるべからざるなり。

然れども勞働に對する報酬は遙かに大にして、斯に依つて見るも、其の栽培を充分に擴張せしむるを得る外領に於ける珈琲・護謨・及び古々椰子栽培地方に於ける土人の繁榮程度の、他地方より大なる理由明らかなり。

土人農業の本特質の全部は、蘭領印度に於てのみならず、隣接せる全亞細亞地方に於ける農業も亦本特質を有するなり。

## 二、社會的性質

### 土地所有の分類及び土地使用の形式

蘭領印度の統計中には社會的性質に關する報告尠なく、故に完全正確を期し決定的の論を爲すは甚だ困難なり。其上職業統計なきが故に、住民の何割が直接土人農業に從事することに依り彼等の生活を維持し居るかを調査するには非常なる困難を感ずるなり。

本調査に必要たる數字的資料は、多少粗雜乍らも營業稅賦課に關して稅務署の作成せしもの存するなり。

土人の一般的繁榮狀態調査に必要なるものは、農業監督指導部の作成に係る爪哇に於ける部分的の報告を得、其れに依れば、直接土人農業に從事し居るものは六十五乃至九十パーセントなり。爪哇の各部分に於ける本指數には地方に依り大差あれども其の差異を總括的に表示するは不可能なり。

地租部よりは土地所有者數の概略的數字を得たれども、農業從事者の數は不正確なるものにして、本指數に基く其他の觀察は一般に投機的のものなり。

各種報告を基準として見るにバンタム、チエリボン、スマラン、レンバン、ケドー、スラバヤ、及マヅラ等の各州に於ける農民の過半數は土地所有者にして、ベカロンガン、マヂウン、ケヂリ、及バスルアン等の各州に於ては借地農業行はれ、其の最も大宗たるはバタビヤ、プレアンゲル、バンジヨマス及びベスキの各州と見做すも大差無きなり。

バタビヤは廣大なる私有地存するに依り特種の地位を占め居り、故に爾後本地方は之を除外して論ぜん。地租臺帳に依り土地が如何樣に土地所有者間に分配しあるやを見んとするに、斯る報告は一般統計中に掲げあらざるも、住民の繁榮狀態に關する本方面の調査資料として北部マランに於ける報告を次に掲げん。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

土地所有者千人中面積の割當は左の如し。

| 所有地面積（バウ） | 一九一四年 | 一九二四年 |
|---|---|---|
| 〇　—〇・一二五 | 二三九 | 二四六 |
| 〇・三五—〇・二五〇 | 一〇〇 | 一〇四 |
| 〇・二五—〇・七五 | 八四 | 八七 |
| 〇・七五—一 | 八八 | 九三 |
| 〇—一計 | 五一一 | 五三〇 |
| 一—二 | 二六〇 | 二五六 |
| 二—四 | 一六七 | 一五七 |
| 四—六 | 三九 | 三七 |
| 六—九 | 三 | 三 |
| 九—一二 | 三 | 三 |
| 一二—一五 | 二 | 二 |
| 一五以上 | 一 | 一 |

本表に於て見るに、本地方に於ける土地所有者の半數以上は一バウ以下の所有者にして、四分の一強は二バウ以上の所有者なり。而して十年間に於て極めて僅少の變動ありたるのみなり。其他の地方に於ける土地所有關係は不明にして、又其の變動に關しても不明なり。

全體より見る時は、土地所有者の大部分は小面積の土地所有者にして、大地主と稱する者と雖も歐洲諸國のそれと比較する時は非常に小面積を有するに過ぎざるない。當領に於ける土地所有關係は、南部及び東部亞細亞のそれと殆んど同樣の關係にあるもの、如く、又或地方に於ては多少に拘らず本所有の大部分は、其の一部は個有、他の一部は交互使用に供すが如き共有の性質を帶ぶるものあり、前者の所有形式は世襲的私有地と同樣に見做すを得、交互使用の制度は下記の各州に於てのみ行はれ、地租納入の義務ある土地の共有部分の占むる比率並に共有權者の使用面積は次の如し。

| 地方別 | % | 面積（ヘクタール） |
|---|---|---|
| ペカロンガン | 〇・一 | 〇・四三 |
| スマラン | 五 | 〇・四〇 |
| レンバン | 八 | 〇・二七 |
| バンジョマス | 四 | 〇・五五 |
| マデオン | 二〇 | 〇・七六 |
| スラバヤ | 三六 | 〇・七一 |
| ケヂリ | 一二 | 〇・六〇 |
| パスルアン | 三 | 〇・七一 |

マデオン、スラバヤ及ケヂリの各州は、交互使用の共有地最も多き地方にして、共有權所有者一人當りの所有面積は、前記各州地方に於ける平均一人當りの所有面積より著しく僅少なり。又、共有權者も又他の所有者より小面積の土地に對し使用權を有するのみにて、彼等は總て最下級の農夫なり。

本共有組織は、次の指數に於て見るが如く逐年減退し、次表は、爪哇に於ける地租納入の義務ある土地の總面積に對する交互に使用

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

せらるゝ共有地面積の比率關係の變動を示すものなり。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 一八八二年 | 二五% | 一九〇七年 | 一三% |
| 一八九二年 | 二〇% | 一九二二年 | 六% |
| 一九〇二年 | 一五% | | |

前記表に依るも、プレアンゲル、バンジョマス及びベスキに於ては小作農夫の殊に多きを知るを得、借地の最も普通なる形式は分割的耕作の形式にして、一年又は一收穫期に對する契約を爲すものにして、小作料は物品を以つて支拂はるなり。又時として生產量の前契約を爲し小作することあり。前者にありては、地主は小作料に於けると共に同樣に收穫の危險を有し、後者にありては單に小作料の危險存するのみなり。本危險は支拂ふべき小作料に含まれ居るなり。多くの場合收穫中地主に納入すべき部分は其の¼乃至½にして、地味及び灌漑狀態に依り決定せられ、固定額を以つて小作契約を爲す場合は稀なり。

プレアンゲルに於ては、分割耕作地を與ふる地主甚だ多く、又バンジョマスに於てはベスキより其の數多きものゝ如く思考せらるゝなり。之と全然異りたる土地貸借の形式は歐人農園に於けるものにして、それに依り土人農業を撤廢し從來と全く異りたる事業營まるゝなり。次表は土人のエステートに對する土地の賃貸に關する比率(%)を各州別に示すものなり。

| 地方別 | 耕作地總面積 | 水田總面積 |
|---|---|---|
| バンタム | 〇・〇 | 〇・〇 |
| バタビヤ | 〇・一 | 〇・二 |
| チェリボン | 三・四 | 五・〇 |
| プレアンゲル | 〇・三 | 〇・九 |
| ベカロンガン | 五・三 | 八・九 |
| スマラン | 一・九 | 三・八 |
| レンバン | 〇・〇 | 〇・〇 |
| バンジョマス | 一・八 | 五・一 |
| ケヅー | 一・〇 | 二・八 |
| マデオン | 二・三 | 五・一 |
| スラバヤ | 七・二 | 一〇・九 |
| マヅラ | 〇・〇 | 〇・〇 |
| ケヂリ | 六・〇 | 一五・八 |
| パスルアン | 六・一 | 一九・八 |
| ベスキ | 七・九 | 一九・二 |

殊に東部爪哇の各州に於ては本種形式を以つてする土地の賃貸盛んにして、チェリボン及びベカロンガンは非常なる影響を蒙り居るなり。影響は各方面に亘り居り、卽ち土人の耕地として使用すべき土地は收縮せられ、其の反面に於て勞働範圍は擴張せられたり。又一方に於ては、自分の事業に對する勞働範圍は收縮せられたれども、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

賃銀勞働の範圍は擴張せられたり。

更に土人農業は、歐人砂糖事業に從屬するの狀態に到達し、それに依り社會的關係も又著しく變動せられたり。卽ち土地の賃貸は經濟的及び社會的の二方面に諸問題を惹起せり。

斯は、土人間に於ける土地貸借の形式の影響する所に非ずして、土人農業は外部の影響を受乍らも、此の方面に關する彼等の特質を維持せり。卽ち本性質とは一般に極く小面積の土地所有、自己所有地に於ける過重耕作、或地方に於ける交互耕作用の共有土地上に於ける農業(逐年衰微しつゝあり)及び分割農業の盛に行はるゝ事實等なり。(未完)

## □蘭領印度新總督の任命

蘭領印度總督デ・フォック氏は、千九百二十六年三月二十六日付勅令第九號を以つて彼の職務を後繼者に引繼ぐべき日を以て辭職するを聽許せられ、

千九百二十六年三月二十六日付勅令第十號を以つてワシントン駐劄和蘭國特命全權公使アー・シェー・デ・デ、グラーフ氏蘭領印度總督に任命せられたり。

蘭紙の報ずる所に依ればフォック氏の辭職期は多分九月頃なるべく又新總督任命に就きては各方面より好評あるも和蘭國に於けるローマン・カトリック黨系紙は同氏任命に反對を稱へ居る模樣なり。

(Javasche Courant, Maart 30, '26)

## □蘭領印度に於ける邦人同業者輸入組合の組織

昨年末以來爪哇に於ける邦人輸入業者殊に陶磁器輸入商の競爭激甚となると共に、輸入數量夥多の結果市場は著しく亂調子を呈し、一方爲替手形決濟期切迫せる結果、自然投賣を爲すの餘儀なくせられ當然の歸結として市場は益々惡化するに至りたり。故に陶磁器商は何れも痛手を蒙り、之が救濟並に市價の安定を計るの必要一般に認めらるゝに至り、目下同業者間に盛んに論議され、大體に於て其の趣旨を同じゅうするに至りたるが故に、スラバヤに於て堤林數衞氏提唱の下に輸入組合設立の具體案草案せらるゝに至りたり。

本組合の特徴とすべきは、輸入數量を制限し市價の調節を爲すにありて、其手段として從來の輸入高に應じ今後組合員各自の輸入數量を限定し、標準價格を定め投賣を防止し、輸入の場合に於ては組合と銀行の承認を經、銀行は組合の輸入額制限を條件として手形延期を與ふる等にありて、一言にて盡すときは輸入業者及び銀行が組合を通じて或程度迄輸入を管理するにあるなり。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

斯る方法を講ずる時は輸入業者の利益のみならず、銀行も常に信用の程度を知るを得ると共に安全を期するを得るなり。又市場自身にも堅實性を加へ、兩者のみならず他方に於て製造業者に取りても至大たる利益なるは贅言を要せざるなり。

組合は更に實行の權威と公正を期せんが爲、領事及び銀行業者をも加入する筈にて、之に對し井田總領事は「其が必要である以上斯る趣旨の贊成を厭はぬ」と言明し居るなり。又、銀行側よりも之に對しては贊成し居るもの、如、なるが故に、今後スラバヤ、スマラン、バタビヤの三市に於ける組合の組織は著しく進渉を見るならんと思考せらるゝなり。今回堤林氏の原案を基礎として作成せられたる右輸入組合の原則草案は次の如し。

一、本組合は、輸入の調節と市價の維持とを圖るを以つて目的とす。

二、組合員は協定商品に對する爪哇全島の輸入業者を以つて組織し、更に其の實行の權威と公正を保つ爲領事及び關係銀行業者を加ふる事。

三、本組合は直接營業を爲さず。

四、組合は市場に於ける消化の數量を定め、之を從來の輸入高に按分して各員の輸入數量を定む。但し不要の數量は組合員等に融通する事。

五、組合は販賣相場の標準を定むる事。

六、組合員にして本協定の商品を輸入するときは、組合及び銀行の承認を受くる事。

七、組合は銀行に對し輸入の制限を條件として或期間手形の延期を約束する事。

八、非組合員及除名者に對し、關係銀行は手形の買取及び金融の差別待遇を爲すことを協定すること。

九、本組合は本國政府に交渉して合法的の權威あらしめ、且つ特殊の便益を受くることあるべし。

十、本組合は母國製造家と連絡し協調を保つこと。

十一、問屋口錢を定めて、組合員間に於て仲間取引を爲す。

十二、組合員は、手數料を貯金し實力を備へ以つて違反者又は非組合員に對抗すること。

十三、協定商品は、當分左の一種とす。但し將來必要又は可能と認むるものは新たに加ふることを得。

陶磁器製品

以上の如き規則を有する邦人輸入組合の設立さるゝは實に欣幸の至りにして、對南洋貿易を規則的に且つ堅實に又は國際的競爭に對抗する上に於て、斯る組合を以つて其の勢を統一し、確固たる步調を以つて國際市場に望むは甚だ意を强ふするに足るものにして、組合員の誠意を以つて此れを斷行せられんことを望む次第なり。

（爪哇日報五月二十日所載）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

**英領印度**

## □印度の本邦綿製品に對する態度及印度政府の意見

印度政府は昨年十二月一日を以て今後綿布消費税の徴收を中止し、即日此れを實施する旨を公布した。此の撤廢は本邦品の輸入のためには甚だ不利益ではあるが、同國中産階級以下には利益を及ぼす事となるため、我が國は衷心これを諒としたのであつた。然るに最近に至つて印度の特に孟買の綿業者は此れを以て足れりとせず、英本國ランカシャイヤ綿業者と一致協力して日本綿製品の排斥を試みるに至つた。

ランカシャイヤ綿業者の日本品排斥を試みるは既知に屬する事であるが、印度綿業者の日本品を排斥するのは次の重要な原因がある。即ち一九一九年華盛頓に開催された萬國勞働會議の結果、印度政府は婦女子及年少者の夜業禁止に協賛批准したのである。が日本は代表を會議に送り、先の事項に協賛しながらも批准をしなかつたゝめ印度は日本品との競爭上生産費の問題から頗る不公平な立場に置かれたといふのである。

故に彼等は先づ具體化する第一手段として本年三月政府に建白書を送つたのであるが、其の内容の要點は次の如くである。

一、日本が先の議決を批准しない限り日本製織糸及反物に對し附加税を課する事。

二、然して其の附加税の額は婦人を二交代にして夜間に使用する事によりて得る印度紡績工場の生産費の低下額に大體に於て等しいものでなくてはならん。

三、そして此の額を決定するために委員を任命する必要がある。

此の建白書に對する政府の回答は以外に早く交付されたが、政府は上述の理由が全然なり立たないと云つてゐるのである。

第一に印度は一九一九年の華府會議の以前より勞働時間の短縮を行つてゐたのである。即ち一九一一年の工場法は十四歳以下年少者の夜業禁止及紡績工場以外の工場に於ける婦女子の夜業禁止を規定して居り又一九二〇年三月孟買の勞働者同盟罷業の結果紡績工場主が就業時間を短縮し此を全印度紡績工場に及ぼした事から見て全然論據をなしてゐないと見なしてゐる。

又紡績場主の要求を受入れるときは一九〇五年の日本との通商條約を破棄しなければならないのである。之はベンガルの銑鐵業者及カルカッタ印度商舖の耐へ得ざる所であつて彼此の貿易上に支障を來す事が非常に多いのである。

斯の如き理由があつたゝめ委員會の提議は何等功を奏するに至らなかつたが、彼等は全力を盡して目的の貫徹を期してゐるため其前

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

途甚だ楽觀を許さないのである。

最後に本年二月及去年二月の印度への日本品及英國品買込量を比較して見よう。

財政年度の第十一箇月目卽ち二月に日本より輸入せる撚絲及織絲は三一、〇〇〇、〇〇〇封度であつたが、之を前年同月の一九、〇〇〇、〇〇〇と比べると非常な增加を示めしてゐる。所が反對で印度から移出せる物は前年の同月は二〇、五〇〇、〇〇〇封度であつたが本年分は一四、〇〇〇、〇〇〇封度を減少してゐるのである。色付捺染及色反物の日本より移入した量は二一、〇〇〇、〇〇〇碼から跳躍的に六四、〇〇〇、〇〇〇碼となり、英國の分は反對に二七九、〇〇〇、〇〇〇碼から二一四、〇〇〇、〇〇〇碼へと減少したのである。又生反物の日本の持前は本年度は一三二、〇〇〇、〇〇〇碼であつたが、前年度は八九、〇〇〇、〇〇〇碼に過ぎなかつた。所が英本國の分は前年度は五四五、〇〇〇、〇〇〇碼であつたが、本年度は四九五、〇〇〇、〇〇〇碼となつたのである。此外晒物の日本の持前も他の物と較べると少量ではあるが、急速に增加してゐるのである。

(Trade & Engineering Suppt. Apr. 24, '26. による)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

國防準備たる米國産業
American Industry Prepared to Defend the Nation. By D. F. Davis. (C. H. Vol. XXIII. No. 5, Feb. '26.)

原始人進化に關する新曙光
New Light on the Progress of Primitive Man. By G. G. MacCurdy. (C. H. Vol. XXIII. No. 5, Feb. '26.)

米國繁榮の二十五年間
Twenty-five Years of American Prosperity. By J. W. O'leary. (C. H. Vol. XXIII. No. 5, Feb. '26.)

米商務卿本年經濟觀
Hoover Advises Caution in Trade. (M. T. Mar. 10, '26.)

市場を通じて見たる農場生產管理の豫想
Farm Production Control Through Market Forecasts. By A. P. Chew. (A. Apr. 2, '26.)

豚加工業の生產管理
The Control of Production in the Hog Industry. By A. P. Chew. (A. Apr. 9, '26.)

米國に於ける財政經濟諸統計
Financial and Business Statistics. (A. Apr. 16, '26. P. 549.)

一九二五年の米國食料品外國貿易
United States Foreign Trade in Foodstuffs in 1925. (Com. R. No. 15, Apr. 12, '26. P. 82.)

米國の護謨狀況
De Rubber-Situatie in de Vereenig de Staten. (H. N. v. d. D. Apr. 17, '26.)

重要商品一束
Outstanding Feature in the Commodities. By Ch. Kitson. (A. Apr. 16, '26. P. 541.)

本年第一・四半期に於ける自動車製造業
The Motor Industry in the First Quarter of 1926. By R. P. Prescott. (A. Apr. 16, '26. P. 536.)

鐵道乘客の減少は私有自動車激增に原由す
Rail Passenger Loss Chiefly Due to Private Motors. By R. Budd. (A. Apr. 23, '26. P. 583.)

絹絲工業の發達堅實
The Silk Industry Expanding on A Sound Basis. By A. F. Lucas. (S. F. P. Apr. 30, '26.)

米國は支那ビーフを食ふを欲するか
Will America Eat China Beef? By Tom Doyle. (C. W. R. Vol. XXXVI. No. 9, May 1, '26. P. 227.)

一九二六年の收稅法は外國貿易を獎勵す
Revenue Act of 1926 Encourages Foreign Trade. By Mitchell B. Carroll. (C. W. R. Vol. XXXVI. No. 11, May 15, '26. P. 290.)

## 南 亞 米 利 加

ブルジル經濟事情——其一
Brazil—1. (S. Apr. 17, '26. P. 635.)

コロンビヤに於ける珈琲栽培
Koffiecultuur in Columbia. (L. N. e. H. No. 17, Apr. 23, '26.)

ブラジル經濟事情——其二
Brazil—II. (S. Apr. 24, '26.)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

蘭印に對する佛國の事業
Een Fransch Werk Over Indië. (S. Hb. Apr. 28, '26.)

印度に於ける纖維の栽培
De Vezel-Cultuur in Indië. (S. Hb. Apr. 28, '26.)

政府と砂糖企業
Het Gouvernement en de Suiker Onderneming. (H. N. v. d. D. Apr. 29, '26.)

## 歐羅巴

### 一般

歐洲諸國間に於ける貿易障碍
Trade Barriers Between European Countries. By H. Chalmers. (C. H. Vol. XXIV. No. 1, Apr. '26.)

歐洲に於ける機械文明の波及
The Spread of Machine Civilization in Europe. By E. Lengyel. (A. Apr. 23, '26. P. 581.)

歐洲不況の根本理由
The Fundamental Reasons for Depression in Europe. (A. May 7, '26.)

### 英國

炭業危機と政府
The Coal Crisis and the Government. (E. No. 4312, Apr. 17, '26. P. 771.)

英國經濟の將來好望
A Hopeful View of Britain's Economic Future. By W. T. Layton. (A. Apr. 2, '26.)

### 佛蘭西

佛國統治に對するシリアの叛亂
Syria's Rebellion Against French Rule. By W. H. Scheifley. (C. H. Vol. XXIII. No. 4, Jan. '26.)

一九二五年の佛國鐵・鋼事業及貿易
French Iron and Steel Industry and Trade in 1925. (Com. R. No. 15, Apr. 12, '26. P. 87.)

佛の豫算——佛の見解
France Budget--A French View. (E. No. 4312, Apr. 17, '26. P. 773.)

佛のゴム需要高
Les Besoins de la France en Caoutchonc. (le C. S. May 8, '26. P. 1.)

### 獨逸

獨逸大戰敗北の原因
The Cause of Germany's Defeat. By S. Miles Bouton. (C. H. Vol. XXXIII. No. 4, Jan. '26.)

米國の能率主義獨逸を把握す
American "Efficiency Worship" Grips Germany. By E. Lengyel. (A. Apr. 9, '26.)

一九二五年の獨逸織物事業及び貿易
German Textile Industry and Trade for 1925. (Com. R. No. 16, Apr. 19, '26. P. 153.)

獨逸農業問題と米國の貸付
German Agricultural Problems and American Loans. By Les Pasvolsky. (A. May 7, '26.)

### 和蘭

和蘭新內閣の聲明
Het Regeeringsverklaring van het Nieuwe Kabinet. (S. Hb. Apr. 16, '26.)

## 兩米大陸

### 北米合衆國

飛行界に於ける米國の成功
American Achievement in Aviation. By C. D. Wilbur. (C. H. Vol. XXIII. No. 4, Jan. 26.)

米國經濟界超躍進
America's Economic Supremacy. By F. V. Willey & G. Locock. (C. H. Vol. XXIII. No. 4, Jan. '26.)

北米インディアンは新紀元に向ひつゝあり
American Indians Facing A New Era. By R. F. Harlow. (C. H. Vol. XXIII. No. 4, Jan. '26.)

布哇在住日本人の米國化
Americanization of Japanese in Hawii. By E. Guy Talbott. (C. H. Vol. XXIII. No. 4, Jan. '26.)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

西班牙の比島文化に及ぼせる影響
Spani's Influence on Philippine Civilization. (P. H. May 14, '26.)

西班牙の比島物質的發展への貢献
Spani's Contribution to Material Proyress of Philippines are Told. (P. H. May 14, '26.)

比島獨立贊成者の增加
Increase of Autonomy of P. I. is Seen. (P. H. May 16, '26.)

比島珈琲業の進步
P. I. Coffee Industry is Improving. (P. H. May 16, '26.)

比島司法制度の改正强調さる
Judicial Reorganization Urged in P. I. (P. H. May 16, '26.)

日米戰爭勃發の際日本は容易に比島を占領せん
Japan Can Seize P. I. Easily in Case of War With U. S. By William Mitchel. (M. T. May 6, '26.)

比島罐詰業の沈滯
P. I. Canning Industry is Neglected. (P. H. May 18, '26.)

支那人の流入は驚くに足らず
Chinese Influx not Alarming. (P. H. May 19, '26.)

在加州比島人土地投資を奬めらる
Filipinos In California Urged to Invest in Lands. (P. H. May 9, '26.)

小麥貿易の活躍
Flour Trade in Island Increasing. (P. H. May 21, '26.)

比島歲入增加
P. I. Progress Revenue Receipts Show Upward Trend. (M. T. May 21, '26.)

ウッドは一九二七年の豫算を緊縮せんとする
Wood Wants 1927 Budget Kept Down. (P. H. May 21, '26.)

## 蘭領東印度

スマトラ東海岸の經濟狀態
De Oostkust van Sumatra. (H. N. v. d. D. Apr. 4, '26.)

農業及護謨
Landbouw en Rubber. (S. Hb. Apr. 13, '26.)

蘭領印度防禦に當る陸海軍
Vloot en Leger bij de Verdediging van Ned-Indië. (S. Hb. Apr. 13, '26.)

スマトラ東海岸の經濟情況
De Oostkust van Sumatra. (H. N. v. d. D. Apr. 14, '26.)

蘭印經濟界は緊縮を必要とす
Soberheid Noodzakelijk. (H. N. v. d. D. Apr. 14, '26.)

蘭印の石炭及其他に就て
Over Kool en nog Wat. (S. Hb. Apr. 14, '26.)

護謨並に護謨シンヂケートに關して
Over Rubber en een Syndicaat. (S. Hb. Apr. 17, '26.)

官營鐵道及蘭印鐵道會社の競爭協定
Concurrentie-Overeenkomst Tusschen S. S. en N. I. S. (S. Hb. Apr. 19, 20, '26.)

海軍軍政の改正に關する海軍委員の報告
De Reorganisatie van het Beheer der Marine Rapport der Vlootcommussie. (S. Hb. Apr. 20, '26.)

K. P. M. 社の商船隊
De Vloot van Kon. Paketvaart Maatschappij. (S. Hb. Apr. 22, '26.)

一九二七年度豫算
De Begrooting Voor 1927. (S. Hb. Apr. 23, 24, '26.)

稅關の再組織
Douane-Reorganisatie. (S. Hb. Apr. 26, '26.)

土人の經濟狀態に關するヘインケル氏の報告書
Het Rapport van Ginkel Over den Economischen Toestand der Inlansche Bevolking. (S. Hb. Apr. 27, '26.)

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

印度に於けるヒンヅー及回教信徒の新爭鬪
Hindu and Moslem Renew in Strife India. By Ben Misra. (C. H. Vol. XXIV. No. 1, Apr. '26.)

最近の印度
India. (S. F. P. Apr. 9, '26.)

加爾各陀の紡績罷業
Calcutta Mill Strike. (T. O. I. Apr. 10, '26. P. 7.)

印度の財政
Finances of India. (T. O. I. Apr. 10, '26. P. 3.)

カルカッタの暴動
The Calcutta Riots. (E. No. 4311, Apr. 10, '26. P. 727.)

加爾各陀の暴動
The Calcutta Riots. (T. O. I. Apr. 17, '26. P. 2.)

一九二五年の印度貿易は記錄を作る
Indian's 1925 Trade Establishes Record. (Com. R. No. 17, Apr. 26, '26. P. 249.)

南印度に於ける眞珠業
Pearl Fisheries in South India. (S. F. P. May 1, '26.)

## ■南　洋　諸　島■

### 比　　律　　賓

比島土地法は依然改良されざるや
Land Law to, Remain, With Capital Financing Small Native-Owned Plantations. (M. T. Mar. 9, '26.)

モーロー族日本人眞珠採取業に對して蹶起す
Moros Start Move Against Japanese. (M. T. Mar. 15, '26.)

比島砂糖輸出統計
The Tariff and P. I. Sugar. (M. T. Mar. 18, '26.)

比島の獨立と護謨
Onafhankeljkheid en Rubber. (S. Hb. Apr. 12, '26.)

比島のアルコール事業
The Alcohol Industry in the Philippine Islands. By. U. M. Butler. (Com. R. No. 17, Apr. 26, '26. P. 230.)

比島航空路の開發强調せらる
Need For Philippine Air Service Stressed. (P. H. May 9, '26.)

比島獨立問題の討議
Philippine Question Discussed Pro and Con. (P. H. May 9, '26.)

油類に對する附加税は比島に利益を齎らす
Higher Tax Flight not Against P. I. (P. H. May 9, '26.)

皮革業沈滯
Leather Indusrty Neglected. (P. H. May 9, '26.)

英國政治家ウイリングドン氏の比島獨立問題觀
Independence Inconceivable Says Willingdon. (M. T. May 9, '26.)

ファイヤストン氏サラワク土地租借失敗
Firestone Fails to get Sarawak Land Concession. (M. T. May 10, '26.)

一九二五年比島產米高增加
Production of Rice in 1925 Heavy. (P. H. May 11, '26.)

比島のマホガニー基礎確實
Philippine Mahogany Winning Out. (P. H. May 12, '26.)

比島經濟其他調査の使命を帶びたるトムソン氏の出發準備なる
Proposed Congressional Probe of P. I. Held up as Carni Thompson Gets Ready to Sail Manila. (P. H. May 13, '26.)

比島と西班牙の通商關係
Our Commercial Relation With Spain. (P. H. May 14, '26.)

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大佐の報告
Un Rapport du Colonel Bernard sur le Projet de Convention Eutre l' Indochine et le Siam. (le C. S. May 3, '26. P. 3.)

印度支那暹羅通商規約案に關するベルナル大佐の報告
Un Rapport du Colonel Bernard sur le Projet de Convention Eutre l' Indochine et le Siam. (le C. S. May 4, '26. P. 3.)

印度支那銀行に於ける使用安南人の同盟罷業
Une Grève d' Employés Aunamites à la Banque de l' Indochine. (le C. S. May 4, '26. P. 1.)

印度支那暹羅通商規約案に關するベルナル大佐の報告
Un Rapport du Colonel Bernard sur le Projet de Convention Eutre l' Indochine et le Siam. (le C. S. May 5 '26. P. 3.)

本植民地土壤はカポツク樹栽培に好適す
Le Kapokier peut être une Source de Richesse pour la Colonie. (le C. S. May 6, '26. P. 1.)

土人に對する刊行物の自由
La Liberté de le Presse pour les Indigène. (E. E. I. No. 465, May 9, '26. P. 1.)

荷物自動車の經濟的利用に就いて
L' Utilisation économique des Transports Automobiles. (E. E. I. No. 465, May 9, '26. P. 7.)

東京人勞働者勞賃
La Main d' Oeuvre Tonkinoise. (le C. S. May 11, '26. P. 1.)

印度支那國庫制度の攪亂
Une Bouleversement du Système Fiscal Indochinois. (le C. H. May 15, '26. P. 1.)

東京の森林と林產部
La Forêt Tonkinoise et le Service Forestier. (E. E. I. No. 466, May 16, '26. P. 1.)

鑛業彙報
Chronique des Mines. (E. E. I. No. 466, May 16, '26. P. 15.)

印度支那の新稅
Les Impots Nouveaux. (le C. H. May 18, '26. P. 1.)

## 馬來半島

馬來聯邦州に於ける都市計劃
Town Planning in F. M. S. (S. F. P. Apr. 12, '26.)

英領馬來の森林
British Malayan Forests. (S. F. P. Apr. 27, '26.)

新嘉坡の森林に就て
Singapore Forests. (S. F. P. Apr. 21, '26.)

英領馬來四月度護謨輸出高
The Rubber Exports. (S. F. P. May 4, '26.)

昔時の馬來教育者
An Early Malay Educator. (S. F. P. May 7, '26.)

英領馬來に於ける農業宣傳事業
In British Malaya Agricultural Demonstration Work. (S. F. P. May 10, '26.)

## 暹羅

暹羅の財政
Siam's Finances. (S. F. P. Apr. 19, '26.)

暹羅の問題
The Problems of Siam. (B. T. May 1, '26.)

四月中の盤谷の貿易
The Trade of Bangkok. (B. T. May 4, '26.)

盤谷の公共衛生事業
Public Health Work in Bangkok. (B. T. May 6, '26.)

驚くべき羅暹の漁業產物
Siams Wonderful Fish Resources. (B. T. May 8, '26.)

## 英領印度

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

稍歷史的なる上海市街
Some Historic Shanghai Streets. By Percival Finch in the Shanghai Times. (C. W. R. Vol. XXXVI, No. 12, May 22, '26. P. 324.)

廣東人の見たる廣東
Canton As Seen By A Cantonese. By W. H. Chen. (N. C. D. N. May 24, 25, '26.)

北京の混沌たる財政
Peking's Turbid Finances. (N. C. D. N. May 27, '26.)

## 佛領印度支那

印度支那一九二五年度外國貿易高四十二億三千六百萬法に達す
Le Commerce Extérieur de l' Indochine Atteint 4 Milliards 236 Million. (le C. S. Apr. 2, '26. P. 1.)

一九二五——一九二六年度印度支那籾收穫5,612,000噸
L' Indochine a Récolté 5,612,000 Tonnes de Paddy. (le C. S. Apr. 8, '26. P. 1.)

緬甸及交趾支那に於ける小栽培園の將來
L' Avenir des Trèspetites Plantations en Birmanie et en Cochinchine. (le C. S. Apr. 12, '26. P. 1.)

一九二五年度東埔寨輸出高
Les Exportations du Cambodge. (le C. S. Apr. 14, '26. P. 1.)

ヴアレンヌ氏の政策は政府の印度支那對策と一致す(植民大臣の宣言)
La Politique de M. Varenne est Conforme dans ses Grandes Lignes à celle du Gouvernement. (le C. S. Apr. 16, '26. P. 1.)

交趾支那は最後迄佛蘭西のものとして殘さゞるべからず(西貢商業會議所議事)
"La Cochinchine Doit Rester Française." (le C. S. Apr. 16, '26. P. 1.)

印度支那と科學研究所
L' Indochine et Instituts Scientifiques. (le C. S. Apr. 16, '26. P. 3.)

農業組合の創設と貸付金庫
Création Syndicat Agricole et d' une Caisse de Crédit. (le C. S. Apr. 17, '26. P. 3.)

ヴアレンヌ氏の演說に就て
Sur un Discours de M. Varenne. (le C. H. Apr. 19, '26. P. 1.)

交趾支那農業會議所會議(四月二十日)
Chambre d' Agriculture de la Cochinchine. (le C. S. Apr. 22, '26. P. 1.)

無線電信と我植民地
La Radiotélégraphie et nos Colonies. (le C. H. Apr. 26, '26. P. 1.)

印度支那に於ける女子と敎育
La Femme et l' Enseignement en Indochine. (le C. S. Apr. 23, '26. P. 1.)

交趾支那に於ける犯罪
Le Criminalité en Cochinchine. (le C. S. Apr. 23, '26. P. 1.)

クワンニヤイ州事情
La Province de Quang-Ngai, par A. Laborde. (E. E. I. No. 463, Apr. 25, '26. P. 9.)

印度支那の所得稅
L' Impot sur le Revence en Indochine. (le C. H. Apr. 27, '26. P. 1.)

印度支那暹羅通商規約案に關するベルナル大佐の報告
Un Rapport du Colonel Bernard sur le Projet de Convention Entre l' Indochine et le Siam. (le C. S. May 1, '26. P. 3.)

印度支那暹羅兩國間の通商規約案
Le Projet de Convention Commesciale Entre l' Indochine et le Siam. (le C. S. May 1, '26, P. 1.)

鑛業彙報
Chronique des Mines. (E. E. I. No. 464, May 2, '26. P. 15.)

クワンニヤイ州事情
La Province de Quang-Ngri, par A Laborde. (E. E. I. No. 464, May 2, '26. P. 2.)

印度支那暹羅通商規約案に關するベルナル

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

香港の非賣同盟
The Boycott of Hongkong. (C. E. T. No. 3272, Apr. 22, '26. P. 300.)

上海に於ける米國新聞紙の位置現狀
Status of the American Newspaper Situation at Shanghai. (C. W. R. Vol. XXXVI. No. 9, May 1, '26. P. 215.)

鐵道と拳匪賠款
Railroads and Boxer Indemnities! (C. W. R. Vol. XXXVI. No. 9, May 1, '26. P. 216.)

支那と佛國拳匪賠款
China and the British Boxer Indemnity. By G. Zay Wood. (C. W. R. Vol. XXXVI. No. 9, May 1, '26. P. 220.)

香港・廣東への旅(續き)
A Visit to Hongkong and Canton. By Geoge E. Sokolsky. (N. C. D. N. Apr. 27, 29, 30, May 4, 6, '26.)

北支に於ける戰禍の調査及戰後の影響
Survey of War and Its After Effects in North China. (N. C. D. N. May 4, 5, 6, 8, '26.)

香港通信：昨年の政廳財政
Hongkong Letter : Government Finance of Past Year. (N. C. D. N. May 6, '26.)

孫傳芳氏の大上海計畫
Marshal Sun Chuan-Fangs' Scheme for Greater Shanghai. (N. C. D. N. May 6, '26.)

孫氏と外人
Marshal Sun and Foreigner. (N. C. D. N. May 7, '26.)

上海以外の各地に於ける米國新聞紙
American Papers Everywhere Except in Shanghai. (C. W. R. Vol. XXXVI. No. 10, May 8, '26. P. 244.)

支那と佛國拳匪賠款
China and the British Boxer Indemnity. By G. Zay Wood. (C. W. R. Vol. XXXVI. No. 10, May 8, '26. P. 247.

國民軍の經過
The Passing of the Kuominchun. By Pei Yu-Chien. (C. W. R. Vol. XXXVI. No. 10, May 8, '26. P. 250.)

支那は如何なる國ぞ
"China not a Nation, but a Whole World". From the Japan Weekly Chronicle, April 15. (C. W. R. Vol. XXXXI. No. 10, May 8, '26. P. 254.)

一九二六年初三箇月間支那の對米輸出
China's Exports to U. S. for First Quarter, 1926. (C. W. R. Vol. XXXXI. No. 10, May 8, '26. P. 260.)

北京までの軌道車建造
What the Tramcars Have Done to Pekin. (From the Engineer) (C. W. R. Vol. XXXVI. No. 10, May 8, '26. P. 264.)

北京圍攻後の狀況
After the Siege of Peking. By Charles Dailey. (C. W. R. Vol. XXXVI. No. 11, May 15, '26. P. 282.)

米支經濟發達の比較
A Comparison of American and Chinese Economic Development. By Julean Arnold. (C. W. R. Vol. XXXVI, No. 11, May 15, '26. P. 284.)

廣東生絲の生產
Production of Raw Silk in Kwangtung. (C. W. R. Vol XXXVI. No. 11, May 15, '26. P. 286.)

大上海の基礎建設
Laying the Foundation for Greater Shanghai. (C. W. R. Vol. XXXVI. No. 12, May 22, '26. P. 309.)

吳佩孚上將軍の復活
The "Return" of Mrrshal Wu Pei-fu. (C. W. R. Vol. XXXVI, No. 12, May 22, '26. P. 314.)

一九二六年四月上海對米輸出貿易
Shanghais' Exports to U. S. for April, 1926. (C. W. R. Vol. XXXVI, No. 12, May 22, '26. P. 322.)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

日本の新關稅と米國の貿易
The New Japanese Tariff and American Trade. By Jawes J. Durnan. (Com. R. No. 16, Apr. 19, '26. P. 139.)

大洋橫斷運輸
Transportation Across the Oceans. By E. T. Chamberlain. (Com. R. No. 16, Apr. 19, '26. P. 142.)

理論及實際上より見たる金本位制
The Gold Standard in Theory and Practice.—XVI. (S. Apr. 24, '26.)

護謨樹接木の實際に就て
Pratique du Greffage sur Hévéas. (le C. S. May 1, '26. P. 1.)

甘蔗肥料に就て
Fumure de la Caune à Sucre. (le C. S. May 11, '26. P. 1.)

世界の石油鑛脈
Les Gisement de Pétrole du Globe. (E. E. I. No. 466, May 16, '26. P. 8.)

## ■亞　細　亞■

### 一　般

土耳古油田獲得に關する苦鬪
The Bitter Conflict Over Turkish Oilfields. By J. Carter. (C. H. Vol. XXIII. No. 4, Jan. '26.)

國際水路としての蘇土運河
The Suez Canal as an International Waterway. By P. Crabites. (C. H. Vol. XXIV. No. 2, May, '26.)

極東商報
Far Eastern Trade News. (Com. R. No. 15, Apr. 12, '26. P. 70.)

電信月報
Monthly Cable Reviews. By F. R. Eldridge. (Com. R. No. 17, Apr. 26, '26. P. 199.)

極東に於ける護謨栽培地面積
Les Superficies des Plantations de Caoutchouc en Extrême-Orient. (le C. S. May 14, '26. P. 1.)

### 支　那　及　香　港

孔教主義と迷信(未完)
Confucinism and Superstition. By Homer H. Dubs. (To be Continued) (C. R. Vol. LVII. No. 4, Apr. '26.)

上古の信條と近代の信念
An Ancient Creed and Modern Faith. By Sin Pu-chi. (C. R. Vol. LVII. No. 4, Apr. '26. P. 253.)

所有權の心理
The Psychology of "Proprietorship". By J. C. Griffish. (C. R. Vol. LVII. No. 4, Apr. '26. P. 260.)

支那の根本的なるものに就きて
Some of China's Roots. By Frank Rawlinson. (C. R. Vol. LVII. No. 4, Apr. '26. P. 263.)

支那海關稅——提議されたる附加稅
China's Tariff. Proposed Surtaxed. (C. E. T. No. 3270, Apr. 8, '26. P. 264.)

滿洲に於ける鑛業資源
Mining Resources of Manchuria. (E. E. No. 4, Apr. 15, '26. P. 124.)

支那の銅——彭縣坑に於ける採礦法
Chinese Copper Methods of Working at the Penghsien Mine. (E. E. No. 4, Apr. 15, '26. P. 125.)

香港近情
Hongkong-Bankers on the Position-Progress of the Boycott. (E. No. 4312, Apr. 17, '26. P. 791.)

一九二五年の支那に於ける歳入
Chinese Revenues for 1925. By Elgin E. Groseclose. (Com. R. No. 16, Apr. 19, '26. P. 151.)

滿洲——支那の大望
Manchuria Ambitions of China. (C. E. T. No. 3272, Apr. 22, '26. P. 298.)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

# 支那及南洋記事
# 海外重要記事索引

臺灣總督官房調査課

## ■ 新聞雜誌略號一覽表 ■

A. Annalist. (Mar. 12—May 7, '26.)

B. T. Bangkok Times. (May 1—14, '26.)

C. E. T. China Express and Telegraph. (Apr. 8—22, '26.)

C. H. Current History. (Jan.—May '26.)

Com. R. Commerce Reports. (Apr. 12—26, '26.)

C. R. Chinese Recorder. (Apr. '26.)

C. W. R. China Weekly Review. (May 1—22, '26.)

E. Economist. (No. 4,311—No. 4,313)

E. E. I. L' eveil économique de l' Indochine. (Apr. 18—May 16,'26.)

H. N. v. d. D. Het Nieuws van den Dag. (Apr. 19—May 18, '26.)

le C. H. Le Courrier d' Haiphong. (Apr. 19—May 18, '26.)

le C. S. Le Courrier d' Saigonais. (Apr. 2—May 11, '26.)

L. N. e. H. Landbouw, Nijverheid en Handel. (Apr. 16—May 7, '26.)

M. T. Manila Times. (Mar. 1—May 20, '26.)

N. C. D. N. North China Daily News. (Apr. 25—27, '26.)

P. H. Philippine Herald. (May 9—21, '26.)

S. Statist. (Apr. 3—24, '26.)

S. F. P. Singapore Free Press. (Apr. 11—May 10, '26.)

S. Hb. Soerabajasch Handelsblad. (Apr. 11—May 8, '26.)

T. O. I. Times of India. (Apr. 10—24, '26.)

* * *

## ■ 世　　界 ■

### 一　　般

一九二八年迄に護謨供給は不足すべし
Scarcity of Rubber Probable by 1928. (A. Mar. 12, '26.)

世界棉工業の將來は競爭激甚ならん
World Cotton Industry Faces Intense Competition. By A. F. Lucas. (A. Mar. 12, '26.)

理論及實際より見たる金本位制
Gold Standard in Theory and Practice.—XIV. (A. Apr. 10, '26. P. 584.)

護謨の經濟
The Economic of Rubber. By Sir. Stanley Bois. (S. F. P. Apr. 12, '26.)

自動車タイヤーの取引狀況
De Toestand in den Banden-Handel. (S. Hb. Apr. 12, '26.)

護謨の生產豫想
Rubbervoorintzichten. (H. N. v. d. D. Apr. 14, '26.)

理論及實際より見たる金本位制
Gold Standard in Theory and Practice.—XV. (S. Apr. 17, '26. P. 634.)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN